

Epson Edge Print

操作ガイド

商標

Apple、Mac、macOS、ColorSync は米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。

Microsoft、Windows は、マイクロソフト グループの企業の商標です。

Adobe、Acrobat、Illustrator、Photoshop、PostScript、Reader は、米国ならびに他の国における Adobe の登録商標または商標です。

Copyright © 1991 Adobe Inc. All Rights Reserved.

Copyright © 2005 Adobe Inc. All Rights Reserved.

Intel、Intel ロゴ、および Intel Core は、Intel Corporation またはその子会社の商標です。

X-Rite は、米国 X-Rite Incorporated の米国および他の国々における登録商標または商標です。

i1 は X-Rite 社の商標です。

一部の ICC プロファイルは、X-Rite Solutions で作成されています。

グラフィック、Graphtec、および Graphtec Studio 2 はグラフィック社の商標です。

Summa is a registered trademark of Summa NV. OPOS and GoSign are trademarks of Summa NV.

Zünd and the Zünd figurative mark are registered trademarks of Zünd Systemtechnik AG.

平成明朝 W3、平成角ゴシック W5 は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものであり、許可なく複製することはできません。

PANTONE® Colors displayed in the software application or in the user documentation may not match PANTONE-identified standards. Consult current PANTONE Color Publications for accurate color. PANTONE® and other Pantone trademarks are trademarks or registered trademarks of Pantone LLC in the United States and/or other countries.

© Pantone LLC, 2024

Pantone is the copyright owner of color data and/or software which are licensed to Seiko Epson Corporation to distribute for use only in combination with Epson Edge Print. PANTONE Color Data and/or Software shall not be copied onto another disk or into memory unless as part of the execution of Epson Edge Print.

その他の製品名およびフォント名は、各社の商標または登録商標です。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。



POWERED BY

Adobe PDF Print Engine

もくじ

マニュアルの見方 6

マークの意味	6
掲載画面図	6
OS の表記	6
PDF マニュアルの見方	6

基本的な印刷方法 8

メイン画面の構成	8
印刷の手順（ファーストステップ）	11
印刷の準備	11
印刷の手順	12
印刷の中止	12
使用メディアに最適な設定で印刷する（EMX を使った印刷）	13
印刷の準備	13
EMX ファイルの準備	13
プリンターの準備	14
印刷の手順	15
印刷の中止	16
ジョブの基本設定	16
レイアウトの設定	20
ジョブ設定メニューの機能紹介	24
ジョブ設定メニューの起動	24
レイアウト設定の紹介	25
カラー設定の紹介	26
色置換の紹介	27
マーク設定の紹介	27
クリップの紹介	27
分割印刷の紹介	28
ステップ&リピートの紹介	28
多層印刷設定の紹介	28
分版カラー設定の紹介	29
印刷/RIP の順番を決めてジョブリストを並び替える	29
一括して印刷/RIP 処理を指示する	29
順番を決めて印刷/RIP 処理を行う	29
一度印刷したジョブを再印刷する	30
再印刷の手順	30
印刷後に RIP 済みデータを保存する	31
印刷済みジョブリストの整理	31
ジョブデータをファイルに保存する	32

いろいろな印刷方法 34

メディアを無駄なく効率的に使う（ネスト印刷）	34
ネストジョブの作成	34
ネストジョブの解除	35
ネスト印刷前の確認事項	35
ネストジョブ内の各ジョブの余白を設定する	35
枠線やトリムマークを付けて印刷する	36
カット用のマークの種類	36
カット用のマークやジョブラベルの設定方法	37
画像の必要な部分だけを印刷する（クリップ）	42
大きな画像を分割して印刷する（タイリング）	43
画像の分割方法	43
特定のタイルを印刷しないとき	46
つなぎ目の色ズレが目立つとき	46
繰り返し模様の印刷をする（ステップ&リピート）	47
パターンの作成方法	47
印刷したとき画像間に隙間が生じるとき	48
プリンター側でのステップ&リピート処理	49
フチなしで印刷する	49
よく使うジョブ設定の作成（クイックセット）	50
クイックセットの作成	50
クイックセットの編集	52
作成したクイックセットを流用する	52
クイックセットをジョブ設定のデフォルトに設定する	53
ジョブ追加後にクイックセットを変更する	53
決められた設定で印刷する（ホットフォルダー印刷）	54
ホットフォルダーとは	54
ホットフォルダー作成手順	54
ホットフォルダー印刷のご注意	54
印刷の手順	55
ホットフォルダーの登録解除	55
ホットフォルダーを無効にするとき	55
ホットフォルダーに設定したクイックセットを変更するとき	56
使用するメディアに応じたプリント情報を作成する	56
取得済み EMX ファイル/用紙情報のプリント情報を元に作成する	56
汎用のプリント情報を元に作成する	59
作成したプリント情報を流用する	59

カラーマネジメント印刷 61

カラー設定 61

- 入力設定の概要 61
- 出力設定の概要 62
- 広色域入力色プロファイルでの印刷結果をデータ作成時に画面で確認する 63

ジョブの出力色を置換する 64

- 色置換の手順 65
- 出力色調整チャートから出力色を設定する 66
- 色見本を測色して出力色を設定する 68
- 設定した色置換情報を流用する 68
- Color Library から出力色を設定する 69

カラーコレクションの使い方 70

- 特色の編集/追加 71
- 特色ファイルをインポートする 73
- 特色をエクスポートする 73
- 色見本を印刷する 73
- 特色を一括して調整する 73

版ごとに出力色を設定する（分版カラー設定） 76

- 出力色指定チャートの作成と印刷 77
- 各版の出力色の調整 78

再現可能な色域を確認する（ガマットビューアー） 80

- 色域とガマットビューアー 80
- ガマットビューアーの機能紹介 80
- ガマットビューアーを起動する 81
- 画面の構成 82
- リストにメディアプロファイルを追加する 84
- リストに指定色を追加する 85
- 指定色をジョブの出力色に置換する 86
- リストの入力プロファイルを変更する 88

特色インクを使用した印刷 89

多層印刷（ホワイト/メタリックシルバー/バーニッシュの印刷） 89

- 印刷データの作成方法 89
- WH/MS/Vr 印刷用の版を自動生成して印刷 89
- カラーのデータと WH/MS/Vr 印刷用データを合成して印刷 92
- 画像処理ソフトで多層印刷データを作って印刷 93
- 層の位置ズレ・下地の画像のはみ出しが生じたとき 97
- Vr 表面のざらつきが目立つとき 98
- 印刷データと印刷結果のサイズが異なるとき 98
- 多層印刷の層数や重ね順をカスタマイズしたいとき 99
- WH/Vr 印刷用の版を繰り返し印刷したいとき 100

蛍光色の印刷 101

- 印刷データの作成方法 101

色見本の蛍光色を設定して画像を作成して印刷 ... 102

蛍光色でグラデーションを印刷 103

色置換して蛍光色でグラデーションを印刷 108

こんなときには 111

メディアサイズの初期設定を変更したいとき .. 111

プリンターにセットされたメディアの実際のサイズを取得したいとき 111

例外的なメディアサイズを作成したいとき（カスタムメディアサイズ） 111

印刷時のメディア左右余白を変更したいとき .. 111

プリンターからメディア左右余白を取得したいとき 112

メディア設定とプリント情報を同期させるとき 112

使用したいエプソン製専用紙が見つからないとき 112

特色設定された画像と透明画像が重なったデータを含む PDF を正しく印刷できないとき 113

印刷結果の色合いが以前と異なるとき 113

グラデーションをより滑らかに印刷したいとき 113

画像に含まれる細い線が印刷されないとき 113

画像に含まれる斜線や曲線が滑らかに印刷されないとき 114

表示言語・長さ単位を変更したいとき 114

ネストジョブの部数設定時の整列方法を変更したいとき 115

プレビューの表示時間を短縮したいとき 115

カットパスデータをエクスポートしたいとき .. 116

エクスポート前の準備 116

カットパスデータのエクスポート 117

印刷の途中でプリントヘッドが止まったり動いたりするとき 117

インクの使用量を予測したいとき 117

ジョブリストの [ステータス] に [エラー] と表示され印刷されないとき 118

エラー内容の確認 118

RIP サーバーのメモリー使用量の変更 119

エラー発生時の解析用情報を送信したいとき .. 119

記憶装置の使用容量を変更したいとき 120

管理するプリンターの登録・登録解除をしたいとき 120

登録と変更 120

登録解除手順	121
インストール後に使用する機種を追加したいとき	121
ライセンスを追加で登録したいとき	122
RIP サーバーのコンピューターを変更したいとき	122
ライセンスの削除手順	122
変更後のコンピューターでライセンスを登録する	123
バックアップとリストア	125
バックアップ	126
リストア	126
本ソフトウェアのアップデート	128
本ソフトウェアのアンインストール	128
Windows 10 の場合	128
Windows 11 の場合	129

クラウドサービスやネットワーク経由の印刷 130

Production Flow 経由の印刷	130
RIP サーバーと未接続のプリンターを登録する ...	130
ジョブを Production Flow にアップロードする	131
他のアプリケーションソフトから印刷する（プリンターの共有）	131
RIP サーバーとクライアントの共有設定を有効にする	131
プリンターの共有設定を有効にする	132
クライアントに共有プリンターを追加する	133
共有プリンターで使用するクイックセットを設定する	135
クライアントから共有プリンターで印刷する	136
LPD 接続の共有プリンターを追加する (Mac OS) .	139

付録 142

システム条件	142
動作環境	142
推奨環境	142
対応データ形式	143
対応測色器	143
本ソフトウェアで定義するエイリアス	144

マニュアルの見方

マークの意味

！重要	必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を見逃すと、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。
参考	補足説明や参考情報を記載しています。
👉	関連する内容の参照先を示しています。
【プリンター設定】	操作パネルやコンピューターの画面に表示される文字列は [] で囲んで示します。
【OK】 ボタン	操作パネルのボタン名称を示しています。

掲載画面図

掲載している画面図が、お使いのものと若干異なる場合がございます。また、予告なしに変更されることがございます。ご了承ください。

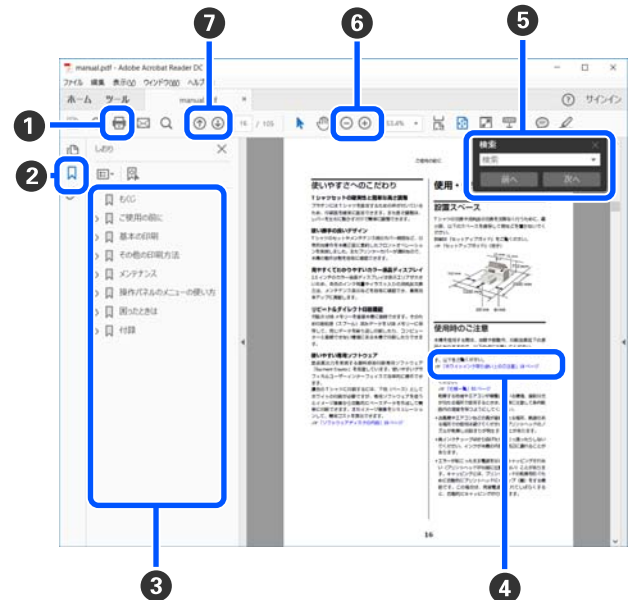
OS の表記

本書では、以下の OS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Windows 11」「Windows 10」と表記しています。また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

- Microsoft® Windows® 11 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® 10 operating system 日本語版

PDF マニュアルの見方

Adobe Reader で PDF マニュアルを見る際の基本的な操作を Adobe Reader DC で表示したときを例に説明します。



- 1 PDF マニュアルを印刷するときにクリックします。
- 2 クリックするたびに、しおりを開いたり表示したりします。
- 3 タイトルをクリックすると該当のページが表示されます。
[+] をクリックすると、下の階層のタイトルが表示されます。
- 4 参照先が青字で記載されているときは、青字の部分ををクリックすると該当のページが表示されます。
元のページに戻るときは、以下のように行います。
Windows の場合
【Alt】 キーを押したまま【←】 キーを押します。
Mac OS の場合
【command】 キーを押したまま【←】 キーを押します。
- 5 確認したい項目名などキーワードを入力して検索ができます。
Windows の場合
PDF マニュアルのページ上で右クリックし、表示されたメニューで「簡易検索」を選択すると、検索ツールバーが表示されます。
Mac OS の場合
【編集】メニューで「簡易検索」を選択すると、検索ツールバーが表示されます。

- ⑥ 表示中の文字が小さくて見えにくいときは  をクリックすると拡大します。 をクリックすると縮小します。イラストや画面図など拡大する部分を指定するには、以下のように行います。

Windows の場合

PDF マニュアルのページ上で右クリックし、表示されたメニューで「マーキーズーム」を選択します。ポインターが虫眼鏡に変わりますので拡大したい箇所を範囲指定します。

Mac OS の場合

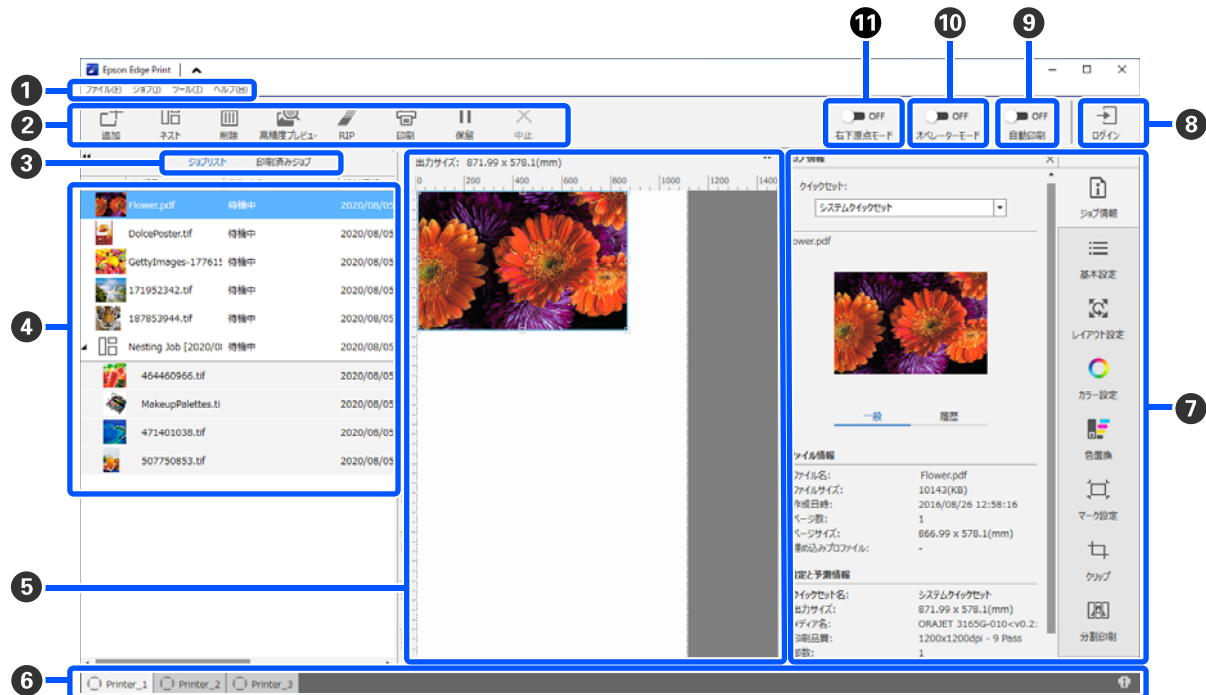
「表示」メニュー - 「ズーム」 - 「マーキーズーム」の順にクリックすると、ポインターが虫眼鏡に変わります。そのまま虫眼鏡のポインターで拡大したい箇所を範囲指定します。

- ⑦ 前ページ/次ページを表示します。

基本的な印刷方法

メイン画面の構成

本ソフトウェアを起動するとメイン画面が表示されます。
メイン画面の構成と機能は以下の通りです。



	部位名称	機能
①	メニューバー	各メニューから操作や設定が行えます。 タイトル行の ▲ ▼ をクリックするとメニューバーを非表示/再表示できます。
②	ジョブツールバー	ジョブリスト/印刷済みジョブリスト (④) で選択したジョブに対して以下の操作が行えます。 □+: ジョブリストに印刷データを選択して追加します。 🗑️/🔗: 選択した複数のジョブから1つのネストジョブを作成します。 ネストジョブを選択すると、🗑️ が 🔗 に切り替わりネスト解除ができます。 🔗 「メディアを無駄なく効率的に使う (ネスト印刷)」 34 ページ 🗑️: 選択したジョブをリストから削除します。 🖨️: 選択したジョブのプレビューエリア (⑤) の表示を高精度のプレビューに変更します。 🔗 「プレビューの表示時間を短縮したいとき」 115 ページ 🖨️: 選択したジョブの RIP 処理のみを行います。 🖨️: 選択したジョブを RIP しながら印刷します。RIP 済みのジョブを選択したときは、印刷のみを行います。 ⏸️/🔄: 選択したジョブを保留ジョブにします。保留ジョブは、自動印刷切り替えボタン (⑧) を 🔄 ON にして自動印刷にしたときの印刷対象から外れます。 保留中のジョブを選択すると、⏸️ が、🔄 に切り替わり、保留を解除できます。自動印刷時に保留を解除すると待機ジョブに戻り順番の最後に印刷されます。 ✕: 実行中の RIP 処理や印刷を中止します。
③	リスト切り替えボタン	ジョブリスト/印刷済みジョブリストを切り替えます。 現在選択されているリスト名が枠囲みされています。

基本的な印刷方法

	部位名称	機能
④	ジョブリスト/印刷済みジョブリスト	ジョブリストには、印刷待ちか印刷中のジョブのサムネイルや元データ名、ステータスなどが表示されます。印刷が完了したジョブは、自動で印刷済みジョブリストに移行します。両リストとも以下の操作ができます。 • リストタイトル上で右クリックメニューを表示してリストに表示する内容を変更できます。 • ジョブ名上で右クリックメニューを表示してジョブツールバー (②) と同様の操作ができます。 • リストタイトルの左上の ◀ ▶ をクリックするとエリアを最小化/展開できます。 • ジョブのサムネイルに 📄 が表示されているジョブは、プレビューエリア (⑤) に簡易的なプレビューを表示します。 🔗 「プレビューの表示時間を短縮したいとき」 115 ページ ジョブリストのリストタイトル上で右クリックメニューを表示して [ジョブ名の変更] を選択すると、ジョブ名を変更できます。複数ページジョブでは、各ページで右クリックメニューを表示して [ジョブ名の変更] を選択すると、ページごとにジョブ名を変更できます。ただし、複数のジョブを合成した多層印刷用のジョブは、ジョブ名を変更できません。印刷済みジョブリストで 🔒 が表示されているジョブは、保護されているため削除できません。 🔗 「印刷済みジョブを保護する」 31 ページ
⑤	プレビューエリア	ジョブリスト (④) で選択したジョブのプレビューを確認できます。 ジョブ設定メニュー (⑦) で [レイアウト設定] や [分割印刷]、[クリップ] の設定をする際やネストジョブの配置を決める際に、このプレビューエリアで確認しながら行います。白い部分がメディアを表しています。メディア幅は、ジョブ設定メニューの ≡ (基本設定) - [メディアサイズ] の設定に応じて変わります。メディアの左右端から破線までの間隔は、余白です。 スケールで印刷位置を確認しながら配置できます。スケールの単位 (mm/inch) は、ツールメニューの [環境設定] で変更できます。 🔗 「表示言語・長さ単位を変更したいとき」 114 ページ プレビュー画像をドラッグして印刷位置を変えることもできます。 プレビューエリア下方の 🔍 + をクリックするとプレビューエリアの表示を縮小/拡大できます。🖱️ をクリックすると、プレビューエリアの表示幅いっぱい現在設定されているメディア幅が表示されるように自動で拡大/縮小されます。UV インク搭載機種を操作対象のプリンターとして選択しているときは、🖨️ をクリックすると、プレビューエリアの表示サイズいっぱいにお使いのプリンターの印刷可能領域が表示されるように自動で拡大/縮小されます。拡大/縮小印刷を行うには、ジョブ設定メニューの [レイアウト設定] を行います。 🔗 「レイアウトの設定」 20 ページ プレビューの作成方法を変更することで、印刷データをジョブリストに追加してからプレビューが表示されるまでの時間を短縮できます。 🔗 「プレビューの表示時間を短縮したいとき」 115 ページ エリア右上の ◀ ▶ をクリックすると、エリアを最小化/展開できます。
⑥	プリンター切り替えタブ	本ソフトウェアに登録しているプリンター名とプリンターステータスが表示されています。 タブをクリックして操作対象のプリンターを切り替えます。白色のタブが、現在操作対象になっているプリンターです。 ステータスアイコンの意味は、次の通りです。 🟢: 印刷可能状態 (待機中) です。 🟡: 印刷中です。 🔴: 警告等が発生しています。 🔴: エラーが発生しています。 🔄: ヘッドクリーニング、パネル操作など印刷以外で動作中です。 🔴: 電源が入っていない、または接続されていません。 画面右下の 🖨️ をクリックすると、選択しているプリンターのより詳細なステータスを確認できます。お使いの機種によっては、🖨️ が無効となります。
⑦	ジョブ設定メニュー・設定エリア	ジョブリスト (④) で選択した待機中ジョブの印刷やレイアウト、入出力プロファイル等の設定を行います。 右側のアイコンがジョブ設定メニューです。選択した項目に応じて設定エリアの内容が変わります。🔗 「ジョブ設定メニューの機能紹介」 24 ページ 設定エリア右上の ✕ をクリックすると設定エリアが閉じられ、その分プレビューエリアが広がります。設定エリアを開くときは、ジョブ設定メニューのいずれかをクリックします。設定エリアを閉じているときに、メニュー左の境界線を左右にドラッグすると、メニューエリアを最小化/最大化できます。

基本的な印刷方法

	部位名称	機能
⑧	Epson Cloud Solution PORT ログインアイコン	クリックすると、Epson Cloud Solution PORT へのログイン状態に応じて [ログイン] / [ログアウト] が表示されます。[ログイン] をクリックすると、本ソフトウェアから Epson Cloud Solution PORT にログインできます。 - Epson Cloud Solution PORT のご利用には、事前にアカウント登録が必要です。また、お使いの国と地域によっては、アイコンが表示されないことがあります。 - Epson Cloud Solution PORT にログインした状態で本ソフトウェアの印刷を実行すると、ジョブに関する情報が Epson Cloud Solution PORT に送信されます。送信される情報を変更したいときは、ツールメニュー - [Epson Cloud Solution PORT の設定] の順でクリックして設定を変更します。
⑨	自動印刷切り替えボタン	ボタンをクリックするたびに ON/OFF が切り替わります。  ON に設定していると、ジョブリスト (④) に印刷データを追加するだけで順次印刷を開始します。ジョブリストに待機中のジョブがあるときは、待機中ジョブも順次印刷されます。  OFF に設定していると、ジョブリストに印刷データを追加後にジョブを選択して印刷を実行するまで印刷されません。 ジョブを複数まとめてネストや RIP してから印刷するときは、 OFF に設定してネストや RIP 作業を行ってから  ON に変更します。
⑩	オペレーターモード切り替えボタン	SC-V7000 を操作対象のプリンターとして選択しているときに限り表示されます。 ジョブリスト (④) でジョブを選択してから  ON に設定すると、プレビューエリア (⑤) の表示が、180 度回転して余白が削除された状態に切り替わります。コントローラーソフトでジョブを表示したときと同じ表示でプレビューを確認できます。 選択したジョブの設定を変更したり、印刷を実行したりするときは、 OFF に設定します。
⑪	右下原点モード切り替えボタン	SC-V7000 以外の UV インク搭載機種を操作対象のプリンターとして選択しているときに限り表示され、初期設定値は  ON です。  ON に設定していると、プレビューエリア (⑤) の表示がプリンターのメディアセット位置と同じ右下を基準に表示されます。  OFF に設定すると、プレビューエリアの表示が左上基準に切り替わります。

印刷の手順（ファーストステップ）

本ソフトウェアで印刷するときは、以下の2つの登録が必要です。

メディア設定値

お使いのメディアに適したヒーター温度やプラテンギャップ、メディアテンションなどの設定値をプリンターに登録します。

プリント情報

メディアのICC プロファイルやパス数、解像度などを本ソフトウェアに登録します。

しかし、複数の設定項目の最適値を探り使用メディアに最適な印刷ができるように設定するのは、煩雑で時間も手間もかかり大変です。

ここでは、複雑な登録をせずにプリンターに標準装備のメディア設定値登録機能と本ソフトウェアにあらかじめ登録されているメディアタイプ別のプリント情報を使って、手軽に印刷する方法を説明します。

印刷の準備

プリンターで簡単メディア設定を行う

設定メニューの「簡単メディア設定」でお使いのメディアに応じたメディアタイプを選択するだけで、適切なメディア設定値が登録できます。

☞ 『ユーザーズガイド』（オンラインマニュアル）の「簡単メディア設定の手順」

お使いの機種によっては、「簡単メディア設定」に対応していません。その場合は、使用するメディアに応じた最適なメディア設定を保存してください。メディア設定の保存は、プリンターに付属のマニュアルをご覧ください。

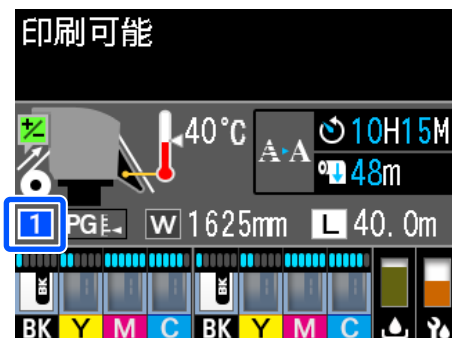
動作環境の確認

以下の点を確認してください。

- プリンターと RIP サーバー（本ソフトウェアがインストールされているコンピューター）が正しく接続され、電源が入っている。
- 本ソフトウェアが起動している。
- 使用するプリンターが本ソフトウェアに登録されている。
新たにプリンターを登録するときは、以下をご覧ください。

☞ 「管理するプリンターの登録・登録解除をしたいとき」120 ページ

- プリンターにメディアがセットされ印刷可能状態になっている。
- 現在プリンターで選択しているメディア設定が、「簡単メディア設定」で登録した、あるいは「メディア設定変更」で最適なメディア設定を保存したメディア設定番号になっている。なお、メディア設定「00 RIP 設定」は本ソフトウェアでは使えませんので選択しないでください。
プリンターで現在設定しているメディア設定は、操作パネルのステータス表示画面で確認できます。



印刷データの準備

本ソフトウェアに対応したデータ形式の印刷データを準備します。

対応データ形式は、以下をご覧ください。

☞ 「対応データ形式」143 ページ

一般的には、次の理由から PDF をお勧めします。

- 画像のリンク切れやレイアウト崩れがない。
- 文字のアウトライン化が不要。
- 画像処理ソフトのバージョンが異なっても表示に違いがない。

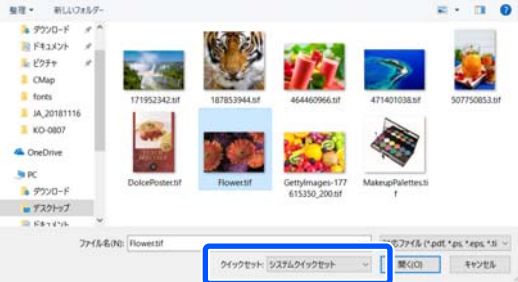
印刷の手順

- 1 ジョブツールバーの  (追加) をクリックして印刷データをジョブリストに追加します。
または、ジョブリスト上に印刷データファイルをドラッグ&ドロップします。

追加した印刷データのサムネイルやデータ名がジョブリストに表示されます。

参考

 (追加) をクリックして印刷データを選択するとき、合わせてクイックセットも選択できます。



クイックセットは、印刷ジョブの設定一式を保存したもので、この設定に従ってジョブが生成されます。
🔗 [「よく使うジョブ設定の作成 \(クイックセット\)」 50 ページ](#)

- 2 ジョブリストで印刷するジョブを選択します。
プレビューエリアに印刷画像が表示されます。

- 3 ジョブ設定メニューの  (基本設定) をクリックします。

設定エリアが基本設定に切り替わりメディアサイズ、メディア名 (プリント情報)、印刷品質 (解像度・パス数) などを設定できます。

基本設定の詳細は以下をご覧ください。

🔗 [「ジョブの基本設定」 16 ページ](#)

参考

PDF など複数ページからなるジョブの印刷時に、印刷対象から除外したいページがあるときは、ジョブリストの該当ページ上で右クリックメニューを表示して [このページを印刷しない] を選択します。選択したページはプレビューエリアに表示されず、印刷対象外になります。
印刷対象に追加したいときは、ジョブリストの該当ページ上で右クリックメニューを表示して [このページを印刷する] を選択します。

- 4 ジョブツールバーの  (印刷) をクリックして印刷を開始します。

印刷中は、ジョブリストの [ステータス] 欄に [印刷中] と表示されます。また、プレビューエリアに印刷の残り時間の目安が表示されます。

印刷が完了したジョブは、自動で印刷済みジョブリストに移行します。

印刷済みジョブリストの使い方は、以下をご覧ください。

🔗 [「一度印刷したジョブを再印刷する」 30 ページ](#)

ジョブリストに複数のジョブがあるときは、印刷する順番を自由に決めて印刷順にジョブリストを並び替えることができます。

🔗 [「印刷/RIP の順番を決めてジョブリストを並び替える」 29 ページ](#)

参考

印刷開始前にプリンター切り替えタブのステータスを確認してください。ステータスアイコンが次のどれになっていると印刷できません。

- ✖ : エラーが発生しています。
- 🔄 : ヘッドクリーニング、パネル操作など印刷以外で動作中です。
- 🔌 : 電源が入っていない、または接続されていません。プリンターを印刷可能な状態にしてください。

ジョブの拡大/縮小印刷、画像の一部分のみ印刷、メディア幅よりも大きな画像の印刷は、ジョブ設定メニューで行います。

各機能の紹介 🔗 [「ジョブ設定メニューの機能紹介」 24 ページ](#)

印刷の中止

印刷途中で印刷をやめるときは、以下の手順で中止します。

- 1 ジョブリストで印刷を中止するジョブを選択してジョブツールバーの  (中止) をクリックします。
または、印刷を中止するジョブ名上で右クリックメニューを表示して [中止] を選択します。

- 2 確認画面が表示されたら [はい] をクリックします。

使用メディアに最適な設定で印刷する (EMX を使った印刷)

お使いのメディアに最適な設定で印刷するためには、使用メディアに適したメディア設定値とプリント情報をプリンターや本ソフトウェアに登録する必要があります。これは、メディアにはそれぞれ独自に特徴があるからです。例えば、多量にインクが必要なもの、乾燥に時間がかかるものなどです。メディアに合った設定で印刷しないと、満足のいく印刷結果になりません。

しかし、複数の設定項目の最適値を探り使用メディアに最適な印刷ができるように設定するのは、煩雑で時間も手間もかかり大変です。

ここでは、エプソンが無償で提供する印刷設定ファイル (EMX ファイル) を使ってエキスパートから設定して実現していた印刷品質で簡単に印刷する方法を説明します。

お使いの機種や国と地域によっては、EMX ファイルが提供されていないことがあります。その場合は、以下をご覧ください。

🔗 [「印刷の手順 \(ファーストステップ\)」 11 ページ](#)

印刷の準備

動作環境の確認

以下の点を確認してください。

- プリンターと RIP サーバー (本ソフトウェアがインストールされているコンピューター) が正しく接続され、電源が入っている。
- RIP サーバーがインターネットに接続している。
- 本ソフトウェアが起動している。
- 使用するプリンターが本ソフトウェアに登録されている。
新たにプリンターを登録するときは、以下をご覧ください。
🔗 [「管理するプリンターの登録・登録解除をしたいとき」 120 ページ](#)
- プリンターにメディアがセットされ印刷可能状態になっている。

印刷データの準備

本ソフトウェアに対応したデータ形式の印刷データを準備します。

対応データ形式は、以下をご覧ください。

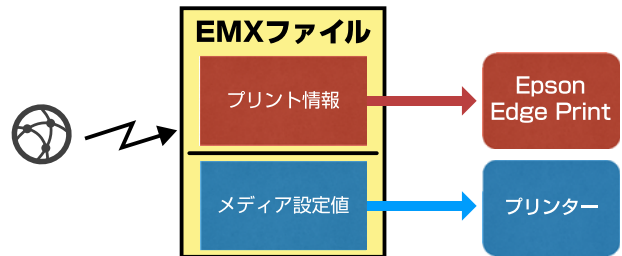
🔗 [「対応データ形式」 143 ページ](#)

一般的には、次の理由から PDF をお勧めします。

- 画像のリンク切れやレイアウト崩れがない。
- 文字のアウトライン化が不要。
- 画像処理ソフトのバージョンが異なっても表示に違いがない。

EMX ファイルの準備

EMX ファイルは、市販メディアに適切に印刷するのに必要な以下の情報を 1 つにまとめたメディア別の印刷設定ファイルです。お使いの機種によっては、EMX ファイルを用紙情報と呼びます。



プリント情報

メディアの ICC プロファイルやパス数、解像度など本ソフトウェアに登録する設定値です。

メディア設定値

お使いのメディアに適したヒーター温度やプラテンギャップ、メディアテンションなどプリンターに登録する設定値です。

ここでは、本ソフトウェアで EMX ファイルを取得して登録する手順を説明します。

EMX ファイルを取得するには、RIP サーバーがインターネットに接続している必要があります。

1 ツールメニュー - [プリセット管理] - 🖨️ (プリント情報の管理) の順にクリックします。

プリント情報の管理画面に切り替わります。

2 + (追加) をクリックします。

プリント情報追加ウィザードが始まります。

3 [EMX ファイルを取得して追加] を選択して [次へ] をクリックします。

エプソンが無償で提供する EMX ファイルの一覧が表示されます。

4 お使いのメディアに対応する EMX ファイルを選択します。

EMX ファイルを 1 つ選択します。EMX ファイルは、一度に複数を選択できません。

すでに取得した EMX ファイルは、グレーアウトして選択できません。

[状況] に [更新あり] と表示されているものは、取得後に EMX ファイルが更新されたことを示しています。

[更新あり] と表示された EMX ファイルを選択して取得すると、取得済のファイルに上書きされます。

5 [次へ] をクリックします。

取得した EMX ファイルのメディア設定値をプリンターにコピーできます。コピーするときは、[プリンターにメディア設定値をコピーする] にチェックを付けて手順 6 に進みます。

コピーしないときは、手順 7 に進みます。

6 EMX ファイル内のメディア設定値のコピー先を選択して [実行] をクリックします。

選択しているプリンターに登録されているメディア設定番号 (1~30) が表示されますので、手順 4 で取得した EMX ファイル内のメディア設定値のコピー先 (メディア設定番号) を指定します。

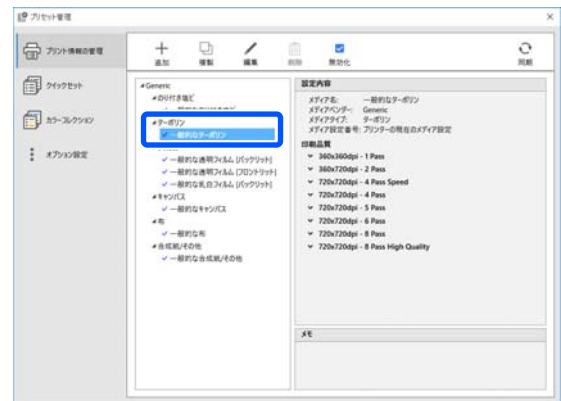
空欄の番号を選択すると追加されます。既に登録済みの番号を選択すると上書きされます。

7 [完了] をクリックします。

取得と登録が行われます。

登録が完了すると、プリント情報リストに登録されたプリント情報が追加されます。

プリント情報は、メディア名称で識別します。



メディア名称の左の ☒ は、有効になっていることを示しています。有効なプリント情報は、ジョブ設定メニューの (基本設定) の [メディア名] で選択できるようになります。[メディア名] に表示される項目が多くなりすぎて選択しにくいときは、この画面で不要なプリント情報を選択して ☒ (無効化) をクリックします。メディア名称の左の ☒ が消えて無効なプリント情報になります。

取得したプリント情報を元に設定をカスタマイズしたり、新たにプリント情報を作成したりできます。プリント情報の編集や追加の詳細は、以下をご覧ください。

[「使用するメディアに応じたプリント情報を作成する」56 ページ](#)

プリンターの準備

EMX ファイル取得後は、プリンターの設定メニューでメディア調整を行います。

メディア調整を行うと、登録したメディア設定値がプリンターの個体差に合わせて最適化されます。

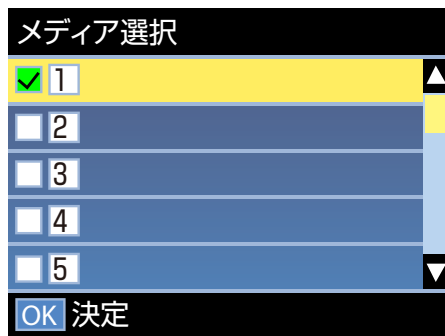
メディア調整をしないと、印刷結果にバンディングや粒状感が生じることがあります。

メディア調整は、プリンターの設定メニューで行います。手順の概要は以下の通りです。

1 実際に使用するメディアをプリンターにセットします。

メディアのセットが終了すると、操作パネルにセットしたメディアの情報を設定する画面が表示されます。

- 2 Epson Edge Dashboard でメディア設定値登録時に選択した番号を、操作パネルの画面に表示された【メディア選択】画面で選択します。



メディア情報の設定が完了するとステータス画面が表示されます。

指定したメディア設定番号が表示されたこと、【印刷可能】と表示されていることを確認します。



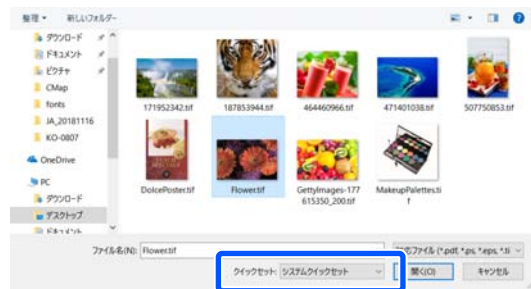
- 3 設定メニューの【メディア調整】を実行します。
詳細な手順は、以下をご覧ください。
🔗『ユーザーズガイド』（オンラインマニュアル）の「メディア調整」

印刷の手順

- 1 ジョブツールバーの （追加）をクリックして印刷データをジョブリストに追加します。
または、ジョブリスト上に印刷データファイルをドラッグ&ドロップします。
追加した印刷データのサムネイルやデータ名がジョブリストに表示されます。

参考

（追加）をクリックして印刷データを選択するとき、合わせてクイックセットも選択できます。



クイックセットは、印刷ジョブの設定一式を保存したもので、この設定に従ってジョブが生成されます。
🔗「よく使うジョブ設定の作成（クイックセット）」
50 ページ

- 2 ジョブリストで印刷するジョブを選択します。
プレビューエリアに印刷画像が表示されます。

- 3 ジョブ設定メニューの （基本設定）をクリックします。

設定エリアが基本設定に切り替わりメディアサイズ、メディア名（プリント情報）、印刷品質（解像度・パス数）などを設定できます。

基本設定の詳細は以下をご覧ください。

🔗「ジョブの基本設定」16 ページ

参考

PDF など複数ページからなるジョブの印刷時に、印刷対象から除外したいページがあるときは、ジョブリストの該当ページ上で右クリックメニューを表示して「このページを印刷しない」を選択します。選択したページはプレビューエリアに表示されず、印刷対象外になります。
印刷対象に追加したいときは、ジョブリストの該当ページ上で右クリックメニューを表示して「このページを印刷する」を選択します。

- 4 ジョブツールバーの （印刷）をクリックして印刷を開始します。

容量が大きなものを印刷するとき

お使いの RIP サーバーの性能にもよりますが、長尺やネストジョブなど容量が大きなものは、印刷の途中でプリントヘッドが止まったり動いたりすることがあります。このようなときは、以下をご覧ください。

🔗「印刷の途中でプリントヘッドが止まったり動いたりするとき」117 ページ

順番を決めてまとめて印刷したいとき

ジョブリストに複数のジョブがあるときは、印刷する順番を決めてまとめて印刷を指定できます。

まとめて印刷を指定したときは、印刷順にジョブリストを並び替えることができます。

🔗「印刷/RIPの順番を決めてジョブリストを並び替える」29 ページ

印刷中は、ジョブリストの[ステータス]欄に[印刷中]と表示されます。また、プレビューエリアに印刷の残り時間の目安が表示されます。

参考

印刷開始前にプリンター切り替えタブのステータスを確認してください。ステータスアイコンが次のどれかになっていると印刷できません。

❌ : エラーが発生しています。

🔄 : ヘッドクリーニング、パネル操作など印刷以外で動作中です。

🔌 : 電源が入っていない、または接続されていません。プリンターを印刷可能な状態にしてください。

印刷が完了したジョブは、自動で印刷済みジョブリストに移行します。

印刷済みジョブリストの使い方は、以下をご覧ください。

🔗「一度印刷したジョブを再印刷する」30 ページ

ジョブの拡大/縮小印刷、画像の一部分のみ印刷、メディア幅よりも大きな画像を印刷するには、ジョブ設定メニューで行います。

各機能の紹介 🔗「ジョブ設定メニューの機能紹介」24 ページ

印刷の中止

印刷途中で印刷をやめたいときは、以下の手順で中止します。

1 ジョブリストで印刷を中止するジョブを選択してジョブツールバーの **×** (中止) をクリックします。
または、印刷を中止するジョブ名上で右クリックメニューを表示して **[中止]** を選択します。

2 確認画面が表示されたら **[はい]** をクリックします。

ジョブの基本設定

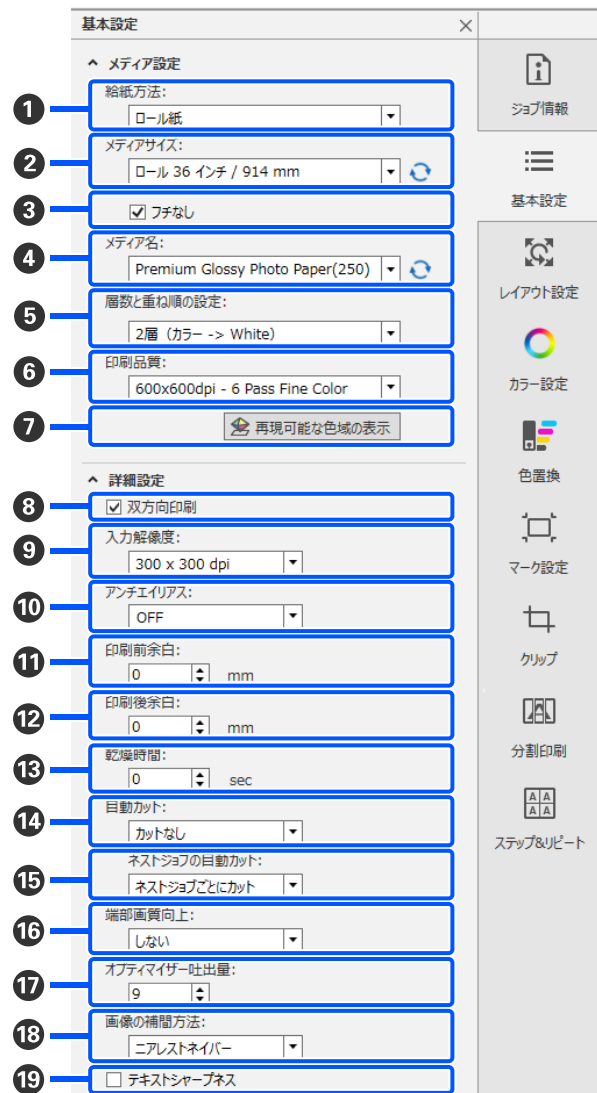
ジョブの基本設定を説明します。

1 ジョブリストで基本設定するジョブを選択します。

2 ジョブ設定メニューで **≡** (基本設定) をクリックします。

設定エリアが基本設定に変わります。

操作対象のプリンターの機種に応じて、表示される項目が異なります。



① 給紙方法

セットしているメディアの給紙方法に合わせて **[ロール紙]**、**[オートシートフィーダー]**、**[単票紙]**、**[ボード紙]** のいずれかを選択します。

ダブルロール搭載機種では、[ロール紙] に替わって [ロール 1]、[ロール 2]、[ロール自動] のいずれかを選択します。[ロール自動] を選択すると、メディアサイズ、メディア名、ジョブサイズに応じてプリンターで適切な給紙方法が選択されます。

② メディアサイズ

印刷データをジョブリストに追加すると、自動でプリンターにセットしているメディア幅が取得され、取得したメディア幅に最も近い規定のサイズがリストボックスに表示されます。

ジョブ追加後にプリンターのメディアを交換したときは、リストボックス右の  をクリックすると、現在プリンターにセットされているメディア幅を取得できます。

参考

規定のサイズではなく、プリンターにセットされているメディア幅の実測値で印刷したいときは、メディアサイズ取得の設定を変更します。
設定変更方法の詳細は、以下をご覧ください。
[「プリンターにセットされたメディアの実際のサイズを取得したいとき」111 ページ](#)

プリンターにセットしているメディアサイズによらず、いつも決まったメディアサイズに設定したいときは、メディアサイズの初期設定を変更します。

初期設定の変更方法 [「メディアサイズの初期設定を変更したいとき」111 ページ](#)

リストボックス右の  をクリックしても、現在プリンターにセットされているメディア幅がリストボックスに表示されないときは、お使いの機種がメディア幅の取得に対応していません。プリンターにセットされているメディアサイズと同じサイズを選択してください。

参考

以下の場合には、カスタムメディアサイズを作成するとリストボックスから選択できるようになります。

- リストボックスに使いたいサイズがないとき。
- シートのメディアをセットして印刷したいとき。

カスタムメディアサイズの作成方法 [「例外的なメディアサイズを作成したいとき（カスタムメディアサイズ）」111 ページ](#)

③ フチなし

[メディアサイズ] にロールメディアを選択しているときに限り表示されます。

チェックを付けるとフチ（余白）のない印刷ができます。フチなし印刷の詳細は、以下をご覧ください。

[「フチなしで印刷する」49 ページ](#)

④ メディア名

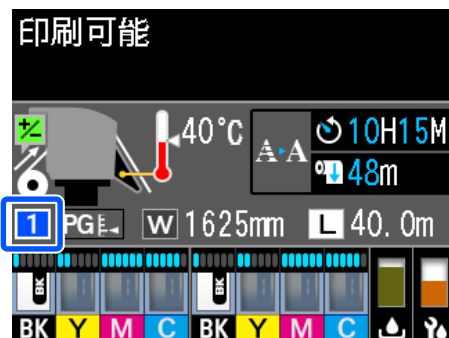
プリント情報とメディア設定値を適用させるための設定です。

EMX ファイルを使って印刷するときと使わずに印刷するときで以下の通り、設定が異なります。

- EMX ファイルを使って印刷するとき

EMX ファイル取得後に Epson Edge Dashboard でメディア設定値の登録をしたメディア設定番号を、事前に、プリンターで選択しておきます。

プリンターの操作パネルのステータス画面やプリンターステータス画面に、現在設定されているメディア設定番号が表示されています。



[メディア名] のリストボックス右の  をクリックすると、プリンターで現在設定されているメディア設定番号の名称が表示され、そのメディア名に対応するプリント情報を使ってジョブ処理されます。

対応するプリント情報が本ソフトウェアに登録されていないときは、リストボックス右に  が表示されます。 が表示されたら、[プリント情報の管理] で [同期] を行います。

同期の詳細 [「メディア設定とプリント情報を同期させるとき」112 ページ](#)

- EMX ファイルを使わずに印刷するとき

プリンターの現在のメディア設定を、[簡単メディア設定] で登録した、あるいは任意に [メディア設定変更] で設定を保存したメディア設定番号にします。なお、メ

ディア設定 [00 RIP 設定] は本ソフトウェアでは使えませんので選択しないでください。

[メディア名] のリストボックスで、[簡単メディア設定] で選択したメディアタイプと合致する、あるいはセットしているメディアに該当するメディアタイプを選択します。

⑤ 層数と重ね順の設定

ジョブに White/Silver/Varnish 設定された画像が含まれているときにカラー画像と White/Silver/Varnish 設定された画像の印刷順をリストボックスから設定します。

ジョブに White/Silver/Varnish 設定された画像が含まれていないときは、[単層 (カラーのみ)] に設定します。UV インク搭載機種を操作対象のプリンターとして選択しているときに限り、[単層 (UV ランプ追加照射のみ)] に設定すると、印刷せずに UV ランプの照射だけを実行できます。ただし、コントローラーソフトを経由して印刷する機種をお使いのときは表示されません。

UV インク搭載機種を操作対象のプリンターとして選択しているときに限り、リストボックス右に  が表示されます。クリックするとカスタム設定ダイアログボックスが表示され、[メディア名] で選択したプリント情報に層数や重ね順をカスタマイズして作成できます。

 [「多層印刷の層数や重ね順をカスタマイズしたいとき」 99 ページ](#)

⑥ 印刷品質

画質と印刷速度の兼ね合いでモードを選択します。

リストボックス上にマウスポインターを合わせると、現在選択している印刷品質の出力解像度とパス数を確認できます。

参考

[メディア名] で [電飾フィルム] を選択していると [印刷品質] でパス数の後ろに「High Quality」と付いているモードが選ばれます。「High Quality」と付いたモードを選択すると粒状性の良い印刷結果が得られます。ただし、お使いになるメディアや画像、環境によってはバンディングが生じることがあります。バンディングが気になるときは「High Quality」が付かないモードに変更してください。

印刷品質は、モードを追加したり、出力解像度やパス数、印刷濃度を変更したりできます。

印刷品質のモード編集の詳細は、以下をご覧ください。

 [「使用するメディアに応じたプリント情報を作成する」 56 ページ](#)

蛍光色インク搭載機種を操作対象のプリンターとして選択しているときに限り、[印刷品質 (全てのインクで印刷 (蛍光インク手動調整))] のように項目名の後ろにインクの設定が表示されます。カッコ内には、現在使用しているクイックセットの [蛍光色の設定] の設定内容が表示されます。[蛍光色の設定] では、ジョブの CMYK の Y と M の部分をプリンターの FY と FP のインクで印刷したり、FY、FP のインクを使わずに CMYK インクのみで印刷したりと印刷時に使用するインクの設定が行えます。

ここに表示されているインク設定とジョブのカラーの設定が合っていないと正しく印刷されません。ここでは表示のみとなります。設定を変更するときは、クイックセットで行います。

 [「よく使うジョブ設定の作成 \(クイックセット\)」 50 ページ](#)

⑦ 再現可能な色域の表示

クリックすると Gamut Viewer 画面が別画面で起動します。選択したジョブで使用しているメディアプロファイルの色域や、特色や色置換情報の座標を画像で確認できます。

 [「再現可能な色域を確認する \(ガマットビューアー\)」 80 ページ](#)

⑧ 双方向印刷

チェックを外すと片方向印刷になり、プリントヘッドが一定の方向に移動するときだけ印刷されます。印刷品質は向上しますが、通常よりも印刷速度が遅くなります。罫線ズレやムラなどが生じるときは、片方向印刷にする と改善されることがあります。

⑨ 入力解像度

選択した [印刷品質] に応じて選択できる入力解像度が異なります。

リストボックスに複数の入力解像度が表示される場合は、高い解像度を選択すると細かい文字などを高精細に印刷できます。

UV インク搭載機種を操作対象のプリンターとして選択していて、カスタマイズして作成した層数や重ね順を [層数と重ね順の設定] で選択したときは、層ごとに入力解像度を設定できます。

層数や重ね順のカスタマイズの詳細は、以下をご覧ください。

 [「多層印刷の層数や重ね順をカスタマイズしたいとき」 99 ページ](#)

⑩ アンチエイリアス

Epson Edge Print PRO のライセンスをお使いで、印刷データのデータ形式が PDF、または線画を含む EPS/PS のときに設定します。

〔ON〕に設定すると、印刷データにアンチエイリアス処理が行われて文字や線などの境界部分が滑らかになります。

参考

以下の場合も本項目は設定できますが、印刷データにアンチエイリアス処理は行われません。

- PDF の RIP に PostScript を使用する設定のとき。
[「印刷結果の色合いが以前と異なるとき」113 ページ](#)
- 印刷データのデータ形式が、PDF または線画を含む EPS/PS 以外の場合。

⑪ 印刷前余白

ジョブの印刷を開始する前に余白を設けるときの余白の長さを入力します。

印刷物をパネルなどに巻き込んで取り付けるときに印刷前余白を付けます。

⑫ 印刷後余白

ジョブの印刷後に余白を設けるときの余白の長さを入力します。

市販の転写機やカット機に印刷物をセットするときには印刷後余白を付けます。

⑬ 乾燥時間

連続して印刷するとき、ここで設定した時間を空けて次のジョブの印刷を開始します。続けて印刷することで巻き取り時にインクが裏写りして汚れるのを回避できます。A2 以上のサイズの印刷をするときは、プリンターの設定メニューで〔パスごとの乾燥時間〕で乾燥時間を設定することをお勧めします。

設定メニューの詳細 [「ユーザーズガイド」](#)（オンラインマニュアル）

⑭ 自動カット

オートシートフィーダー搭載機種では、〔給紙方法〕に〔ロール紙〕を設定したときに限り有効になります。

〔ジョブごとにカット〕に設定すると、1 つのジョブを印刷するごとにプリンター既定のカット位置で自動的にカットされます。

〔ページごとにカット〕に設定すると、部数の設定をしたジョブは 1 部ごとにカットされます。部数はレイアウト設定で設定します。

ネストジョブのときは、〔ページごとにカット〕に設定してもジョブごとにカットされます。

部数の設定の詳細は、以下をご覧ください。

[「レイアウトの設定」20 ページ](#)

〔ジョブごとにカット(上下フチなし 2 カット)〕や〔ページごとにカット(上下フチなし 2 カット)〕に設定すると、1 つのジョブやページの上下端で自動的にカットされます。〔フチなし〕にチェックを付けずに上下フチなし印刷ができます。

〔フチなし〕にチェックを付けたときは、〔四辺フチなし 1 カット〕と〔四辺フチなし 2 カット〕が表示され、フチなし印刷時のカット動作を設定できます。フチなし印刷時のカット動作の詳細は、以下をご覧ください。

[「フチなしで印刷する」49 ページ](#)

プリンター本体でのカットの設定よりも本ソフトウェアでの設定が優先されます。

⑮ ネストジョブの自動カット

ネストジョブのルート（ジョブ名の左に  が表示されている行）を選択して、〔自動カット〕で〔ジョブごとにカット〕または〔ジョブごとにカット(上下フチなし 2 カット)〕を設定したときに限り有効になります。

〔ネストジョブごとにカット〕に設定すると、ネストジョブの下端で自動的にカットされます。

〔下余白ごとにカット〕に設定すると、画像の下側の余白が水平方向に揃う位置で自動的にカットされます。プレビューエリアにカット位置の目安を示す青色の線が表示されます。

⑯ 端部画質向上

用紙先端の印刷品質が気になるときに、〔先端画質向上〕または〔四辺画質向上〕のどちらかを選択します。

〔先端画質向上〕に設定すると、通常の印刷速度と変わらず印刷しますが、先端の余白が通常よりも多くなります。

〔四辺画質向上〕に設定すると、印刷速度が通常よりも遅くなります。

ただし、お使いになるメディアや選択した印刷品質、フチなしの設定によっては、印刷結果に反映されないことがあります。

⑰ オプティマイザー吐出量

ジョブごとにオプティマイザーの吐出量を調整したいときに設定します。

オプティマイザーの吐出量は、印刷品質の印刷モードごとに設定することもできます。

印刷品質のモード編集の詳細は、以下をご覧ください。

[「使用するメディアに応じたプリント情報を作成する」56 ページ](#)

⑱ 画像の補間方法

印刷データのデータ形式が TIFF のときに限り有効になります。

細い線を含む幾何学模様のような画像の印刷結果で線が印刷されないときに、[バイキュービック] に設定します。

お使いの機種によっては、全ての印刷データで有効になります。[バイキュービック] に設定しても画像に含まれる細い線が印刷されないときは、[バイリニア（スーパーサンプリング）] に設定します。

⑨ テキストシャープネス

文字を含む画像で、黒色の文字や黒色の背景に印刷した白抜き文字の印刷結果が鮮明ではないときにチェックを付けます。

ただし、文字以外の画像の黒色部分の端部にも適用されるため、グラデーション部分に白スジが発生したり、印刷結果が印刷データと異なったりすることがあります。

レイアウトの設定

メディア上にどのように印刷するかの設定を説明します。

1 ジョブリストでレイアウト設定するジョブを選択します。

2 ジョブ設定メニューで （レイアウト設定）をクリックします。

設定エリアがレイアウト設定に変わります。

複数部数印刷したいとき

[部数] に印刷する部数を入力します。

ネストジョブと複数ページジョブは、ルート（ジョブ名の左に  や  が表示されている行）を選択して部数を入力すると、選択したジョブ全体に入力した部数が反映されます。ルートの下の部数設定したいジョブを選択して部数を入力すると、選択したジョブだけに入力した部数が反映されます。

複数部数の設定は、以下の2通りの方法があります。

- ジョブ全体に複数部数を設定
[ジョブ全体] を選択して部数を入力します。ジョブ設定メニューの （基本設定）で設定したメディア幅に画像が入るように配置されます。
- 水平方向/垂直方向に配置する個数を設定
[水平] を選択して水平方向/垂直方向に配置する画像の個数を入力します。ジョブ設定メニューの （基本設定）で設定したメディア幅や長さからはみ出す画像は印刷されません。



ネストジョブと複数ページジョブで複数部数の設定をしたときの画像やページの整列方法を変更できます。

[🔗 「ネストジョブの部数設定時の整列方法を変更したいとき」 115 ページ](#)

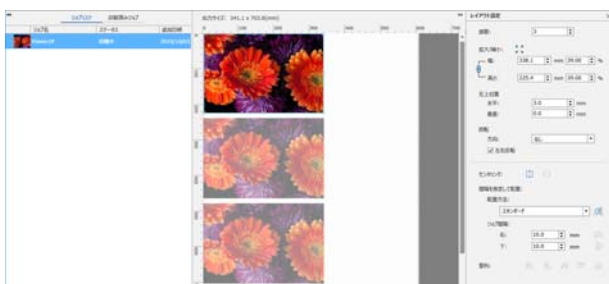
複数部数の設定をしたジョブは、ネストジョブとして扱われます。

[🔗 「メディアを無駄なく効率的に使う（ネスト印刷）」 34 ページ](#)

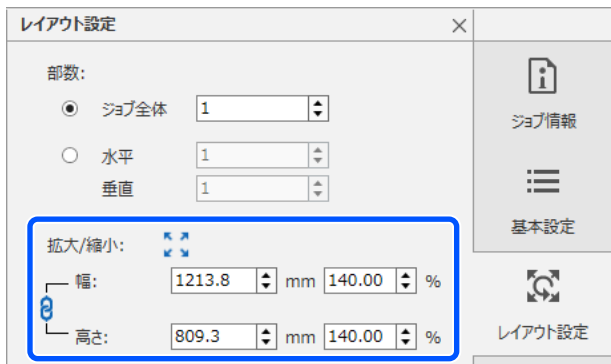
ただし、単一ジョブで以下のいずれかの場合は、複数部数の設定をしたジョブでも 1 ページに 1 ジョブごと印刷されます。

1 ページ目で設定したレイアウトが全てのページに適用され、ページごとのレイアウト設定はできません。

- ≡ (基本設定) の [自動カット] で [ページごとにカット] に設定したとき
- ≡ (基本設定) の [給紙方法] で [オートシートフィーダー] / [単票紙] に設定したとき
- ≡ (基本設定) の [メディアサイズ] でシートに設定したとき



拡大/縮小したいとき

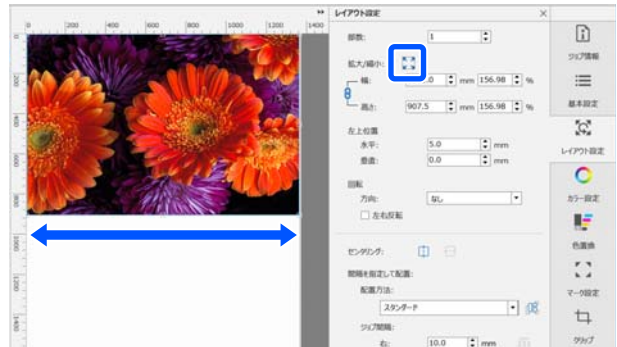


以下の 3 通りの拡大/縮小方法があります。

- サイズを指定して拡大/縮小
[拡大/縮小] の [mm] または [inch] の [幅] と [高さ] に拡大/縮小時のサイズを入力します。
🔍 をクリックするたびに と が切り替わります。
 は、拡大/縮小時に縦横比が固定されます。
 は、縦横比は固定されません。
- 倍率を指定して拡大/縮小
[拡大/縮小] の [%] の [幅] と [高さ] に拡大/縮小時の倍率を入力します。
🔍 をクリックするたびに と が切り替わります。
 は、拡大/縮小時に縦横比が固定されます。
 は、縦横比は固定されません。

- メディア幅いっぱいになるように拡大/縮小
 をクリックすると、現在設定されているメディア幅いっぱいになるように自動で拡大/縮小されます。
元のサイズに戻すときは、[幅] ・ [高さ] 共に 100% に設定します。

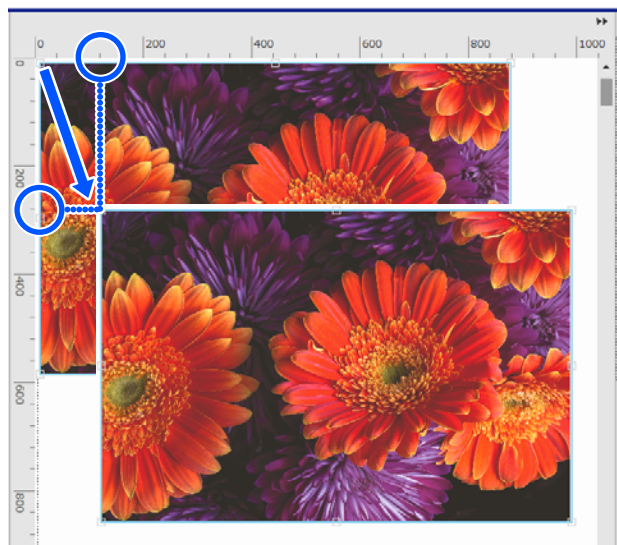
メディア幅いっぱいに拡大の例



プレビューエリアで画像の外周枠線をドラッグして拡大/縮小することもできます。

位置を変更したいとき

画像の左上角の座標で指定します。[左上位置] で [水平] と [垂直] に下図のスケールの値を入力して指定します。



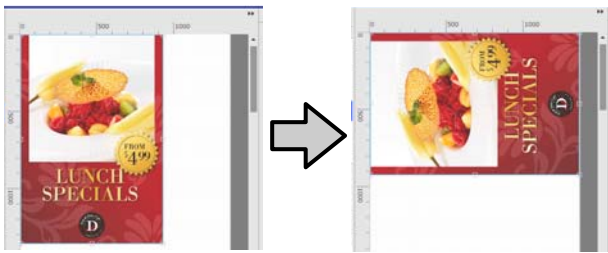
プレビューエリアで画像をドラッグして位置を指定することもできます。

配置時に画像が別の画像と重なると、画像の外周が赤線に変わり、重なっていることを警告します。

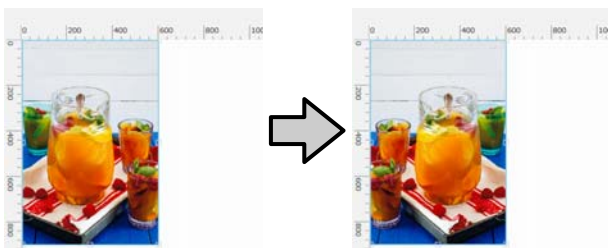
回転・反転したいとき

縦長の画像を回転してメディア幅いっぱいになるように印刷するとメディアの無駄を省くことができます。

「左 90 度回転」を行った例



また、ウィンドウ用ディスプレイなどで画像を鏡像印刷したいときは、「左右反転」にチェックを付けます。昇華転写機を選択しているときは、あらかじめ「左右反転」にチェックが付いています。

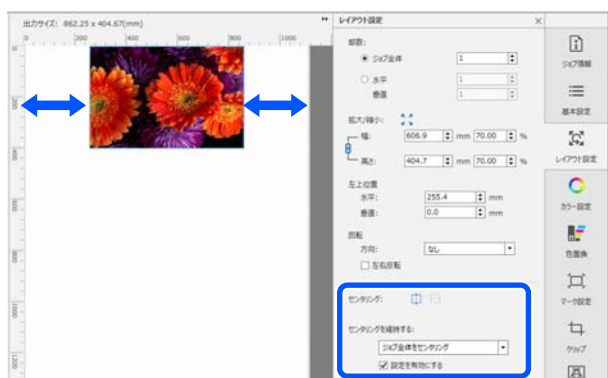


画像を中央に配置したいとき

（水平方向にセンタリング）または （垂直方向にセンタリング）をクリックすると、自動的にメディア幅や長さに対してセンタリングします。

 は、ジョブ設定メニューの （基本設定）の「給紙方法」で「ロール紙」以外を選択しているときに限り有効です。

水平方向にセンタリングの例



「センタリングを維持する」のリストボックスからセンタリング方法を選択して「設定を有効にする」にチェックを付けると、選択したセンタリング方法で常に水平方向にセンタリングされます。

センタリング方法の種類は以下の通りです。

ジョブ全体をセンタリング
選択したジョブ全体をセンタリングします。ネストジョブや複数ページジョブのように 1 つのジョブに複数の画像が存在するときは、全ての画像を含む領域全体をセンタリングします。
ジョブごとにセンタリング
ネストジョブのルート（ジョブ名の左に  が表示されている行）を選択しているときに、ジョブごとにセンタリングします。 複数ページジョブのルートや単一ジョブを選択したときは、「ジョブ全体をセンタリング」と同じ結果になります。
画像ごとにセンタリング
選択したジョブの画像ごとにセンタリングします。単一ジョブで複数部数を設定したときも画像ごとにセンタリングします。

部数変更や拡大/縮小、回転などのレイアウトを設定したときも、水平方向のセンタリングを維持します。ただし、拡大/縮小や位置変更はプレビューエリアでは設定できないため、設定エリアで設定してください。

また、ジョブ設定メニューの （基本設定）の「フチなし」にチェックを付けたときは、「センタリングを維持する」は設定できません。

効率的に画像を配置したいとき

ネストジョブをメディア上に効率的に配置するときは、以下の 3 通りの方法があります。

- 自動で効率的に画像を配置する

「配置方法」を選択して  をクリックすると、画像が自動でメディア上に効率的に配置されます。配置するときのジョブの間隔は、「ジョブ間隔」で変更できます。

「配置方法」の種類は以下の通りです。

スタンダード
ジョブリストのジョブの並び順に従ってジョブが効率的に配置されます。複数部数を設定したジョブが存在するときは、ジョブごとにカットしやすいように同じジョブがまとまって配置されます。 ジョブのまとめ方を変更することもできます。詳細は、以下をご覧ください。 「ネストジョブの部数設定時の整列方法を変更したいとき」115 ページ
スタンダード（グルーピングなし）
ジョブリストのジョブの並び順に従ってジョブが効率的に配置されます。複数部数を設定したジョブが存在するときでも、ジョブごとのグルーピングより効率的な配置を優先するため、「スタンダード」より効率的に配置されます。

基本的な印刷方法

タイト

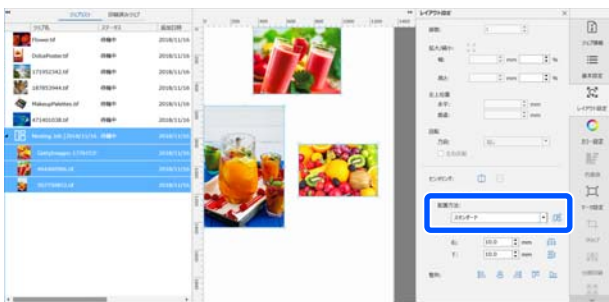
ジョブリストのジョブの並び順は関係なく、画像の長辺が水平方向になるように画像を回転してからジョブが効率的に配置されます。〔タイト（密度優先）〕より画像がカットしやすく配置されます。

タイト（回転なし）

ジョブリストのジョブの並び順は関係なく、ジョブが効率的に配置されますが、画像は回転しません。

タイト（密度優先）

ジョブリストのジョブの並び順は関係なく、メディア幅とジョブの画像サイズに応じて画像を回転してからメディア上の余白が少なくなるようにジョブが配置されます。



• 基準の画像に合わせて整列

整列する画像を複数選択して以下のアイコンをクリックして任意に配列します。

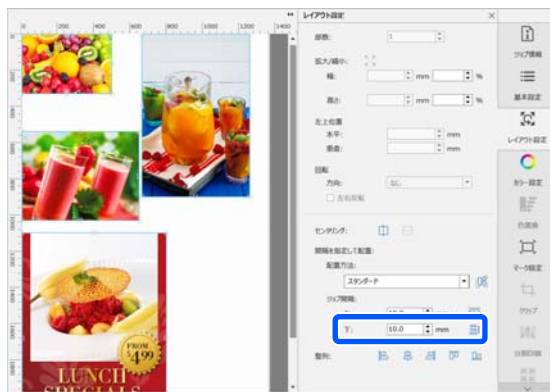
	左上角に位置する画像の左辺位置に合わせて整列
	複数選択した画像の水平方向中央位置に合わせて整列
	右上角に位置する画像の右辺位置に合わせて整列
	一番上に位置する画像の上辺位置に合わせて整列
	一番下に位置する画像の下辺位置に合わせて整列

ネストジョブを選択してをクリックした例



• 画像の間隔を指定して配置

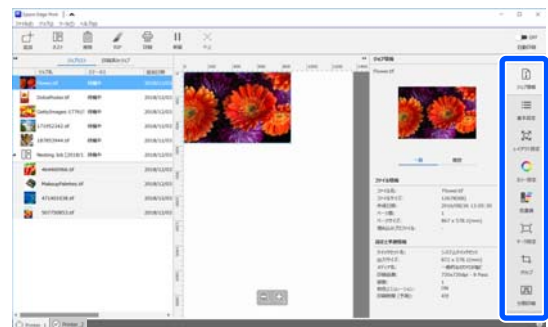
「右」と「下」を組み合わせて使うと素早く効率的に画像を配置できます。



ジョブ設定メニューの機能紹介

ジョブ設定メニューの起動

- 1 ジョブリストでジョブを選択して目的に応じてジョブ設定メニューのアイコンをクリックします。



	(ジョブ情報) : 選択したジョブの設定内容や印刷状態などの詳細情報を確認できます。
	(基本設定) : 基本的な印刷設定が行えます。 「ジョブの基本設定」 16 ページ
	(レイアウト設定) : メディアにどのように画像を配置するかを設定します。
	(カラー設定) : 入力プロファイルや出力プロファイル、インク打ち込み量を設定します。
	(色置換) : ジョブに特色設定された画像が含まれているときに、その特色の出力色を設定します。
	(マーク設定) : 画像の周囲にカット用の枠線やトリムマークを設定します。また、印刷情報やコメントをジョブラベルとして印刷できます。
	(クリップ) : 画像の必要な部分だけを印刷するときの印刷範囲を設定します。
	(分割印刷) : 大きな画像を分割して印刷するときの分割方法を設定します。
	(ステップ&リピート) : 1つの画像を並べて繰り返し模様を印刷するときの画像の並べ方を設定します。

	(多層印刷設定) : 操作対象のプリンターが以下の場合に限り表示されます。 • ホワイト/メタリックシルバーインク搭載機種 • 蛍光色インク搭載機種 • UV インク搭載機種 合成した特色版ジョブで特色に置換する元の色を選択したり、多層印刷時の層の位置ズレや画像のはみ出し量を調整したりします。
	(分版カラー設定) : 画像を構成する色ごとに版を分けたジョブのときに、版ごとに出力色を設定します。ジョブリストの下側に表示される各色の版のリストを選択したときに限り、アイコンが表示されます。

2 選択したアイコンに応じて設定エリアが切り替わります。

レイアウト設定の紹介

レイアウト設定の詳細な操作方法は、以下をご覧ください。

[🔗 「レイアウトの設定」 20 ページ](#)

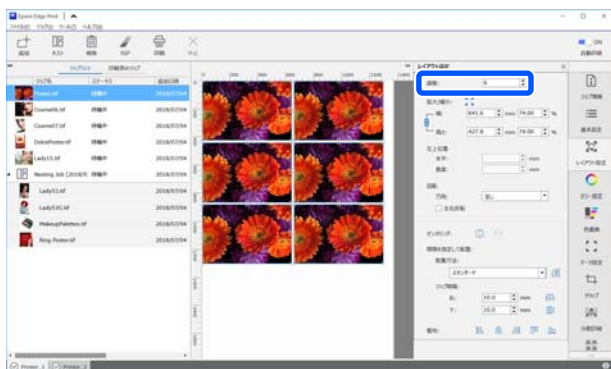
部数設定

部数を設定して同じジョブを複数印刷できます。部数設定をしたジョブは、ネストジョブとして扱われます。

ただし、設定によってはネストジョブとして扱われないこともあります。

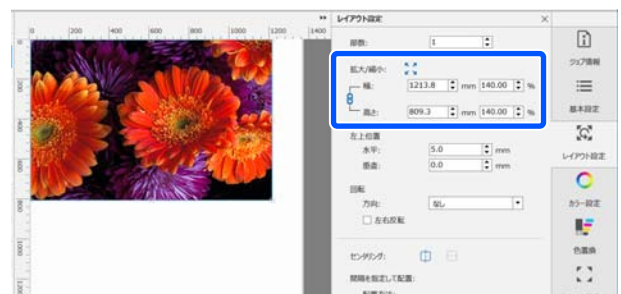
ネストジョブの詳細は、以下をご覧ください。

[🔗 「メディアを無駄なく効率的に使う（ネスト印刷）」 34 ページ](#)

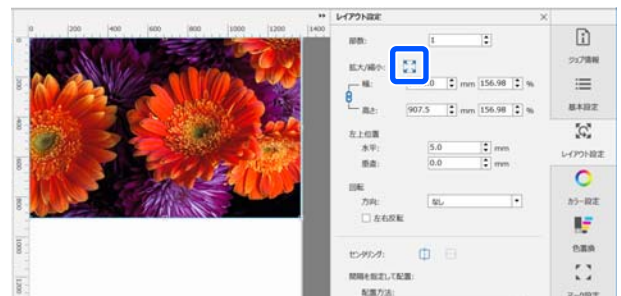


拡大/縮小設定

サイズまたは倍率を指定して画像サイズを拡大/縮小できます。



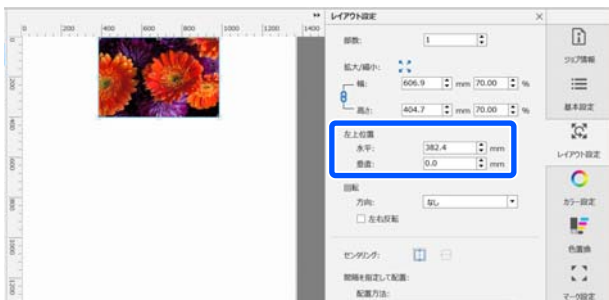
をクリックすると、メディア幅いっぱいになるように拡大/縮小できます。



位置設定

メディアのどこに印刷するかを画像の左上角の座標値（水平・垂直の位置）で指定できます。

プレビューエリアで画像をドラッグしておおよその位置を決めてから座標値で詳細に位置を指定することもできます。



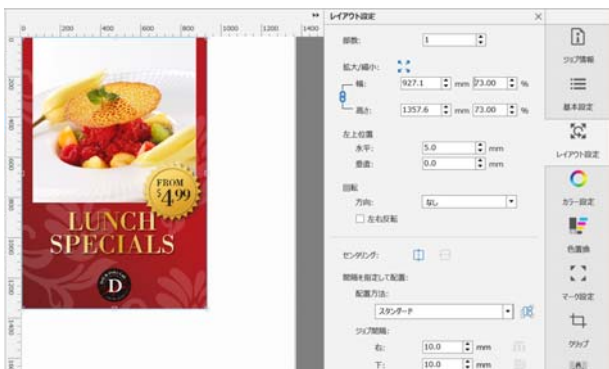
回転設定

回転方向を指定して画像を回転できます。

縦長の画像を回転してメディア幅が長辺になるようにすることでメディアの無駄なく印刷できます。

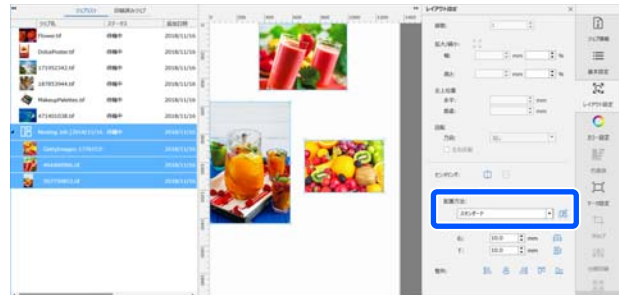
「左右反転」にチェックを付けると鏡像印刷ができます。

昇華転写機を選択しているときは、あらかじめ「左右反転」にチェックが付いています。



配置設定

複数のジョブをネストしたときや、1つのジョブを複数部数設定したときに無駄なく、カットしやすく印刷できるようにメディア上に効率的に配置できます。



カラー設定の紹介

必要に応じて入力プロファイルや出力プロファイル、インク打ち込み量を設定できます。

印刷データに入力プロファイルが埋め込まれているときは、「埋め込みプロファイルを優先する」にチェックを付けると埋め込まれたプロファイルが適用されます。プロファイルが設定されていないときは、ここで設定した入力プロファイルが適用されます。

また、インクの打ち込み量を調整したり、出力色の濃度や色合いをトーンカーブで微調整したりできます。

カラー設定の詳細は、以下をご覧ください。

[📄 「カラー設定」 61 ページ](#)

色置換の紹介

印刷データファイル制作時に、アプリケーションソフトで同じ特色名やプロセスカラーの色値を設定していても、印刷された色（出力色）は使用するメディアタイプや環境等によって違って見えることがあります。こんなときは、出力色を置換して色味が合うように調整できます。

色置換での設定は、現在ジョブリストで選択しているジョブに対してのみ有効です。

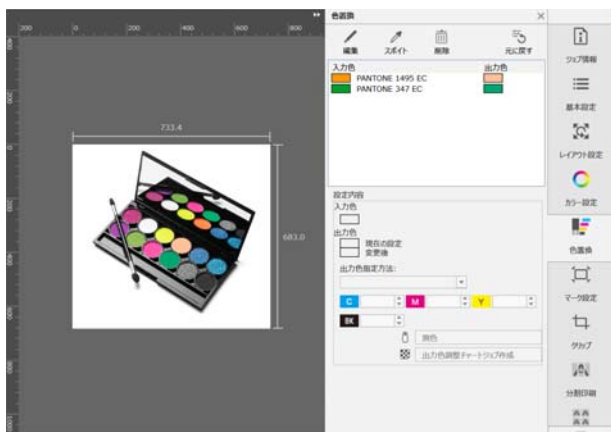
蛍光色インク搭載機種を操作対象のプリンターとして選択しているときは、ジョブ内の特定の色を選択して蛍光色に置換したり、FY あるいは FP の濃度を調整したりできます。

ホワイト/メタリックシルバーインク搭載機種を操作対象のプリンターとして選択しているときは、WH あるいは MS の濃度を調整できます。

UV インク搭載機種を操作対象のプリンターとして選択しているときは、WH と Vr の濃度を調整できます。

色置換の詳細は、以下をご覧ください。

🔗「ジョブの出力色を置換する」64 ページ

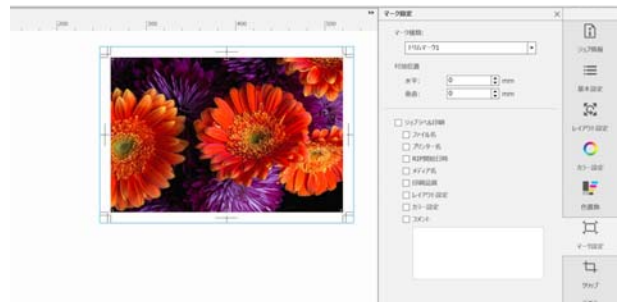


マーク設定の紹介

画像の周囲にカット用の枠線やトリムマーク、市販のカッターマシンやカッティングプロッタなどに対応するカットマークを設定します。以下の市販のカッターマシンやカッティングプロッタに対応しています。

- FOTOBIA 社の高速フィニッシングカッターマシン
 - グラフテック社のカッティングプロッタ(カッティングマシン)
 - Summa 社のロールカッター
 - Zünd 社のデジタルカッティングシステム
- また、ジョブの情報を印刷物に残すこともできます。マーク設定の詳細は、以下をご覧ください。

🔗「枠線やトリムマークを付けて印刷する」36 ページ



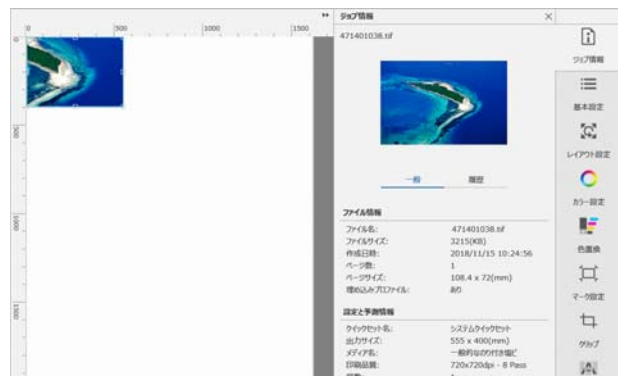
クリップの紹介

クリップするサイズと位置を指定して、その部分だけを印刷できます。

プレビューエリアで画像のクリップする部分を範囲設定してからサイズや座標値で詳細に指定することもできます。

クリップの詳細は、以下をご覧ください。

🔗「画像の必要な部分だけを印刷する（クリップ）」42 ページ



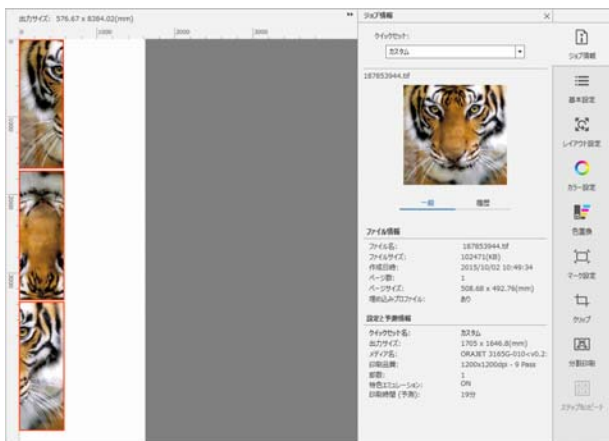
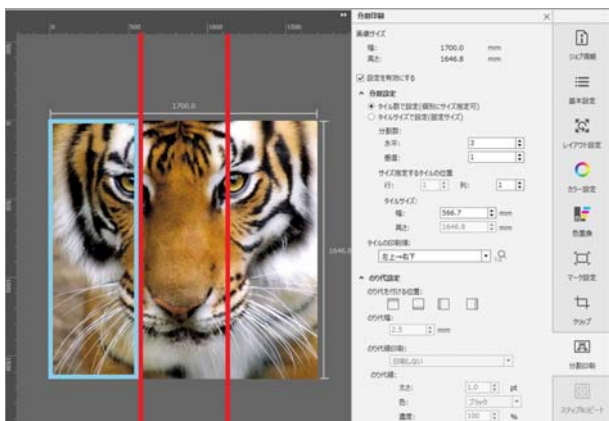
分割印刷の紹介

メディア幅よりも大きな画像を分割して（タイリング）印刷できます。分割数や分割サイズを指定して画像を分割して印刷できます。

印刷する画像サイズを拡大/縮小するには、ジョブ設定メニューの （レイアウト設定）で行います。

分割印刷の詳細は、以下をご覧ください。

 「大きな画像を分割して印刷する（タイリング）」43ページ



ステップ&リピートの紹介

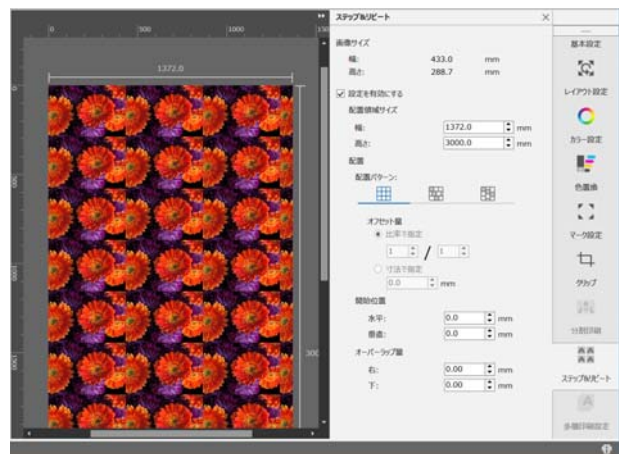
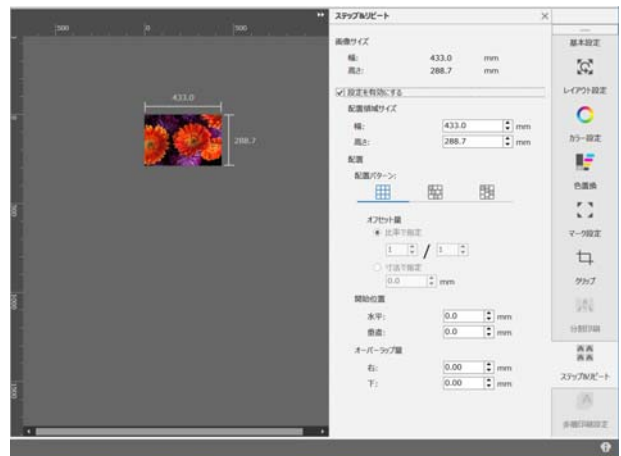
1つの画像を並べて繰り返し模様を印刷できます。

画像の並べ方を指定してメディア全体にパターンを印刷できます。

パターンの元となる画像のサイズを拡大/縮小するには、ジョブ設定メニューの （レイアウト設定）で行います。

ステップ&リピートの詳細は、以下をご覧ください。

 「繰り返し模様の印刷をする（ステップ&リピート）」47ページ



多層印刷設定の紹介

操作対象のプリンターが以下の場合に限り表示されます。

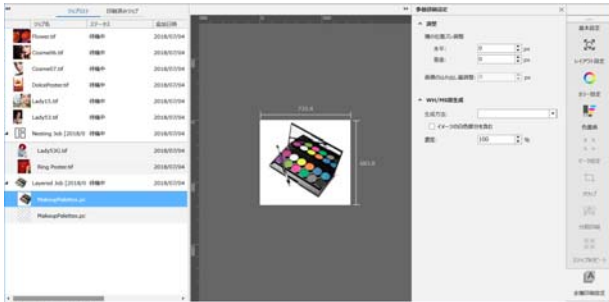
- ホワイト/メタリックシルバーインク搭載機種
- 蛍光色インク搭載機種
- UVインク搭載機種

ジョブリストで合成した特色版ジョブで特色に置換する元の色を選択します。

また、多層印刷した結果、カラー画像と特色設定された画像が位置ズレする、または下地の白い画像がカラー画像よりはみ出すときに調整をします。

多層印刷設定の詳細は、以下をご覧ください。

🔗「多層印刷（ホワイト/メタリックシルバー/バーニッシュの印刷）」89 ページ



分版カラー設定の紹介

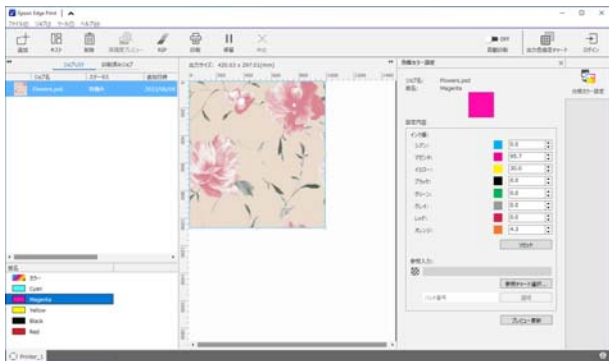
画像を構成する色ごとに版を分けた印刷データで、版ごとに出力色を調整できます。

出力色の調整は、出力色指定チャートを印刷してその中から目的の出力色を選ぶ方法と、各色のインク打ち込み量を指定する方法があります。

色ごとに版を分けた印刷データは、事前に画像処理ソフトで作成する必要があります。

分版カラー設定の詳細は、以下をご覧ください。

🔗「版ごとに出力色を設定する（分版カラー設定）」76 ページ



印刷/RIP の順番を決めてジョブリストを並び替える

ジョブリストに複数のジョブがあるときは、一括して印刷を指示したり、順番を決めて印刷を指示したりできます。RIP 処理だけ行うときも同様に一括または順番を決めて行えます。

順番を決めて印刷、または RIP 処理を指示したときは、指定した順番通りにジョブリストのジョブを並び替えることができます。

一括して印刷/RIP 処理を指示する

1 ジョブリストで印刷、または **RIP** 処理するジョブを選択します。

【Shift】キーを押したまま先頭のジョブと最後のジョブをクリックします。

2 ジョブツールバーの （印刷）、または （RIP）をクリックします。

順番を決めて印刷/RIP 処理を行う

順番を決めて印刷/RIP 処理するには、ジョブリストのジョブを順番通りに並び替えてから印刷/RIP 処理をします。

1 ジョブリストの順番を移動したいジョブ名上で右クリックメニューを表示して【リストの上へ移動】など順番移動の項目を選択します。

順番を変更するジョブを全て並び替えます。

2 ジョブツールバーの （印刷）、または （RIP）をクリックします。

参考

ジョブリストのタイトル行の項目名上をクリックするたびに、その項目に対して昇順/降順に並び替えることができます。例えば、【ジョブ名】をクリックしてジョブ名順に並び替えたり、【追加日時】をクリックして追加日時順に並び替えたりできます。

一度印刷したジョブを再印刷する

印刷が完了したジョブは、自動的にジョブリストから印刷済みジョブリストに移動します。

一度印刷したジョブの再印刷は、印刷済みジョブリストから目的のジョブを選択して行います。

印刷済みジョブリストからの印刷は、以下のどちらかを選択できます。

- 再印刷
前回印刷したときのジョブ設定のまま印刷します。
- 設定を変更してから印刷
選択したジョブがジョブリストに追加されますので、新たにジョブ設定をして印刷します。

印刷が完了したジョブをファイルに保存できます。ジョブをファイルに保存すると、お使いのコンピューターなどでジョブデータを保存できるので、印刷済みジョブリストからジョブを削除でき、RIP サーバー（本ソフトウェアがインストールされているコンピューター）の記憶装置の空き容量を確保できます。ファイルに保存したジョブデータは、本ソフトウェアで読み込んで再印刷できます。ジョブ設定メニューから各種設定をした印刷前のジョブもファイルに保存できます。

ジョブの保存（エクスポート）と保存したジョブの読み込み（インポート）の手順は以下をご覧ください。

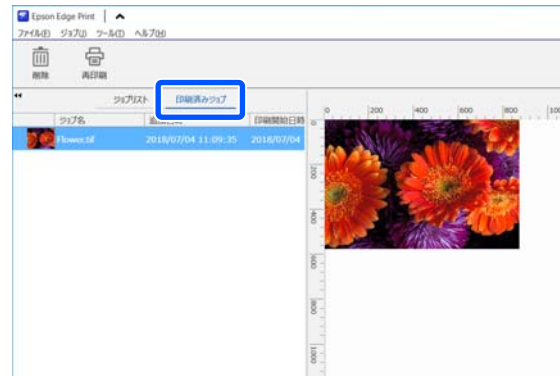
🔗 [「ジョブデータをファイルに保存する」 32 ページ](#)

再印刷の手順

- 1 本ソフトウェアとプリンターで印刷の準備をします。

🔗 [「印刷の準備」 13 ページ](#)

- 2 メイン画面で印刷するプリンタータブ - 「印刷済みジョブ」 ボタンの順にクリックします。



印刷済みジョブリストに切り替わります。

- 3 印刷済みジョブリストで再印刷をするジョブを選択して以下のどちらかを行います。

再印刷するとき

ジョブツールバーの  （再印刷）をクリックします。

または、再印刷するジョブ名上で右クリックメニューを表示して「再印刷」を選択します。

再印刷が開始されます。

印刷待ち等のステータスを確認したいときは、
「ジョブリスト」 ボタンをクリックして、ジョブリストに切り替えてください。

参考

ジョブの再印刷を実行すると、RIP 処理から行うためジョブによっては再印刷に時間がかかることがあります。
ジョブの再印刷を頻繁に行うときは、印刷後に RIP 済みデータが自動で保存される設定にしておくと、再印刷の時間を短縮できます。

🔗 [「印刷後に RIP 済みデータを保存する」 31 ページ](#)

設定を変更してから印刷するとき

再印刷するジョブ名上で右クリックメニューを表示して「設定を変更してから印刷」を選択します。

ジョブがジョブリストに追加されます。

「ジョブリスト」 をクリックして、ジョブリストに切り替えて追加されたジョブを選択してジョブ設定を行います。

ジョブ設定の詳細は、以下をご覧ください。

🔗 [「ジョブの基本設定」 16 ページ](#)

🔗 [「レイアウトの設定」 20 ページ](#)

印刷後に RIP 済みデータを保存する

通常は、ジョブの印刷が完了すると RIP 済みデータが自動で削除されます。

以下の手順で印刷後に RIP 済みデータが自動で保存されるように設定すると、ジョブの再印刷時に RIP 済みデータを印刷するため、再印刷の時間を短縮できます。ただし、RIP サーバーの記憶装置の容量不足の原因となるので、不要なジョブは定期的に削除してください。

 [「印刷済みジョブリストの整理」 31 ページ](#)

- 1 ツールメニュー - [環境設定] -  (RIP サーバー設定) の順でクリックします。
- 2 [データ保存] の [印刷完了後に RIP 済みデータを保存する] にチェックを付けます。
- 3 設定が完了したら [適用] をクリックします。

印刷済みジョブリストの整理

印刷済みジョブリストに多数のジョブが蓄積されていると、RIP 済みデータが保持されたままになるため、RIP サーバーの記憶装置の容量不足の原因となります。不要なジョブは、以下の手順で定期的に削除することをお勧めします。

ジョブを個別に削除する

- 1 メイン画面で印刷するプリンタータブ - [印刷済みジョブ] ボタンの順にクリックします。
印刷済みジョブリストに切り替わります。
- 2 印刷済みジョブリストで削除するジョブを選択してジョブツールバーの  (削除) をクリックします。
または、削除するジョブ名上で右クリックメニューを表示して [削除] を選択します。
 が表示されているジョブは、保護されているため削除できません。
保護されているジョブを削除するときは、ジョブ名上で右クリックメニューを表示して [保護解除] を選択します。

- 3 確認のメッセージで [はい] をクリックします。

ジョブを一括して削除する

印刷日を条件に抽出した印刷済みジョブを一括して削除できます。

削除したくないジョブは、事前にジョブを保護することをお勧めします。

 [「印刷済みジョブを保護する」 31 ページ](#)

- 1 メイン画面で印刷するプリンタータブ - [印刷済みジョブ] ボタンの順にクリックします。
印刷済みジョブリストに切り替わります。
- 2 ジョブのサムネイルや [ジョブ名]、[印刷終了日時] などを確認します。
印刷日を条件に削除するジョブを抽出するため、抽出条件を確認します。
- 3 ツールメニュー - [印刷済みジョブの一括削除] の順でクリックします。
- 4 [削除対象ジョブの抽出条件] で削除するジョブの抽出条件を選択し、選択した条件に応じた印刷日を指定します。
[指定日以前に印刷したジョブ] を選択したときは、[指定日] を設定します。
[指定した期間に印刷したジョブ] を選択したときは、期間の [開始日] と [終了日] を設定します。
設定した抽出条件に該当する印刷済みジョブがリストに表示されます。保護されているジョブは表示されません。
- 5 [削除] をクリックします。
抽出した印刷済みジョブが削除されます。

印刷済みジョブを保護する

印刷済みジョブリストのジョブを誤って削除しないように保護できます。

- 1 メイン画面で印刷するプリンタータブ - [印刷済みジョブ] ボタンの順にクリックします。

印刷済みジョブリストに切り替わります。

- 2 印刷済みジョブリストで保護するジョブ名上で右クリックメニューを表示して[保護]を選択します。

複数のジョブを選択するときは、以下のいずれかの方法で選択できます。

連続した複数ジョブを選択

【Shift】キーを押したまま先頭のジョブと最後のジョブをクリックする。

飛び飛びに複数ジョブを選択

【Ctrl】キーを押したまま目的のジョブをそれぞれクリックする。

ジョブに  が表示され、ジョブが保護されます。

参考

保護されたジョブのジョブ名上で右クリックメニューを表示して[保護解除]を選択すると、ジョブの保護を解除できます。

ジョブデータをファイルに保存する

印刷が完了したジョブやジョブ設定メニューから各種設定をした印刷前のジョブをファイルに保存し（エクスポート）、再印刷時に本ソフトウェアで読み込んで（インポート）、ジョブリストに追加できます。

ジョブデータ保存時は、以下の点にご留意ください。

- Epson Edge Print PRO のライセンスで本ソフトウェアをお使いのときにエクスポートしたジョブデータは、Epson Edge Print のライセンスのみが登録されている本ソフトウェアではインポートできません。
- 本ソフトウェアの各種設定がエクスポート側とインポート側で異なるときは、エクスポートしたジョブの設定がインポート時に再現できないことがあります。

ジョブのエクスポート

- 1 ジョブリスト、または印刷済みジョブリストでエクスポートするジョブを選択して右クリックし、表示されたメニューで[エクスポート]を選択します。

複数のジョブを選択するときは、以下のいずれかの方法で選択できます。

連続した複数ジョブを選択

【Shift】キーを押したまま先頭のジョブと最後のジョブをクリックする。

飛び飛びに複数ジョブを選択

【Ctrl】キーを押したまま目的のジョブをそれぞれクリックする。

選択したジョブに印刷中や RIP 中のジョブが含まれるときはエクスポートできません。印刷や RIP 処理が完了してからエクスポートしてください。

参考

ジョブメニュー - [エクスポート] の順でクリックしてもエクスポートできます。

- 2 ファイルの保存先を選択して保存します。
[エクスポート後にジョブを削除する] にチェックを付けると、保存後にリストからジョブが削除されます。

保存したファイルは拡張子が (.epjx) となります。

ジョブをインポートして追加する

以下の手順でジョブファイル (.epjx) をインポートしてジョブリストに追加できます。

- 1 ジョブリストを表示して、ジョブメニュー - [インポート] の順でクリックします。

ジョブ インポートウィザードが始まります。

- 2 [参照] をクリックしてファイルが保存されている先を指定し、インポートするファイルを選択します。

ファイルは 100 個まで選択できます。

- 3 [次へ] をクリックします。

4 [インポートファイルの確認結果] に、手順 2 で選択したファイルがインポートできるかどうかが表示されます。

メッセージを確認し、必要に応じてインポートしないファイルのチェックを外します。

ファイル名左のチェックボックスにチェックが付いているファイルをインポートします。

 アイコンが表示されたファイルは、エクスポートしたジョブの一部の設定がインポート時に再現できず初期設定値に戻ります。再現できない設定は、インポート後に設定を変更する必要があります。

[一部の設定が再現できないファイルをインポートする] のチェックを外すと、 アイコンが表示された全てのファイルのチェックが外れます。

 アイコンが表示されたファイルはインポートできません。

参考

 アイコンが表示されたファイルをインポートするときは、[確認結果出力] をクリックして、[インポートファイルの確認結果] の表示内容を CSV 形式のファイルに保存することをお勧めします。インポート後にジョブの設定を変更するときに、インポート時に初期設定値に戻った項目をこのファイルで確認できます。

5 [完了] をクリックします。

ジョブリストにインポートしたファイルのジョブ名が追加されます。

いろいろな印刷方法

メディアを無駄なく効率的に使う（ネスト印刷）

プレビューエリアで確認しながらメディア上に複数のジョブを不要な余白が空かないように配置して一括して印刷することができます。

これにより、メディアを無駄なく使用できます。

複数のジョブを配置することを「ネスト」と呼び、ネストされひとまとめになったものを「ネストジョブ」と呼びます。

本ソフトウェアでは、以下の通り複数のジョブが配置されたものをネストジョブとして扱います。

- 個別に複数のジョブを選択してネストしたとき
ジョブリストでは、ジョブ名の左に  が表示されます。
- ジョブ設定メニューの （レイアウト設定）で複数部数を設定したとき
ただし、設定によってはネストジョブとして扱われないこともあります。
[🔗 「レイアウトの設定」 20 ページ](#)
- PDF など複数ページからなるジョブ
ジョブリストでは、ジョブ名の左に  が表示されます。

以下のジョブは、ネストできません。

- すでにネストされているジョブ
- [プリンターでステップ&リピートを行う] にチェックを付けたジョブ
[🔗 「プリンター側でのステップ&リピート処理」 49 ページ](#)

ネストジョブの作成

以下で、個別に複数のジョブを選択してネストする手順を説明します。

- 1 ジョブリストでネストする複数ジョブを選択します。

ジョブは以下のいずれかの方法で選択できます。

連続した複数ジョブを選択

【Shift】キーを押したまま先頭のジョブと最後のジョブをクリックする。

飛び飛びに複数ジョブを選択

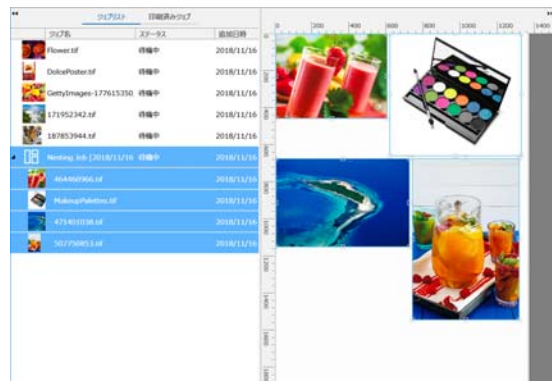
【Ctrl】キーを押したまま目的のジョブをそれぞれクリックする。

- 2 ジョブツールバーの （ネスト）をクリックします。

または、選択したジョブ名上で右クリックメニューを表示して【ネスト】を選択します。

ジョブリストの選択した各ジョブがネストアイコン()の下階層に移動してネストジョブになったことを示します。

プレビューエリアに選択したジョブがすべて表示されます。



ネストジョブ内の各ジョブの間隔のメーカー設定値は、10 mm です。この間隔を変更するには、[ジョブ間隔] を設定します。

[🔗 「ネストジョブ内の各ジョブの余白を設定する」 35 ページ](#)

ジョブリストのネストされていないジョブをネストジョブ下の階層にドラッグ&ドロップしてネストジョブにジョブ追加することができます。

- 3 画像の配置を設定します。

配置の設定方法は、大きく以下の3通りあります。

自動で効率的に画像を配置する

[🔗 「レイアウトの設定」 20 ページ](#)

基準の画像に合わせて整列

[🔗 「レイアウトの設定」 20 ページ](#)

プレビューエリアで位置を確認しながら配置する

画像をドラッグ&ドロップして配置を変更できます。ジョブ設定メニューの  (レイアウト設定) で画像を拡大/縮小したり、回転したりして配置することもできます。ネストする前に  (レイアウト設定) で設定しているときは、ネスト後も設定が保持されます。

ネストジョブの解除

ネストジョブは、以下の手順でネストを解除して通常のジョブに戻せます。

- 1 ジョブリストでネストジョブのルート(ジョブ名の左に  が表示されている行)を選択してジョブツールバーの  (ネスト解除)をクリックします。
または、選択したジョブ名上で右クリックメニューを表示して[ネスト解除]を選択します。
ネストジョブ内のジョブを選択してネスト解除を行うと選択したジョブだけが通常のジョブに戻ります。

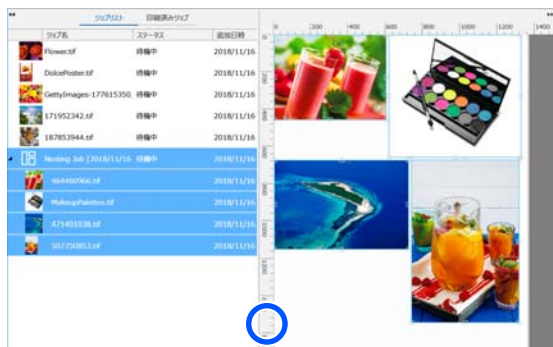
参考

ネスト後に、 (レイアウト設定) の[配置方法]で[タイト]を選択して画像が回転しているときは、ネストを解除すると画像の回転設定も解除されます。

ネスト印刷前の確認事項

ネスト印刷時は、複数ジョブを一括して印刷するため事前にメディアとインクの残量や印刷時間(予測)を確認してから印刷を開始することをお勧めします。

- 1 プレビューエリアのスケールで総印刷長を確認します。



- 2 ジョブ設定メニューで  (ジョブ情報)をクリックして設定エリアに表示された[印刷時間(予測)]を確認します。

- 3 画面右下の  をクリックします。

プリンターのステータス画面が表示されます。
メディアの残量が手順1で確認した総印刷長より長いことを確認します。
お使いの機種によっては、 が無効となります。
チップユニットのチャージ残量が十分あることを確認してください。



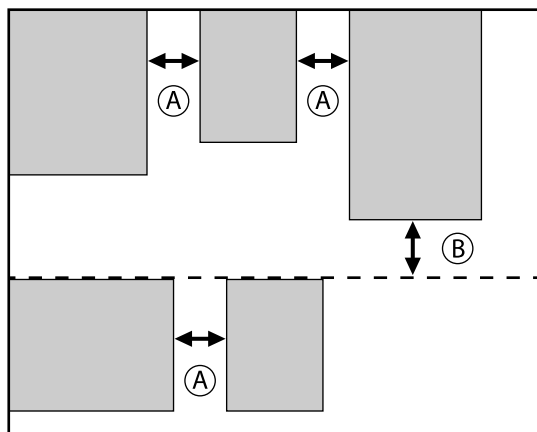
ネストジョブ内の各ジョブの余白を設定する

ネストジョブの各ジョブの余白の初期設定値は、以下の手順で設定します。
必要に応じてジョブ間隔を変更するときは、対象のネストジョブを選択して  (レイアウト設定) の[ジョブ間隔]で変更します。

- 1 ツールメニュー - [プリセット管理] -  (オプション設定) の順でクリックします。

2 [ジョブ間隔] の [右] と [下] で余白の値を設定します。

ジョブ間隔は、以下の通り右側または下側に別のジョブが配置されるとき、各ジョブ間に付加する余白です。右端または最下に配置されたジョブには余白は付きません。



(A)は [右] 余白

(B)は [下] 余白

3 設定が完了したら [適用] をクリックします。

枠線やトリムマークを付けて印刷する

マーク設定では、カット用のマークの設定とジョブラベル印刷の設定ができます。

カット用のマークは以下から選択できます。

- 枠線
- トリムマーク (2 種類)
- FOTOBA 社の高速フィニッシングカッターマシンに対応するカットマーク (FOTOBA マーク)
- グラフテック社のカッティングプロッタ (カッティングマシン) に対応するトンボマーク (4 種類)
- Summa 社のロールカッターに対応するカットマーク (OPOS マーク)
- Zünd 社のデジタルカッティングシステムに対応するレジスターマーク

ジョブラベルとは、印刷時の設定や RIP を行った日時などの情報で、画像に付加して印刷できます。

カット用のマークの種類

[マーク種類] で選択できる枠線以外のカット用のマークは以下の通りです。

- トリムマーク 1



- トリムマーク 2



• FOTOBA マーク



• Graphtec 4 点トンボ タイプ 1



〔Graphtec セグメントトンボ タイプ 1〕は、マーク設定するジョブの印刷長が 800 mm 以上のときに、画像の四隅のトンボに加えてジョブの印刷長の中間の位置にもトンボマークが付加されます。

• Graphtec 4 点トンボ タイプ 2



〔Graphtec セグメントトンボ タイプ 2〕は、マーク設定するジョブの印刷長が 800 mm 以上のときに、画像の四隅のトンボに加えてジョブの印刷長の中間の位置にもトンボマークが付加されます。

• OPOS マーク



• Zünd レジスターマーク



カット用のマークやジョブラベルの設定方法

設定するカット用のマークの種類に応じて、必要な設定や手順が異なります。

- 枠線
- トリムマーク 1
- トリムマーク 2
- FOTOBA マーク

上記のカット用のマークを設定するときは、以下をご覧ください。

[🔗 「カットパスデータをエクスポートしない場合」 38 ページ](#)

- Graphtec 4 点トンボ タイプ 1
- Graphtec 4 点トンボ タイプ 2
- Graphtec セグメントトンボ タイプ 1
- Graphtec セグメントトンボ タイプ 2
- OPOS マーク
- Zünd レジスターマーク

上記のカット用のマークを設定するときは、以下をご覧ください。

[🔗 「カットパスデータをエクスポートする場合」 38 ページ](#)

カットパスデータをエクスポートしない場合

カットパスを設定していない印刷データの画像の周囲にカット用のマークやジョブラベルを付けて印刷する手順を説明します。

1 ジョブリストでマーク設定するジョブを選択します。

2 ジョブ設定メニューの  (マーク設定) をクリックします。

設定エリアがマーク設定に切り替わります。

3 [マーク種類] で付加するマークを選択します。

プレビューエリアに選択したマークが反映されます。

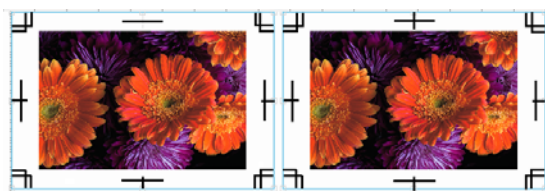
[FOTOBA マーク] を選択したときは、[水平マーク] と [垂直マーク] で各マークの設定を変更できます。

4 [付加対象] でマークをどの単位で付加するかを設定します。

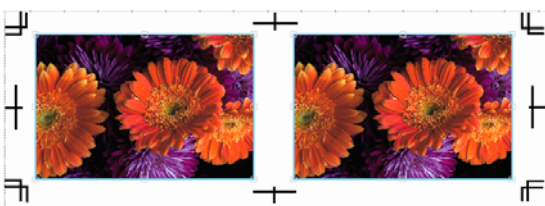
[画像ごとに付加] を選択すると、画像ごとにマークを付加します。

[ジョブ全体に付加] を設定すると、ジョブ全体にマークを付加します。ネストジョブのように1つのジョブに複数の画像が存在するときは、画像全体を囲む領域にマークを付加します。

- 画像ごとに付加



- ジョブ全体に付加

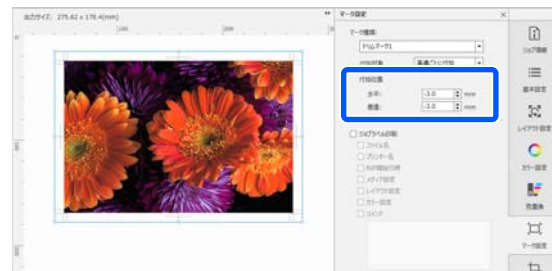


5 画像とマークの間隔を変えるときは、[付加位置] で間隔を指定します。

画像から離してマークを設定するときは正数で指定します。

フチが出ないようにカットしたいときなど画像の内側にマークを設定するときは- (マイナス) の値で指定します。

例: [付加位置] を [水平]、[垂直] とともに-3mm にしたとき

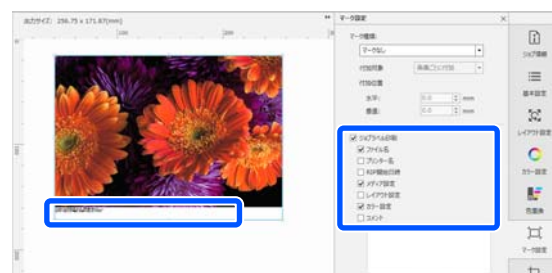


6 ジョブラベルを付加するときは、[ジョブラベル印刷] にチェックを付けて、ジョブラベルとして印刷する項目にチェックを付けます。

複数ページジョブのときは、ジョブリストで各ページを選択するとページごとに異なる設定のジョブラベルを付加できます。

[コメント] にチェックを付けて、コメント入力欄に定型情報を表すキーワード (エイリアス) を入力すると、キーワードから変換された定型情報をジョブラベルに付加できます。

 [「本ソフトウェアで定義するエイリアス」 144 ページ](#)



カットパスデータをエクスポートする場合

以下の市販のカッターマシンやカッティングプロッタに対応するカット用のマークを設定して、印刷または RIP 処理したときにカットパスデータを PDF や ZCC* にエクスポートする手順を説明します。

* Zünd 社のデジタルカッティングシステム用のファイル形式です。

- グラフテック社のカッティングプロッタ(カッティングマシン)
- Summa 社のロールカッター
- Zünd 社のデジタルカッティングシステム

カット用マーク設定前の準備

お使いのカッターマシンやカッティングプロッタのメーカーを問わず、以下の設定が必要です。

- Epson Cloud Solution PORT のアカウントを登録している。
- Epson Edge Print PRO のライセンスで本ソフトウェアを使用している。
- 印刷データにカットパスを設定している。

📄 [「カットパスデータをエクスポートしたいとき」116ページ](#)

上記の設定に加えて、お使いのカッターマシンやカッティングプロッタのメーカーに応じて、以下の設定も必要です。

グラフテック社のカッティングプロッタ (カッティングマシン) の場合

お使いの RIP サーバー (本ソフトウェアがインストールされているコンピューター) に、カッティングプロッタ用ソフトウェア「Graphtec Studio 2」がインストールされている。

Summa 社のロールカッター/ Zünd 社のデジタルカッティングシステムの場合

Summa 社のロールカッター用ソフトウェア「GoSign」、または Zünd カッター用ソフトウェア「Zünd Cut Center」で設定したホットフォルダーのフォルダーパスを、本ソフトウェアの「カットパスファイルの保存先」に設定している。

「カットパスファイルの保存先」は、ツールメニュー - 「環境設定」 - 🖨️ (RIP サーバー設定) の順でクリックすると表示されます。

カット用マークの設定手順

1 ジョブリストでマーク設定するジョブを選択します。

2 ジョブ設定メニューの🔲 (マーク設定) をクリックします。

設定エリアがマーク設定に切り替わります。

3 「マーク種類」で付加するマークを選択します。
プレビューエリアに選択したマークが反映されます。

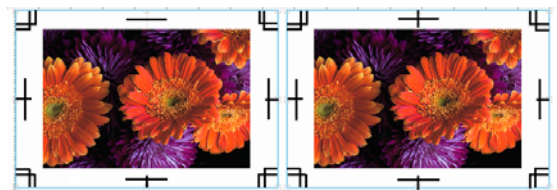
4 お使いのカッターマシンやカッティングプロッタでバーコードカットを実行するときは、[カット用バーコード設定] で画像に付加するバーコードを選択します。

5 「付加対象」でマークをどの単位で付加するかを設定します。

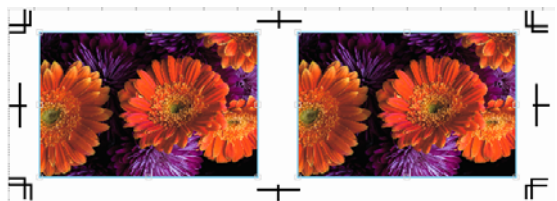
「画像ごとに付加」を選択すると、画像ごとにマークを付加します。

「ジョブ全体に付加」を設定すると、ジョブ全体にマークを付加します。ネストジョブのように1つのジョブに複数の画像が存在するときは、画像全体を囲む領域にマークを付加します。

- 画像ごとに付加



- ジョブ全体に付加



手順4で「カット用バーコード設定」を選択したときは、選択した設定に応じて「付加対象」が選択できないことがあります。

6 フィルムのような透明または半透明のメディアにマークを設定するときは、必要に応じて以下を設定します。

- マークを WH で囲む
操作対象のプリンターがホワイトインク搭載機種で、ジョブ設定メニューの☰ (基本設定) の「層数と重ね順の設定」で White が含まれる層を選択しているときに限り有効です。

チェックを付けるとカットマークやバーコードの周りを WH で印刷します。周りを WH で印刷することで、カッティングプロッタやロールカッターでカットマークやバーコードを読み取れるようになります。

- カットデータを左右反転

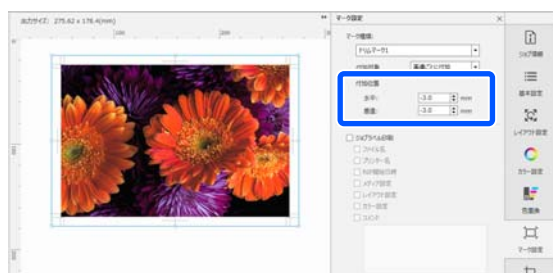
印刷面からではなく裏面からカットしたいときにチェックを付けます。チェックを付けたジョブを印刷すると、設定したカットマークやバーコードが左右反転して PDF にエクスポートされます。

7 画像とマークの間隔を変えるときは、【付加位置】で間隔を指定します。

画像から離してマークを設定するときは正数で指定します。

フチが出ないようにカットしたいときなど画像の内側にマークを設定するときは-（マイナス）の値で指定します。

例：【付加位置】を【水平】、【垂直】とも-3mmにしたとき



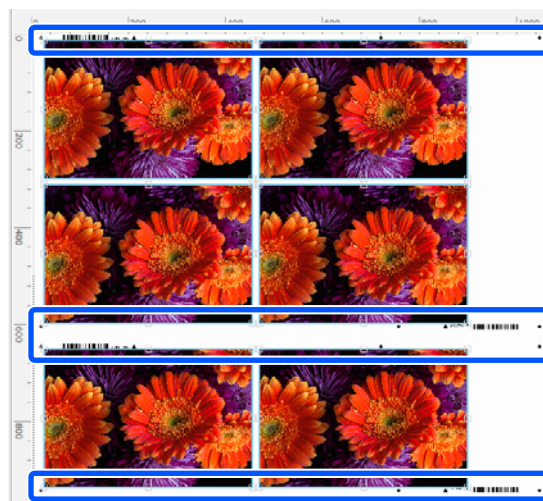
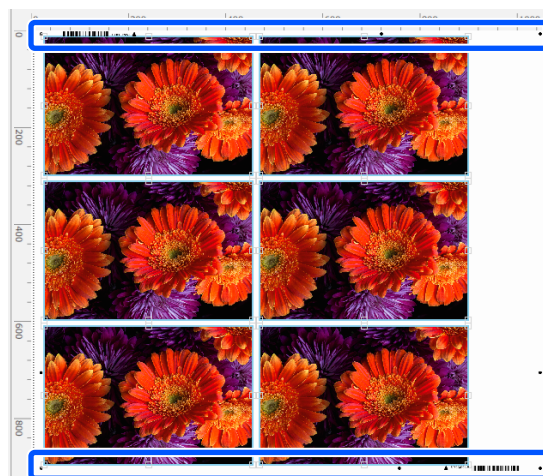
8 手順 3 で【Zünd レジスタマーク】を選択したときは、必要に応じて【マーク間隔】でマーク間の間隔の最大値を変更します。

お使いのメディアでカット位置のずれが大きいときに、【マーク間隔】を変更することでカット位置を調整できます。

9 指定した長さに収まる範囲でカットマークやバーコードを設定したいときは、【長さを指定してカット範囲を設定】にチェックを付けてカット範囲の長さを指定します。

1つのジョブに複数の画像が存在するときは、指定した長さに収まる範囲ごとにカットマークやバーコードを付加します。お使いのカッターマシンやカッティングプロッタでカット可能な長さを指定すると、カット作業がスムーズに行えます。

例：カット範囲の長さを 700.0 mm に設定したとき



10 印刷データに設定したカットパスや、手順 11 で自動生成するカット枠をプレビューエリアで確認したいときは、【プレビューに反映】にチェックを付けます。

カットパスの詳細は、以下をご覧ください。

[「カットパスデータをエクスポートしたいとき」116 ページ](#)

11 お使いのカッターマシンやカッティングプロッタで読み取り可能なカットパス（カット枠）を本ソフトウェアで自動生成したいときは、【カット枠の自動生成】にチェックを付けます。

画像の周囲にカットパス（カット枠）が自動で生成されます。

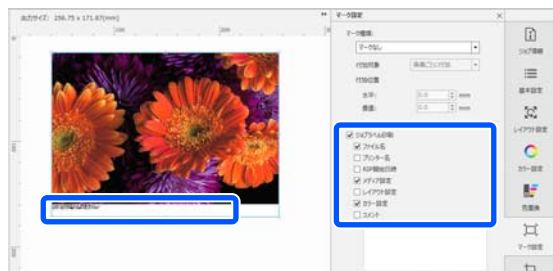
画像とカット枠の間隔を変えるときは、[カット枠の変更]をクリックします。プレビューエリアに表示するカット枠の色を変えることもできます。

12 ジョブラベルを付加するときは、[ジョブラベル印刷]にチェックを付けて、ジョブラベルとして印刷する項目にチェックを付けます。

複数ページジョブのときは、ジョブリストで各ページを選択するとページごとに異なる設定のジョブラベルを付加できます。

[コメント]にチェックを付けて、コメント入力欄に定型情報を表すキーワード（エイリアス）を入力すると、キーワードから変換された定型情報をジョブラベルに付加できます。

🔗 [「本ソフトウェアで定義するエイリアス」144ページ](#)



13 ログイン (ログイン) をクリックして、Epson Cloud Solution PORT にログインします。

メイン画面に ログアウト (ログアウト) が表示されているときは、Epson Cloud Solution PORT にログイン済みです。

Epson Cloud Solution PORT にログインすると、ジョブリストに表示されている ⚠ が消えて、設定したマークが印刷できるようになります。

参考

- グラフテック社のカッティングプロッタに対応するカットマーク（トンボマーク）を付加したジョブを印刷すると、設定したカットマーク（トンボマーク）のデータがPDFにエクスポートされます。
また、印刷後にカッティングプロッタ用ソフトウェア「Graphtec Studio 2」が自動で起動して、エクスポートしたPDFがインポートされます。
エクスポートされるPDFの保存先の指定や、「Graphtec Studio 2」の自動起動の解除は、ツールメニュー - [環境設定] - (RIPサーバー設定)の順でクリックして、[カットパス]で設定できます。[カットパス]では、「Graphtec Studio 2」の設定画面をスキップする設定に変更もできます。
- Summa社のロールカッターに対応するカットマーク（OPOSマーク）やZünd社のデジタルカッティングシステムに対応するカットマーク（Zündレジスターマーク）を付加したジョブを印刷すると、設定したカットマークとカットパスのデータがPDF/ZCC*にエクスポートされます。
エクスポートされたPDF/ZCCを、Summa社のロールカッター用ソフトウェア「GoSign」またはZündカッター用ソフトウェア「Zünd Cut Center」で使用するときは、PDF/ZCCの保存先を各ソフトウェアで設定したホットフォルダーと同じ場所にしてください。
* Zünd社のデジタルカッティングシステム用のファイル形式です。

カットパステータの再エクスポート

市販のカッターマシンやカッティングプロッタに対応するカットマークを付加したジョブを印刷すると、設定したカットマークやカットパスのデータが PDF/ZCC* にエクスポートされます。

以下の手順で、印刷後にカットマークやカットパステータの PDF/ZCC を再度エクスポートできます。

* Zünd 社のデジタルカッティングシステム用のファイル形式です。

- 1 メイン画面で印刷するプリンタータブ - [印刷済みジョブ] ボタンの順にクリックします。

印刷済みジョブリストに切り替わります。

- 2 印刷済みジョブリストでカットマークやカットパステータを送信するジョブを選択して右クリックし、表示されたメニューで [カットパスファイルの再送信] を選択します。

グラフィック社のカッティングプロッタに対応するカットマークを付加したジョブのときは、選択したジョブのカットマークやカットパステータの PDF がカッティングプロッタ用ソフトウェアに送信されます。

Summa 社のロールカッターに対応するカットマークや Zünd 社のデジタルカッティングシステムに対応するカットマークを付加したジョブのときは、選択したジョブのカットマークやカットパスのデータが PDF/ZCC にエクスポートされます。

画像の必要な部分だけを印刷する (クリップ)

画像を部分的に指定して印刷できます。

大きなサイズの画像のポイントとなる箇所だけ印刷して画質や色合いを確認するときに適した機能です。

以降で必要な部分をクリップする手順を説明します。

- 1 ジョブリストでクリップするジョブを選択します。

- 2 ジョブ設定メニューで  (クリップ) をクリックします。

設定エリアがクリップの設定に変わります。

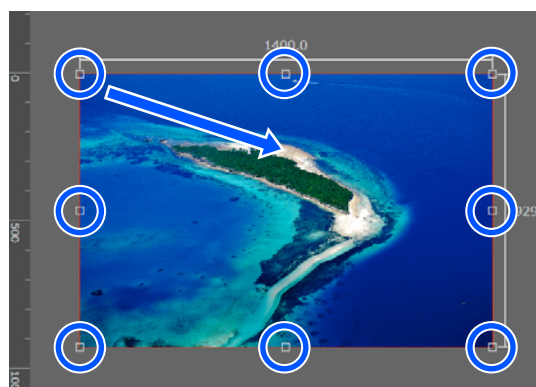
- 3 [設定を有効にする] にチェックを付けます。

設定項目が有効になり、プレビューエリアの画像にクリップ枠が表示されます。

- 4 印刷範囲を設定します。

プレビューエリアでクリッピングポイントをドラッグして範囲指定します。

クリップ枠の線をドラッグするとクリップ枠を移動できます。クリップ枠が画像と同じサイズになっているときは、移動できません。





5 クリップ範囲のサイズや位置を微調整できます。

設定エリアで[サイズ]と[左上位置]で数値を入力してサイズや位置を詳細に設定できます。

6 クリップ範囲の設定が完了したらジョブ設定メニューで (クリップ) 以外を選択するとプレビューエリアが印刷プレビューに切り替わります。

例:  (ジョブ情報) 選択時



大きな画像を分割して印刷する (タイリング)

印刷するメディアの幅よりも大きな画像を印刷するときは、メディアに印刷できる大きさで画像をいくつかに分割して印刷できます。

印刷後に貼り合わせて1枚の画像にするために、のり代を付加することもできます。

以降で画像を分割する手順を説明します。

画像の分割方法

1 ジョブリストで分割するジョブを選択します。

2 ジョブ設定メニューで (分割印刷) をクリックします。

設定エリアが分割印刷の設定に変わります。

3 [設定を有効にする] にチェックを付けます。 設定項目が有効になります。

4 [分割設定] で分割する大きさを設定します。

分割した一つ一つの画像を「タイル」と呼びます。分割する個数で設定するときは、[タイル数で設定]を選択します。

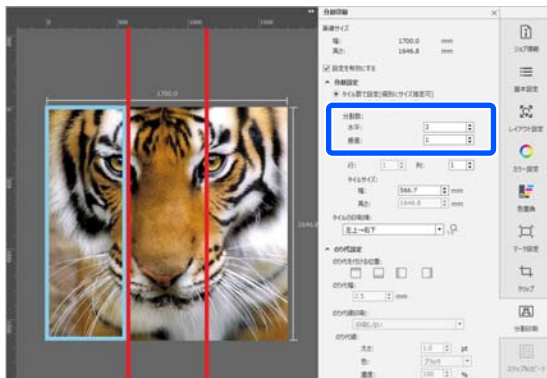
タイルのサイズを指定して分割するときは、[タイルサイズで設定]を選択します。

タイル数で設定するときは、手順5に進みます。

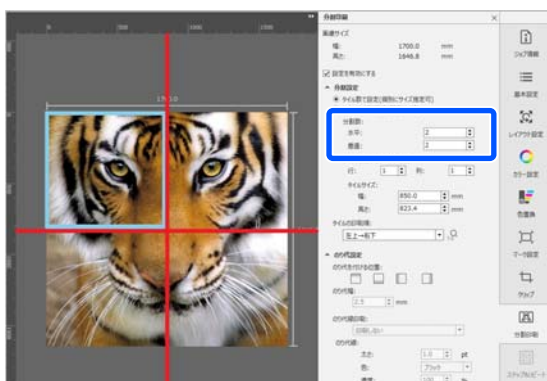
タイルサイズで設定するときは、手順7に進みます。

5 【分割数】でいくつに分割するのか設定します。

例：水平に3分割



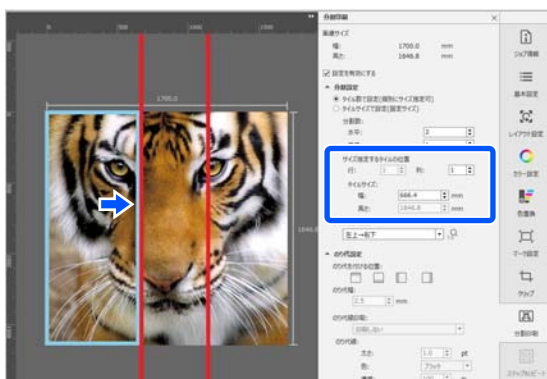
例：水平・垂直とも2分割



6 分割したタイルのサイズを微調整できます。

手順5の水平3分割の例で目の位置で分割され貼り合わせが生じるのを回避したいときなどは、以下の手順で左上のタイルを選択してタイルサイズを調整します。

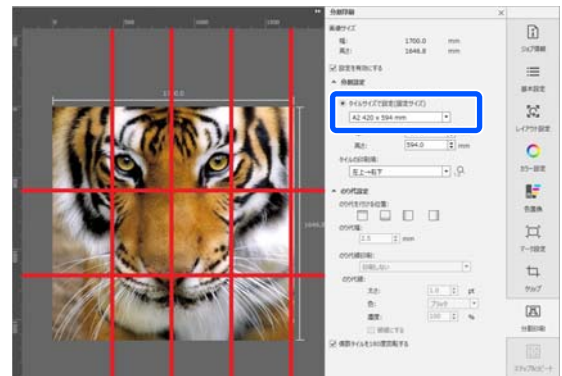
- ① マウスマウスカーソルで対象のタイルをクリックするか【サイズ指定するタイルの位置】で対象のタイルの位置を指定します。
調整対象のタイルが水色の枠で示されます。
- ② 水色の枠線をドラッグするか、【タイルサイズ】で値を入力してサイズを調整します。



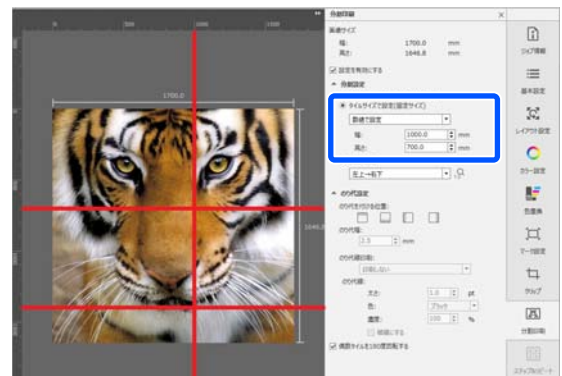
手順8に進み、タイルの印刷順を設定します。

7 【タイルサイズで設定】で分割サイズを設定します。

例：A2 サイズに設定

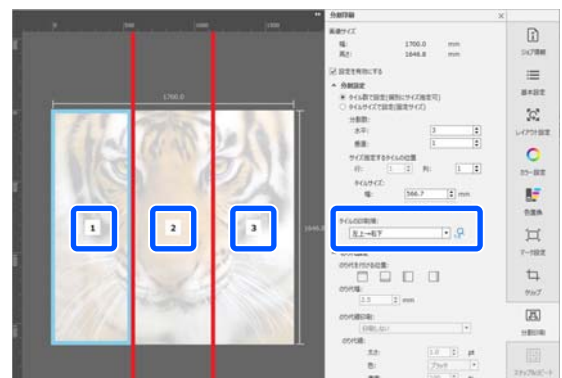


例：数値で設定で幅 1000 mm、高さ 700 mm に設定



8 【タイルの印刷順】でタイルを印刷する順番を設定します。

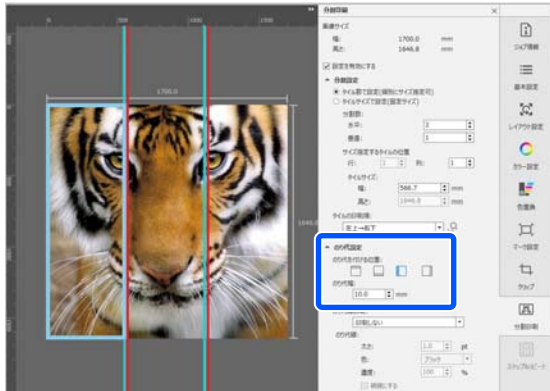
【タイルの印刷順】を選択して、🔍をクリックすると、プレビューエリアの各タイルに印刷順を表す番号が表示されます。



9 【のり代設定】で貼り合わせ用ののり代を設定します。

- ① 【のり代を付ける位置】でのり代をどこに設定するかを設定します。
- ② 【のり代幅】でのり代の横幅を設定します。

例：【のり代幅】10 mm、【のり代を付ける位置】左側



画像とのり代の境界線を印刷したいときは、手順 10に進みます。

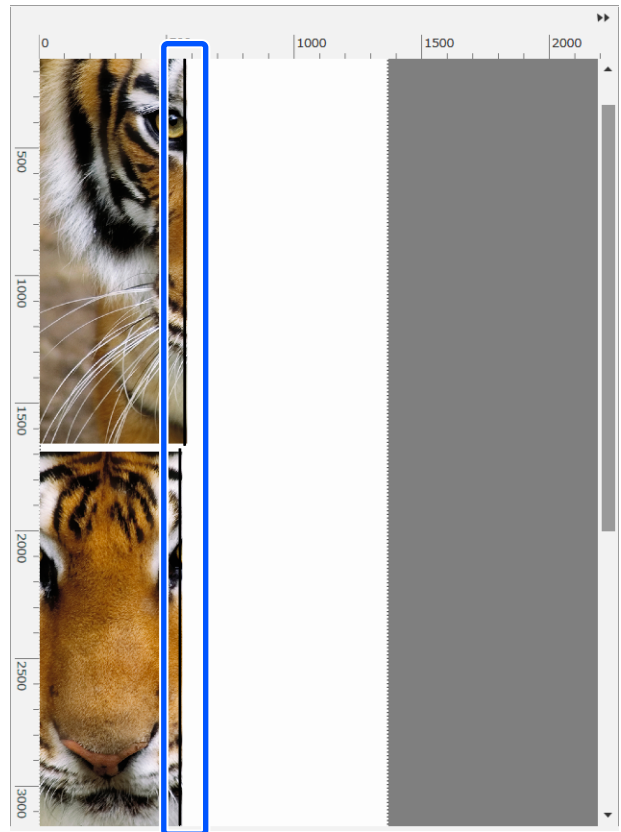
画像とのり代の境界線を印刷しないときは、手順 11に進みます。

10 【のり代線印刷】で、【画像上と余白に印刷する】または【余白だけに印刷する】を選択します。

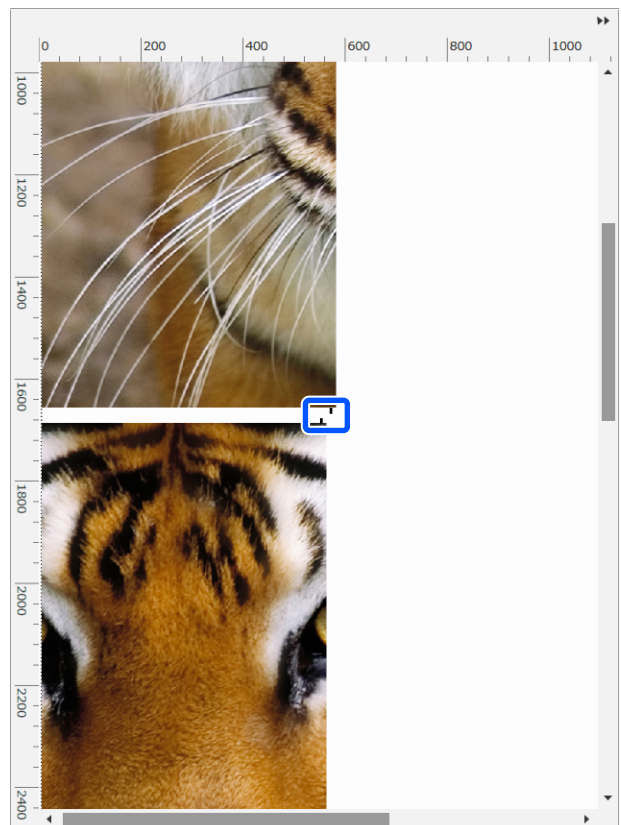
画像とのり代の境界線が印刷され、貼り合わせの目印として使えます。

【のり代線】で境界線の太さ、色、濃度を変更して線がわかりやすくなるように調整できます。【破線にする】にチェックを付けると、境界線を実線から破線に変更できます。

例：【画像上と余白に印刷する】に設定

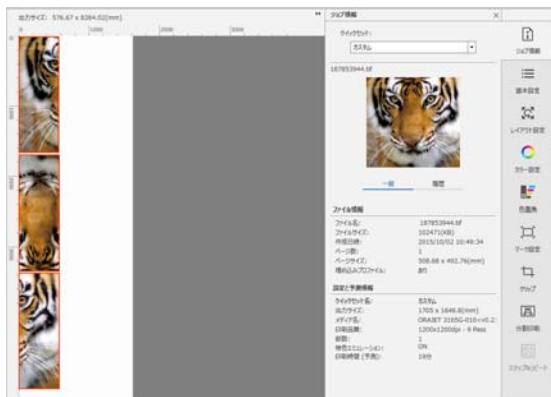


例：【余白だけに印刷する】に設定



11 分割の設定が完了したらジョブ設定メニューで  (分割印刷)、 (色置換)、 (クリップ) 以外を選択すると、プレビューエリアが印刷プレビューに切り替わります。

例：  (ジョブ情報) 選択時



参考

ジョブ設定メニューで  (レイアウト設定) をクリックすると、タイルの配置を変更できます。
例えば、縦一列に並んでいるタイルをメディアの幅に合わせて横に並べて印刷すると、メディアの無駄を省くことができます。

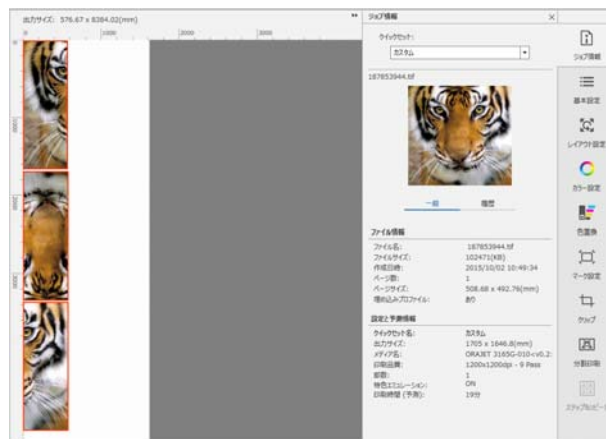
🔗 [「レイアウトの設定」20 ページ](#)

ただし、タイルの配置によっては、貼り合わせ時につなぎ目に色差が生じることがあります。

つなぎ目の色ズレが目立つとき

貼り合わせ時につなぎ目の色ズレが目立つときは、[分割印刷] 設定の[偶数タイルを 180 度回転する]のチェックが外れていないかを確認してください。

チェックを付けると、タイルが交互に上下反転状態で印刷され、色ズレが目立たなくなります。



特定のタイルを印刷しないとき

[分割印刷] 設定で画像を分割後、特定のタイルを印刷しないときは、以下の手順で印刷を解除できます。

1 印刷しないタイル上で右クリックメニューを表示します。

2 [印刷する] をクリックしてチェックを外します。

[印刷する] のチェックを外したタイルにはアイコンが表示されます。

印刷対象に戻したいときは、チェックを付けます。

参考

タイル上の右クリックメニューで、[全ての選択を解除] を選択すると、全てのタイルが印刷対象外になります。
1 つのタイルだけを印刷したいときは、印刷したいタイル上の右クリックメニューで [全ての選択を解除] を選択してから、[印刷する] にチェックを付けます。

繰り返し模様の印刷をする (ステップ&リピート)

1つの画像を縦方向や横方向にずらして配置して繰り返し模様のパターンを作成し、印刷できます。

以降でパターンを設定する手順を説明します。

パターンの作成方法

1 ジョブリストでパターンの元にするジョブ（画像）を選択します。

2 ジョブ設定メニューで （ステップ&リピート）をクリックします。

設定エリアがステップ&リピートの設定に変わります。

3 「設定を有効にする」にチェックを付けます。

設定項目が有効になります。

プリンター側でのステップ&リピート対応機種を操作対象のプリンターとして選択しているときに限り、【プリンターでステップ&リピートを行う】のチェックボックスが表示されます。プリンター側でのステップ&リピートの詳細は、以下をご覧ください。

[🔗「プリンター側でのステップ&リピート処理」49ページ](#)

4 画像を配置する領域サイズを設定します。

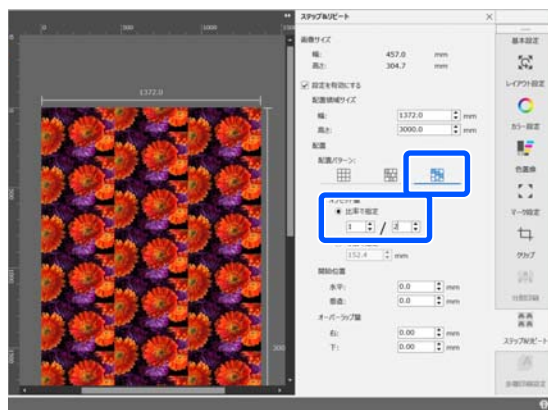
【配置領域サイズ】を設定すると設定したサイズ内に画像が並んで配置されます。

【配置領域サイズ】の【幅】に、印刷するメディア幅よりも大きな値を設定したときは、メディア幅からはみ出す画像は印刷されません。

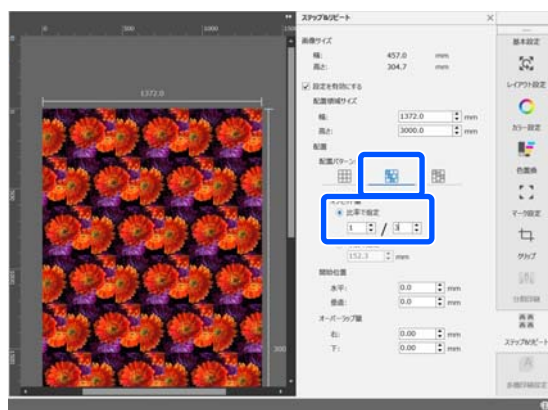
5 画像をずらして配置するかどうかを設定します。

画像をずらさずに単純リピートするときは、【配置パターン】で  を選択します。

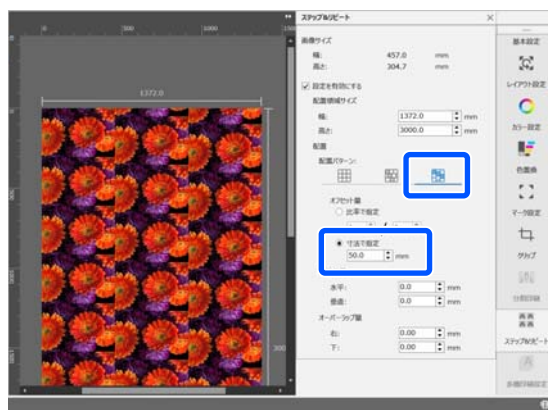
例：縦方向に 1/2 ずらす



例：横方向に 1/3 ずらす

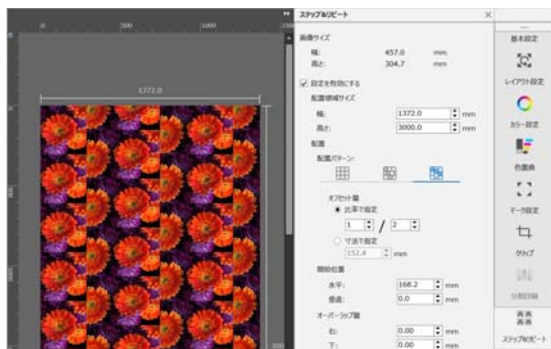
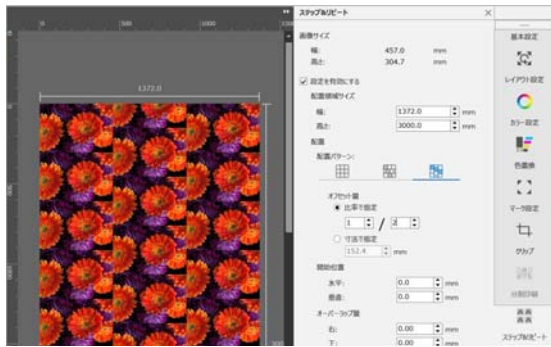


例：縦方向に 50mm ずらす



6 画像のどの位置からパターンを開始するかを設定できます。

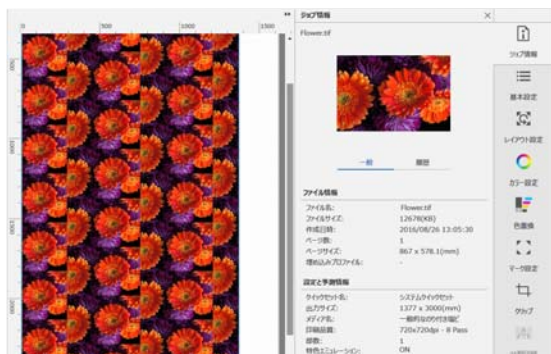
花びらが切れない位置から開始したいときなどは、プレビューエリアでパターンをドラッグして位置を指定できます。



「開始位置」に数値を設定して変更することもできます。

7 パターンが完了したらジョブ設定メニューで [ステップ&リピート] 以外を選択するとプレビューエリアが印刷プレビューに切り替わります。

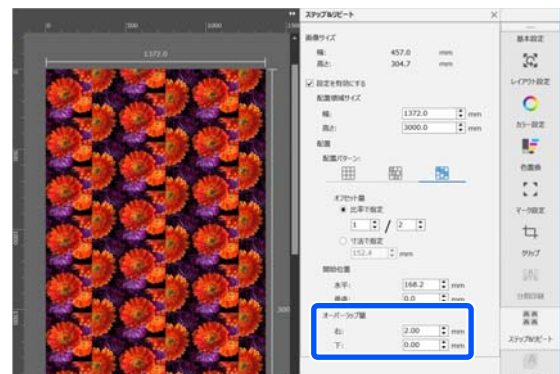
例： [ジョブ情報] (ジョブ情報) 選択時



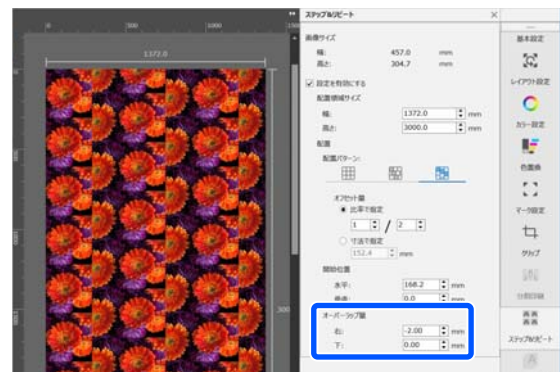
印刷したとき画像間に隙間が生じるとき

プレビューエリアでは画像間がピッタリと付いて見えるのに、印刷すると隙間が空いて白スジが見える、あるいは画像が重なり合って濃いスジが見えるときは、[オーバーラップ量]を設定して補正できます。

例：画像間に 2mm 幅の縦の白スジが出る
横方向に隣り合う画像の間隔が空いているために白スジが生じます。[オーバーラップ量]の[右]に2と設定します。



例：画像間に 2mm 幅の縦の濃いスジが出る
横方向に隣り合う画像が重なっているために濃いスジが生じます。[オーバーラップ量]の[右]に-2と設定します。



上下の画像間に水平のスジが出るときは、[オーバーラップ量]の[下]を設定します。

プリンター側でのステップ&リピート処理

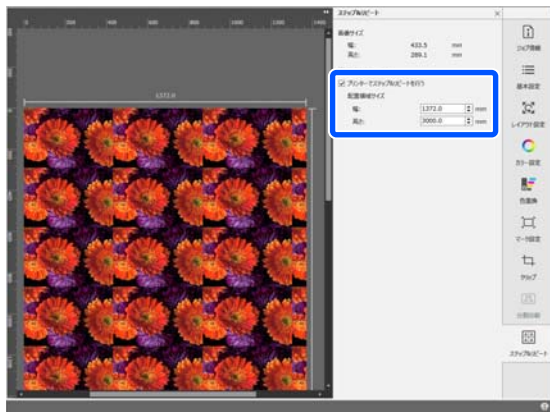
通常のステップ&リピート印刷は、繰り返し模様のパターンを作成したジョブをRIPしながら印刷するため、印刷が完了するまでは本ソフトウェアやRIPサーバー（本ソフトウェアがインストールされているコンピューター）を終了できません。プリンター側でのステップ&リピート処理では、印刷を開始すると印刷中の状態でも本ソフトウェアやRIPサーバーを終了できます。

ただし、画像をずらして配置することや、パターンの開始位置の指定はできません。

〔プリンターでステップ&リピートを行う〕にチェックを付け、〔配置領域サイズ〕で画像を配置する領域サイズを設定します。

〔配置領域サイズ〕を設定すると設定したサイズ内に画像が並んで配置されます。

〔配置領域サイズ〕の〔幅〕に、印刷するメディア幅よりも大きな値を設定したときは、メディア幅からはみ出す画像は印刷されません。



ジョブ（画像）のファイル容量が大きいときは、お使いの機種によってはプリンター側でのステップ&リピート処理が実行できないことがあります。

印刷またはRIP処理の実行時にエラーが表示されたときは、通常のステップ&リピートを設定してください。

🔗 [「パターンの作成方法」47ページ](#)

参考

プリンター側でのステップ&リピート処理を設定しているときは、マーク設定はできません。
また、マーク設定をしているときは、プリンター側でのステップ&リピート処理を設定できません。
マーク設定の詳細は、以下をご覧ください。

🔗 [「枠線やトリムマークを付けて印刷する」36ページ](#)

フチなしで印刷する

通常の印刷では、プリンターの構造上どうしても用紙の四辺に余白ができてしまい、用紙いっぱいに印刷することができませんが、フチなし印刷対応機種を操作対象のプリンターとして選択しているときに限り、余白を付けずにフチのない印刷ができます。

フチなし印刷は、お使いのプリンターや用紙種類、用紙サイズがフチなし印刷に対応しているときに設定できます。フチなし印刷に対応する用紙種類や用紙サイズの詳細は、お使いのプリンターのマニュアルをご覧ください。

なお、ネストジョブはフチなし印刷ができません。

以降でフチなし印刷の手順を説明します。

1 ジョブリストでフチなし印刷をするジョブ（画像）を選択します。

2 ジョブ設定メニューで （基本設定）をクリックします。

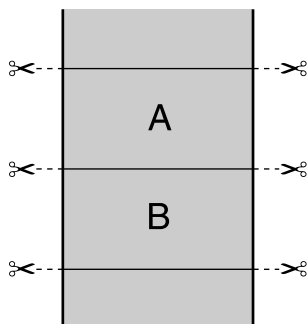
設定エリアが基本設定に変わります。

3 〔フチなし〕にチェックを付けます。

4 〔自動カット〕でフチなし印刷時のカット動作を設定します。

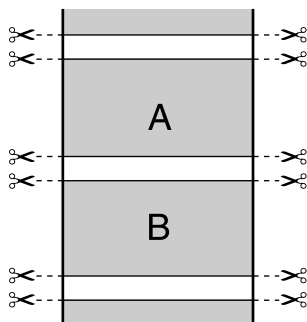
各設定値のカット動作は以下の通りです。

四辺フチなし 1 カット



- 上端は印刷動作を中断してカットするため、画像によっては多少色ムラが発生することがあります。
- カット位置がずれていると連続するページの画像がわずかに上下端に残ることがあります。この場合は、プリンターのカット位置調整を行ってください。カット位置調整の詳細は、お使いのプリンターのマニュアルをご覧ください。
- 複数部数を連続印刷するときには 1 ページ目の上端と連続部の下端のみ、余白が残らないように数 mm 内側をカットします。

四辺フチなし 2 カット



- 上端は印刷動作を中断してカットするため、画像によっては多少色ムラが発生することがあります。
- 上下端に余白が残らないように、画像の内側でカットしますので指定サイズより数 mm 程度短くなります。
- 前ページの終端をカットした後、紙送りしてから次ページの上端をカットするため切れ端が発生しますが、より正確にカットできます。切れ端の長さの詳細は、お使いのプリンターのマニュアルをご覧ください。

よく使うジョブ設定の作成 (クイックセット)

クイックセットは、ジョブ設定一式を保存したものです。

定型業務など日ごろ同じ設定を頻繁に使うときは、クイックセットを作成しておくことで都度ジョブ設定をする必要がなく効率的です。

作成したクイックセットは、ホットフォルダーに設定したり、ジョブ追加時のデフォルト設定として使用したりできます。

ホットフォルダーの詳細は、以下をご覧ください。

[🔗 「決められた設定で印刷する \(ホットフォルダー印刷\)」 54 ページ](#)

クイックセットの作成

クイックセット作成手順

1 ツールメニュー - [プリセット管理] - (クイックセット) - (追加) の順でクリックします。

2 クイックセット名を入力して **[OK]** をクリックします。

設定ダイアログボックスが表示されます。

3 ジョブ設定を行います。

必要に応じてタブを選択して設定します。設定内容は、ジョブ設定メニューの (基本設定) と (レイアウト設定)、 (カラー設定)、 (マーク設定)、 (多層印刷設定) での設定に準じます。

各設定内容の詳細は、以下をご覧ください。

基本設定 [🔗 「ジョブの基本設定」 16 ページ](#)

レイアウト設定 [🔗 「レイアウトの設定」 20 ページ](#)

カラー設定 [🔗 「カラー設定」 61 ページ](#)

マーク設定 [🔗 「枠線やトリムマークを付けて印刷する」 36 ページ](#)

多層印刷設定 [🔗 「層の位置ズレ・下地の画像のはみ出しが生じたとき」 97 ページ](#)

各タブにはクイックセット限定の設定があります。詳細は以下をご覧ください。

🔗 [「クイックセット限定の機能」 51 ページ](#)

4 設定が完了したら **[OK]** をクリックします。

リストに追加したクイックセットが表示されます。

クイックセット限定の機能

クイックセットの設定ダイアログボックスの各タブには、以下の通りクイックセット限定の設定があります。

【基本設定】 タブ

- 蛍光色の設定
蛍光色インク搭載機種を操作対象のプリンターとして選択しているときに限り表示されます。ここで設定したインク設定で印刷されます。操作対象のプリンターの機種に応じて、リストボックスの表示が異なります。

YM を FyFp で印刷
ジョブの CMYK の Y と M の部分を、プリンターの FY と FP のインクで印刷します。
Y を Fy で印刷
ジョブの CMYK の Y の部分を、プリンターの FY インクで印刷します。
全てのインクで印刷（蛍光インク自動調整）
ジョブの画像データの色合いなどに応じて、自動でプリンターの FY と FP のインクで印刷します。画像データに蛍光色の特色を設定したり、ジョブの色置換をしたりする必要はありません。
全てのインクで印刷（蛍光インク手動調整）
ジョブの色設定に従ってプリンターの全てのインク（C,M,Y,K,FY,FP）で印刷します。ただし、プリンターの FY と FP のインクで印刷するには、蛍光色の特色設定をした画像データを使用するかジョブの色置換が必要です。
CMYK で印刷
FY、FP インクは使われませんが、印刷速度が速くなります。

ジョブとインクの設定が合っていないと正しく印刷されません。

- PDF オーバープリントシミュレーション
Epson Edge Print PRO のライセンスで本ソフトウェアをお使いのときは設定不要です。
[PDF オーバープリントシミュレーション] にチェックを付けるとデータ中のオーバープリント設定がされている画像に対して、オーバープリント時の色合いを疑似

的に混色して印刷します。データの画像にオーバープリント設定されているときに限り実行されます。

参考

[PDF オーバープリントシミュレーション] にチェックを付けると、PDF データ中の特色情報が保持されないことがあります。例えば、PANTONE や White/Silver 設定された画像と他の画像が重なっているデータは正しい色合いで印刷できないことがあります。

- レジストレーションマーク
ジョブの画像データにレジストレーションマークが設定されているときに、ここで設定したインク設定でレジストレーションマークを印刷します。
[全てのインクで印刷] に設定すると、お使いのプリンターに搭載されている全てのインクで印刷します。
[CMYK で印刷] に設定すると、CMYK インクのみで印刷します。

【色置換】 タブ

- データ中の特色設定を無効にする
カラーコレクションで設定した出力色の設定に従って置換したいとき、ジョブ設定メニューの （色置換）で出力色を調整したいときは、チェックを外して無効にします。

参考

[データ中の特色設定を無効にする] の設定内容は、ジョブ設定メニューの （ジョブ情報）で確認できます。
[一般] をクリックして [特色エミュレーション] を確認します。

- チェックを付けたとき: 特色エミュレーションは [OFF]
- チェックを外したとき: 特色エミュレーションは [ON]

- カラーコレクションの有効グループを使用する
チェックを外すと、カラーコレクションの全てのグループからジョブ設定メニューの （色置換）で出力色の置換で使用したいグループを選択できます。選択するには、一覧でチェックを付けて有効にします。カラーコレクションでの有効/無効の設定に関わらずクイックセットでの設定が優先されます。

【その他】 タブ

- 追加したジョブの状態設定
ジョブリストにジョブを追加したときのステータスを設定します。
[待機] に設定すると、ジョブリストに追加したジョブのステータスが [待機中] になります。自動印刷時は順次印刷が開始されます。
[保留] に設定すると、ジョブリストに追加したジョブのステータスが [保留中] になります。自動印刷時に印刷対象になりません。

- プリンター共有時のクイックセット名
作成するクイックセットを共有プリンターで使用する
ときに設定します。詳細は以下をご覧ください。
[🔗「共有プリンターで使用するクイックセットを設定
する」135 ページ](#)
- メモ
設定の覚え書きを入力できます。
- アルファチャンネルを特色版に変換
WH/MS 搭載機種、または UV インク搭載機種を操作対
象のプリンターとして選択しているときに限り表示さ
れます。
データ形式が TIFF や PNG の印刷データで、印刷データ
に含まれる透明度やアルファチャンネルの情報から
WH/MS/Vr 印刷用の版を生成するときに設定します。

クイックセットの編集

一度作成したクイックセットを変更したいとき
リストで変更するクイックセットを選択して  (編集)
をクリックします。

**一度作成したクイックセットを元にして別のク
イックセットを作成するとき**
リストで元になりたいクイックセットを選択して  (複
製) をクリックします。
複製が作成されますので、複製のクイックセットを編集
します。

不要なクイックセットを削除するとき
リストで不要なクイックセットを選択して  (削除) を
クリックします。

作成したクイックセットを流用 する

追加作成したクイックセットをファイルに保存して、別
のコンピューターにインストールしている本ソフトウェ
アで読み込んで共通のジョブ設定で印刷できます。
ここでは、保存（エクスポート）と読み込み（インポ
ート）の手順を説明します。

クイックセットのエクスポート

- 1 ツールメニュー - [プリセット管理] -  (ク
イックセット) の順でクリックします。

- 2 リストで流用するクイックセットを選択して右
クリックし、表示されたメニューで [エクスポート]
を選択します。

- 3 ファイルの保存先を選択して保存します。
保存したファイルは拡張子が(.epqs) となります。

クイックセットをインポートして追 加する

インポート前の準備

インポートする側に、エクスポートしたクイックセット
と一致する以下のデータが存在しないと、その部分はシ
ステムクイックセット（メーカー設定用のクイックセッ
ト）の設定に自動で置き換わります。

- メディアのプリント情報
- カラーコレクションで有効にしているグループ
- 任意に用意した入力プロファイル

エクスポートしたクイックセットと全く同じ状態でク
イックセットをインポートするには、事前に以下を行い
エクスポート時と同じ状態にしてからクイックセットを
インポートします。

- プリント情報のインポート
エクスポートしたクイックセットの [基本設定] - [メ
ディア名] で設定しているメディアのプリント情報がイン
ポート側に存在しないときは、事前にインポートしま
す。
プリント情報のエクスポートとインポートの詳細は、以
下をご覧ください。

[🔗「作成したプリント情報を流用する」59 ページ](#)

- カラーコレクションのグループのインポート
エクスポートしたクイックセットの [色置換] で有効に
したカラーコレクションのグループがインポート側に
存在しないときは、事前にインポートします。
カラーコレクションのエクスポートとインポートの詳
細は、以下をご覧ください。

[🔗「特色をエクスポートする」73 ページ](#)

[🔗「特色ファイルをインポートする」73 ページ](#)

- 任意に用意した入力プロファイルを指定フォルダーに
保存する
エクスポートしたクイックセットの [カラー設定] - [プ
ロファイル] で任意に用意した入力プロファイルを選択
しているときは、同じ入力プロファイルをインポート側
の指定フォルダーに、事前に保存します。
指定フォルダーは以下の通りです。

- CMYK の場合

C:\ProgramData\EPSON\Epson Edge Print\Color
Common\icc\cmyk

• RGB の場合

C:\ProgramData\EPSON\Epson Edge Print\Color
Common\icc\rgb

インポートの手順

以下の手順でクイックセットファイル(.epqs) をインポートして追加できます。

- 1 ツールメニュー - [プリセット管理] -  (クイックセット) -  (インポート) の順でクリックします。
クイックセット インポートウィザードが始まります。
- 2 インポートするファイルを選択します。
- 3 [完了] をクリックします。
リストにインポートしたクイックセットが追加されます。

クイックセットをジョブ設定のデフォルトに設定する

追加したクイックセットは、ホットフォルダーで使う以外にジョブリストにジョブ追加したときの初期設定としても使えます。

デフォルトに設定する手順は、以下の通りです。

- 1 リストで目的のクイックセットを選択して  (デフォルト) をクリックします。
または、目的のクイックセット名上で右クリックメニューを表示して [デフォルト] を選択します。
デフォルトに設定されたクイックセット名の左に  が表示されます。
- 2 デフォルト設定を別のクイックセットに変更するときは、リストで変更したいクイックセットを選択して  (デフォルト) をクリックします。

ジョブ追加後にクイックセットを変更する

ジョブリストにジョブを追加すると、デフォルトに設定したクイックセットが初期設定されますが、設定されたクイックセットをジョブ追加後に変更できます。

ジョブ追加後にクイックセットを変更する手順は、以下の通りです。

- 1 ジョブリストでクイックセットを変更するジョブ (画像) を選択します。
- 2 ジョブ設定メニューで  (ジョブ情報) をクリックします。
設定エリアがジョブ情報に変わります。
- 3 [クイックセット] で変更後のクイックセットを選択します。
選択したクイックセットの設定がジョブに反映されます。

参考

クイックセット変更後に設定エリアでジョブの設定を変更すると、[クイックセット] は [カスタム] に変わります。

決められた設定で印刷する (ホットフォルダー印刷)

ホットフォルダーとは

よく使うジョブ設定と出力するプリンターをホットフォルダーとして登録すると、印刷データをホットフォルダーにドラッグ&ドロップするだけで印刷設定が自動的に行われます。

ホットフォルダーの特徴は、以下の通りです。

- 印刷を指示するコンピュータでは、本ソフトウェアを起動する必要がない。
- 都度、個別にジョブ設定する必要がなく、日常の定型業務に適している。

このため、日常よく使うジョブ設定ごとにホットフォルダーをいくつか作っておけば、ネットワーク上のコンピュータから印刷したい設定のホットフォルダーに印刷データをドラッグ&ドロップするだけで目的の印刷ができます。

以降で、ホットフォルダーの作り方を説明します。

ホットフォルダー作成手順

ホットフォルダーの作成は、以下の2段階で行います。

1. ホットフォルダーに設定するジョブ設定一式を作成しクイックセットとして保存します。
クイックセットは、ダイアログボックスで必要な設定を一括して作成できます。
2. ホットフォルダー登録ウィザードに従って、ホットフォルダーを作成します。

1 ツールメニュー - [プリセット管理] -  (クイックセット) -  (追加) の順でクリックしてホットフォルダーに設定するクイックセットを作成します。

ジョブ設定メニューの  (基本設定) と  (レイアウト設定)、 (カラー設定) での設定をクイックセットとして作成できます。

詳細は  「よく使うジョブ設定の作成 (クイックセット)」 50 ページ

2 ツールメニュー - [環境設定] -  (ホットフォルダー管理) -  (登録) の順でクリックします。

ホットフォルダー登録ウィザードが始まりますので、画面の指示に従って追加します。

ホットフォルダー登録ウィザードで [フォルダーを共有する(Everyone)] にチェックを付けると、作成されたホットフォルダーは共有フォルダーになります。RIP サーバー (本ソフトウェアがインストールされているコンピュータ) とネットワーク接続している全てのコンピュータからアクセスできます。ホットフォルダーを使用するコンピュータのデスクトップに必要なホットフォルダーのショートカットを作っておくと便利です。

! 重要

ホットフォルダー登録ウィザードで [フォルダーを共有する(Everyone)] にチェックを付けると、RIP サーバーとネットワーク接続している全てのコンピュータからアクセスできます。セキュリティ上、アクセスできるユーザーを限定するときは、共有フォルダーのアクセス権を設定してください。

参考

RIP サーバーに作成した共有フォルダーは、以下のよう
に検索できます。

- Windows
エクスプローラーのネットワークで RIP サーバーのコンピュータを選択すると、ホットフォルダーが表示されます。
- Mac OS
[サーバーへ接続] を開き、リストで RIP サーバーをクリックするとホットフォルダーが表示されます。

ホットフォルダー印刷のご注意

ホットフォルダーに入れた印刷データは、ホットフォルダーで出力プリンターに設定したプリンターのジョブリストに追加されます。

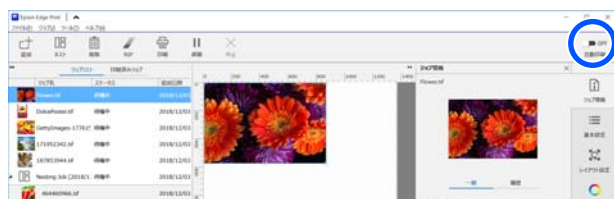
ホットフォルダー使用時は、以下の点にご留意ください。

ホットフォルダー作成時に定義したプリンターは、ホットフォルダー印刷専用で使用することを推奨します。

ホットフォルダーで出力プリンターに設定したプリンターのジョブリストで印刷データのネストや分割印刷の設定などをしてしていると、作業途中で思いがけずにホットフォルダーに入れた印刷データが追加されることがあり、作業の妨げになることがあります。

自動印刷を ON で使用することを推奨します。

☐ OFF (自動印刷) をクリックするたびに ☒ ON と ☐ OFF が切り替わります。



☒ ON にしていると、ホットフォルダーに印刷データを入れると順次印刷が開始されます。

☐ OFF にしていると、ジョブリストに追加されるだけで任意に印刷を実行するまで印刷されません。

印刷の手順

1 本ソフトウェアとプリンターで印刷の準備をします。

🔗 [「印刷の準備」13 ページ](#)

2 目的のホットフォルダーに印刷データをドラッグ&ドロップします。

【自動印刷】を ☒ ON に設定していれば、追加された順で順次印刷が開始されます。

☐ OFF のときは、ジョブリストで選択して  (印刷) をクリックして印刷を行います。

ホットフォルダーの登録解除

不要になったホットフォルダーは、以下の手順で登録解除できます。

以下の場合、登録解除が必要です。

- ホットフォルダーを 50 個まで登録したとき。
50 個以上は登録できませんので、新たにホットフォルダーを作成するときは、不要なホットフォルダーを登録解除してください。

- ホットフォルダーの出力プリンターに設定しているプリンターの登録解除をするとき。

ホットフォルダーが登録されたままでは、プリンターを登録解除できません。ホットフォルダーを登録解除してからプリンターの登録解除をしてください。

1 ツールメニュー - [環境設定] -  (ホットフォルダー管理) の順でクリックします。

2 リストで登録解除するホットフォルダーを選択して  (登録解除) をクリックします。

3 確認のメッセージが表示されますので [はい] をクリックします。

ホットフォルダーを登録解除しても、フォルダー自体は削除されずに残ります。

登録解除後のフォルダーをホットフォルダーに再登録するには、ホットフォルダー管理画面で  (登録) をクリックして、[フォルダーパスの選択] でこのフォルダーを指定します。

フォルダーが不要な場合は、エクスプローラーで削除してください。

ホットフォルダーを無効にするとき

ホットフォルダーを一時的に使用しないときは、ホットフォルダーを無効にします。無効にしたホットフォルダーは、通常通り印刷データをドラッグ&ドロップして入れますが、ホットフォルダー内に蓄積されるだけで、ジョブリストには送られません。有効に設定変更すると蓄積されていた印刷データが順次ジョブリストに追加されます。

1 ツールメニュー - [環境設定] -  (ホットフォルダー管理) の順でクリックします。

2 リストで無効にするホットフォルダーの [有効] のチェックボックスをクリックしてチェックを外します。

有効に戻すときは、[有効] のチェックボックスをクリックしてチェックを付けます。

ホットフォルダーに設定したクイックセットを変更するとき

- 1 ツールメニュー - [環境設定] -  (ホットフォルダー管理) の順でクリックします。
- 2 リストでクイックセットを変更にするホットフォルダーを選択して  (変更) をクリックします。
- 3 変更ダイアログボックスが表示されますので、変更後のクイックセットを選択します。

使用するメディアに応じたプリント情報を作成する

エプソンが無償で提供する EMX ファイル、または用紙情報を使うと、かんたんに市販のメディアに最適な印刷を行うことができます。

対応する EMX ファイル、または用紙情報がないメディアを使用するときは、以下のどちらかでプリント情報ファイルを作成できます。

- 取得済みの類似のメディア種の EMX ファイル、または用紙情報を使用するメディア用に編集する
EMX ファイル、または用紙情報取得の詳細は以下をご覧ください。
[🔗 「EMX ファイルの準備」 13 ページ](#)
- 本ソフトウェアがあらかじめ用意している汎用プリント情報から類似メディアタイプを選択して使用するメディア用に編集する

使用するメディアのメーカーからメディアプロファイルを手入していれば、それをお使いいただけます。デバイスリンクプロファイルにも対応しています。

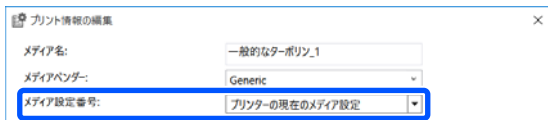
取得済み EMX ファイル/用紙情報のプリント情報を元に作成する

取得済み EMX ファイル、または用紙情報のプリント情報を元にして使用するメディア用のプリント情報を作成するには、目的のプリント情報の複製を作成します。EMX ファイル、または用紙情報のプリント情報を直接編集することはできません。

- 1 ツールメニュー - [プリセット管理] -  (プリント情報の管理) の順でクリックします。
- 2 リストで複製元のプリント情報のメディア名を選択して  (複製) をクリックします。
選択したメディア名の下に複製が作成されます。
- 3 手順 2 で作成したプリント情報を選択して  (編集) をクリックします。
編集ダイアログボックスが表示されます。必要に応じて設定を編集します。

メディア設定番号

通常は、[プリンターの現在のメディア設定] のまま使用します。特定のメディア設定番号に限定したいときは、目的のメディア設定番号を選択します。



お使いの機種によっては、[メディア設定番号] が表示されません。

[メディア設定番号] が表示されない機種のときは、ユーザー用紙設定が登録されていない番号が自動で選択されます。

印刷品質

通常は、適切な印刷モードが各モードに割り当てられています。

印刷品質は、編集、追加、削除できます。

[メディア設定番号] が表示されない機種は、編集のみできます。

詳細は、以下をご覧ください。

[「印刷品質の編集/追加」57 ページ](#)

[「印刷品質の削除」59 ページ](#)

4 設定が完了したら [OK] をクリックします。

印刷品質の編集/追加

編集ダイアログボックスに [メディア設定番号] が表示されない機種は、印刷品質の編集のみできます。

- 1 変更時は、リストで変更する印刷品質を選択して [編集] をクリックします。
追加時は、単に [追加] をクリックします。



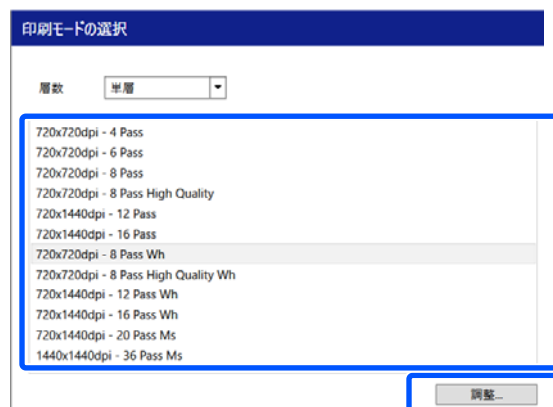
- 2 ウィザードに従って、印刷品質、印刷モードを選択します。

WH/MS 搭載機種を操作対象のプリンターとして選択しているときは、[層数] で目的の層数を選択します。選択した層数に応じて印刷モードの内容が変わります。

蛍光色インク搭載機種を操作対象のプリンターとして選択しているときは、[蛍光色の設定] で目的のインク設定を選択します。選択した設定に応じて印刷モードの内容が変わります。

印刷モードを選択して [調整] をクリックするとインクの打ち込み量などを変更できます。手順 3 に進みます。

印刷モードを調整しないときは、手順 6 に進みます。



- 3 [カラー] でインクの打ち込み量と出力色の調整ができます。▲を左右にドラッグして濃度を設定します。

最初に▲が位置する濃度が現在の濃度です。右に移動するほど濃度が濃くなります。ただし、あまり濃くすると印刷時ににじみや汚れの原因となります。

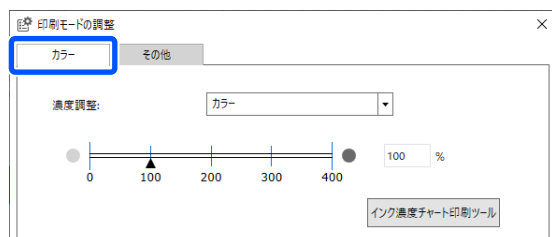
WH/MS 搭載機種を操作対象のプリンターとして選択しているときは、設定しているカラーモードに応じて [ホワイト] / [メタリックシルバー] を選択して濃度の調整ができます。

蛍光色インク搭載機種を操作対象のプリンターとして選択しているときは、設定に応じて [蛍光イエロー] / [蛍光ピンク] を選択して濃度の調整ができます。

UV インク搭載機種を操作対象のプリンターとして選択しているときは、[ホワイト] / [バーニッシュ] を選択して濃度の調整ができます。

上記以外の機種で「濃度調整」のリストボックスに「カラー（ブラック以外）」と「ブラック」の2種類が表示されるときは、ブラックインクとそれ以外のインクでそれぞれ濃度の調整ができます。

「インク濃度チャート印刷ツール」または「インク濃度調整ツール」をクリックすると、インク濃度の最適値を判定するチャートを印刷できるツールが別画面で起動します。

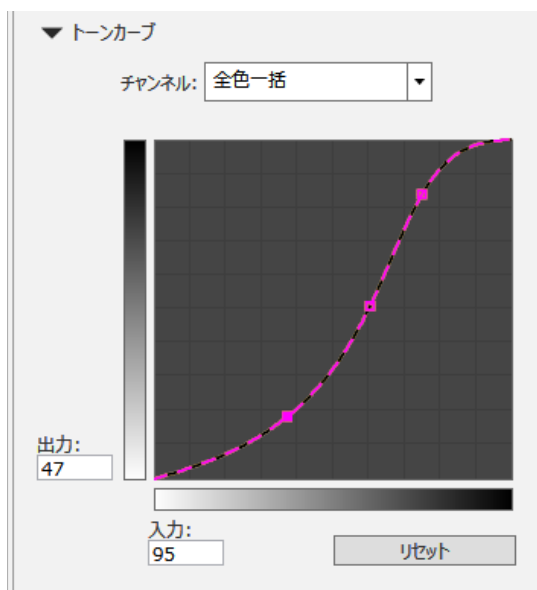


「トーンカーブ」では、出力色の濃度や色合いを微調整できます。

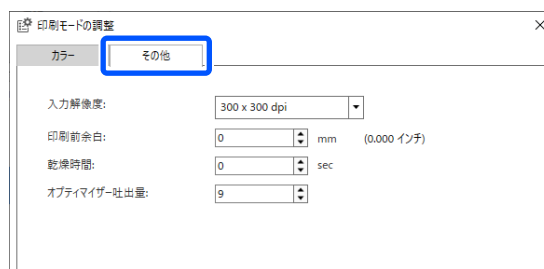
「チャンネル」で調整する色を選択して以下の手順で調整します。

- ① トーンカーブの線上をクリックして操作点を設定します。操作点は複数追加できます。不要な操作点は、選択して【Delete】キーを押すと削除できます。
- ② 操作点をドラッグして調整します。
 「リセット」をクリックすると調整結果を戻します。

調整した結果は、☰（基本設定）で調整したメディアと印刷品質を選択するとプレビューエリアに反映されます。



- 4 「その他」で「入力解像度」、「印刷前余白」、「乾燥時間」、「オブティマイザー吐出量」を変更できます。



入力解像度

印刷データの画像を本ソフトウェアで処理するときの解像度を選択します。

手順2で選択した印刷モードに応じて選択できる入力解像度が異なります。

元の画像が高精細なときや間近で見るポスター用画像のときなどに、高い解像度を選択します。

印刷前余白

連続して印刷するとき、次のジョブとの間に余白を設けるときの余白の長さを入力します。

印刷物をパネルなどに巻き込んで取り付けるときに便利です。

乾燥時間

連続して印刷するときここで設定した時間を空けて次のジョブの印刷を開始します。続けて印刷して巻き取り時にインクが裏写りして汚れるのを回避できます。A2以上のサイズの印刷をするときは、プリンターの設定メニューで「パスごとの乾燥時間」で乾燥時間を設定することをお勧めします。設定メニューの詳細 ☞『ユーザズガイド』（オンラインマニュアル）

オブティマイザー吐出量

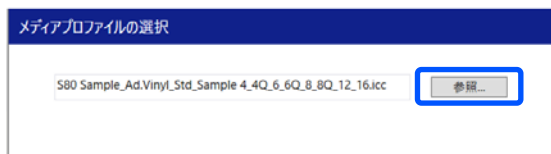
レジニンク搭載機種を操作対象のプリンターとして選択しているときに表示されます。オブティマイザーの吐出量を入力します。

- 5 設定が完了したら【OK】をクリックします。

- 6 「次へ」をクリックしてメディアプロファイルを選択します。

任意に用意したメディアプロファイルを使うときは、「参照」をクリックして、メディアプロファイルの保存先を指定します。

メディアメーカーなどからデバイスリンクプロファイルが提供されているときは、必要に応じて「拡張設定」をクリックして設定できます。



7 「完了」をクリックします。

印刷品質の削除

編集ダイアログボックスに「メディア設定番号」が表示されない機種は、印刷品質を削除できません。

1 リストで不要な印刷品質を選択して「削除」をクリックします。



2 確認のメッセージが表示されるので「はい」をクリックします。

3 「OK」をクリックします。

汎用のプリント情報を元に作成する

本ソフトウェアがあらかじめ用意している汎用プリント情報を元に使用するメディア用のプリント情報を作成する手順を説明します。

作成は、ウィザード形式で行われますので画面の指示に従って簡単に行えます。

1 ツールメニュー - 「プリセット管理」 - (プリント情報の管理) - (追加) の順でクリックします。

プリント情報追加ウィザードが始まります。

2 「新規作成して追加」を選択して「次へ」をクリックします。

3 画面の指示に従って、項目を選択します。

「メディア名」と「メディアベンダー」にこれから作成するプリント情報で使用する名称を入力します。

4 類似のメディアタイプを選択します。

5 「完了」をクリックします。

リストに作成したプリント情報が追加され、「設定内容」にプリント情報の内容が表示されます。

内容を変更したいときは、リストで追加したプリント情報を選択して (編集) をクリックします。

詳細は以下の手順 3 以降をご覧ください。

「取得済み EMX ファイル/用紙情報のプリント情報を元に作成する」 56 ページ

作成したプリント情報を流用する

取得、あるいは追加作成したプリント情報をファイルに保存して別のコンピュータにインストールしている本ソフトウェアで読み込んで流用できます。

ここでは、保存（エクスポート）と読み込み（インポート）の手順を説明します。

プリント情報のエクスポート

1 ツールメニュー - 「プリセット管理」 - (プリント情報の管理) の順でクリックします。

2 リストで流用するプリント情報のメディア名を右クリックし、表示されたメニューで「エクスポート」を選択します。

3 ファイルの保存先を選択して保存します。

保存したファイルは拡張子が(.epml)となります。

プリント情報をインポートして追加する

以下の手順でプリント情報ファイル(.epml)と EMX ファイル(.emx)をインポートして追加できます。

- 1 ツールメニュー - [プリセット管理] -  (プリント情報の管理) -  (追加) の順でクリックします。

プリント情報追加ウィザードが始まります。

- 2 [ファイルをインポートして追加] を選択して [次へ] をクリックします。

- 3 [参照] をクリックしてファイルが保存されている先を指定し、目的のファイルをインポートします。

- 4 [次へ] をクリックします。

本ソフトウェア以外のアプリケーションソフトでエクスポートしたプリント情報ファイル(.epml)、または EMX ファイル(.emx)をインポートしたときは、メディア設定値をプリンターにコピーします。メディア設定値をプリンターにコピーしないとインポートして追加したメディア名を選択して印刷したときに最適な印刷が行われません。本ソフトウェアでエクスポートしたプリント情報ファイル(.epml)をインポートしたときは、コピーの必要がないためファイル名がグレースアウトし選択できません。

コピーするときは、[プリンターにメディア設定値をコピーする] にチェックを付けて手順 5 に進みます。

コピーしないときは、手順 6 に進みます。

- 5 コピー元のファイルを選択して [コピー先の指定] をクリックします。

選択しているプリンターに登録されているメディア設定 (1~30) が表示されます。メディア設定値のコピー先を選択して [OK] をクリックします。

空欄の番号を選択すると追加されます。既に登録済みの番号を選択すると上書きされます。

複数のファイルをインポートしたときは、コピー元ファイルの選択とコピー先のメディア設定番号の選択を繰り返して、コピーしたいメディア設定値を全てコピーします。

- 6 [完了] をクリックします。

リストにインポートしたプリント情報が追加され、[設定内容] にプリント情報の内容が表示されます。

カラーマネジメント印刷

カラー設定

カラー設定では、印刷データに対する設定（入力）とジョブに対する設定（出力）ができます。

1 ジョブリストでカラー設定するジョブを選択します。

2 ジョブ設定メニューで （カラー設定）をクリックします。

設定エリアがカラー設定に変わります。

入力設定の概要



印刷データのカラー空間（CMYK/RGB）に応じて、該当のカラー空間で設定します。
カラー空間が確認できないときは、両方とも設定しておきます。

入力プロファイルの設定

印刷時に、印刷データの色をできる限り再現するには、印刷データの状態により、以下の通り設定してください。

参考

ジョブ設定メニューの ≡（基本設定）で、デバイスリンクプロファイルを設定した印刷品質を選択していると、[CMYK] と [RGB] の表示の右に [デバイスリンクプロファイル] と表示されます。[デバイスリンクプロファイル] と表示があるときは入力設定は行えません。

- 印刷データが、入力プロファイルを埋め込んだ状態の PDF で、そのプロファイルを適用して印刷したい場合
[埋め込みプロファイルを優先する] にチェックを付けます。PDF は、データ中の画像ごとにプロファイルの埋め込み/非埋め込み設定が行えます。プロファイルが埋め込まれていない画像には、本ソフトウェアの入力プロファイル設定が適用されます。

参考

データ中に複数の入力プロファイルが埋め込まれていると、プレビューと印刷結果が異なることがあります。

- 印刷データに入力プロファイルが埋め込まれていない・どの入力プロファイルで作成されたかわからない場合
[埋め込みプロファイルを優先する] のチェックを外して、以下の入力プロファイルを選択することをお勧めします。

色鮮やかに印刷したいとき

CMYK	EpsonWideCMYK_Ver2.icc ^{*1}
RGB	AdobeRGB1998.icc

一般的な印刷をしたいとき

CMYK	Japan Color Coated など
RGB	EwsRGB.icm ^{*2} など

^{*1} エプソンが提供する広色域入力色プロファイルです。一般的な印刷色より広い色域で印刷できます。サイン用途など色鮮やかに印刷したいときにお勧めです。
印刷結果がどのようになるかをデータ作成時に確認するときは、以下の設定をしてください。

 「広色域入力色プロファイルでの印刷結果をデータ作成時に画面で確認する」 63 ページ

^{*2} エプソンが提供する sRGB 色空間用のプロファイルです。

参考

任意に用意した入力プロファイルを使いたいときは、事前に以下のフォルダーに保存しておくリストボックスから選択できます。

- CMYK の場合
C:\ProgramData\EPSON\Epson Edge Print\Color\Common\icc\cmyk
- RGB の場合
C:\ProgramData\EPSON\Epson Edge Print\Color\Common\icc\rgb

レンダリングインテントの設定

入力プロファイルから出力プロファイルへ色空間を変換する際の変換方式を以下から選択できます。

知覚的
画像全体のバランスをとって変換します。写真画像に適しています。
相対的な色域を維持
入力と出力の色域座標が一致するように、さらに白色点（色温度）の座標値が一致するように変換します。多くのカラーマッチング時に使用されます。
彩度
色の正確さよりも色の鮮やかさを重視して変換します。グラフや図表など、明るい色使いが好まれるビジネスグラフィックスに適しています。
絶対的な色域を維持
色の正確さを保ちつつ変換します。色の正確さが重視されるロゴカラーの印刷などに適しています。

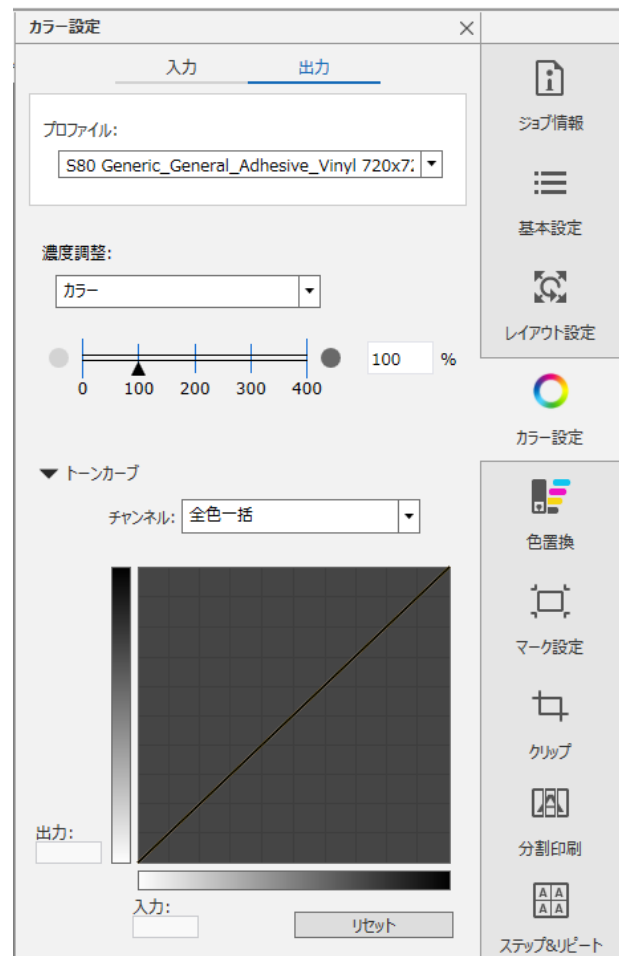
その他のカラー設定

黒点補正
入力プロファイルから出力プロファイルへ、色空間の変換をしたときシャドウの階調が潰れると感じる時にチェックを付けてください。
純ブラック
黒ベタの文字、線画、画像をブラックのみで出力したいときにチェックを付けます。 チェックを付けると印刷データ中の黒ベタの部分（CMYK : (0, 0, 0, 100%), RGB : (0, 0, 0)）をブラックのみで出力します。 中間調（CMYK : (0, 0, 0, 50%), RGB : (30, 30, 30) など）に対しては効果がありません。
墨版保持
CMYK データでのみ設定できます。 データ中のブラック単色部分の値にかかわらず（CMYK : (0, 0, 0, X%)の X%が 1~100%のいずれでも）ブラックのみで出力したいときにチェックを付けます。

CMYK 純色保持

CMYK データでのみ設定できます。
印刷データ中のシアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの単色部分をそれぞれ純色で出力したいときにチェックを付けます。特定の色だけを純色で出力したいときは、対象の色のチェックボックスにチェックを付けます。
純色はプリンターのインク色に依存します。

出力設定の概要



メディアプロファイルの変更

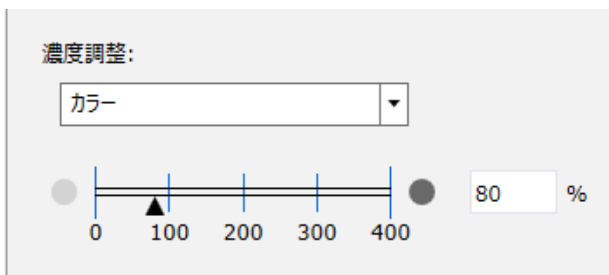
メディアプロファイルは出力プロファイルともいい、ジョブをプリンターに出力するときに使用されます。ジョブ設定メニューの ≡（基本設定）の [メディア名] で選択したメディアに対応する最適なメディアプロファイルが設定されているため、通常は変更の必要はありません。変更する必要があるときは、リストボックスから目的のプロファイルを選択して設定します。

インク打ち込み量の調整

「濃度調整」では、リストボックスで選択したインクの打ち込み量を調整できます。▲を左右にドラッグして濃度を設定します。

最初に▲が位置する濃度が現在の濃度です。右に移動するほど濃度が濃くなります。ただし、あまり濃くすると印刷時ににじみや汚れの原因となります。

- WH/MS 搭載機種を操作対象のプリンターとして選択しているときは、設定しているカラーモードに応じて [ホワイト] / [メタリックシルバー] を選択して濃度の調整ができます。
- 蛍光色インク搭載機種を操作対象のプリンターとして選択しているときは、設定に応じて [蛍光イエロー] / [蛍光ピンク] を選択して濃度の調整ができます。
- UV インク搭載機種を操作対象のプリンターとして選択しているときは、[ホワイト] / [バーニッシュ] を選択して濃度の調整ができます。
また、ジョブ設定メニューの ≡ (基本設定) の [層数と重ね順の設定] で、カスタマイズして作成した層数や重ね順を選択しているときは、層ごとに濃度の調整ができます。
- SC-S9150 や DTF (Direct to Film) 対応機種を操作対象のプリンターとして選択しているときは、設定しているカラーモードに応じて、WH 印刷用の版のカラー画像と重なる領域のホワイトインク濃度と、カラー画像と重ならない領域のホワイトインク濃度をそれぞれ調整できます。
- 上記以外の機種で [濃度調整] のリストボックスに [カラー (ブラック以外)] と [ブラック] の 2 種類が表示されるときは、ブラックインクとそれ以外のインクでそれぞれ濃度の調整ができます。

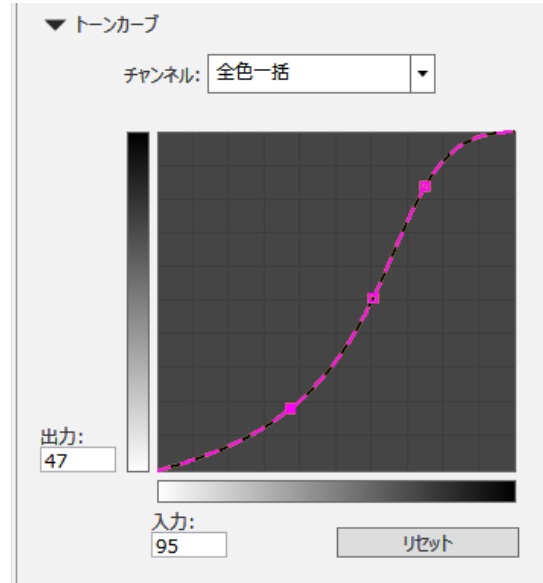


トーンカーブの設定

「トーンカーブ」では、出力色の濃度や色合いを微調整できます。

「チャンネル」で調整する色を選択して以下の手順で調整します。

- ① トーンカーブの線上をクリックして操作点を設定します。操作点は複数追加できます。
不要な操作点は、選択して【Delete】キーを押すと削除できます。
- ② 操作点をドラッグして調整します。
【リセット】をクリックすると調整結果を戻せます。



調整した結果はプレビューエリアに反映されます。

広色域入力色プロファイルでの印刷結果をデータ作成時に画面で確認する

ここでは、印刷データ作成時のプレビュー表示色を以下の操作で一時的に変更して印刷結果を確認する方法を紹介します。画像処理ソフトの作業用スペースの設定は変更されません。

Windows 11 で Adobe Illustrator 2024 使用時を例に説明します。

1 エプソン専用広色域入力プロファイルをお使いのコンピューターにインストールします。

RIP サーバーの以下フォルダーにある EpsonWideCMYK_Ver2.icc をコピーして、お使いのコンピューターに保存します。

記憶装置のドライブ¥Program Files¥Epson Software ¥Epson Edge Print¥Printer¥Common¥Color ¥icc¥cmyk

Windows

EpsonWideCMYK_Ver2.icc を右クリックして [プロファイルのインストール] を選択します。

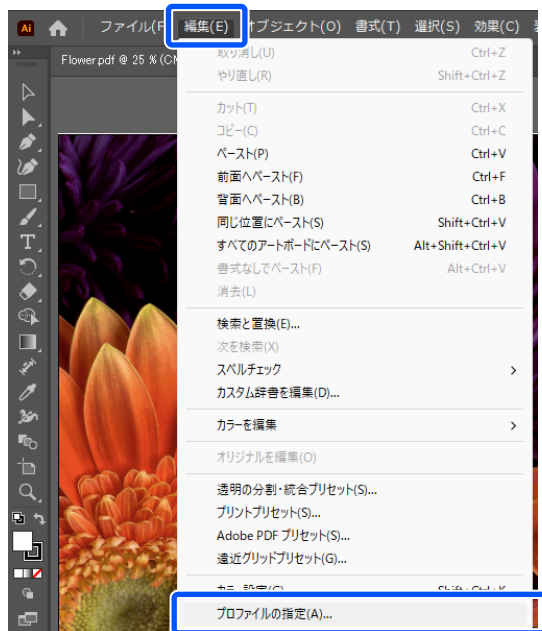
Mac OS

以下フォルダーに EpsonWideCMYK_Ver2.icc をコピーします。

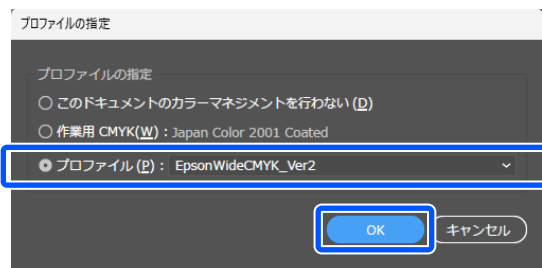
[ライブラリ] - [ColorSync] - [Profiles]

2 Adobe Illustrator を起動して印刷データを開きます。

3 【編集】 - 【プロファイルの指定】の順にクリックします。



4 【プロファイル】で【EpsonWideCMYK_Ver2】を選択して【OK】をクリックします。



プレビューの表示色がプロファイルを適用した状態に更新されます。

5 確認終了後は、印刷データを保存せずに Adobe Illustrator を終了します。

Adobe Illustrator を終了するとプロファイルの指定は解除されます。

印刷データを保存するとエプソン専用広色域入力プロファイルが埋め込まれ、元の状態から変更されます。

ジョブの出力色を置換する

色置換では、ジョブリストで選択しているジョブで使用している以下の色に対して、出力色を置換できます。

- ジョブで使用している全ての特色

ジョブのデータ形式が、PDF/EPS/PS/PSD* の場合に限ります。

* PSD で色置換できるのは、以下のいずれかの機種をお使いで、Epson Cloud Solution PORT のアカウントを登録済みのときに限ります。

- SC-F10050H LcLm (ライトシアン/ライトマゼンタインク搭載)
- SC-S9150
- SC-S8150

色ごとに版を分けている印刷データのときは、以下をご覧ください。

🔗 [「版ごとに出力色を設定する \(分版カラー設定\)」 76 ページ](#)

- プレビュー上で、スポイトツールで抽出した色
本ソフトウェアの対応データ全てで機能が有効です。

参考

- 画像処理ソフトの特色 (スポットカラー) 設定で White/Silver/FluoYellow/FluoPink/Varnish の設定をした場合を除き、プロセスカラーに変換して印刷します。
特色 (スポットカラー) : 商用印刷で使われる、あらかじめ混合済みの特殊なインクを指します。
プロセスカラー : 基本の CMYK インクを組み合わせて色を指定する方式です。
- 特色設定 (White/Silver/FluoYellow/FluoPink/Varnish) された画像を含むジョブでオーバープリント設定された部分は、プレビューと印刷結果が異なることがあります。

以下のような場合に色置換を行うと、出力色を適切な色に調整したり色の変更をしたりできます。

出力色を適切な色に調整/置換する

印刷データで同じ特色 (スポットカラー) や色値を設定していても、印刷に使用するメディアや環境等で印刷結果の色 (出力色) が異なって見えることがあります。

色置換で出力色を調整/置換するには、大きく以下の 5 通りがあります。

- 印刷物を確認して色値を設定する

🔗 [「色置換の手順」 65 ページ](#)

- 出力色調整チャートから目的の出力色を選択する

🔗 [「出力色調整チャートから出力色を設定する」 66 ページ](#)

ただし、蛍光色インク搭載機種を操作対象のプリンターとして選択しているときは、Fy,Fp のどちらかでも 0 より大きな値のときには、機能が無効となります。

- 対応する測色器を接続しているとき
色見本を測色した結果を出力色として設定できます。
☞「対応測色器」143 ページ
☞「色見本を測色して出力色を設定する」68 ページ
- 別のジョブで設定した色置換情報を保存しているとき
別のジョブで設定した色置換情報を保存しているときに、その情報を出力色として設定できます。
☞「設定した色置換情報を流用する」68 ページ
- Epson Cloud Solution PORT にカラーパレットを登録しているとき
カラーパレットの色を出力色として設定できます。
☞「Color Library から出力色を設定する」69 ページ

出力色を蛍光色に置換する

蛍光色インク搭載機種を操作対象のプリンターとして選択しているときは、ジョブ内の特定の色を選択して蛍光色に置換できます。

ジョブ全般に対する出力色の設定は、カラーコレクションで行います。

☞「カラーコレクションの使い方」70 ページ

色置換の手順

- 1 ジョブリストで色置換するジョブを選択します。

プレビューエリアに印刷画像が表示されます。

- 2 ジョブ設定メニューの（色置換）をクリックします。

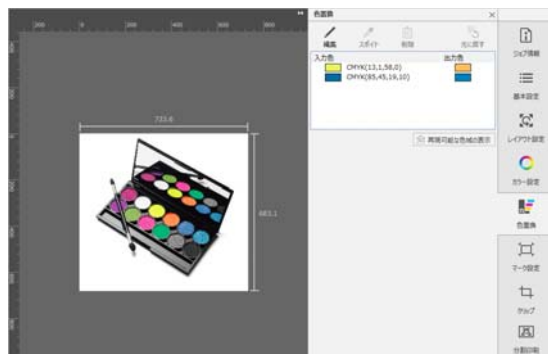
設定エリアが色置換設定に切り替わります。

ジョブ内にカラーコレクションに登録している色が使われていれば、その色に設定されている出力色が表示されます。

参考

リストの「入力色」や「出力色」にが表示された特色は色域外です。色値の調整を実行しても、お使いのプリンターやメディアでは色を完全には再現できません。
お使いのライセンスの種類に応じて、が表示される特色が異なることがあります。
「再現可能な色域の表示」をクリックすると、選択したジョブで使用しているメディアプロファイルの色域や、リストの入力色や出力色の座標を画像で確認できます。

☞「再現可能な色域を確認する（ガマットビューアー）」80 ページ



- 3 （編集）をクリックします。

- 4 出力色を変更します。

出力色は、通常は C,M,Y,K の色値で設定します。C,M,Y,K 以外に WH/MS/FY/FP/Vr のインク濃度も設定するときは、[出力色指定方法] で [CMYK + WH] / [CMYK + MS] / [CMYK + Fy] / [CMYK + Fp] / [CMYK + FyFp] / [CMYK + WH,Vr] / [CMYK + Vr] を選択します。

出力色を Lab 値で設定したいときは、[出力色指定方法] で [Lab] を選択します。

カラーコレクションに登録されている色の出力色を変更するとき

- ① 変更する色を選択します。
- ② [設定内容] に、選択した色の情報が表示されるので [C]、[M]、[Y]、[BK] や [WH]、[MS]、[FY]、[FP]、[Vr] に色値または濃度を設定して出力色を設定します。
[出力色指定方法] で [Lab] を選択したときは、[L]、[a]、[b] に色値を設定して出力色を設定します。

画像の任意の色を置換したいとき

- ① （スポイト）をクリックします。
プレビューエリアの印刷画像にマウスカーソルを移動すると、カーソルがスポイトに変わります。
- ② プレビュー上の画像の、置換したい色上にスポイトを合わせてクリックします。
色置換設定に抽出した色が追加されます。

③ 追加された色を選択します。

【設定内容】に、選択した色の情報が表示されるので [C]、[M]、[Y]、[BK] や [WH]、[MS]、[FY]、[FP]、[Vr] に色値を設定して出力色を設定します。

【出力色指定方法】で [Lab] を選択したときは、[L]、[a]、[b] に色値を設定して出力色を設定します。

特色設定 (White/Silver/FluoYellow/FluoPink/Varnish) された箇所や複数の特色が混ざっている箇所は、スポイトで色を抽出できないことがあります。

出力色の変換方式を設定したいとき

以下の設定は、SC-V7000 または SC-V4000 を操作対象のプリンターとして選択しているときに限り有効です。

設定した出力色に色置換する際の変換方式を【レンダリングインテント】で設定できます。選択できる変換方式は以下の通りです。

知覚的
画像全体のバランスをとって変換します。写真画像に適しています。
相対的な色域を維持
入力と出力の色域座標が一致するように、さらに白色点（色温度）の座標値が一致するように変換します。多くのカラーマッチング時に使用されます。
彩度
色の正確さよりも色の鮮やかさを重視して変換します。グラフや図表など、明るい色使いが好まれるビジネスグラフィックスに適しています。
絶対的な色域を維持
色の正確さを保ちつつ変換します。色の正確さが重視されるロゴカラーの印刷などに適しています。

各色のインク量を指定して出力色を調整したいとき

操作対象のプリンターとして以下のいずれかを選択して、ジョブのデータ形式が PDF/PSD のときに限り有効です。

- SC-F10050H LcLm (ライトシアン/ライトマゼンタインク搭載)
- SC-S9150
- SC-S8150

①  (ログイン) をクリックして、Epson Cloud Solution PORT にログインします。

② リストから調整する色を選択します。

③ 【出力色指定方法】で【全てのインク色】を選択します。

【出力色指定方法】の下に、操作対象のプリンターに搭載されている全てのインク色が表示されます。

④ プリンターに搭載されているインクの各色のインク量を設定して出力色を設定します。

参考

【出力色指定方法】で【全てのインク色】を選択して設定した各色のインク量の値をコピーして、別のジョブに設定できます。
入力欄の下に【コピー】をクリックすると、表示されているインクセットとインク量がコピーされます。
コピーした値を別のジョブに設定するときは、対象のジョブのインク量入力画面を表示して【貼り付け】をクリックします。【貼り付け】にマウスポインターを合わせると、クリップボードに保存されているインクセットとインク量が表示されます。

5

 (編集) をクリックします。

プレビューエリアの画像に、手順 4 で変更した出力色が反映されます。

参考

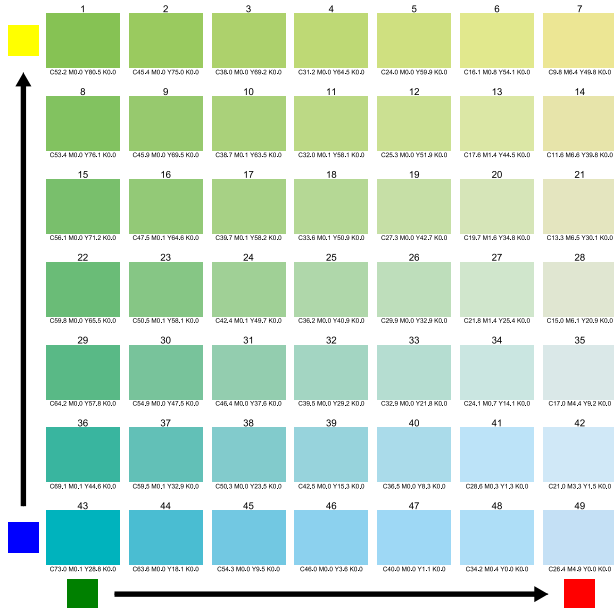
手順 4 で「各色のインク量を指定して出力色を調整したいとき」の手順で出力色を変更したときは、プレビューエリアの画像全体の色合いが変わります。プレビュー全体の色合いが変わっても、印刷結果には出力色を変更した色だけに変更内容が反映されます。

出力色を変更後は実際に印刷して色合いを確認してください。

出力色調整チャートから出力色を設定する

出力色調整チャートは、目的の出力色と似た色合いのカラーパッチを一覧で印刷するためのジョブです。出力色調整チャートジョブを印刷してその中から目的の出力色を選びます。各カラーパッチには色値が明記されており、選択した色の色値を出力色に設定します。

カラーパッチの並びは、右方向のカラーパッチほど赤が強くなり上に行くほど黄が強くなるため、右上のカラーパッチほど濃い赤に近づきます。



以下で、ジョブ上の色をスポイトで抽出して出力色調整チャートジョブを作る方法を例に説明します。

1 ジョブリストで色置換するジョブを選択してジョブ設定メニューの  (色置換) をクリックします。

設定エリアが色置換設定に切り替わります。

2  (編集) をクリックします。

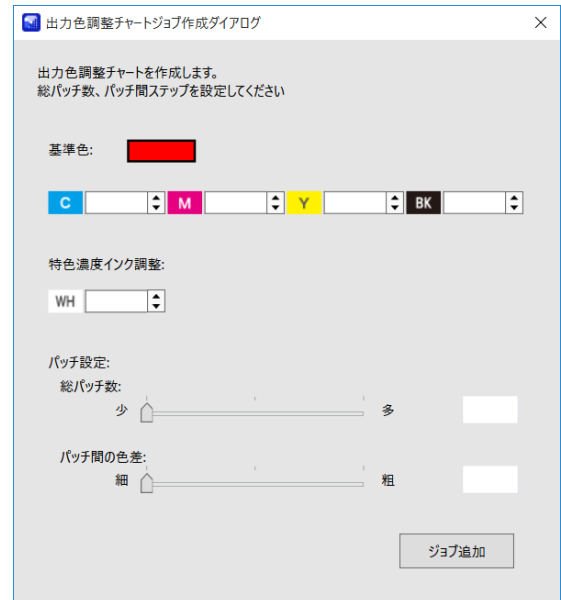
3 リストから置換対象の特色を選択します。スポイトで対象の色を抽出して選択することもできます。

色の抽出は、 (スポイト) をクリックしてプレビュー上の画像の、置換したい色上にスポイトを合わせてクリックします。

【設定内容】に抽出した色の情報が表示されます。

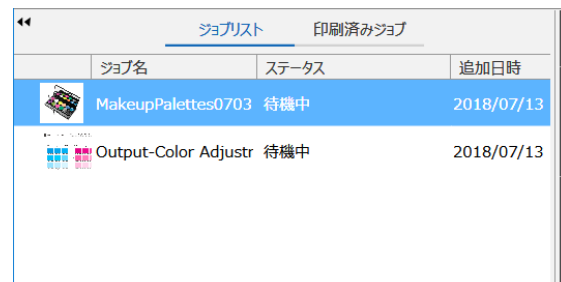
4 【出力色調整チャートジョブ作成】をクリックします。

出力色調整チャートジョブ作成ダイアログが表示されます。



5 【総パッチ数】と【パッチ間の色差】を設定して【ジョブ追加】をクリックします。

ジョブリストに出力色調整チャートジョブが追加されます。



6 ジョブリストで出力色調整チャートジョブを選択して印刷します。

印刷の方法は一般のジョブと同様です。

実際に印刷するときと同じ印刷設定とメディアで印刷してください。ただし、 (基本設定) と  (カラー設定) は、変更しないでください。変更すると出力色調整チャートが正しい色合いで印刷されず、結果正しい色置換が行われません。

7 印刷した出力色調整チャートから出力色を選びます。

選択した色の色値を確認します。

- 8** ジョブリストで手順 1 と同じジョブを選択してジョブ設定メニューの （色置換）をクリックします。

設定エリアが色置換設定に切り替わります。

- 9** [入力色] で手順 3 で抽出した色を選択して、（編集）をクリックします。

- 10** 出力色調整チャートで選択した色を出力色に設定します。

[設定内容] の [C]、[M]、[Y]、[BK] に、手順 7 で選択した色の色値を設定します。

- 11** （編集）をクリックします。

プレビューエリアの画像に、設定した出力色が反映されます。

出力色を変更後は、実際に印刷して色合いを確認してください。

色見本を測色して出力色を設定する

以下の操作の前に、測色器を RIP サーバーに接続して使用できる状態にしてください。測色器の接続や使い方は、測色器に付属のマニュアルをご覧ください。

- 1** ジョブリストで色置換するジョブを選択してジョブ設定メニューの （色置換）をクリックします。

設定エリアが色置換設定に切り替わります。

- 2** 変更する色を選択して （編集）をクリックします。

- 3** [設定内容] の [測色] をクリックします。



画面の指示に従って、カラーキャリブレーションを行ってから色見本を測色します。

測色が完了すると出力色の色値が測色結果に応じて変更されます。

- 4** （編集）をクリックします。

プレビューエリアの画像に、手順 3 で変更した出力色が反映されます。

出力色を変更後は実際に印刷して色合いを確認してください。

設定した色置換情報を流用する

ジョブリストで選択しているジョブで調整/置換した出力色を保存して、別のジョブに流用できます。

出力色を保存するジョブのメディア設定と、保存した出力色を使用するジョブのメディア設定は同じ設定にしてください。2つのジョブのメディア設定が異なると、印刷結果の色（出力色）が異なって見えることがあります。

 [「ジョブの基本設定」16 ページ](#)

ここでは、調整/置換した出力色の保存と、保存した出力色を別のジョブに使用する手順を説明します。

出力色の保存

- 1** ジョブリストで色置換するジョブを選択してジョブ設定メニューの （色置換）をクリックします。

設定エリアが色置換設定に切り替わります。

- 2** 出力色を適切な色に調整/置換します。

出力色の調整/置換方法の詳細は、以下をご覧ください。

 「色置換の手順」 65 ページ

色置換設定のリストに調整/置換した結果が表示されます。

- 3 色置換設定のリストで保存する色置換情報を選択して、[設定内容の保存] をクリックします。

色置換情報の選択ダイアログが表示されます。

- 4 出力色の色値などを確認します。

[メモ] に保存する出力色の覚え書きを入力できます。

- 5 [OK] をクリックして保存します。

保存した出力色を使用する

出力色を保存したプリンターと、保存した出力色を使用するプリンターの [出力色指定方法] が異なるときに、出力色を使用するプリンターに搭載されていないインク色は使用できません。例えば、蛍光色インク搭載機種で蛍光イエロー(FY)の出力色を保存しても、蛍光色インク非搭載機種には使用できません。

- 1 ジョブリストで色置換するジョブを選択してジョブ設定メニューの  (色置換) をクリックします。

設定エリアが色置換設定に切り替わります。

- 2  (編集) をクリックします。

- 3 リストから置換対象の特色を選択します。スポイトで対象の色を抽出して選択することもできます。

色の抽出は、 (スポイト) をクリックしてプレビュー上の画像の、置換したい色上にスポイトを合わせてクリックします。

[設定内容] に抽出した色の情報が表示されます。

- 4 [保存した色置換情報から選択] をクリックします。

色置換情報の選択ダイアログが表示されます。

- 5 リストから使用する出力色を選択して [適用] をクリックします。

[設定内容] に選択した色の情報が表示されます。

- 6  (編集) をクリックします。

プレビューエリアの画像に、選択した出力色が反映されます。

Color Library から出力色を設定する

以下の機能は、Epson Cloud Solution PORT のアカウントを登録済みのときに限り実行できます。ただし、Epson Cloud Solution PORT のアカウントを登録済みでも、お使いの国と地域によっては実行できないことがあります。Epson Cloud Solution PORT の Color Library にアップロードしたカラーパレットの色を出力色に設定できます。Epson Cloud Solution PORT や Color Library の詳細は、Epson Cloud Solution PORT のウェブサイトをご覧ください。

ここでは、Color Library にアップロードしたカラーパレットの色を出力色に設定する手順を説明します。

- 1 メイン画面の  (ログイン) をクリックして、Epson Cloud Solution PORT にログインします。

- 2 ジョブリストで色置換するジョブを選択してジョブ設定メニューの  (色置換) をクリックします。

設定エリアが色置換設定に切り替わります。

- 3  (編集) をクリックします。

- 4 リストから置換対象の特色を選択します。スポイトで対象の色を抽出して選択することもできます。

色の抽出は、 (スポイト) をクリックしてプレビュー上の画像の、置換したい色上にスポイトを合わせてクリックします。

[設定内容] に抽出した色の情報が表示されます。

- 5 [Color Library から選択] をクリックして、もう一度 **Epson Cloud Solution PORT** にログインします。

Color Library 画面が表示されます。

- 6 **Color Library** 画面のカラーパレットのリストから出力色に設定する色を選択します。

カラーパレット名の左側の ▶ をクリックすると、カラーパレット名の下に色のリストが表示されます。

リストから色を選択すると、選択した色の詳細情報が画面右側に表示されます。

参考

カラーパレット名をクリックすると、選択したカラーパレットの詳細情報が画面右側に表示されます。画面右側に表示されたカラーパレットの詳細情報から出力色に設定する色の選択はできません。出力色に設定する色は、画面左側の色のリストから選択してください。

- 7 [適用] をクリックします。

本ソフトウェアの [設定内容] に選択した色の情報が表示されます。

- 8 (編集) をクリックします。

プレビューエリアの画像に、選択した出力色が反映されます。

カラーコレクションの使い方

同じ特色を頻繁に複数のジョブで印刷するときは、カラーコレクションにその特色名と出力色の情報を登録しておきます。印刷データで同じ特色を設定していれば、印刷するジョブ全般にカラーコレクションに登録した出力色が適応されるため、一括して出力色の管理ができます。

色置換できるのは、以下のデータ形式のジョブに限られます。

- PDF
- EPS
- PS

データ中の画像にカラーコレクションに登録されていない特色が設定されているときは、Illustrator や Photoshop で設定された色合いで印刷されます。

カラーコレクションでは、特色をグループで分けて登録できるので、同じ特色の出力色をメディアタイプごとに変えて登録することもできます。このとき必要なグループだけを有効にしたり、グループの優先順位を設定したりして印刷時に適応される特色の出力色を決められます。

☞ [必要な特色だけを有効にするとき] 72 ページ

☞ [グループの優先順位付け] 72 ページ

カラーコレクションに登録している特色はグループ単位でエクスポートできます。

カラーコレクションには、以下のファイルをインポートできます。

- エクスポートしたファイル(.epcc)
- Illustrator の Adobe Color Book ファイル(.acb)
- Photoshop のスウォッチライブラリーファイル(.aco)

☞ [特色をエクスポートする] 73 ページ

☞ [特色ファイルをインポートする] 73 ページ

カラーコレクションのグループ単位で色見本印刷ができます。

デザイナーと印刷担当者が印刷色を打ち合わせるときに便利です。

☞ [色見本を印刷する] 73 ページ

カラーコレクションのグループ単位で特色を一括して調整できます。

グループに登録済みの特色を別のメディアタイプや印刷設定で使用する時や、出力色を印刷サンプルなどの指定する色に合わせたいときに便利です。

なお、一括して調整できるのは、Lab 値で登録されている特色のみです。

🔗 [「特色を一括して調整する」73 ページ](#)

カラーコレクションへの特色の登録方法は、以下をご覧ください。

特色の編集/追加

登録済みの特色の出力色の変更や新たに特色名と出力色を追加するには、大きく以下の 2 通りの方法があります。

- 印刷物を確認して色値を設定する

🔗 [「編集/追加の手順」71 ページ](#)

- 色見本を測色した結果を出力色として設定する
対応する測色器を接続しているときに限り実行できます。

🔗 [「対応測色器」143 ページ](#)

🔗 [「色見本を測色して出力色を設定する」71 ページ](#)

カラーコレクションのグループおよび特色の登録上限は以下の通りです。

- 最大グループ数：64 個
- 最大特色数：4000 個/グループ

編集/追加の手順

- 1 ツールメニュー - **「プリセット管理」** - 📄 (カラーコレクション) - ✎ (編集) の順でクリックします。
追加をする場合は、**+** (追加) をクリックします。

追加を選択した場合は、ウィザードに従ってグループ名を指定します。

グループ名を入力すると新規にグループが作成されます。

コンボボックスで既に存在するグループ名を選択することもできます。

〔設定内容〕に選択した特色の情報が表示されます。

- 2 **「出力色指定方法」** で **Lab 値** か **CMYK** かを選択します。

メディアタイプを頻繁に変更して印刷するときは Lab 値が適しています。

印刷するメディアタイプがあまり変わらない、決まった色値で印刷したいときは CMYK が適しています。

C,M,Y,K 以外に WH/MS/FY/FP/Vr のインク濃度も設定するときは、**「出力色指定方法」** で **[CMYK + WH] / [CMYK + MS] / [CMYK + Fy] / [CMYK + Fp] / [CMYK + FyFp] / [CMYK + WH,Vr] / [CMYK + Vr]** を選択します。

選択した指定方法に応じて入力ボックスが変わります。

- 3 出力色として使用するカラー定義値を入力します。

- 4 入力が完了したら **「OK」** をクリックします。

色見本を測色して出力色を設定する

以下の操作の前に、測色器を RIP サーバーに接続して使用できる状態にしてください。測色器の接続や使い方は、測色器に付属のマニュアルをご覧ください。

- 1 変更時は、リストで変更対象の特色名をクリックして **✎** (編集) をクリックします。
追加をする場合は、**+** (追加) をクリックします。

追加を選択した場合は、ウィザードに従ってグループ名を指定します。

グループ名を入力すると新規にグループが作成されます。コンボボックスで既に存在するグループ名を選択することもできます。

- 2 **「出力色指定方法」** で **Lab 値** か **インク色** かを選択します。

選択した指定方法に応じて入力ボックスが変わります。

3 [測色] をクリックします。



画面の指示に従って、カラーキャリブレーションを行ってから色見本を測色します。

測色が完了すると出力色の色値が測色結果に応じて変更されます。

出力色を変更後は実際に印刷して色合いを確認してください。

インポート、追加した特色を元にして異なる特色を作成するとき

リストで元にしたい特色を選択して  (複製) をクリックします。

複製が作成されますので、複製した特色を編集します。

不要な特色を削除するとき

リストで不要なグループ、または特色を選択して  (削除) をクリックします。

必要な特色だけを有効にするとき

メディアタイプ別にグループを作り、メディアに応じて同じ特色名で出力色を変えているときなど、同じ特色名で複数のカラー定義を登録しているときは、これから印刷するジョブに対して適応しないグループを以下の手順で設定できます。

リストでジョブに対して適応しないグループを選択して  (無効化) をクリックします。

グループ名左のチェックが消えて無効になります。有効にしたいときは、再びグループ名を選択して  (有効化) をクリックします。

グループの優先順位付け

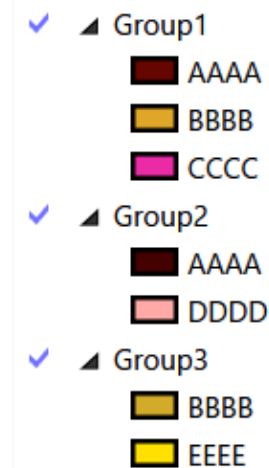
複数のグループに分けて特色を管理しているときは、グループに優先順位を付けて印刷するジョブに対して適応する特色を指定できます。

1 優先順位を指定するグループ名を選択して / をクリックします。

下図の構成でグループ別に特色が登録されているときを例に説明します。

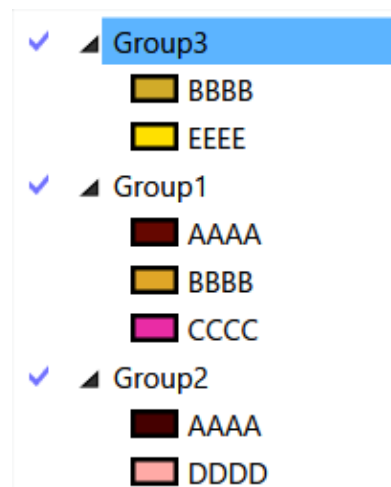
印刷するジョブに Group3 の BBBB を適応したいときは、[Group3] を選択して  をクリックします。

[Group3] の順番が一つ上がります。



2 [Group3] を選択してもう一度 をクリックします。

[Group3] がリストの一番上に移動しました。リストの先頭が一番優先順位が高く、下になるに従って優先順位が下がります。この例では、[Group1] にも特色 BBBB が登録されていますがジョブに特色 BBBB が設定された画像があれば [Group3] の特色 BBBB の出力色設定が適応されます。



同じジョブに特色 AAAA が設定された画像が含まれていれば [Group1] の特色 AAAA の出力色設定が適応されます。同様に特色 DDDD が設定された画像が含まれていれば [Group2] の特色 DDDD の出力色設定が適応されます。このように同名の特色はリストの順番が上にあるグループから適応されます。

特色ファイルをインポートする

インポートできるファイルは以下の通りです。

- エクスポートしたファイル(.epcc)
- Illustrator の Adobe Color Book ファイル(.acb)
- Photoshop のスウォッチライブラリーファイル(.aco)

- 1 ツールメニュー - [プリセット管理] -  (カラーコレクション) -  (インポート) の順でクリックします。

カラーコレクション インポートウィザードが始まります。

- 2 インポートするファイルを選択します。

Illustrator の Adobe Color Book ファイル(.acb)や Photoshop のスウォッチライブラリーファイル(.aco) をインポートできます。

- 3 追加するグループ名を指定します。

特色はグループに分けて管理できます。グループ名を入力すると新規にグループが作成されます。コンボボックスで既に存在するグループ名を選択することもできます。

- 4 [完了] をクリックします。

リストにインポートした特色が追加されます。

特色をエクスポートする

特色は、グループ単位でエクスポートして、別のコンピュータにインストールしている本ソフトウェアでインポートして流用できます。

- 1 ツールメニュー - [プリセット管理] -  (カラーコレクション) の順でクリックします。

- 2 リストでエクスポートするグループを選択して右クリックし、表示されたメニューで [エクスポート] を選択します。

- 3 ファイルの保存先を選択して保存します。

保存したファイルは拡張子が(.epcc) となります。

色見本を印刷する

選択したグループに登録されている各色を一覧にした色見本ジョブを作成できます。色見本ジョブは自動でジョブリストに追加されます。ジョブリストで選択して印刷お使いください。無効になっているグループも選択して色見本ジョブを作成できます。

- 1 ツールメニュー - [プリセット管理] -  (カラーコレクション) の順でクリックします。

- 2 色見本ジョブを作成するグループを選択して右クリックし、表示されたメニューで [色見本ジョブ] を選択します。

色見本ジョブ作成ダイアログが表示されます。

- 3 色見本のページサイズと使用するクイックセットを設定して [OK] をクリックします。

色見本ジョブが作成されジョブリストに追加されます。選択したグループ名がジョブ名になります。

WH/MS 搭載機種で透明フィルムに色見本を印刷するとき

透明フィルムに下地でホワイトを印刷してからカラーの印刷をする用途の色見本を作りたいときは、ジョブ設定メニューの  (多層印刷設定) で WH 印刷用の版を自動生成してから印刷することをお勧めします。

 [「WH/MS/Vr 印刷用の版を自動生成して印刷」 89 ページ](#)

特色を一括して調整する

特色を一括して調整するときの作業の流れは、以下の通りです。

なお、本機能で調整できるのは Lab 値で登録されている特色のみです。

調整したい特色がカラーコレクションの同じグループに登録されていることを確認

特色が登録されていないときはカラーコレクションに登録します。

🔗 [「特色の編集/追加」 71 ページ](#)



調整後の特色を使用するジョブ設定一式がクイックセットに保存されていることを確認

クイックセットが作成されていないときはジョブ設定一式をクイックセットに保存します。

🔗 [「クイックセットの作成」 50 ページ](#)



特色チャートを作成して印刷する

調整する特色や測色方法を選択し、特色チャートジョブを作成して印刷します。

🔗 [「特色チャートの作成と印刷」 74 ページ](#)



測色器を RIP サーバーに接続する

🔗 [「対応測色器」 143 ページ](#)

🔗 測色器に付属のマニュアル



印刷した特色チャートを測色する

選択した測色方法で特色チャートを測色します。測色後に特色の調整を実行します。

🔗 [「特色チャートの測色と調整」 75 ページ](#)

特色チャートの作成と印刷

1 ツールメニュー - [「プリセット管理」](#) -  (カラーコレクション) の順でクリックします。

2 リストで調整するグループを選択して  (一括調整) をクリックします。

カラーコレクション一括調整ウィザードが始まります。

3 調整後の特色を使用するときのクイックセットを選択して、[「次へ」](#) をクリックします。

クイックセットは事前に作成しておく必要があります。詳細は以下をご覧ください。

🔗 [「クイックセットの作成」 50 ページ](#)

4 特色チャートを作成する特色にチェックを付けて、[「印刷」](#) をクリックします。

[「全て選択」](#) をクリックすると、Lab 値で登録されている特色が全て選択されます。

ただし、手順 3 で選択したクイックセットのジョブ設定で色域外の特色は、 が表示され、選択されません。

参考

 が表示された特色を調整したいときは、[「色域外の特色を調整する」](#) にチェックを付けると選択できるようになります。

ただし、調整を実行しても、お使いのプリンターやメディアでは色を完全には再現できません。

5 測色器と測色方法を選択して [「実行」](#) をクリックします。

測色方法は以下の 2 種類の方法があります。

スポット測色

特色チャートの色を 1 つずつ測色します。

ただし、手順 4 で選択した特色が 100 個を超えるとときはスポット測色ができないため、[「測色方法」](#) に表示されません。

スキャン測色

横一列の特色チャートの色を使って、測色器を横にスライドさせて測色します。

参考

- ・ [「メディア特性に合わせて測色結果を補正する」](#) のチェックボックスが表示されたときは、チェックを付けて特色チャートを作成することを推奨します。
 [「メディア特性に合わせて測色結果を補正する」](#) にチェックを付けて作成した特色チャートを使って調整した特色の色合いが想定と異なるときは、チェックを外して特色チャートを作成してください。

- ・ [「メディア特性に合わせて測色結果を補正する」](#) のチェックボックスの表示条件は、ツールメニュー - [「環境設定」](#) -  (一般) の順でクリックして、[「特性を検出するメディアタイプ」](#) で変更できます。

- 6** [特色チャートがジョブリストに追加されました。] と表示されたら [完了] をクリックします。

特色チャートジョブが作成されジョブリストに追加されます。ジョブ名は以下になります。
 <グループ名>_<クイックセット名>
 _AdjustmentChart.pdf

- 7** ジョブリストで特色チャートジョブを選択し、ジョブツールバーの  (印刷) をクリックして印刷を開始します。

参考

印刷した特色チャートは、十分に乾燥させてから測色してください。
 お使いのインクやメディアに応じて乾燥時間は異なります。

特色チャートの測色と調整

以下の操作の前に、測色器を RIP サーバーに接続して使用できる状態にしてください。測色器の接続や使い方は、測色器に付属のマニュアルをご覧ください。

- 1** ツールメニュー - [プリセット管理] -  (カラーコレクション) の順でクリックします。

- 2** 特色チャート作成時に選択したグループと同じグループをリストで選択して、 (一括調整) をクリックします。

カラーコレクション一括調整ウィザードが始まります。

- 3** 特色チャート作成時に選択したクイックセットと同じクイックセットを選択して、[次へ] をクリックします。

- 4** [測色] をクリックします。

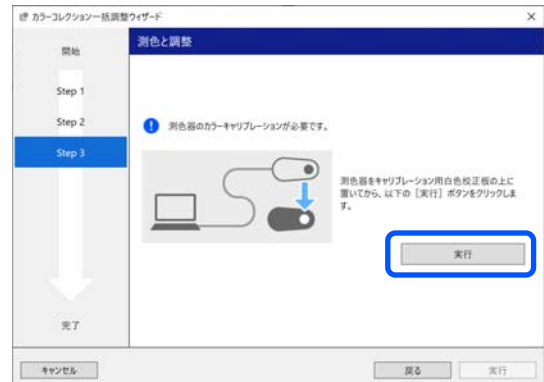
特色の選択は、特色チャート作成時から変更しないてください。

ここで特色の選択を変更すると、特色チャートの再作成が必要です。

 [「特色チャートの作成と印刷」 74 ページ](#)

- 5** [実行] をクリックします。

画面の指示に従って、測色器のカラーキャリブレーションを行います。



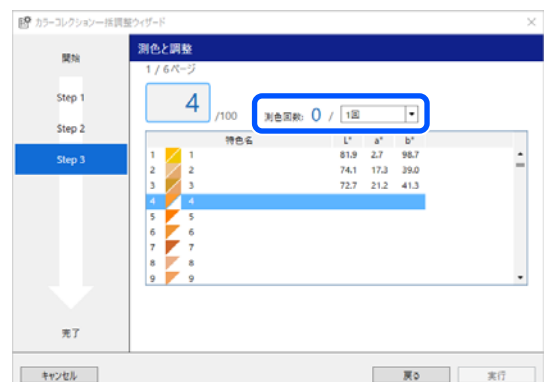
エプソン製測色器 SD-10 をお使いで、カラーキャリブレーション実行後に [メディアの測色] 画面が表示されたときは、画面の指示に従って特色チャート右上の余白部分を測色します。

- 6** 特色チャート作成時に選択した測色方法に従って、特色チャートを測色します。

測色方法は以下の通りです。

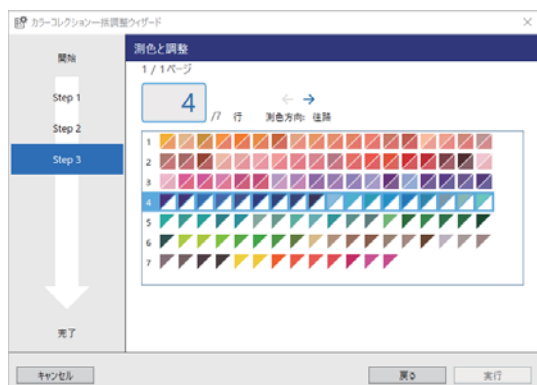
スポット測色

- ① 画面の [測色回数] で 1 つのカラーパッチに対する測色回数を選択します。
 5 回測色する場合は測色結果の中央値が使用されるため、1 回測色する場合よりも精度が向上します。
- ② 1 つ目のカラーパッチを測色します。
 測色すると、画面で選択されているカラーパッチの白い三角形に色が付きます。
 選択した回数の測色が終わると、次のカラーパッチが選択されます。
- ③ 手順②と同様に、特色チャートの全てのカラーパッチを測色します。



スキャン測色

- ① 1 行目のカラーパッチを測色します。
1 行目の測色が終わると、画面で選択されているカラーパッチの白い三角形に色が付き、次の行が選択されます。
- ② 手順①と同様に、特色チャートの全ての行のカラーパッチを測色します。



参考

以下の場合、測色に失敗することがあります。

- 測色器の移動速度が速すぎる、または遅すぎるとき。
- 測色中に、測色器のボタンから指を離したとき。

測色に失敗したときは、失敗した行を再度測色してください。

7

【実行】をクリックします。

特色の調整が開始されます。

参考

特色チャートの測色が全て完了するまでは、【実行】はグレイアウトしていてクリックできません。

8

【調整後の特色グループが追加されました。】と表示されたら、調整後のグループ名を確認して【完了】をクリックします。

調整後のグループがカラーコレクションに追加されます。調整後のグループ名は以下になります。
<調整前のグループ名>_<クイックセット名>

調整チャート作成時に選択したクイックセットで印刷すると、調整後の特色の出力色設定が適応されます。

版ごとに出力色を設定する (分版カラー設定)

操作対象のプリンターとして以下のいずれかを選択して、Epson Cloud Solution PORT のアカウントを登録済みのときに限り実行できます。

- SC-F10050H LcLm (ライトシアン/ライトマゼンタインク搭載)
- SC-S9150
- SC-S8150

ただし、Epson Cloud Solution PORT のアカウントを登録済みでも、お使いの国と地域によっては実行できないことがあります。

画像を構成する色ごとに版を分けた印刷データで、版ごとに出力色を調整して印刷できます。

印刷するまでの作業の流れは、以下の通りです。

画像処理ソフトで色ごとに版を分けた印刷データを作成する

Adobe Photoshop では、色ごとにチャンネルを分けることで版を分けた印刷データを作成できます。



各版の出力色指定チャートを作成して印刷する

本ソフトウェアでチャートの作成条件を設定し、出力色指定チャートジョブを作成して印刷します。

📄 [「出力色指定チャートの作成と印刷」 77 ページ](#)



印刷したチャートを確認して各版の出力色を調整する

印刷した出力色指定チャートから出力色を選び、選んだ色のパッチ番号を入力して各版の出力色を調整します。

📄 [「各版の出力色の調整」 78 ページ](#)



印刷を行う

📄 [「印刷の手順」 12 ページ](#)

出力色指定チャートの作成と印刷

出力色指定チャートは、色ごとに版を分けた印刷データの各版の出力色と似た色合いのカラーパッチを一覧で印刷するためのジョブです。出力色指定チャートジョブを印刷して、その中から目的の出力色を選びます。各カラーパッチにはパッチを識別するためのパッチ番号が明記されており、出力色調整時に選択した色のパッチ番号を入力します。

チャートに印刷するパッチの数や、隣り合うパッチの色差などのチャートの作成条件は、出力色指定チャートジョブ作成時に設定できます。

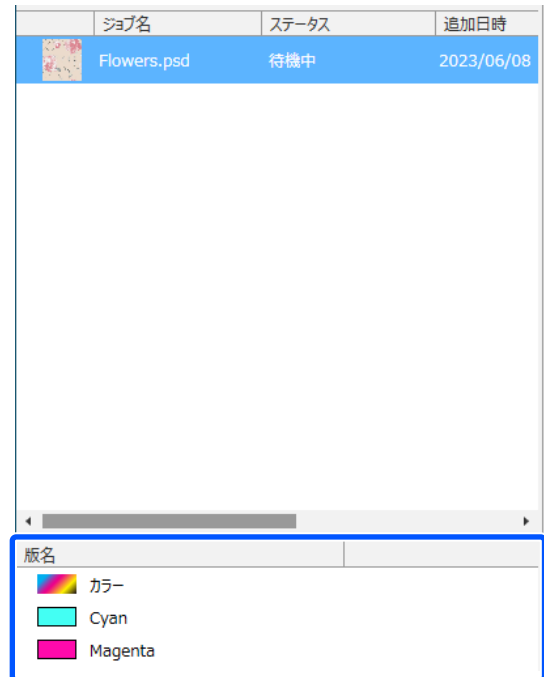
- 1 メイン画面の  (ログイン) をクリックして、**Epson Cloud Solution PORT** にログインします。

メイン画面に  (ログアウト) が表示されているときは、Epson Cloud Solution PORT にログイン済みです。

- 2 本ソフトウェアのジョブツールバーの  (追加) をクリックして、色ごとに版を分けた印刷データを追加します。
または、ジョブリスト上に印刷データファイルをドラッグ&ドロップします。

追加した印刷データのサムネイルやデータ名がジョブリストに表示されます。

色ごとに版を分けた印刷データの場合は、ジョブリストでジョブを選択すると、ジョブリストの下側に各色の版のリストが表示されます。



- 3 ジョブリストで出力色指定チャートを作成するジョブを選択して、メイン画面の  (出力色指定チャート) をクリックします。

複数のジョブを選択するときは、以下のいずれかの方法で選択できます。

連続した複数ジョブを選択

【Shift】キーを押したまま先頭のジョブと最後のジョブをクリックする。

飛び飛びに複数ジョブを選択

【Ctrl】キーを押したまま目的のジョブをそれぞれクリックする。

Epson Edge Print 出力色指定チャート作成画面が表示されます。

4 [基準色設定] タブで出力色指定チャートを作成する版を基準色に追加します。

ジョブリストでジョブ名をダブルクリックすると、ジョブに含まれる版のリストが表示されます。版を選択して[基準色に追加]をクリックすると、選択した版が[基準色]エリアに追加されます。



5 追加した基準色のインク量を設定します。

各インク色のインク量の設定値に応じて、インク量のサムネイルの色合いが変わります。

ここで設定した色が、作成する出力色指定チャートの基準色になり、基準色と似た色合いのカラーパッチをチャートに印刷します。

作成する出力色指定チャートに表示する基準色の数だけ手順 4~5 を繰り返します。

6 [作成条件] タブをクリックして、チャートの作成条件を設定します。

作成条件で設定可能な項目は以下の通りです。

• X. 横軸

カラーパッチを左右にどのように変化させるかを設定します。

[タイプ] で変化させる内容を設定できます。[インク量] を選択したときは、[色差対象インク選択] をクリックして変化させるインク色を選択します。

[パッチ間の差] で変化量を設定できます。

[パッチ数] で 1 行に表示するカラーパッチ数を設定できます。

• Y. 縦軸

カラーパッチを上下にどのように変化させるかを設定します。

[タイプ] で変化させる内容を設定できます。[インク量] を選択したときは、[色差対象インク選択] をクリックして変化させるインク色を選択します。

[パッチ間の差] で変化量を設定できます。

[パッチ数] で 1 列に表示するカラーパッチ数を設定できます。

• Z. ブロック

[X. 横軸] と [Y. 縦軸] の設定によって表示されるカラーパッチのまとまりを「ブロック」と呼びます。

ブロックを左右にどのように変化させるかを設定します。

[タイプ] で変化させる内容を設定できます。[インク量] を選択したときは、[色差対象インク選択] をクリックして変化させるインク色を選択します。

[パッチ間の差] で変化量を設定できます。

[パッチ数] で基準色 1 色に対してチャートに表示するブロック数を設定できます。

• チャート幅

作成するチャートの幅を設定できます。設定したチャート幅に応じてブロック間で改行されます。

• パッチサイズ

カラーパッチの一辺のサイズを設定できます。設定したサイズの正方形のカラーパッチが表示されます。

7 必要に応じて [チャート名] を変更して、[チャート作成] をクリックします。

8 [出力色指定チャートの作成が完了しました。] と表示されたら [OK] をクリックします。

出力色指定チャートジョブが作成されジョブリストに追加されます。

9 ジョブリストで出力色指定チャートジョブを選択して印刷します。

印刷の方法は一般のジョブと同様です。

実際に印刷するときと同じ印刷設定とメディアで印刷してください。

各版の出力色の調整

ここでは、印刷した出力色指定チャートから出力色を選んで各版の出力色を調整する手順を説明します。

参考

出力色指定チャートを使用せずに、各色のインク量を直接指定して出力色を調整することもできます。
また、色見本を測色した結果を使用して出力色を調整することもできます。対応する測色器を接続しているときに限り実行できます。

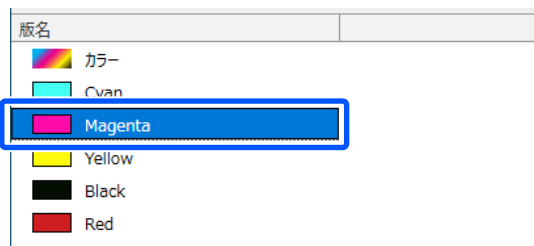
🔗 [「対応測色器」143 ページ](#)

- 1** 印刷した出力色指定チャートから出力色を選びます。

選択した色のパッチ番号を確認します。

- 2** ジョブリストで各版の出力色を調整するジョブを選択します。

- 3** ジョブリストの下側のリストから、出力色を調整する版を選択します。



選択した版の種類に応じて出力色の調整方法が異なります。

CMYK/RGB の場合

ジョブ設定メニューで  (カラー設定) をクリックします。

設定エリアがカラー設定に変わります。

🔗 [「カラー設定」61 ページ](#)

CMYK/RGB 以外の場合

手順 4 に進みます。

- 4** メイン画面の  (ログイン) をクリックして、**Epson Cloud Solution PORT** にログインします。

メイン画面に  (ログアウト) が表示されているときは、Epson Cloud Solution PORT にログイン済みです。

- 5** ジョブ設定メニューに  (分版カラー設定) だけが表示され、設定エリアが分版カラー設定に変わります。

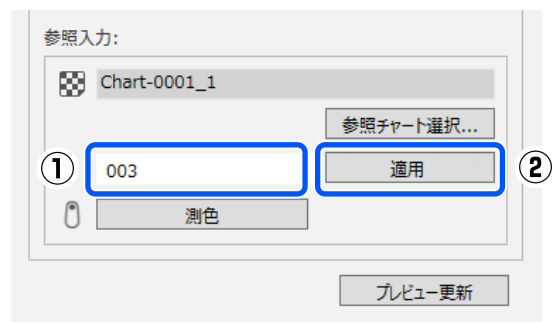
- 6** **【参照チャート選択】** をクリックします。

参照チャート選択ダイアログが表示されます。

- 7** リストから手順 1 で確認した出力色指定チャートのジョブを選択して、**【適用】** をクリックします。

設定エリアの**【参照入力】** にチャート名が表示されます。

- 8** **【パッチ番号】** に手順 1 で選択した出力色のパッチ番号を入力して、**【適用】** をクリックします。



設定エリアのサムネイルに設定した出力色が反映されます。

【プレビュー更新】 をクリックすると、プレビューエリアの画像に設定した出力色が反映されます。

出力色を変更後は、実際に印刷して色合いを確認してください。

参考

調整した出力色のインク量の値をコピーして、別のジョブに設定できます。

インク量入力欄の下に**【コピー】** をクリックすると、表示されているインクセットとインク量がコピーされます。

コピーした値を別のジョブに設定するときは、対象のジョブのインク量入力画面を表示して**【貼り付け】** をクリックします。

【貼り付け】 にマウスポインターを合わせると、クリップボードに保存されているインクセットとインク量が表示されます。

再現可能な色域を確認する (ガマットビューアー)

以下の機能は、Epson Cloud Solution PORT のアカウントを登録済みのときに限り実行できます。ただし、Epson Cloud Solution PORT のアカウントを登録済みでも、お使いの国と地域によっては実行できないことがあります。

ガマットビューアーを起動することで、本ソフトウェアで使用する各種プロファイルの色域を画像で確認できます。

色域とガマットビューアー

色域とは色の範囲を表したものです。本ソフトウェアのガマットビューアーは、色域を表示する機能です。ガマットビューアーで確認できる色域と、対応するプロファイルは以下の通りです。

- 入力プロファイル (CMYK/RGB)
印刷データの中で、CMYK または RGB によって表現される範囲を表す色域
- メディアプロファイル
印刷によって再現可能な範囲を表す色域 (色再現性)
印刷可能な色域は、お使いのプリンターやメディア、本ソフトウェアで設定する印刷品質などに応じて異なります。

入力プロファイルとメディアプロファイルとは

色域に関する情報は、入力プロファイルやメディアプロファイルなどの ICC プロファイルに記録されています。ガマットビューアーは、ICC プロファイルを読み込むことにより、色域に関する情報を得て画面に表示します。

入力プロファイル

入力プロファイルは、印刷データに含まれる CMYK や RGB がどのような色を表すかを決定するプロファイルです。CMYK や RGB の値が同じでも、入力プロファイルが異なれば色は異なります。ガマットビューアーでは入力プロファイルの色域を表示でき、CMYK や RGB で表現される色の最大範囲を確認できます。

メディアプロファイル

メディアプロファイルは、お使いのプリンターでどのような色が印刷されるかを表すプロファイルです。お使いのプリンターやメディア、印刷品質に合わせて適切なメディアプロファイルを選択することで、印刷データに含まれる色をより正確に再現できます。

メディアプロファイルには印刷によって再現可能な色域に関する情報が含まれており、ガマットビューアーでは各メディアプロファイルの色域を表示して比較できます。

適切なメディアプロファイルを選択していないとき

適切なメディアプロファイルを選択していないと、色域を正しく表示できません。また、印刷時に色を正確に再現できません。

例えば、色域が狭いプリンターに色域が広いメディアプロファイルを選択すると、くすんだ色で印刷されます。また、色域が広いプリンターに色域が狭いメディアプロファイルを選択すると、鮮やかすぎる色で印刷されます。

色域とカラー設定

通常、入力プロファイルとメディアプロファイルの色域は異なるため、印刷データの色をそのまま再現することはできません。印刷時に、印刷データで指定した色を印刷によって再現可能な範囲にマッピングする処理が行われます。マッピングの方法は、本ソフトウェアでは、ジョブ設定メニューの  (カラー設定) のレンダリングインテントとその他のカラー設定で指定します。

ガマットビューアーの機能紹介

ガマットビューアーでは以下の機能を実行できます。

色域の表示

色空間上の色域を立体的に表示します。ガマットビューアーでは、L* a* b*色空間で色域を表示します。

入力プロファイルの表示

入力プロファイルの色域を表示することで、CMYK や RGB の値がどの範囲にマッピングされるかを確認できます。レンダリングインテントで「相対的な色域を維持」を設定しているときはホワイトポイントの補正が行われるため、メディアプロファイルを変更すると色域の立体表示 (以降、ガマットと記載します) の形状が変化することがあります。

 [「リストの入力プロファイルを変更する」 88 ページ](#)

メディアプロファイルの表示と比較

メディアプロファイルの色域を表示することで、印刷で再現可能な色の範囲を確認できます。また、複数のメディアプロファイルの色域を同時に表示して比較できます。これによって、複数の印刷品質の色域を比較して最適な印刷品質を選択できます。

🔗 [「リストにメディアプロファイルを追加する」84 ページ](#)

色置換の色の表示

ジョブ設定メニューの  (色置換) で設定した色をガマットビューアーに表示できます。印刷データで指定した色 (入力色) と、印刷で再現されると予測される色 (出力色) を表示します。🔍 (スポイト) をクリックして、プレビューエリアの印刷画像から抽出した色も表示できます。

ただし、 (色置換) の設定エリアに表示している色の一部はガマットビューアーに表示されません。

🔗 [「ジョブの出力色を置換する」64 ページ](#)

測色した色の表示

エプソン製測色器 SD-10 を RIP サーバー (本ソフトウェアがインストールされているコンピューター) と接続して測色した色を、ガマットビューアーに表示できます。メディアプロファイルと一緒に表示すると、測色した色が印刷で再現可能かどうかを確認できます。

🔗 [「色見本を測色して指定色を追加する」86 ページ](#)

色置換の出力色の変更

ガマットビューアーに表示した色 (指定色) を、ジョブの色置換の出力色に設定できます。出力色を変更した後に、印刷で再現される色の予測値をガマットビューアーで確認できます。

🔗 [「指定色をジョブの出力色に置換する」86 ページ](#)

ガマットビューアーを起動する

本ソフトウェアでガマットビューアーを起動するには、以下の 2 通りの方法があります。

- ジョブ設定メニューから起動する
ジョブ設定メニューの  (基本設定) /  (色置換) の設定エリアから起動する方法です。選択したジョブで使用しているメディアプロファイルと、印刷品質やメディアを変更したときのメディアプロファイルを比較できます。
- ツールメニューから起動する。
ツールメニューの [ガマットビューアーの起動] から起動する方法です。表示する入力プロファイルを変更できます。

ジョブ設定メニューからの起動手順

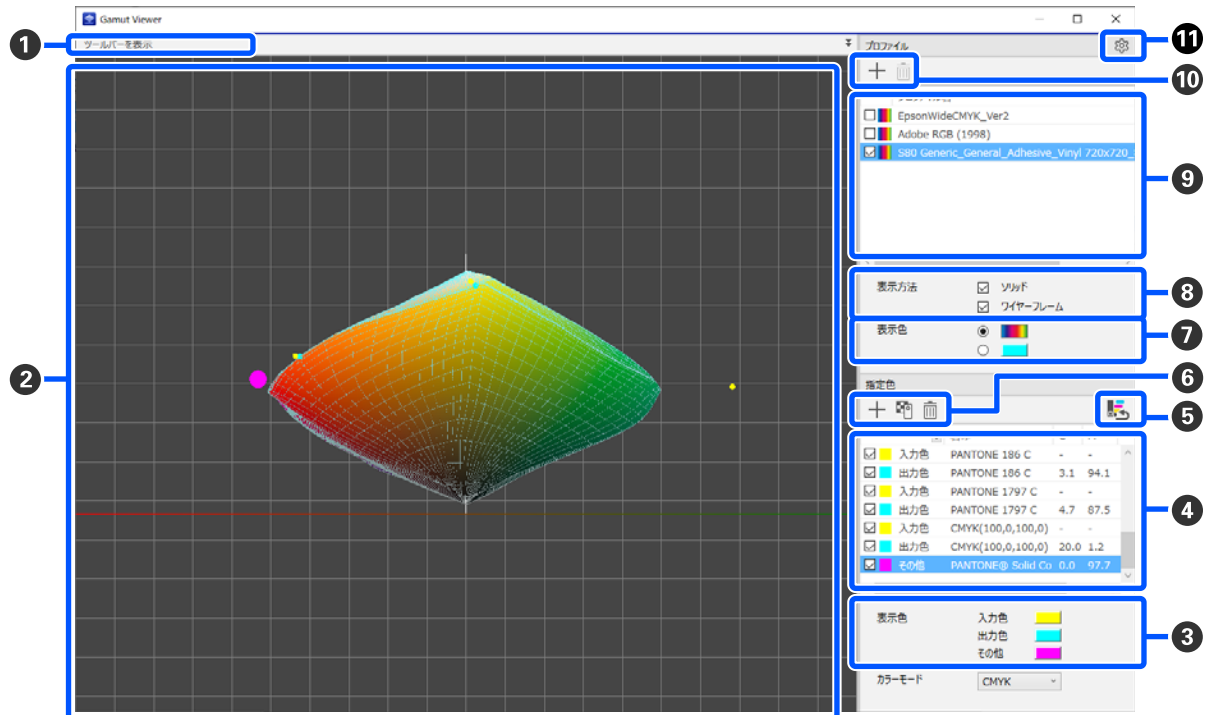
- 1 メイン画面の  (ログイン) をクリックして、**Epson Cloud Solution PORT** にログインします。
 (ログアウト) が表示されているときは、Epson Cloud Solution PORT にログイン済みです。
- 2 ジョブリストでプロファイルの色域を確認するジョブを選択します。
- 3 ジョブ設定メニューで  (基本設定)、または  (色置換) をクリックします。
設定エリアが選択したメニューの設定に変わります。
- 4 [再現可能な色域の表示] をクリックします。
Gamut Viewer 画面が別画面で起動します。選択したジョブで使用しているメディアプロファイルのガマットと、色置換のジョブ設定エリアに表示されている入力色と出力色の座標が表示されます。
画面の構成や機能は以下をご覧ください。
🔗 [「画面の構成」82 ページ](#)

ツールメニューからの起動手順

- 1 メイン画面の  (ログイン) をクリックして、**Epson Cloud Solution PORT** にログインします。
 (ログアウト) が表示されているときは、Epson Cloud Solution PORT にログイン済みです。
- 2 ツールメニュー - [ガマットビューアーの起動] の順でクリックします。
Gamut Viewer 画面が別画面で起動します。
画面の構成や機能は以下をご覧ください。
🔗 [「画面の構成」82 ページ](#)

画面の構成

ガマツビューアーを起動すると以下の画面が表示されます。
ガマツビューアーのメイン画面の構成と機能は以下の通りです。



	部位名称	機能
①	ツールバー	「ツールバーを表示」をクリックすると、ガマツビューアーのツールバーが表示され、以下の操作が行えます。 ✚: アイコンをクリックしてからガマツ表示エリア(②)でドラッグすると、ガマツが垂直方向や水平方向に移動します。ガマツを移動することで、ガマツから大きく離れた座標にある指定色を確認できます。 🔄: ガマツビューアー起動時は有効になっています。ガマツ表示エリアでドラッグすると、ドラッグした方向にガマツが回転します。 🔍/🖱: クリックすると、ガマツ表示エリアの表示を縮小/拡大できます。 📏: クリックすると、ガマツ表示エリアの座標軸を非表示にできます。 ツールバー表示エリア右上の ✖ をクリックすると、ツールバーを非表示にできます。
②	ガマツ表示エリア	プロファイルリスト(⑨)でチェックを付けたプロファイルのガマツや、指定色リスト(④)でチェックを付けた指定色の座標をL*a*b*色空間で確認できます。 ガマツビューアー起動時の表示で、座標軸の縦軸はL*=明度、横軸はa*=赤～緑の色相と彩度、手前側から奥側はb*=黄～青の色相と彩度をそれぞれ表します。 ガマツの表示方法や色は、[表示方法](⑧)と[表示色](⑦)で変更できます。 指定色の表示色は[表示色](③)で変更できます。指定色リストでクリックして選択した指定色は、他の指定色より大きなサイズで表示されます。
③	表示色	ガマツ表示エリア(②)に表示する指定色の表示色を、色の種類ごとに変更できます。変更したい色の種類のボタンをクリックすると色の設定ダイアログボックスが表示されます。
④	指定色リスト	ジョブ設定メニューからガマツビューアーを起動したときは、選択したジョブで使用している特色と色置換情報が表示されます。 チェックボックスにチェックを付けた指定色がガマツ表示エリア(②)に表示されます。チェックボックスの右には指定色の種類が表示されます。リストに追加した指定色は[その他]と表示されます。 📄 「リストに指定色を追加する」85 ページ リストに表示している色値の色空間を変更したいときは、リスト下の[カラーモード]で色空間を変更します。

	部位名称	機能
⑤	ジョブの色置換設定の編集ボタン	ジョブ設定メニューからガマツビューアーを起動したときに限り表示されます。 選択したジョブの色置換情報の出力色を、指定色リスト (④) に表示された指定色に変更できます。  「指定色をジョブの出力色に置換する」 86 ページ
⑥	指定色追加/削除ボタン	指定色リスト (④) に指定色を追加したり、追加した指定色を削除したりできます。 + : 測色以外の方法で指定色を追加できます。  「測色以外の方法で指定色を追加する」 85 ページ  : エプソン製測色器 SD-10 で測色した色を指定色に追加できます。  「色見本を測色して指定色を追加する」 86 ページ  : 選択した指定色をリストから削除します。ジョブで使用している特色と色置換情報は削除できません。
⑦	表示色	プロファイルリスト (⑨) でクリックして選択したプロファイルのガマツの表示色を変更できます。  : 選択したプロファイルのガマツをグラデーションで表示します。  : ボタンに表示している色でガマツを表示します。ボタンをクリックすると色の設定ダイアログボックスが表示され、ガマツの表示色を変更できます。
⑧	表示方法	プロファイルリスト (⑨) でクリックして選択したプロファイルのガマツの表示方法を変更できます。 ソリッド: 表示色 (⑦) で選択した色で表面を塗りつぶしてガマツを表示します。 ワイヤーフレーム: 頂点と線のみでガマツを表示します。 1つのガマツに「ソリッド」と「ワイヤーフレーム」の両方を設定できます。
⑨	プロファイルリスト	ジョブ設定メニューからガマツビューアーを起動したときは、選択したジョブで使用している入力プロファイルと出力プロファイル、メディアプロファイルが表示されます。 ツールメニューからガマツビューアーを起動したときは、以下の入力プロファイルが表示されます。 • EpsonWideCMYK_Ver2 • Adobe RGB (1998) チェックボックスにチェックを付けたプロファイルのガマツがガマツ表示エリア (②) に表示されます。チェックボックスにチェックが付いていないプロファイルをクリックで選択すると、ワイヤーフレームの表示方法でガマツが表示されます。 ガマツを表示したいプロファイルをリストに追加できます。  「リストにメディアプロファイルを追加する」 84 ページ
⑩	プロファイル追加/削除ボタン	プロファイルリスト (⑨) にプロファイルを追加したり、追加したプロファイルを削除したりできます。 + : クリックするとプロファイルの追加ダイアログボックスが表示され、プロファイルを追加できます。  「リストにメディアプロファイルを追加する」 84 ページ  : 選択したプロファイルをリストから削除します。ガマツビューアー起動時に表示されているプロファイルは削除できません。
⑪	入力プロファイルの設定ボタン	プロファイルリスト (⑨) に表示される入力プロファイルの設定を確認できます。 ツールメニューからガマツビューアーを起動したときは、入力プロファイルを変更できます。  「リストの入力プロファイルを変更する」 88 ページ

リストにメディアプロファイルを追加する

ガマットを確認したいメディアプロファイルを、Gamut Viewer 画面のプロファイルリストに追加できます。メディアプロファイルの追加方法は、以下の3通りがあります。

- お使いのプリンターのプリント情報から追加する
同じメディアで印刷品質を変更したときのメディアプロファイルのガマットや、メディアを変更したときのメディアプロファイルのガマットを確認できます。プリント情報の詳細は、以下をご覧ください。
🔗 [「使用するメディアに応じたプリント情報を作成する」56 ページ](#)
- クイックセットから追加する*
本ソフトウェアに登録したクイックセットに登録されているメディアプロファイルから追加できます。クイックセットの詳細は、以下をご覧ください。
🔗 [「よく使うジョブ設定の作成 \(クイックセット\)」50 ページ](#)
- 任意に用意したプロファイルを追加する
プロファイル作成ソフトウェアで作成したメディアプロファイルを追加できます。

* ジョブ設定メニューからガマットビューアーを起動したときは使用できません。

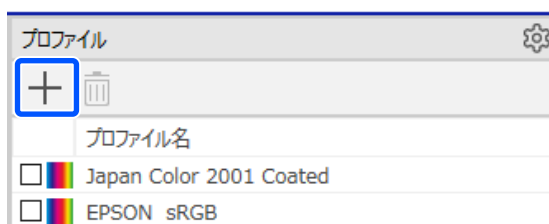
以下の手順でメディアプロファイルを追加できます。

1 ガマットビューアーを起動します。

🔗 [「ガマットビューアーを起動する」81 ページ](#)

2 「プロファイル」エリアの + (追加) をクリックします。

プロファイルの追加ダイアログボックスが表示されます。



3 「追加方法の選択」でメディアプロファイルの追加方法を選択します。

選択した追加方法に応じて、ダイアログボックスの表示が変わります。

4 追加するメディアプロファイルを選択します。

「プリント情報から選択して追加」を選択したとき

メディアを選択して、リストから追加したいメディアプロファイルを選択します。複数選択もできます。

「クイックセットから選択して追加」を選択したとき

リストから追加したいメディアプロファイルを選択します。

「ファイルをインポートして追加」を選択したとき

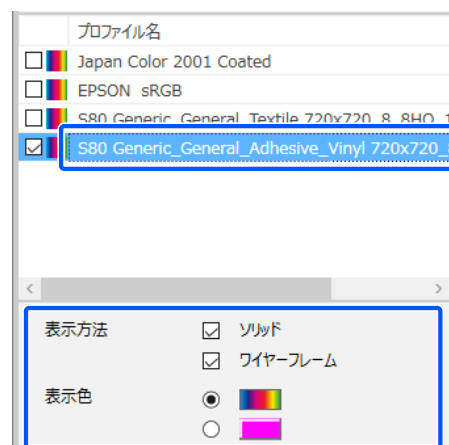
「参照」をクリックして、任意に用意したメディアプロファイルが保存されている先を指定し、追加したいメディアプロファイルを選択します。

5 「OK」をクリックします。

選択したメディアプロファイルがプロファイルリストに追加され、ガマット表示エリアにガマットが表示されます。

参考

追加したメディアプロファイルのガマットの表示を変更したいときは、プロファイルリストで対象のメディアプロファイルをクリックで選択して、「表示方法」と「表示色」を変更します。

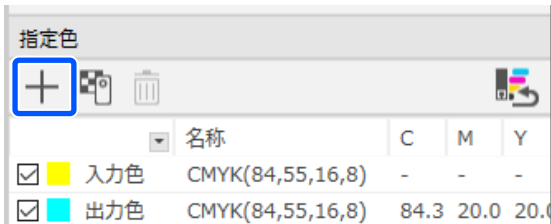


リストに指定色を追加する

座標を確認したい特定の色（指定色）を Gamut Viewer 画面の指定色リストに追加できます。指定色をリストに追加することで、その色がガマットを表示しているプロファイルの色域内かどうかを確認できます。指定色の追加方法は、以下の 4 通りがあります。

- カラーコレクションから追加する
カラーコレクションに登録した特色を指定色に追加できます。
カラーコレクションの詳細は、以下をご覧ください。
[🔗「カラーコレクションの使い方」70 ページ](#)
- Epson Cloud Solution PORT の Color Library から追加する
Epson Cloud Solution PORT の Color Library にアップロードしたカラーパレットの色を指定色に追加できます。
Color Library の詳細は、Epson Cloud Solution PORT のウェブサイトをご覧ください。
- 色値を入力して追加する
追加する色の Lab 値を入力して指定色に追加できます。
- 測色して追加する
色見本の測色結果を指定色に追加できます。お使いの測色器がエプソン製測色器 SD-10 のときに限り本機能を利用できます。

測色以外の方法で指定色を追加する

- 1 ガマットビューアーを起動します。
[🔗「ガマットビューアーを起動する」81 ページ](#)
 - 2 「指定色」エリアの +（追加）をクリックします。
指定色の追加ダイアログボックスが表示されます。
- 
- 3 「追加方法の選択」で指定色の追加方法を選択して、[次へ] をクリックします。

- 4 追加する指定色を選択または入力します。

【カラーコレクションから選択して追加】を選択したとき

「グループ名」でカラーコレクションのグループ名を選択すると、選択したカラーコレクションの特色がリストに表示されます。追加したい特色にチェックを付けて [OK] をクリックします。

参考

- 「キーワード」に特色名の一部を入力して「絞り込み」をクリックすると、キーワードに該当する特色だけがリストに表示されます。
- 「全て選択」のチェックを外すと、リストに表示されている全ての特色の選択が解除されます。

【Color Library から選択して追加】を選択したとき

ログイン画面で Epson Cloud Solution PORT にログインすると、Color Library 画面が表示されます。カラーパレットのリストから指定色に追加する色を選択します。

Color Library 画面の詳細な操作方法は、以下の手順 6～7 をご覧ください。

[🔗「Color Library から出力色を設定する」69 ページ](#)

【色値を入力して追加】を選択したとき

追加する指定色の Lab 値を入力して、[追加] をクリックします。

- 5 手順 4 で選択または入力した指定色が指定色リストに追加され、ガマット表示エリアに座標が表示されます。

追加した指定色は「その他」で表示されます。

参考

追加した指定色のガマット表示エリアでの表示色を変更したいときは、指定色リスト下の「表示色」で「その他」のボタンをクリックすると、色の設定ダイアログボックスが表示されます。



色見本を測色して指定色を追加する

以下の機能は、お使いの測色器がエプソン製測色器 SD-10 のときに限り実行できます。

1 SD-10 の電源を入れます。

SD-10 の使い方は、SD-10 の『ユーザーズガイド』（オンラインマニュアル）をご覧ください。

2 ガマットビューアーを起動します。

[「ガマットビューアーを起動する」 81 ページ](#)

3 「指定色」エリアの （測色して追加）をクリックします。

測色器を選択するダイアログボックスが表示されます。

4 接続する測色器を選択して【OK】をクリックします。

画面の指示に従って、測色器のカラーキャリブレーションを行います。



5 指定色に追加する色見本を測色します。

測色結果が指定色リストに追加され、ガマット表示エリアに座標が表示されます。

追加した指定色は「その他」で表示されます。

（測色の終了）をクリックすると、測色器との接続が解除されます。

指定色をジョブの出力色に置換する

指定色リストに表示している指定色を、ジョブの出力色に置換できます。

出力色を置換できるのは、ジョブ設定メニューの （色置換）をクリックしたときに、設定エリアのリストに「入力色」と「出力色」が表示されている色のみです。

[「ジョブの出力色を置換する」 64 ページ](#)

ここでは、指定色リストに表示している指定色を、選択したジョブの出力色に設定する手順を説明します。

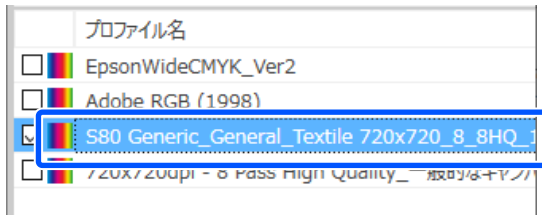
指定色の追加方法の詳細は、以下をご覧ください。

[「リストに指定色を追加する」 85 ページ](#)

1 ジョブ設定メニューからガマットビューアーを起動します。

[「ジョブ設定メニューからの起動手順」 81 ページ](#)

- 2** プロファイルリストで、ガマットビューアー起動時に選択したジョブで使用しているメディアプロファイルをクリックして選択します。



- 3** [指定色] エリアの  (ジョブの色置換設定の編集) をクリックします。

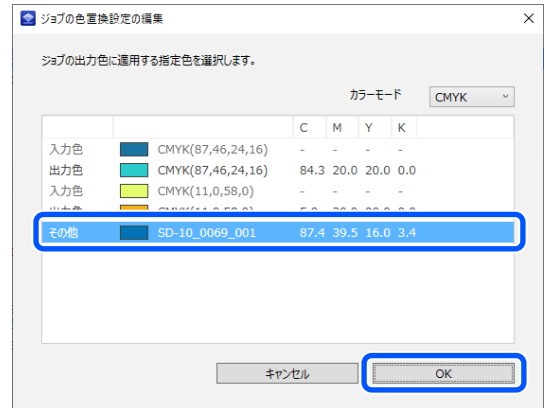
ジョブの色置換設定の編集ダイアログボックスが表示されます。選択したジョブの色置換情報がリストに表示されます。

- 4** リストから出力色を調整したい色を選択して、[変更] をクリックします。



- 5** ジョブの出力色に設定する指定色を選択して、[OK] をクリックします。

選択できる色の種類は、[出力色] と [その他] のどちらかです。



- 6** 手順 5 で選択した指定色が [出力色] の [変更後] に表示されたことを確認して、[実行] をクリックします。



ガマットビューアーのメイン画面に戻ります。手順 4 で選択した出力色の指定色リストの表示が、手順 5 で選択した指定色に変更されます。

手順 4～6 で設定した色置換設定は、ガマットビューアーを閉じるまで、選択したジョブに反映されません。

参考

手順 4～6 で設定した色置換設定を削除したいときは、ジョブの色置換設定の編集ダイアログボックスのリストから対象の色置換設定を選択して、[元に戻す] をクリックします。

- 7** 画面右上の  をクリックしてガマットビューアーを閉じます。

- 8** 確認画面が表示されたら [適用する] をクリックします。

本ソフトウェアのメイン画面に戻り、プレビューエリアの画像に変更した出力色が反映されます。

リストの入力プロファイルを変更する

Gamut Viewer 画面のプロファイルリストに表示する入力プロファイルを変更できます。
入力プロファイルを変更できるのは、ツールメニューからガマットビューアーを起動したときのみです。

- 1 ツールメニューからガマットビューアーを起動します。

 「ツールメニューからの起動手順」 81 ページ

- 2  (入力プロファイルの設定) をクリックします。

入力プロファイルの設定ダイアログボックスが表示されます。

- 3 プロファイルを変更するカラースペース (CMYK/RGB) のタブをクリックして、[変更] をクリックします。

- 4 [変更方法の選択] で入力プロファイルの変更方法を選択します。

選択した変更方法に応じて、ダイアログボックスの表示が変わります。

- 5 変更する入力プロファイルを選択します。

【Epson Edge Print から選択して変更】を選択したとき

本ソフトウェアに登録されている入力プロファイルが表示されます。リストから変更したい入力プロファイルを選択します。

【ファイルをインポートして追加】を選択したとき

[参照] をクリックして、任意に用意した入力プロファイルが保存されている先を指定し、変更したい入力プロファイルを選択します。

- 6 [OK] をクリックします。

- 7 必要に応じて [レンダリングインテント] と [黒点補正] の設定を変更して、[OK] をクリックします。

 「入力設定の概要」 61 ページ

プロファイルリストの入力プロファイルが変更されます。

参考

【レンダリングインテント】で以下を設定した入力プロファイルは、プロファイルリストのチェックボックスにチェックを付けてもガマットが表示されません。

- 知覚的
- 彩度

特色インクを使用した印刷

多層印刷（ホワイト/メタリックシルバー/バーニッシュの印刷）

ホワイトインク（以降、WHと記載します）/メタリックシルバーインク（以降、MSと記載します）搭載機種、またはUVインク搭載機種を操作対象のプリンターとして選択しているときに限り行えます。
多層印刷するまでの作業の流れは、以下の通りです。

WH/MS搭載機種は、プリンターのカラーモードが目的の色（WH/MS）に設定されているか確認

☞ プリンターに付属の『ユーザーズガイド』



多層印刷用の印刷データを作成する

WH/MS/バーニッシュインク*で印刷する部分を印刷データとして準備します。

* 以降、Vrと記載します。

☞ 「印刷データの作成方法」 89 ページ



印刷を行う

☞ 「WH/MS/Vr 印刷用の版を自動生成して印刷」 89 ページ

☞ 「カラーのデータと WH/MS/Vr 印刷用データを合成して印刷」 92 ページ

☞ 「画像処理ソフトで多層印刷データを作って印刷」 93 ページ

印刷データの作成方法

多層印刷用の印刷データを作成するには、以下の3通りの方法があります。

WH/MS/Vr 印刷用の版を自動生成する

ジョブリストのジョブを元に、以下の3種類の版（データ）を自動生成できます。

- 全面

- イメージ部分

- イメージを除いた部分

ただし、Vr 印刷用の版で自動生成できるのは、以下の2種類です。

- 全面

- イメージ部分

詳細な操作方法は、以下をご覧ください。

☞ 「WH/MS/Vr 印刷用の版を自動生成して印刷」 89 ページ

画像処理ソフトでカラーのデータと WH/MS/Vr 印刷用データを作成して合成する

画像処理ソフトで作ったカラーのデータと WH/MS/Vr 印刷用データを本ソフトウェアのジョブリストに追加して多層印刷用ジョブに合成します。

操作方法は、以下をご覧ください。

☞ 「カラーのデータと WH/MS/Vr 印刷用データを合成して印刷」 92 ページ

画像処理ソフトで特色設定を行う

画像処理ソフトで印刷データの WH で印刷する部分、MS で印刷する部分、Vr で印刷する部分に対して特色設定を行います。

特色設定をして印刷データを作る方法は、以下をご覧ください。

☞ 「画像処理ソフトで多層印刷データを作って印刷」 93 ページ

参考

Vr の点字印刷

SC-V7000 以外の UV インク搭載機種では、Vr を何層にも重ねて印刷することで点字を印刷できます。点字印刷時の印刷データや印刷ジョブの作成方法は、プリンターに付属の『点字印刷ガイド』（オンラインマニュアル）をご覧ください。

Vr のテキストチャートファイルを使用した印刷

SC-V7000 または SC-V4000 以外の UV インク搭載機種でテキストチャートファイル（テキストチャートパターン）を使用して印刷するときの印刷データの作成方法は、プリンターに付属の『ユーザーズガイド』（オンラインマニュアル）をご覧ください。

作成した印刷データの印刷方法は、以下をご覧ください。

☞ 「多層印刷の手順」 97 ページ

WH/MS/Vr 印刷用の版を自動生成して印刷

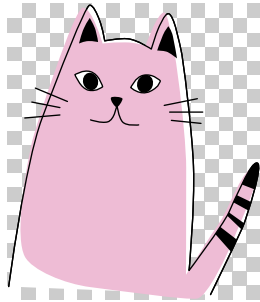
版の種類

自動版生成では、3種類の版を生成できます。

以下の例の画像で WH 印刷用の版を生成した場合を説明します。

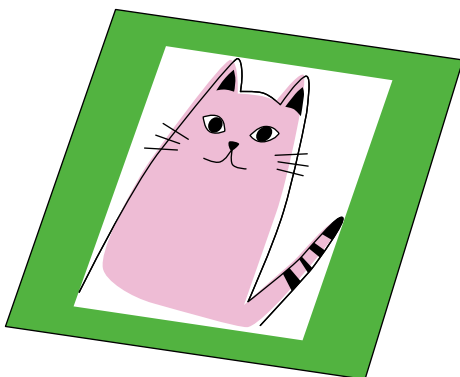
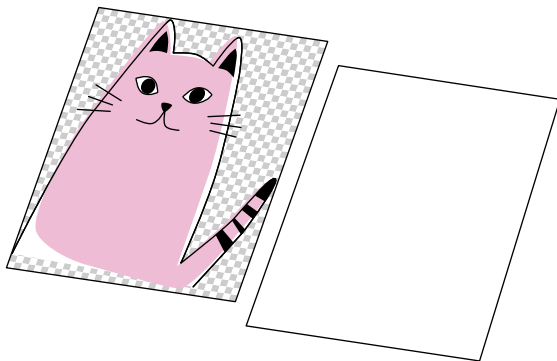
画像のチェックの部分は透明な部分です。わかりやすくするために、緑色のメディアに印刷するものとして説明します。

例)



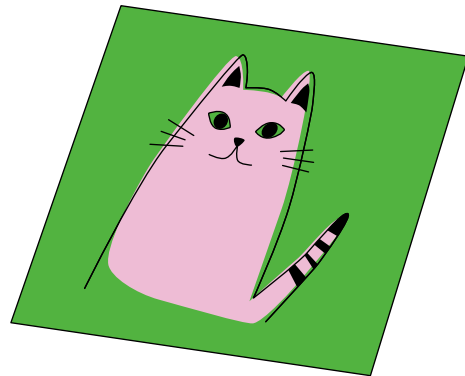
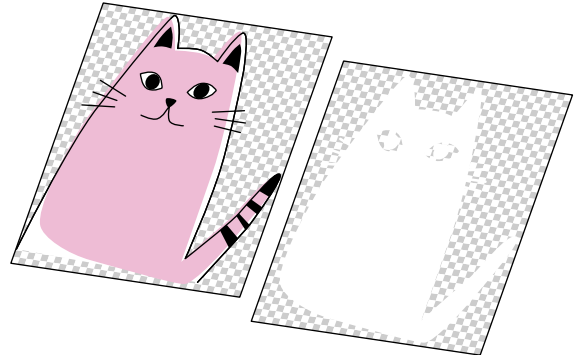
• 全面

画像全体に WH 印刷用の版が生成されます。印刷すると、全面が WH で印刷された上にイメージが印刷されます。

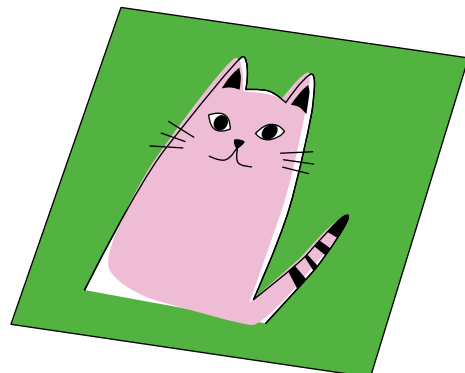


• イメージ部分

イメージ部分のみに WH 印刷用の版が生成されます。印刷すると、イメージ部分が WH で印刷されその上にイメージが印刷されます。

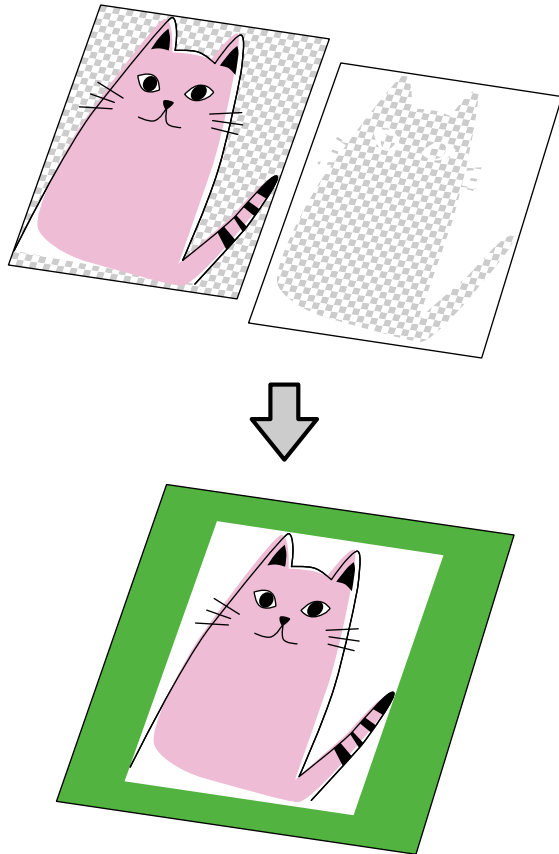


「イメージ部分」を選択すると、WH 印刷用の版に画像の白の部分を含めるかをチェックボックスで選択できます。チェックを付けると以下の猫の目の部分など画像で白 (CMYK = 0,0,0,0 や RGB = 255,255,255) の部分も白版が作成され WH で印刷されます。



• イメージを除いた部分

イメージを除いた部分に WH 印刷用の版が生成されます。印刷すると、イメージの外側が WH で印刷されその上にイメージが印刷されます。



Vr 印刷用の版を生成するときは、以下の 2 種類の版を生成できます。

- 全面
- イメージ部分

自動生成の手順

- 1 ジョブツールバーの (追加) をクリックして印刷データを追加します。
または、ジョブリスト上に印刷データファイルをドラッグ&ドロップします。
追加した印刷データのサムネイルやデータ名がジョブリストに表示されます。
- 2 ジョブリストで自動版生成を行うジョブを選択します。
プレビューエリアに印刷画像が表示されます。

- 3 ジョブ設定メニューの (基本設定) をクリックします。

設定エリアが基本設定に切り替わります。

- 4 [層数と重ね順の設定] で多層印刷するときの層の順番を設定します。

操作対象のプリンターのカラーモードに応じて選択できる色が異なります。

WH/MS 搭載機種のと看

2 層に設定すると、ジョブリストの画像データの層の下に [No Data] の層が追加されます。3 層に設定すると、[No Data] の層が 2 つ追加されます。

UV インク搭載機種のと看

設定した層数や重ね順に応じて、ジョブリストの層の表示が変わります。

- 5 ジョブリストで [No Data] を選択してジョブ設定メニューの (多層印刷設定) をクリックします。

設定エリアが多層印刷設定に切り替わります。

- 6 [生成方法] で生成する版の種類を選択します。

ジョブリストに生成した版が追加されます。

WH/MS 搭載機種のと看

手順 4 で 3 層に設定しているときは、生成した版が自動でコピーされ 3 層の多層印刷用データが完成します。

UV インク搭載機種のと看

WH 印刷用の版と Vr 印刷用の版の両方を生成するときは、手順 5 と 6 を繰り返します。

多層印刷の手順

- 1 ジョブリストで多層ジョブのルート (印刷画像がアイコンで表示されている行) を選択します。
- 2 ジョブ設定メニューの (基本設定) をクリックして [印刷品質] で印刷品質を選択します。
[層数と重ね順の設定] での設定に応じて選択できる印刷品質が異なります。
印刷品質の内容は、[プリント情報の管理] で変更できます。

🔗「使用するメディアに応じたプリント情報を作成する」56 ページ

- 3** その他の設定を確認してジョブツールバーの🖨️（印刷）をクリックし、印刷を開始します。

カラーのデータと WH/MS/Vr 印刷用データを合成して印刷

データの準備

画像処理ソフトで、WH/MS/Vr で印刷する部分とカラーで印刷する部分を同じサイズの別々のデータで作り、本ソフトウェアで合成して印刷できます。

以下の例では WH/MS/Vr で印刷した上にカラーで印刷する場合を説明します。

画像のチェックの部分は透明な部分です。

カラーデータの白の部分は色がありません。

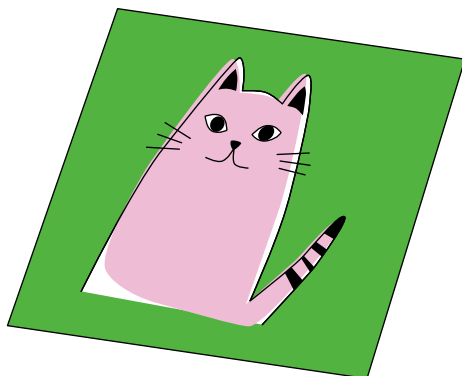
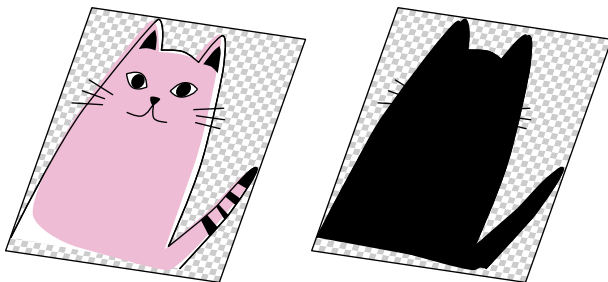
WH/MS/Vr 印刷用データは、WH/MS/Vr にする部分を C,M,Y,K のいずれかの単色でペイントした CMYK データです。

ここでは、緑色のメディアを使いカラーデータの裏全体に WH を印刷するものとして説明します。

例)

カラーのデータ

WH/MS/Vr 印刷用データ



この例では、WH/MS/Vr 印刷用データを黒色で作成し、本ソフトウェアに読み込んだ後で WH に色置換します。あらかじめ特色設定してもかまいません。

ジョブ合成の手順

- 1** ジョブツールバーの✚（追加）をクリックしてカラーのデータと **WH/MS/Vr** 印刷用データを追加します。
または、ジョブリスト上に各データファイルをドラッグ&ドロップします。

UV インク搭載機種で WH と Vr の両方を印刷するときは、カラー、WH、Vr の 3 種類のデータを追加します。

- 2** ジョブリストでカラーのジョブを選択します。
プレビューエリアに印刷画像が表示されます。

- 3** ジョブ設定メニューの☰（基本設定）をクリックします。

設定エリアが基本設定に切り替わります。

- 4** 【層数と重ね順の設定】で多層印刷するときの層の順番を設定します。

操作対象のプリンターのカラーモードに応じて選択できる色が異なります。

WH/MS 搭載機種のとき

2 層に設定すると、ジョブリストの画像データの層の下に [No Data] の層が追加されます。3 層に設定すると、[No Data] の層が 2 つ追加されます。

UV インク搭載機種のとき

設定した層数や重ね順に応じて、ジョブリストの層の表示が変わります。

- 5** ジョブリストで **WH/MS/Vr** 印刷用ジョブを選択して [No Data] 上の対象の層にドラッグ&ドロップします。
または、**WH/MS/Vr** 印刷用ジョブと [No Data] の対象の層を [Ctrl] キーを押したまま選択して、右クリックメニューを表示し【合成】を選択します。

[No Data] が WH/MS/Vr 印刷用ジョブのファイル名に変わります。

以下の場合、合成できません。

- カラーのデータと WH/MS/Vr 印刷用データの画像サイズが異なるとき。
- カラーのデータに [No Data] の層が存在しないとき。

6 ジョブリストで WH/MS/Vr 印刷用ジョブを選択します。

まだ WH/MS/Vr 印刷用の版が作成できていないので、プレビューエリアには画像は表示されません。

7 ジョブ設定メニューの (多層印刷設定) をクリックします。

設定エリアが多層印刷設定に変わります。

8 [特色版用色置換] で WH/MS/Vr 印刷用ジョブの WH/MS/Vr で印刷する部分の色を選択します。

この例では [ブラック] を選択します。
プレビューエリアに WH/MS/Vr 版の画像が表示されます。
UV インク搭載機種で WH と Vr の両方を印刷するときは、手順 6~8 を繰り返します。

多層印刷の手順

1 ジョブリストで多層ジョブのルート (印刷画像がアイコンで表示されている行) を選択します。

2 その他の設定を確認してジョブツールバーの (印刷) をクリックし、印刷を開始します。

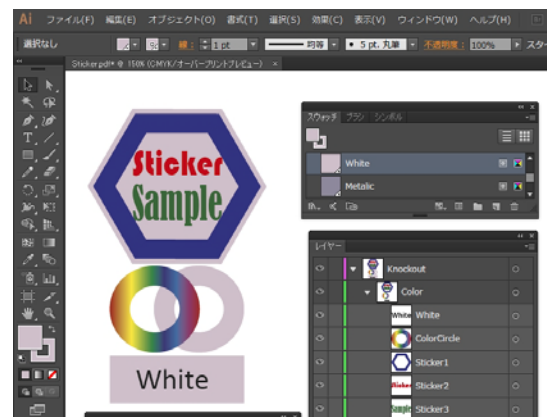
画像処理ソフトで多層印刷データを作って印刷

ここでは、印刷データを Adobe の画像処理ソフトで特色設定して多層印刷用データを作成して本ソフトウェアで印刷する手順を説明します。

A のようにグラフィックやテキストがメインのベクターデータは Adobe Illustrator (以降、Illustrator と記載します) で設定します。

B のように写真やグラフィックがメインのラスターデータは Adobe Photoshop (以降、Photoshop と記載します) で設定します。

A



 [「Illustrator で特色設定する方法」 93 ページ](#)

B



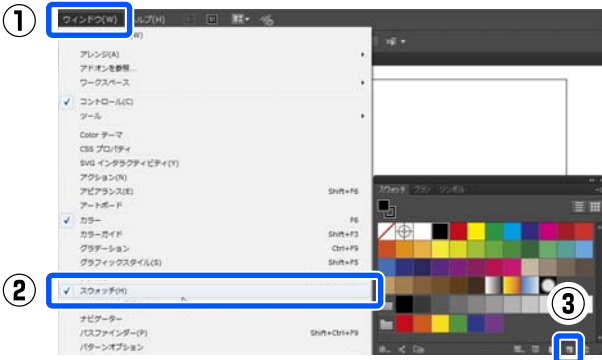
 [「Photoshop で特色設定する方法」 95 ページ](#)

Illustrator で特色設定する方法

Adobe Illustrator CC(2015)で **A** の画像を例にして、WH で印刷する部分に White 設定をする手順を説明します。

1 Illustrator を起動して印刷データを開きます。

2 【ウィンドウ】 - 【スウォッチ】 の順にクリックして （新規スウォッチ）をクリックします。



3 スウォッチに **White** 設定に使う特色を保存して **[OK]** をクリックします。

以下の通り、特色名や Illustrator での表示上の塗り色を指定します。

① 【名前】

印刷する色によって、特色名を以下の通り入力します。大文字、小文字も以下の通り入力してください。

WH 印刷用 : White

MS 印刷用 : Silver

Vr 印刷用 : Varnish

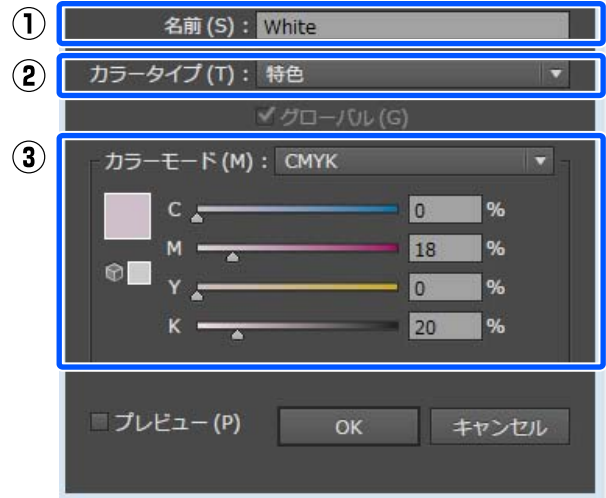
② 【カラータイプ】

【特色】を選択します。

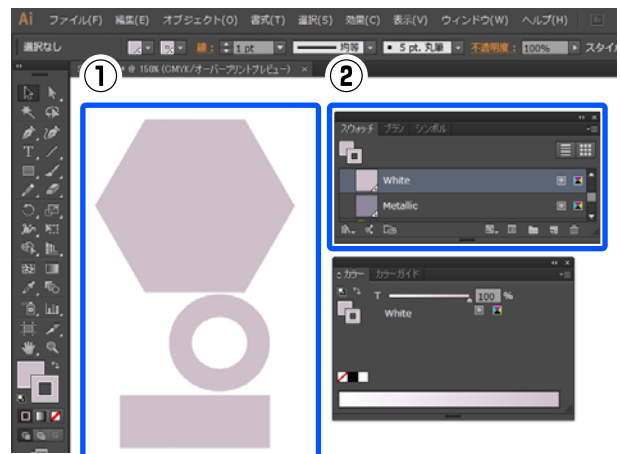
③ 【カラーモード】

【CMYK】を選択して、Illustrator での表示上の塗り色を指定します。白（CMYK 全て 0%）にすると背景色と判別しにくいので、他のカラー部分で使用していない明るい色を指定することをお勧めします。（図の例では、紫がかった薄いグレーに設定。）実際は、WH で印刷されます。

スウォッチオプション



4 WH で印刷する画像を選択して、塗りに手順 3 でスウォッチに保存した特色を指定します。

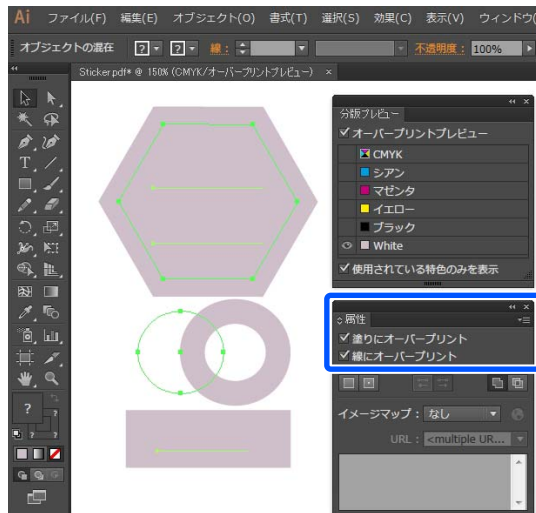


5 【ウィンドウ】 - 【属性】 の順にクリックして画像が重なった部分の印刷の仕方を設定します。

オーバープリントにチェックを付けるか外すかで、以下の通り画像が重なった部分に色を載せるか、抜くかを設定できます。

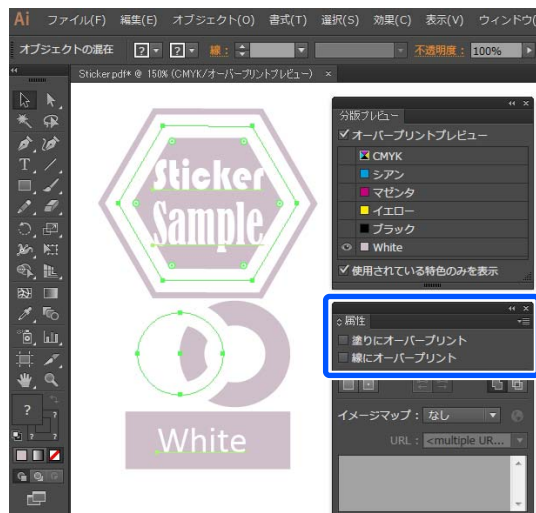
チェックを付けたとき

ウィンドウグラフィック用などで白の下地にカラーの画像を重ねて印刷するときは、カラーの画像を選択した状態でチェックを付けてオーバープリントを適用します。画像が重なっている部分もそれぞれ印刷されます。



チェックを外したとき

画像が重なったとき、本ソフトウェアで設定した印刷順で下層になる重なり部分が印刷されません。（オーバープリントが適用されません。）



参考

上記は、WH の印刷結果の状態を分かりやすくするために【分版プレビュー】の【オーバープリントプレビュー】にチェックを付けて、CMYK 版を非表示にしたものです。

【分版プレビュー】は、【ウィンドウ】で【分版プレビュー】をクリックすると表示されます。

6 White 設定が完了したら、データを PDF 形式で保存します。

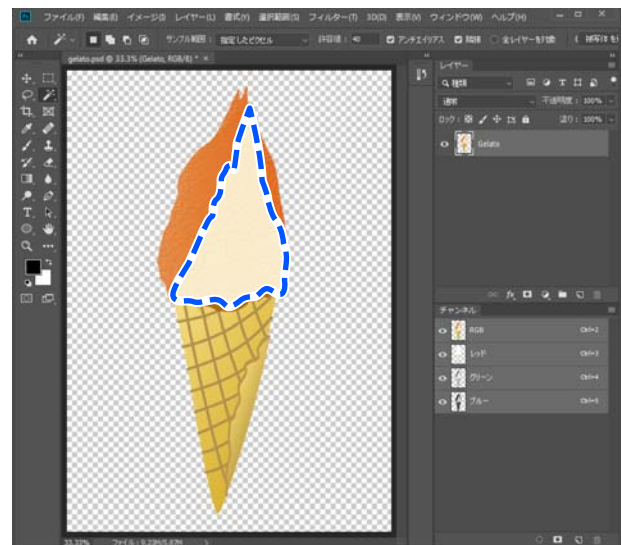
Photoshop で特色設定する方法

Adobe Photoshop CC(2019)で **B** の画像を例にして、WH で印刷する部分に White 設定をする手順を説明します。

- 1 Photoshop を起動して印刷データを開きます。
- 2 【ウィンドウ】 - 【レイヤー】の順にクリックします。
- 3 WH で印刷する部分を含むレイヤー上で右クリックして、【レイヤーを複製】をクリックします。
画像のコピーができて、画像レイヤーが2つになります。
- 4 【レイヤー】でコピー元の画像レイヤーを選択して、WH で印刷する部分を削除します。

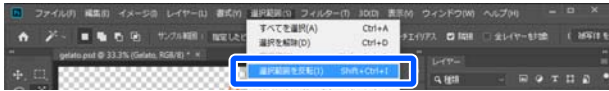
WH で印刷する部分のみ選択する方法は以下の2つがあります。詳細は、Photoshop のヘルプをご覧ください。

- （クイック選択ツール）または （自動選択ツール）で選択する。
- WH 印刷部分を含む領域を【選択】ツールで選択後、【選択範囲】 - 【色域指定】で WH を色指定する。



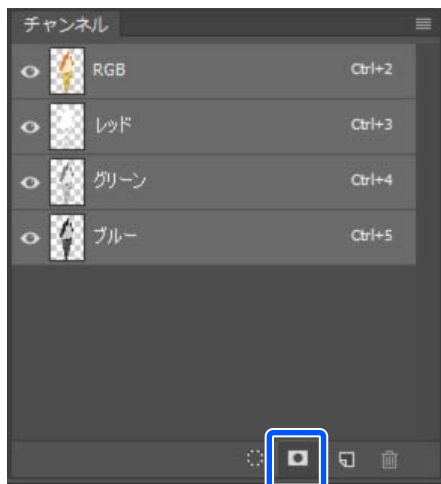
- 5 [レイヤー] でコピーしたレイヤーを選択し、[選択範囲] - [選択範囲を反転] をクリックして WH で印刷する部分以外を削除します。

WH を印刷しない部分がなくなり、何も無い部分が選択された状態になります。



- 6 [ウィンドウ] - [チャンネル] の順にクリックします。

- 7 (選択範囲をチャンネルとして保存) をクリックします。



WH を印刷する部分がマスクされた状態になります。(赤くなった部分がマスク領域です)



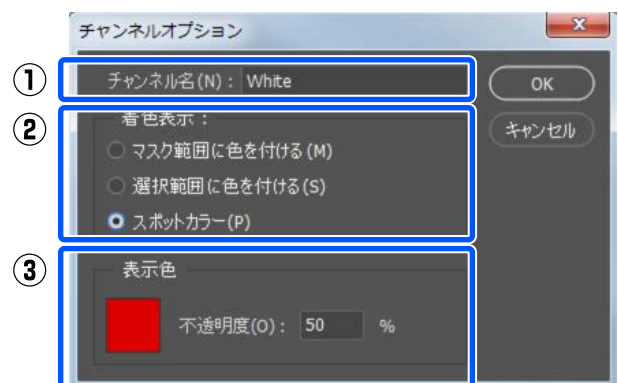
- 8 [アルファチャンネル] を選択した状態でメニューをクリックして、[チャンネルオプション] をクリックします。



- 9 スポットカラーとして **White** 設定に使う特色を設定して [OK] をクリックします。

以下の通り、特色名や Photoshop での表示上の塗り色を指定します。

- ① [チャンネル名]
印刷する色によって、チャンネル名を以下の通り入力します。大文字、小文字も以下の通り入力してください。
WH 印刷用: White
MS 印刷用: Silver
Vr 印刷用: Varnish
- ② [着色表示]
[スポットカラー] を選択します。
- ③ [表示色]
WH で印刷する部分の Photoshop 表示上の色を指定します。(図の例では、赤に設定。) 実際は、WH で印刷されます。



白いジェラート部分を WH 単色で印刷するとき:

不要なカラーインクを印刷しないように、コピーしたレイヤーをレイヤーウィンドウで非表示に設定して手順 10 に進みます。アルファチャンネルだけが残り、WH のみで印刷することができます。

白いジェラート部分の全体を WH で、陰影をカラーインクで重ねて印刷するとき：
手順 10 に進みます。

10 **White** 設定が完了したら、データを **PDF** 形式で保存します。

多層印刷の手順

1 ジョブツールバーの  (追加) をクリックして特色設定した画像を含む印刷データを追加します。
または、ジョブリスト上に印刷データファイルをドラッグ&ドロップします。

ジョブリストに追加された印刷データは、ルートの下に色別 (カラー、White/Silver/Varnish) で表示されます。



2 ジョブリストで多層ジョブのルート (印刷画像がアイコンで表示されている行) を選択します。

プレビューエリアに印刷画像が表示されます。

3 ジョブ設定メニューの  (基本設定) をクリックします。

設定エリアが基本設定に切り替わります。

4 [層数と重ね順の設定] でカラー画像と **White/Silver/Varnish** 設定された画像を印刷するときの順番を設定します。

操作対象のプリンターのカラーモードに応じて選択できる色が異なります。

WH/MS 搭載機種で 3 層に設定すると、選択した内容に応じて重複する色は同じデータを使用して繰り返し印刷されます。

例えば、[3 層 (カラー -> White -> White)] に設定するとカラー画像を印刷後に、White 設定の画像を 2 回繰り返し印刷します。

ジョブリストで確認したい色 (カラー、White/Silver/Varnish) を選択すると、選択した色の画像だけが表示されます。

5 [印刷品質] で印刷品質を選択します。

手順 4 の [層数と重ね順の設定] での設定に応じて選択できる印刷品質が異なります。

印刷品質の内容は、[プリント情報の管理] で変更できます。

 「使用するメディアに応じたプリント情報を作成する」56 ページ

6 その他の設定を確認してジョブツールバーの  (印刷) をクリックし、印刷を開始します。

層の位置ズレ・下地の画像のはみ出しが生じたとき

印刷した結果、カラーの画像と特色設定した画像/自動生成した画像の位置がずれたり、下地の画像がはみ出たりするときは、以下の手順で調整できます。

調整した結果は、再び印刷して確認してください。

1 ジョブリストの多層ジョブで位置ズレやはみ出し調整したい色のジョブを選択します。

プレビューエリアに選択した色の画像だけが表示されます。

2 ジョブ設定メニューで  (多層印刷設定) をクリックします。

設定エリアが多層印刷設定に変わります。

3 位置ズレを調整するには [層の位置ズレ調整] の [水平] または [垂直] でずらす値を入力します。

垂直方向の移動は、現在の位置より上方向に移動するときは- (マイナス) の値で指定します。

水平方向の移動は、現在の位置より左方向に移動するときは- (マイナス) の値で指定します。

- 4** はみ出し量を調整するには、[画像のはみ出し量調整（表層/下地）] で調整領域を選択してはみだし量の増減値を入力します。

〔調整領域〕で〔カラーと重なる領域のみ〕を選択すると、手順 1 で選択したジョブの画像の中からカラーの画像と重なる領域のはみ出し量だけを調整できます。

現在の画像サイズよりも小さくする（はみ出し量を削る）ときは-（マイナス）の値で指定します。

大きくする（はみ出し量を増やす）ときは正数で指定します。

Vr 表面のざらつきが目立つとき

SC-V7000 を操作対象のプリンターとして選択し、Vr 印刷用の版を自動生成して印刷した結果、表面のざらつきが目立つときは、以下の手順で 2 種類のジョブを作成して印刷します。

- 1** ジョブツールバーの （追加）をクリックして印刷データを追加します。
または、ジョブリスト上に印刷データファイルをドラッグ&ドロップします。

追加した印刷データのサムネイルやデータ名がジョブリストに表示され、データ名の下に以下の 3 層が表示されます。層の順番は常に以下の順番になります。

- 1 層目 [ホワイト] (No Data)
- 2 層目 [カラー]
- 3 層目 [バーニッシュ] (No Data)

- 2** ジョブリストで、追加したジョブのルート（左端に三角が表示されている行）を選択します。

プレビューエリアに印刷画像が表示されます。

- 3** ジョブ設定メニューの （基本設定）をクリックして、メディア名や印刷品質を設定します。

- 4** その他の設定を確認してジョブツールバーの （印刷）をクリックし、印刷を開始します。

1 つ目のジョブが作成できました。引き続き 2 つ目のジョブを作成します。

- 5** ジョブツールバーの （追加）をクリックして、手順 1 と同じ印刷データを追加します。
または、ジョブリスト上に手順 1 と同じ印刷データファイルをドラッグ&ドロップします。

追加した印刷データのサムネイルやデータ名がジョブリストに表示され、データ名の下に以下の 3 層が表示されます。層の順番は常に以下の順番になります。

- 1 層目 [ホワイト] (No Data)
- 2 層目 [カラー]
- 3 層目 [バーニッシュ] (No Data)

- 6** ジョブリストで、追加したジョブのルート（左端に三角が表示されている行）を選択します。

プレビューエリアに印刷画像が表示されます。

- 7** ジョブ設定メニューの （基本設定）をクリックして、[メディア名] で [バーニッシュモード] を選択します。

[バーニッシュモード] を選択すると、ジョブリストの 3 層の表示が非表示になります。

- 8** ジョブ設定メニューの （多層印刷設定）をクリックします。

設定エリアが多層印刷設定に切り替わります。

- 9** [生成方法] で生成する版の種類を選択します。

- 10** その他の設定を確認してジョブツールバーの （印刷）をクリックし、印刷を開始します。

以降はお使いのプリンターのマニュアルをご覧ください。

印刷データと印刷結果のサイズが異なるとき

SC-V7000 または SC-V4000 を操作対象のプリンターとして選択して印刷した結果、印刷データで設定した画像サイズと印刷結果の画像サイズが異なるときは、以下の手順で調整できます。

調整した結果は、再び印刷して確認してください。

以下のジョブは調整できません。

- 分割印刷（タイリング）が設定されているジョブ
- ステップ&リピートが設定されているジョブ
- クリップで印刷範囲が設定されているジョブ
- カット用のマークが設定されているジョブ
- 上記の設定がされているジョブを含んだネストジョブ

1 印刷結果の画像サイズを測ります。
画像の幅と高さを mm 単位で測ってください。

2 ツールメニュー - 【プリセット管理】 - （オプション設定）の順でクリックします。

3 【水平方向の補正率】と【垂直方向の補正率】で、画像の幅と高さを調整します。

【理論上の長さ】に本ソフトウェアで設定した出力サイズを設定します。出力サイズは、ジョブリストでジョブを選択すると、プレビューエリアの左上に表示されます。

【実測した長さ】に手順 1 で測った値を設定します。

【理論上の長さ】と【実測した長さ】を設定すると、【補正率】が算出されます。

4 設定が完了したら【適用】をクリックします。

印刷を実行すると、算出された補正率に画像サイズを調整して印刷します。

参考

【適用】をクリックした後も、プレビューエリア左上の【出力サイズ】には調整前のサイズが表示されます。

多層印刷の層数や重ね順をカスタマイズしたいとき

以下の設定は、UV インク搭載機種を操作対象のプリンターとして選択しているときに限り有効です。

多層印刷用の印刷データを作成するときのカラー/WH/Vr の各印刷版の層数や重ね順をメディアごとにカスタマイズして作成できます。

作成した層数や重ね順は、ジョブ設定メニューの （基本設定）の【層数と重ね順の設定】から選択できるようになります。

カスタマイズして作成した層数や重ね順を設定したジョブは、ジョブ設定メニューの以下の設定ができません。

- （カラー設定）の出力設定の【プロファイル】と【トーンカーブ】
- （マーク設定）全般

1 ツールメニュー - 【プリセット管理】 - （プリント情報の管理）の順でクリックします。

2 リストで層数や重ね順をカスタマイズするメディア名を選択して （編集）をクリックします。

編集ダイアログボックスが表示されます。

3 【カスタム設定】をクリックします。

カスタム設定ダイアログボックスが表示されます。

印刷情報の編集

メディア名:

メディアバンダー:

印刷品質:

名称	印刷モード	メディアプロ
High Speed 360x720 Color	High Speed 360x720 Color	V70 Gener ▲
Speed 720x720 Color	Speed 720x720 Color	V70 Gener ■■
Production 720x720 Color	Production 720x720 Color	V70 Gener
Quality 720x1080 Color	Quality 720x1080 Color	V70 Gener
High Quality 720x1440 Color	High Quality 720x1440 Color	V70 Gener
Fine Production 720x720 Color	Fine Production 720x720 Color	V70 Gener
Fine Standard 720x720 Color	Fine Standard 720x720 Color	V70 Gener ▼

層数と重ね順の設定 **カスタム設定**

- 参考**
- 編集ダイアログボックスに【カスタム設定】が表示されないときは、本ソフトウェアでプリンターを再登録してください。
[「管理するプリンターの登録・登録解除をしたいとき」120 ページ](#)
 - カスタム設定ダイアログボックスはジョブ設定メニューからも表示できます。（基本設定）の【層数と重ね順の設定】の  をクリックします。

4 **+**（追加）をクリックします。

【層数と重ね順】に【単層（カラーのみ）】が追加されます。

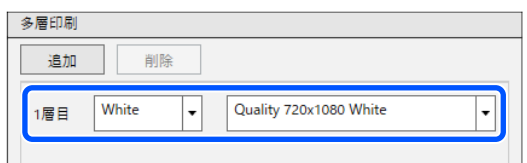
【名称】に表示された名称が、ジョブ設定メニューの （基本設定）の【印刷品質】に表示されます。必要に応じて名称を変更します。

- 5** [層数と重ね順] のリストから手順 4 で追加した [単層 (カラーのみ)] を選択します。

[多層印刷] に 1 層目の版と印刷品質が表示されます。

- 6** 1 層目の版の種類と印刷品質をリストボックスから選択します。

版の種類に応じて選択できる印刷品質が変わります。



- 7** [追加] をクリックして、2 層目の版の種類と印刷品質をリストボックスから選択します。

追加する層の数だけ手順 7 を繰り返します。最大 10 層まで追加できます。

参考

- [多層印刷] に [チェックを付けると印刷速度が上がります。] のチェックボックスが表示されたときは、チェックを付けると、設定した層順序に応じて印刷品質を自動で集約するため、印刷回数を減らせます。印刷回数を減らすことで印刷速度が速くなります。
- [チェックを付けると印刷速度が上がります。] にチェックを付けると、[優先項目] のリストボックスで印刷品質と印刷速度のどちらをより優先して印刷するかを選択できます。初期設定値で実際に印刷して印刷結果を確認してから [優先項目] を変更することをお勧めします。
- 印刷後に UV ランプの照射を追加で実行したいときは、[UV ランプ追加照射] にチェックを付けます。ただし、コントローラーソフトを経由して印刷する機種をお使いのときは表示されません。
- [削除] をクリックすると、追加した層から順に削除されます。

複数の層数と重ね順を作成するときは、手順 4~7 を繰り返します。

作成した層数と重ね順を元にして別の層数と重ね順を作成するときは、手順 4 で [層数と重ね順] のリストから元にした層数と重ね順を選択して  (複製) をクリックします。

複製が作成されますので、複製した層数と重ね順を編集します。

- 8** ✕ をクリックして設定ダイアログボックスを閉じます。

- 9** [OK] をクリックします。

WH/Vr 印刷用の版を繰り返し印刷したいとき

UV インク搭載機種を操作対象のプリンターとして選択しているときに、WH 印刷用の版または Vr 印刷用の版で 1 つの層を繰り返し印刷できます。

1 つの層を繰り返し印刷することで、Vr の厚盛り印刷などができます。

繰り返し印刷が設定できるのは、印刷品質が版ごとに設定されている WH 印刷用の版または Vr 印刷用の版のみです。

層数や重ね順をカスタマイズして作成したときに、[チェックを付けると印刷速度が上がります。] にチェックを付けて、印刷品質が自動で集約された版には設定できません。

以下で、繰り返し印刷の設定手順を説明します。

- 1** ジョブリストの多層ジョブで繰り返し印刷を設定したい WH/Vr のジョブを選択します。

プレビューエリアに選択した色の画像だけが表示されます。

- 2** ジョブ設定メニューで  (多層印刷設定) をクリックします。

設定エリアが多層印刷設定に変わります。

- 3** [重ね打ち回数] で選択したジョブの印刷回数を設定します。

初期設定値は 1 (回) です。繰り返し印刷を設定するときは 2 (回) 以上の回数を設定します。

1 つの多層ジョブの [重ね打ち回数] の最大値は、カラーのジョブを含む各版の合計が 10 (回) になるまで設定できます。

例：3 層 (1 層目-WH、2 層目-カラー、3 層目-Vr) の多層ジョブを印刷するとき

- WH または Vr のどちらかだけに繰り返し印刷回数を設定するときは、1 つの版の [重ね打ち回数] は 8 回まで設定できます。
- WH と Vr の両方に繰り返し印刷回数を設定するときは、各版の [重ね打ち回数] の合計が 8 回以下になるように設定します。

蛍光色の印刷

蛍光イエロー（以降、FY と記載します）/ 蛍光ピンク（以降、FP と記載します）搭載機種を操作対象のプリンターとして選択しているときに限り行えます。

印刷データの作成方法

蛍光色印刷用の印刷データを作成するには、以下の方法があります。

プリンターにセットしている蛍光色インクの色のみで印刷するのか、蛍光色と CMYK インクを組み合わせでプロセスカラーとして印刷するのか、画像に蛍光色のグラデーション表現があるかにより印刷データの作り方が変わります。

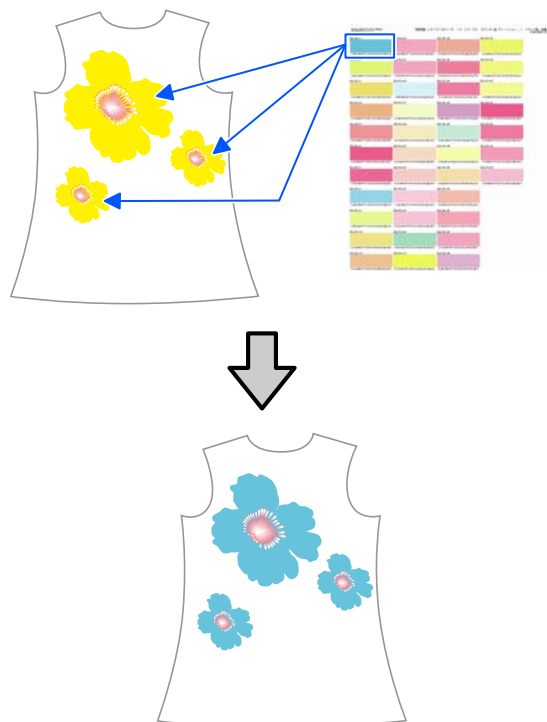
色置換、またはインク置換して蛍光色の印刷をする

画像処理ソフトで通常の CMYK のカラーのデータを作り、本ソフトウェアで色置換またはインク置換を行って蛍光色で印刷できます。画像処理ソフトで特別に蛍光色用のデータを作成せずに蛍光色の印刷ができます。

- 蛍光色にしたい部分を色置換して印刷する
事前にカラーコレクションで色見本ジョブを作成して印刷しておき、色置換時に色見本から気に入った色を選んで、その色の下に明示されている色値を入力して目的の色に置換できます。
簡単にバリエーションに富んだ蛍光色印刷が行えます。

例)

画像データの黄色の部分の色見本から選択した色に置換して印刷する



色見本の印刷方法は、以下をご覧ください。

🔗 [「色見本を印刷する」73 ページ](#)

色置換の詳細な説明は、以下をご覧ください。

🔗 [「ジョブの出力色を置換する」64 ページ](#)

- 画像の CMYK の Y と M の部分をプリンターの FY と FP のインクで印刷する

クイックセットの追加、または編集で [蛍光色の設定] を [YM を FyFp で印刷]、[Y を Fy で印刷] に設定し、そのクイックセットを使用して印刷することで FY、FP インクに置き換えて印刷できます。

画像の色設定が Y または M の単色のときは、プリンターにセットしている FY、FP インクの色のみで印刷されます。画像が CMYK を組み合わせたプロセスカラーになっているときは、[蛍光色の設定] に応じて C,K,FY,FP や C,M,K,FY を組み合わせたプロセスカラーになります。

クイックセットの詳細は、以下をご覧ください。

🔗 [「よく使うジョブ設定の作成（クイックセット）」50 ページ](#)

元から色見本の蛍光色を設定して画像を作成する

エプソンが提供する Epson Fluorescent Color Collection を使って、バリエーションに富んだ蛍光色印刷をするときに適した印刷データの作り方です。

画像処理ソフトで蛍光色にする画像に Epson Fluorescent Color Collection を使って色設定をして印刷データを作ります。

詳細な操作方法は、以下をご覧ください。

☞「色見本の蛍光色を設定して画像を作成して印刷」102 ページ

蛍光色でグラデーションの印刷をする

画像に蛍光色のグラデーション表現があるデータを印刷するときに適したデータの作成方法です。

蛍光色で印刷する部分に対して画像処理ソフトで特色設定を行います。

印刷する蛍光色はプリンターにセットしている蛍光色インクの色となります。

特色設定をして印刷データを作る方法は、以下をご覧ください。

☞「蛍光色でグラデーションを印刷」103 ページ

色置換して蛍光色でグラデーションの印刷をする

画像処理ソフトで特色設定をせずに簡単に印刷データを作成したいときに適したデータの作成方法です。

印刷する蛍光色はプリンターにセットしている蛍光色インクの色となります。

操作方法は、以下をご覧ください。

☞「色置換して蛍光色でグラデーションを印刷」108 ページ

色見本の蛍光色を設定して画像を作成して印刷

印刷するまでの作業の流れは、以下の通りです。

使用する蛍光色を決める

デザイナーと印刷担当者がカラーコレクションのどの蛍光色を使うか色見本を基に打ち合わせる

☞「色見本を印刷する」73 ページ



画像処理ソフトでエプソンの蛍光色カラーのスウォッチライブラリを開く

デザイナーが印刷データを作成する画像処理ソフトでエプソンの蛍光色カラーのスウォッチライブラリを開く

☞「印刷データ作成前の準備」102 ページ



画像処理ソフトで蛍光色印刷用の印刷データを作成する

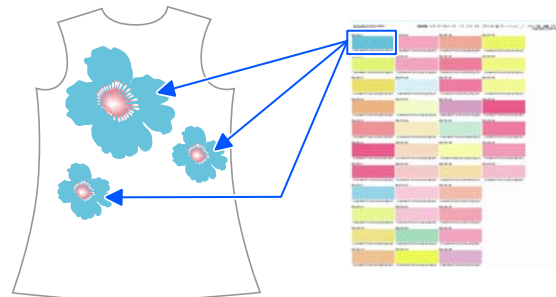
スウォッチパネルから使用する蛍光色を選択して画像に設定する

☞「印刷データの作成手順」102 ページ



本ソフトウェアにジョブ追加して印刷する

☞「蛍光色印刷の手順」103 ページ



印刷データの作成

印刷データ作成前の準備

デザイナーが印刷データを作成する画像処理ソフトでエプソンが提供する蛍光色カラー（Epson Fluorescent Color Collection）のスウォッチライブラリを開きます。

エプソンの蛍光色カラーのスウォッチライブラリは、本ソフトウェアのダウンロードサイト（<https://support.epson.net/eeep/>）の「オプションファイル」 - 「色見本帳」に掲載されています。

例えば、Illustrator ではスウォッチライブラリは以下のいずれかの方法で開けます。

- 「[ウィンドウ] - [スウォッチライブラリ] - [その他のライブラリ]」の順にクリックして上記ファイルの保存先を選択してファイルを選択します。
- スウォッチパネルメニューで、「[スウォッチライブラリを開く] - [その他のライブラリ]」の順にクリックして上記ファイルの保存先を選択してファイルを選択します。
- スウォッチパネルで、スウォッチライブラリメニューボタン（） - 「[その他のライブラリ]」の順にクリックして上記ファイルの保存先を選択してファイルを選択します。

印刷データの作成手順

1

上記で開いたスウォッチライブラリから、事前に色見本を見て決めた色を選択して蛍光色で印刷する画像に色設定します。

2 CMYK 部分の画像も合わせて存在するときは、通常通り作成します。

3 画像が完成したら、データを **PDF** 形式で保存します。

蛍光色印刷の手順

1 ジョブツールバーの  (追加) をクリックして印刷データをジョブリストに追加します。
または、ジョブリスト上に印刷データファイルをドラッグ&ドロップします。

追加した印刷データのサムネイルやデータ名がジョブリストに表示されます。

2 ジョブリストで、追加したジョブを選択します。
複数の行が表示されたときはルート（左端に三角が表示されている行）を選択します。

プレビューエリアに印刷画像が表示されます。

3 ジョブ設定メニューの  (基本設定) をクリックして、[印刷品質] の項目名の後ろに表示される蛍光色の設定が [全てのインクで印刷 (蛍光インク手動調整)] に設定されていることを確認します。

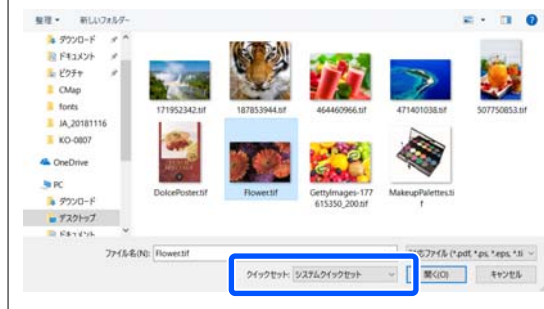
設定が異なるときは、別のクイックセットに変更するか、クイックセットを作成または編集します。
クイックセットは、印刷ジョブの設定一式を保存したもので、この設定に従ってジョブが生成されます。

 「よく使うジョブ設定の作成 (クイックセット)」 50 ページ

参考

別のクイックセットに変更するときは、ジョブ設定メニューの  (ジョブ情報) をクリックして、[クイックセット] で変更後のクイックセットを選択します。

 (追加) をクリックして印刷データを選択するとき、合わせてクイックセットも選択できます。



4 ジョブ設定メニューの  (基本設定) の [印刷品質] で印刷品質を選択します。

5 その他の設定を確認してジョブツールバーの  (印刷) をクリックし、印刷を開始します。

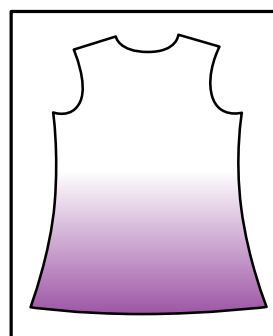
蛍光色でグラデーションを印刷

ここでは、Adobe の画像処理ソフトで以下の **A** のようにプロセスカラーの印刷データと、**B** のように FP の特色設定した印刷データを同じサイズの別々のデータで作成し、本ソフトウェアで合成して印刷する手順を説明します。

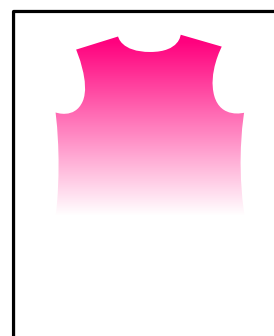
A では、プロセスカラーの画像に対して 0 から 100% になるグラデーション設定をします。特色の部分にかかる部分は、設定したプロセスカラーと特色を組み合わせた色で印刷されます。

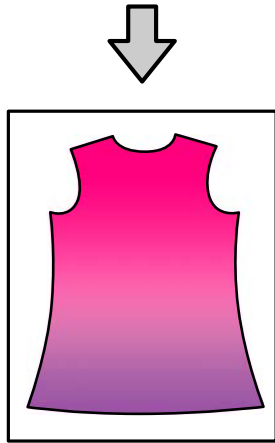
B では、特色 (FP) の画像に対して透明から不透明になるグラデーション設定をします。カラー 0 から 100% になるグラデーション設定をすると純粋な特色 (FP) になりません。

A カラーのデータ



B 蛍光色印刷用データ





- 🔗 「Illustrator で特色設定する方法」 104 ページ
🔗 「Photoshop で特色設定する方法」 105 ページ

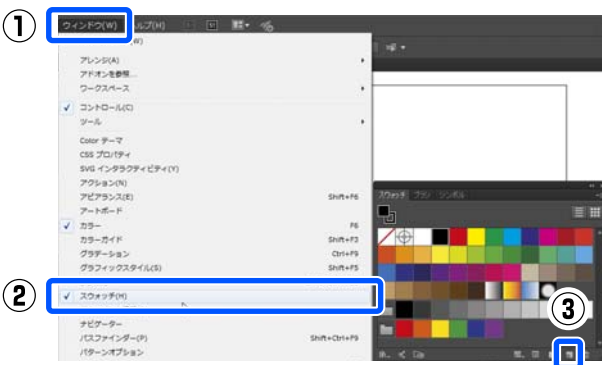
Illustrator で特色設定する方法

Adobe Illustrator CC(2015)で **B** の画像を例に蛍光色で印刷する部分に特色設定をする手順を説明します。

A は、通常のプロセスカラーで色の指定をしてグラデーション設定して PDF 形式で保存します。

1 Illustrator を起動して印刷データを開きます。

2 [ウィンドウ] - [スウォッチ] -  (新規スウォッチ) の順でクリックします。



3 スウォッチに蛍光色の設定に使う特色を保存して **[OK]** をクリックします。

以下の通り、特色名や Illustrator での表示上の塗り色を指定します。

① [名前]

印刷する色によって、特色名を以下の通り入力します。大文字、小文字も以下の通り入力してください。

FY 印刷用 : FluoYellow

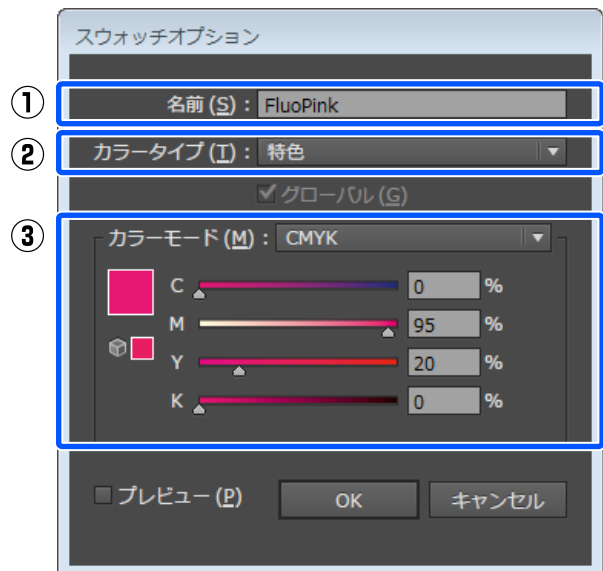
FP 印刷用 : FluoPink

② [カラータイプ]

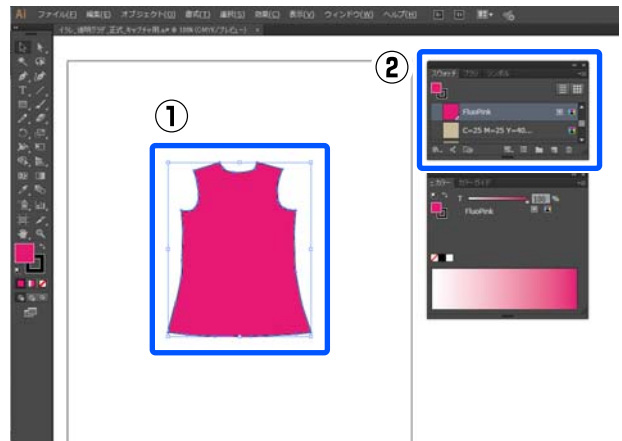
[特色] を選択します。

③ [カラーモード]

[CMYK] を選択して、Illustrator での表示上の塗り色を指定します。白 (CMYK 全て 0%) にすると背景色と判別しにくいので、他のカラー部分で使用していない明るい色を指定することをお勧めします。(図の例では、ピンク系の色に設定。) 実際は、FP で印刷されます。

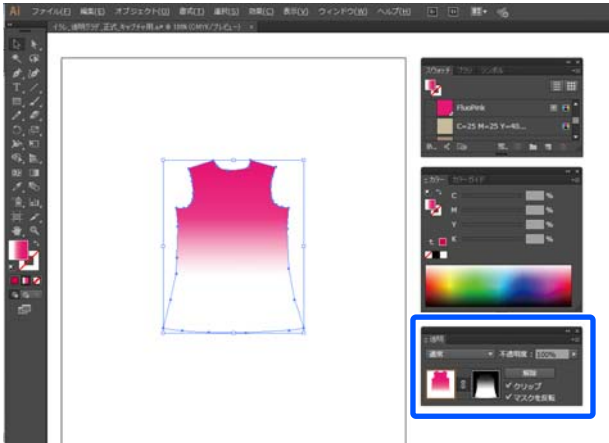


4 FP で印刷する画像を選択して、塗りに手順 3 でスウォッチに保存した特色を指定します。



5 グラデーションの設定をします。

手順 4 で FP の設定をした画像をコピーして元画像上にぴったり重ね、前面の画像にグラデーションを設定し、[不透明マスク] を作成します。



6 特色設定が完了したら、データを PDF 形式で保存します。

Photoshop で特色設定する方法

Adobe Photoshop CC(2015)で **B** の画像を例に蛍光色で印刷する部分に特色設定をする手順を説明します。

A は、通常のプロセスカラーで色の指定をしてグラデーション設定して PDF 形式で保存します。

1 Photoshop を起動して印刷データを開きます。

2 [ウィンドウ] - [レイヤー] の順にクリックします。

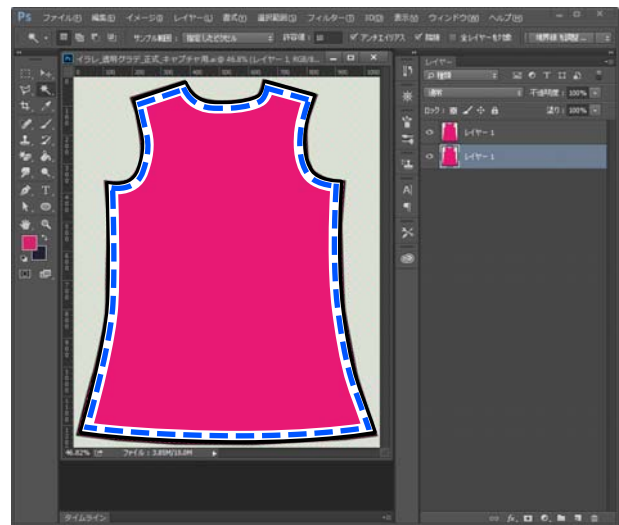
3 FP で印刷する部分を含むレイヤー上で右クリックして、[レイヤーを複製] をクリックします。 画像のコピーができて、画像レイヤーが 2 つになります。

4 [レイヤー] でコピー元の画像レイヤーを選択して、FP で印刷する部分を削除します。

FP で印刷する部分のみ選択する方法は以下の 2 つがあります。詳細は、Photoshop のヘルプをご覧ください。

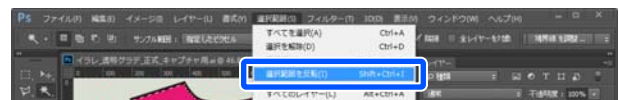
- (クイック選択ツール) または (自動選択ツール) で選択する。

- FP 印刷部分を含む領域を [選択] ツールで選択後、[選択範囲] - [色域指定] で FP を色指定する。

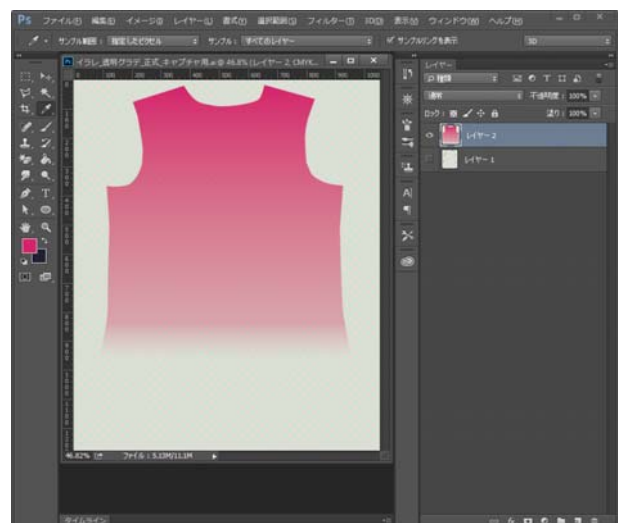


5 [レイヤー] でコピーしたレイヤーを選択し、[選択範囲] - [選択範囲を反転] をクリックして FP で印刷する部分以外を削除します。

FP を印刷しない部分がなくなり、何も無い部分が選択された状態になります。



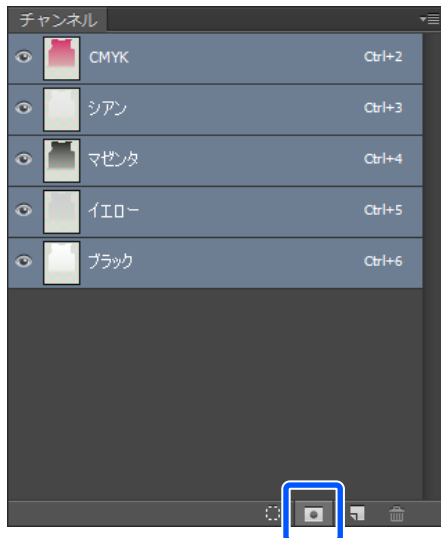
6 手順 5 で FP で印刷する部分だけにした画像に対して透明から不透明になるグラデーションを設定します。



- 7 [ウィンドウ] - [チャンネル] の順にクリックします。

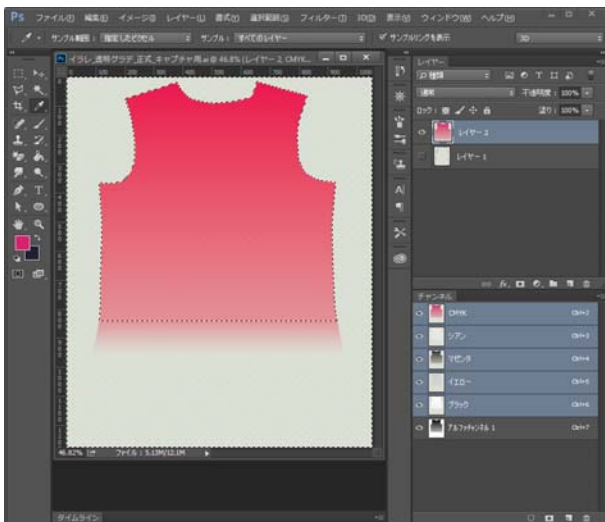
対象の画像が選択されていることを確認します。

- 8 (選択範囲をチャンネルとして保存) をクリックします。



[選択範囲を解除] を行い [階調を反転] を行います。

FP を印刷する部分がマスクされた状態になります。(赤くなった部分がマスク領域です)



- 9 [アルファチャンネル] を選択した状態でメニューをクリックして、[チャンネルオプション] をクリックします。



- 10 スポットカラーとして特色設定に使う特色を設定して [OK] をクリックします。

以下の通り、特色名や Photoshop での表示上の塗り色を指定します。

① [チャンネル名]

印刷する色によって、チャンネル名を以下の通り入力します。大文字、小文字も以下の通り入力してください。

FY 印刷用 : FluoYellow

FP 印刷用 : FluoPink

② [着色表示]

[スポットカラー] を選択します。

③ [表示色]

FP で印刷する部分の Photoshop 表示上の色を指定します。(図の例では、赤に設定。) 実際は、FP で印刷されます。



- 11 特色設定が完了したら、データを PDF 形式で保存します。

ジョブを合成して印刷する手順

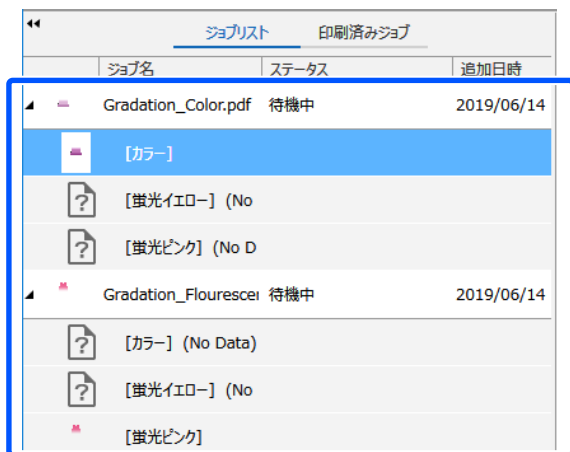
- ジョブツールバーの  (追加) をクリックして特色設定した画像を含む印刷データ (**B** の画像データ) と通常のプロセスカラーでグラデーション設定した印刷データ (**A** の画像データ) をそれぞれ追加します。
または、ジョブリスト上に印刷データファイルをドラッグ&ドロップします。

ジョブリストの追加した各ジョブのルート直下に色別 (カラー、蛍光イエロー、蛍光ピンク) の行が表示されます。

ただし、追加したジョブに設定されている色により [No Data] の状態になる行が異なります。

プロセスカラーが設定されたジョブを追加したときは、[蛍光イエロー]、[蛍光ピンク] の行が [No Data] になります。

特色が設定されたジョブを追加したときは、[カラー] と設定していない特色の行が [No Data] になります。



- ジョブリストで、追加したカラーのジョブのルート (左端に三角が表示されている行) を選択します。

プレビューエリアに印刷画像が表示されます。

- ジョブ設定メニューの  (基本設定) をクリックして、[印刷品質] の項目名の後ろに表示される蛍光色の設定が [全てのインクで印刷 (蛍光インク手動調整)] に設定されていることを確認します。

設定が異なるときは、別のクイックセットに変更するか、クイックセットを作成または編集します。

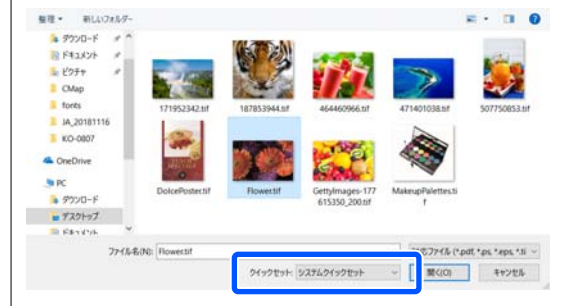
クイックセットは、印刷ジョブの設定一式を保存したもので、この設定に従ってジョブが生成されます。

[「よく使うジョブ設定の作成 \(クイックセット\)」 50 ページ](#)

参考

別のクイックセットに変更するときは、ジョブ設定メニューの  (ジョブ情報) をクリックして、[クイックセット] で変更後のクイックセットを選択します。

 (追加) をクリックして印刷データを選択するとき、合わせてクイックセットも選択できます。

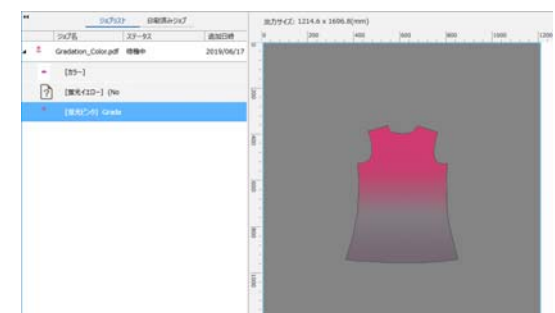


- ジョブリストで蛍光色印刷用ジョブを選択してカラーのジョブの対象の蛍光色の行にドラッグ&ドロップします。

または、蛍光色印刷用ジョブと対象の蛍光色の行を **[Ctrl]** キーを押したまま選択して右クリックメニューを表示し、[合成] を選択します。

この例では、[蛍光ピンク] の行に **B** の画像のジョブをドラッグ&ドロップします。

この例では、蛍光イエローでは印刷しないので、[蛍光イエロー] の行に対しては何もしません。

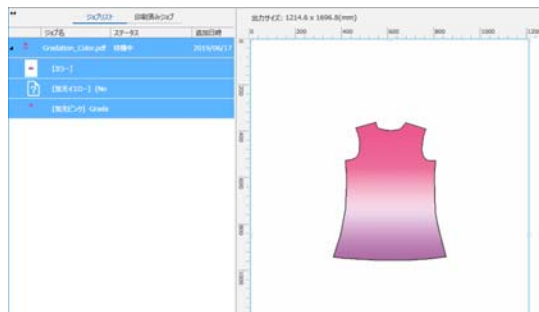


以下の場合には、合成できません。

- カラーのデータと蛍光色印刷用データの画像サイズが異なるとき。
- カラーのデータの合成先に [No Data] の層が存在しないとき。

- 5** ジョブリストで蛍光色ジョブのルート（左端に三角が表示されている行）を選択します。

プレビューエリアに印刷画像が表示されます。



- 6** ジョブ設定メニューの ≡（基本設定）をクリックして【印刷品質】で印刷品質を選択します。

印刷品質の内容は、【プリント情報の管理】で変更できます。

🔗「使用するメディアに応じたプリント情報を作成する」56 ページ

- 7** その他の設定を確認してジョブツールバーの 🖨️（印刷）をクリックし、印刷を開始します。

色置換して蛍光色でグラデーションを印刷

印刷するまでの作業の流れは、以下の通りです。

画像処理ソフトでデータを作る

カラーのデータと蛍光色用データを同じサイズの別々のデータで作ります。

🔗「データの準備」108 ページ



本ソフトウェアに各データをジョブ追加して合成と蛍光色への置換を行う

カラーのデータと蛍光色印刷用データを一つのジョブに合成して蛍光色印刷用データを目的の蛍光色に置換します。

🔗「ジョブの合成と蛍光色への置換の手順」109 ページ



印刷を行う

🔗「印刷の手順」110 ページ

データの準備

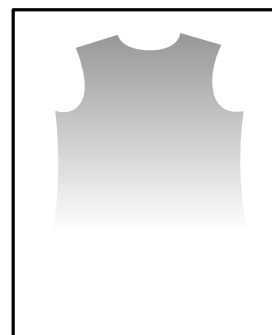
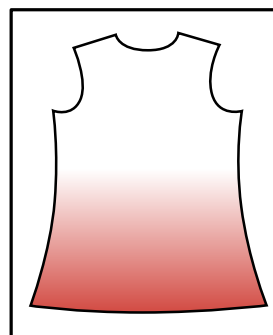
Adobe の画像処理ソフトで **A** **B** のような印刷データを同じサイズの別々のデータで作ります。

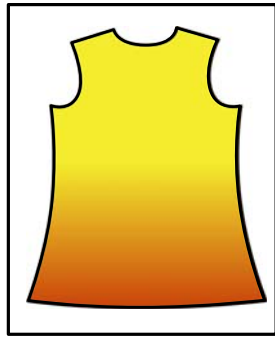
A では、プロセスカラーの画像に対して 0 から 100% になるグラデーション設定をします。**B** の部分にかかる部分は、設定したプロセスカラーと蛍光色を組み合わせた色で印刷されます。

B では、グレースケールの画像に対して 0 から 100% になるグラデーション設定をします。

A カラーのデータ

B 蛍光色印刷用データ



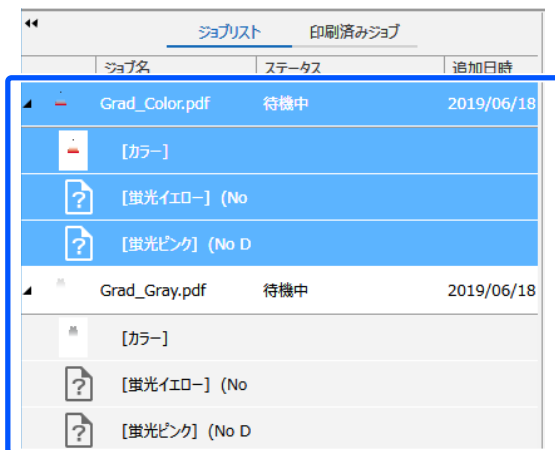


この例は、蛍光色印刷用データを「特色版用色置換」で FY に置換したときのイメージです。
本ソフトウェアで合成して「特色版用色置換」で蛍光色に置換する手順は、以降で説明します。

ジョブの合成と蛍光色への置換の手順

1 ジョブツールバーの (追加) をクリックしてカラーのデータと蛍光色印刷用データをジョブリストに追加します。
または、ジョブリスト上に印刷データファイルをドラッグ&ドロップします。

ジョブリストの追加した各ジョブのルート直下に色別（カラー、蛍光イエロー、蛍光ピンク）の行が表示されます。



2 ジョブリストで、追加したカラーのジョブのルート（左端に三角が表示されている行）を選択します。

プレビューエリアに印刷画像が表示されます。

3 ジョブ設定メニューの (基本設定) をクリックして、[印刷品質] の項目名の後ろに表示される蛍光色の設定が「全てのインクで印刷（蛍光インク手動調整）」に設定されていることを確認します。

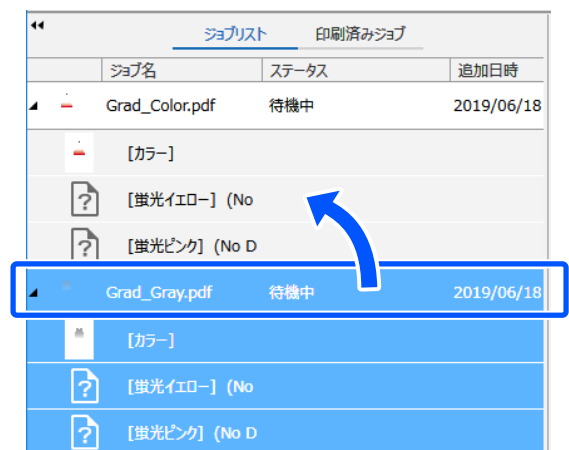
設定が異なるときは、別のクイックセットに変更するか、クイックセットを作成または編集します。
クイックセットは、印刷ジョブの設定一式を保存したもので、この設定に従ってジョブが生成されます。

「よく使うジョブ設定の作成（クイックセット）」50 ページ



4 ジョブリストで蛍光色印刷用ジョブを選択してカラーのジョブの対象の蛍光色の行にドラッグ & ドロップします。
または、蛍光色印刷用ジョブと対象の蛍光色の行を **[Ctrl]** キーを押したまま選択して右クリックメニューを表示し、[合成] を選択します。

この例では、蛍光イエローに置換するので「蛍光イエロー」の行が操作対象になります。



以下の場合、合成できません。

- カラーのデータと蛍光色印刷用データの画像サイズが異なるとき。
- カラーのデータの合成先に [No Data] の層が存在しないとき。

5 ジョブリストで [蛍光イエロー] の行を選択します。

まだ蛍光色に置換していないので、プレビューエリアには画像は表示されません。

6 ジョブ設定メニューの  (多層印刷設定) をクリックします。

設定エリアが多層印刷設定に変わります。

7 [特色版用色置換] で目的の蛍光色を選択します。

この例では [ブラック] を選択します。
プレビューエリアに蛍光色印刷用の画像が表示されます。



印刷の手順

1 ジョブ設定メニューの  (基本設定) の [印刷品質] で印刷品質を選択します。

2 その他の設定を確認してジョブツールバーの  (印刷) をクリックし、印刷を開始します。

こんなときには

メディアサイズの初期設定を変更したいとき

ジョブ設定メニューの ≡ (基本設定) の [メディアサイズ] で通常使う (初期設定) サイズを変更できます。

- 1 ツールメニュー - [プリセット管理] - ≡ (オプション設定) の順でクリックします。
- 2 [プリンターからメディアサイズを取得] のチェックを外して、[デフォルトのメディアサイズ] のリストボックスで目的のサイズを選択します。
- 3 設定が完了したら [適用] をクリックします。

プリンターにセットされたメディアの実際のサイズを取得したいとき

メディアサイズ取得の設定を変更すると、印刷データをジョブリストに追加したときに、プリンターにセットされているメディアの実際のサイズをジョブ設定メニューの ≡ (基本設定) の [メディアサイズ] に表示できます。

- 1 ツールメニュー - [プリセット管理] - ≡ (オプション設定) の順でクリックします。
- 2 [プリンターからメディアサイズを取得] にチェックを付けて、リストボックスで [セットされたメディアサイズに従う] を選択します。
- 3 設定が完了したら、[適用] をクリックします。

例外的なメディアサイズを作成したいとき (カスタムメディアサイズ)

シートのメディアや特殊な幅のロールメディアに印刷するときは、以下の手順でカスタムメディアサイズの作成をします。以降、ジョブ設定メニューの ≡ (基本設定) の [メディアサイズ] から選択できるようになります。

- 1 ツールメニュー - [プリセット管理] - ≡ (オプション設定) の順でクリックします。
- 2 [カスタムメディアサイズ設定] をクリックします。
カスタムメディアサイズ設定ダイアログが表示されます。
- 3 + (追加) をクリックするとリストに [カスタムメディアサイズ] が追加されますので、任意の名称に変更します。
- 4 [メディア形状] で [ロール] か [シート] を選択してサイズを入力します。
[ロール] 選択時は、[メディア幅] のみ入力できます。

印刷時のメディア左右余白を変更したいとき

プリンターの設定メニューでも左右余白を設定できます。本ソフトウェアでの設定よりもプリンターの設定が優先されます。ただし、プリンターで設定した左右余白は本ソフトウェアのプレビューエリアには反映されません。プリンターでより広い左右余白を設定していると、はみ出す部分を確認できません。はみ出した部分は、印刷されません。
お使いの機種によっては、本ソフトウェアでの左右余白の設定はできません。

- 1 ツールメニュー - [プリセット管理] - ≡ (オプション設定) の順でクリックします。

2 [メディア余白] の [右] と [左] で余白の値を設定します。

3 設定が完了したら [適用] をクリックします。

プリンターからメディア左右余白を取得したいとき

イベントマーキング対応機種を操作対象のプリンターとして選択しているときに限り、プリンターで設定した左右余白を取得できます。プリンターでイベントマーキングを有効にしているときは、取得した左右余白にメディア端情報のエリアが含まれます。

1 ツールメニュー - [プリセット管理] -  (オプション設定) の順でクリックします。

2 [メディア余白] の [プリンターからメディア余白を取得] にチェックを付けます。

3 [適用] をクリックします。

以下のどちらかを行うと、プリンターで設定した左右余白が本ソフトウェアのプレビューエリアに反映されます。

- ジョブ設定メニューの  (基本設定) で [メディアサイズ] のリストボックス右の  をクリックする
- 本ソフトウェアを再起動する

メディア設定とプリント情報を同期させるとき

[プリンターのメディア設定が更新されました。] とメッセージが表示されたときやジョブ設定メニューの  (基本設定) の [メディア名] リストボックス右に  アイコンが表示されたときは、プリンターに登録されているメディア設定値に対応するプリント情報が本ソフトウェアに登録されていません。

以下の手順で同期してください。

お使いの機種によっては、同期が無効となります。

1 ツールメニュー - [プリセット管理] -  (プリント情報の管理) の順でクリックします。

2  (同期) をクリックします。
確認画面が表示されます。

3 [実行] をクリックします。

使用したいエプソン製専用紙がみつからないとき

お使いの機種がエプソン製専用紙対応機種で、ジョブ設定メニューの  (基本設定) の [メディア名] に使用したいエプソン製専用紙が表示されないときは、エプソン製専用紙の用紙情報を取得できます。

1 ツールメニュー - [プリセット管理] -  (プリント情報の管理) の順にクリックします。

2  (追加) をクリックします。
プリント情報追加ウィザードが始まります。

3 [エプソン製専用紙の用紙情報ファイルを取得して追加] を選択して [次へ] をクリックします。
エプソン製専用紙の用紙情報の一覧が表示されます。

4 使用したい用紙情報を選択します。
用紙情報を 1 つ選択します。用紙情報は、一度に複数を選択できません。
すでに取得した用紙情報は、グレイアウトして選択できません。

[状況] に [更新あり] と表示されているものは、取得後に用紙情報が更新されたことを示しています。

[更新あり] と表示された用紙情報を選択して取得すると、取得済みの用紙情報に上書きされます。

5 [完了] をクリックします。
用紙情報が取得されます。

取得が完了すると、☰（基本設定）の[メディア名]のリストボックスに取得した専用紙が追加されます。

特色設定された画像と透明画像が重なったデータを含む PDF を正しく印刷できないとき

以下の3つのうちのいずれかの方法で回避できます。

- PDF オーバープリントシミュレーションを有効にして再印刷する
ツールメニュー - [プリセット管理] - （クイックセット）の順でクリックします。[基本設定] タブで [PDF オーバープリントシミュレーション] にチェックを付けます。
[🔗 「クイックセットの作成」 50 ページ](#)
- 画像処理ソフトで EPS に保存し直す
- 画像処理ソフトで透明効果を適用させた PDF を作成する
例: Illustrator の場合、重なった画像を選択して「分割・統合」処理を実施

印刷結果の色合いが以前と異なるとき

Epson Edge Print PRO のライセンスで本ソフトウェアをお使いのときに、印刷結果の色合いが、以前に本ソフトウェアから印刷したときと異なることがあります。

以前と同じ色合いで印刷したいときは、以下の手順で設定を変更します。

ただし、設定を変更するには、Epson Edge Print のライセンスと Epson Edge Print PRO のライセンスの両方が登録されている必要があります。

- 1 ツールメニュー - [環境設定] - （RIP サーバー設定）の順にクリックします。

- 2 [RIP に Adobe PostScript を使用する] にチェックを付けます。

参考

通常は、[RIP に Adobe PostScript を使用する]のチェックを外した状態で印刷することを推奨します。
チェックを外した状態で印刷すると、以下の効果があります。

- オーバープリント設定や透明効果を正しい色合いで印刷できる。
- 滑らかな階調表現で印刷できる。

- 3 設定が完了したら [適用] をクリックします。

グラデーションをより滑らかに印刷したいとき

以下の設定は、Epson Edge Print PRO のライセンスで本ソフトウェアをお使いで、データ形式が PDF/EPS/PS のときに限り有効です。

データ形式が PDF/EPS/PS の印刷データを印刷したときに、画像のグラデーション部分に濃淡の縞（バンディング）が生じることがあります。

以下の手順で [ビット深度] を確認して [8 bit] が設定されているときは、[16 bit] に変更するとグラデーションをより滑らかな階調表現で印刷できます。

- 1 ツールメニュー - [環境設定] - （RIP サーバー設定）の順にクリックします。

- 2 [RIP オプション] の [ビット深度] で [16 bit] を選択します。

- 3 設定が完了したら [適用] をクリックします。

画像に含まれる細い線が印刷されないとき

細い線を含む画像の印刷結果で線が印刷されないときは、ジョブ設定メニューの☰（基本設定）で [入力解像度] を高い値に変更して再印刷してください。

[🔗 「ジョブの基本設定」 16 ページ](#)

上記の設定に加えて、ジョブ設定メニューの  (基本設定) の [画像の補間方法] が有効なときは、[バイキュービック] に変更してください。

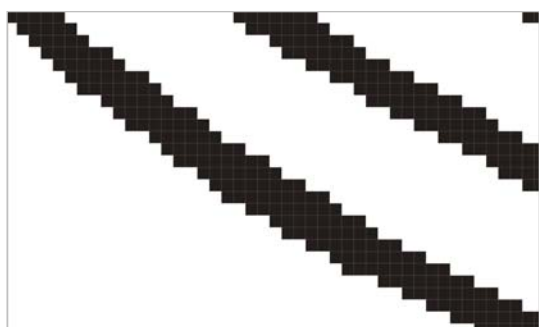
[バイキュービック] に変更しても画像に含まれる細い線が印刷されないときは、[バイリニア (スーパーサンプリング)] に変更してください。

[画像の補間方法] は、お使いの機種によっては印刷データのデータ形式が TIFF のときに限り有効になります。TIFF のときに限り有効になる機種ではリストボックスに [バイリニア (スーパーサンプリング)] は表示されません。

画像に含まれる斜線や曲線が滑らかに印刷されないとき

以下の例の画像のように印刷結果で斜線や曲線が滑らかに印刷されないときは、対処方法の 1~3 を順に実行して、都度再印刷してください。

例)



対処方法

1. プリンターでメディア送り調整とプリントヘッドの位置調整を行う。
メディア送り調整とプリントヘッドの位置調整の詳細は、お使いのプリンターのマニュアルをご覧ください。
2. 本ソフトウェアのジョブ設定メニューの  (基本設定) で [入力解像度] を高い値に変更する。
 [「ジョブの基本設定」16 ページ](#)
3. ジョブ設定メニューの  (基本設定) で [印刷品質] を出力解像度が高い値に変更して、[入力解像度] も高い値に変更する。
 [「ジョブの基本設定」16 ページ](#)

Epson Edge Print PRO のライセンスで本ソフトウェアをお使いで、データ形式が PDF または線画を含む EPS/PS のときは、上記の設定に加えてジョブ設定メニューの  (基本設定) で [アンチエイリアス] を [ON] に設定してください。

ジョブ設定メニューの  (基本設定) の [画像の補間方法] が有効なときは、[画像の補間方法] を [バイキュービック] に変更してください。[バイキュービック] に変更しても、斜線や曲線が滑らかに印刷されないときは、[バイリニア (スーパーサンプリング)] に変更してください。

[画像の補間方法] は、お使いの機種によっては印刷データのデータ形式が TIFF のときに限り有効になります。TIFF のときに限り有効になる機種では、リストボックスに [バイリニア (スーパーサンプリング)] は表示されません。

表示言語・長さ単位を変更したいとき

本ソフトウェアの画面に表示する言語や長さ単位を変更できます。

- 1 ツールメニュー - [環境設定] -  (一般) の順でクリックします。
- 2 [言語] で変更後の言語を選択します。
- 3 [長さ単位] で変更後の単位を選択します。

- 4 設定が完了したら「適用」をクリックします。

ネストジョブの部数設定時の整列方法を変更したいとき

ネストジョブと複数ページジョブで部数設定をしたときの画像やページの配置は、ジョブ設定メニューの （レイアウト設定）の「配置方法」で「スタンダード」を選択したときと同じ配置になります。

 [「レイアウトの設定」20 ページ](#)

「スタンダード」を選択したときのジョブやページの整列方法を変更できます。

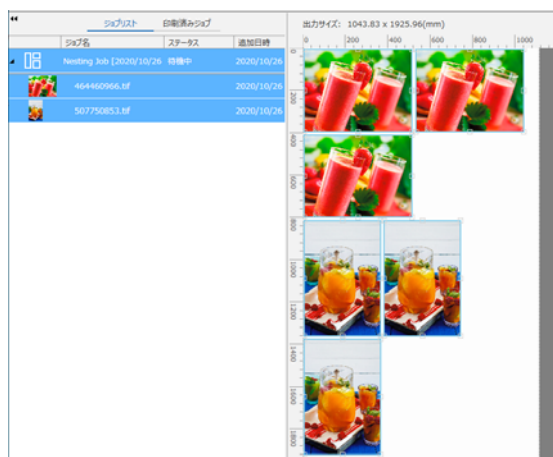
整列方法を変更すると、ネストジョブと複数ページジョブで部数設定をしたときの配置も変更されます。

- 1 ツールメニュー - 「環境設定」 - （一般）の順でクリックします。

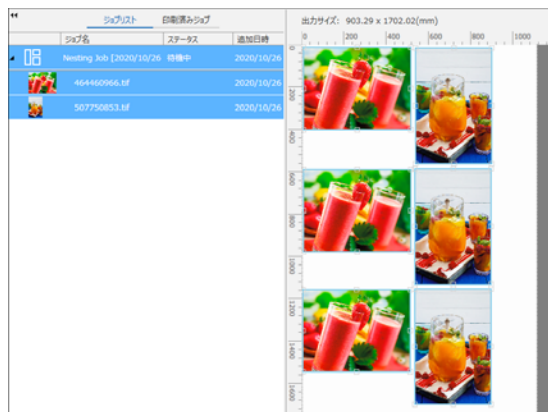
- 2 「スタンダードの整列方法」のリストボックスで整列方法を選択します。

例：ネストジョブの各ジョブの部数を3部に設定したとき

- ジョブ/ページごとに整列



- 部ごとに整列



- 3 設定が完了したら「適用」をクリックします。

プレビューの表示時間を短縮したいとき

以下の設定は、Epson Edge Print PRO のライセンスで本ソフトウェアをお使いで、データ形式が PDF/PS 以外のときに限り有効です。

印刷データのファイル容量が大きいと、ジョブリストに印刷データを追加してからプレビューが表示されるまでに時間がかかることがあります。

プレビューの作成方法を「簡易プレビュー」に変更すると、印刷データの追加からプレビューの表示までの時間を短縮できます。

簡易プレビューでは、ジョブ設定メニューの以下の設定ができません。高精度のプレビューに変更すると設定できます。

- （色置換）全般
- 多層印刷用ジョブのジョブ合成
 [「ジョブ合成の手順」92 ページ](#)

また、プレビュー画像には以下の設定は反映されません。プレビュー画像の解像度も低くなります。

- カラー設定（入出力プロファイル）
- 色置換情報
- 特色設定

- 1 ツールメニュー - 「環境設定」 - （一般）の順でクリックします。

2 [プレビュー作成方法] で [簡易プレビュー] を選択します。

3 設定が完了したら [適用] をクリックします。
画面の指示に従って本ソフトウェアを再起動すると設定が有効になります。

参考

- 簡易プレビューが有効なジョブは、ジョブリストのサムネイルに  が表示されます。
- データ形式が PDF/PS 以外のジョブでも、簡易プレビューが無効になることがあります。
- 簡易プレビューが有効なジョブを高精度のプレビューに変更するときは、ジョブリストでジョブを選択してジョブツールバーの  (高精度プレビュー) をクリックします。

カットパスデータをエクスポートしたいとき

画像処理ソフトでカットパスを設定した印刷データを印刷または RIP 処理したときに、カットパスデータを PDF や EPS などにエクスポートできます。Zünd 社のデジタルカッティングシステムをお使いのときは、カットパスデータを ZCC にエクスポートできます。

エクスポートしたカットパスデータは、PDF/EPS/ZCC のインポートに対応するカッティングプロッタ (カッティングマシン) で利用できます。

ただし、以下の設定をしたジョブはカットパスデータのエクスポートができません。

- ジョブ設定メニューの  (クリップ) で印刷範囲を設定した場合
- ジョブ設定メニューの  (分割印刷) で画像を分割した場合
- ジョブ設定メニューの  (ステップ&リピート) で繰り返し模様のパターンを作成した場合

また、PDF/ZCC へのエクスポートは、Epson Edge Print PRO のライセンスで本ソフトウェアをお使いのときに限り有効です。

エクスポート前の準備

印刷データの作成

画像処理ソフトで印刷データにカットパスを作成します。作成したカットパスに、任意の特色名で特色設定をしてください。

特色名はカットパス専用の名称を設定してください。

例：CutContour

カットパスの設定

印刷データのカットパスに設定した特色名を本ソフトウェアでカットパスとして認識するために、カットパス設定を行います。以下の手順でカットパスの設定をした特色名は印刷されません。

1 ツールメニュー - [環境設定] -  (RIP サーバー設定) の順でクリックします。

2 [カットパス] の [カットパスデータをファイルで出力] にチェックを付けて、[カットパスの設定] をクリックします。

設定ダイアログボックスが表示されます。

3 + (追加) をクリックします。

4 [カットパスの特色名] に、印刷データのカットパスに設定した特色名を入力します。
Zünd 社のデジタルカッティングシステム (Zünd カッター) をお使いのときは、[カット方法 (Zünd)] で、入力した特色名のカットパスに適用するカット方法を選択します。

Zünd 社以外のカッティングプロッタ (カッティングマシン) をお使いのときは、[カット方法 (Zünd)] は選択不要です。

5 [OK] をクリックします。

6 [カットパスの特色名] に複数の特色名が登録されているときは、本ソフトウェアで自動生成したカットパス(カット枠)で使用する特色名を [自動生成したカット枠用] で選択します。

本ソフトウェアで自動生成するカットパス (カット枠) の詳細は、以下をご覧ください。

 「カット用のマークやジョブラベルの設定方法」 37 ページ

7 ✕ をクリックして設定ダイアログボックスを閉じます。

8 [カットパスファイルの保存先] の [参照] をクリックして、カットパスデータのファイルの保存先を選択します。

9 設定が完了したら [適用] をクリックします。

カットパスデータのエクスポート

カットパスを設定した印刷データをジョブリストに追加して印刷または RIP 処理を開始すると、指定した保存先に以下のファイル名で PDF/EPS/ZCC が保存されます。

<印刷データのファイル名>_<エクスポート日時>.pdf
(.eps)(.zcc)

なお、印刷データをジョブリストに追加したときに、プレビューエリアの画像にはカットパスは表示されません。

プレビューエリアの画像にカットパスが表示されるときは、カットパスデータのエクスポートが無効になっています。「カットパスの設定」の手順を参照してカットパスのエクスポートを有効にして、印刷データをジョブリストに追加し直すと、プレビューエリアの画像のカットパスが非表示になります。

印刷の途中でプリントヘッドが止まったり動いたりするとき

ラスタイメージ処理（リッピング）が終わってから印刷するようにします。

1 ジョブリストで印刷対象のジョブを選択します。

2 ジョブツールバーの （RIP）をクリックします。

RIP が始まるとジョブリストの [ステータス] 欄に [RIP 中] と表示されます。

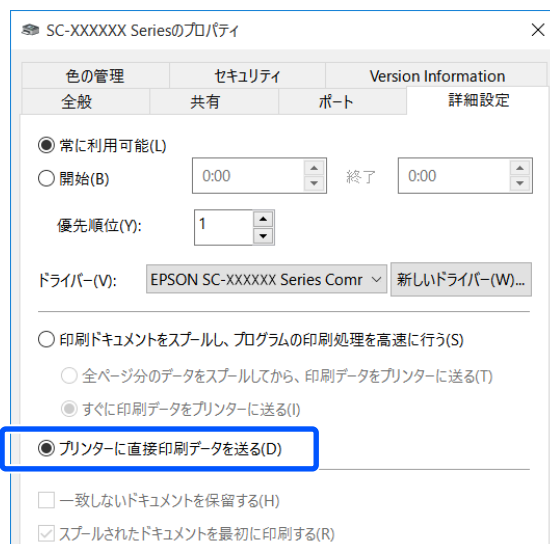
[ステータス] 欄の表示が [RIP 済] となるまで待ちます。

3 ジョブリストで印刷対象のジョブを選択してジョブツールバーの （印刷）をクリックします。

上記の対応を行っても改善されないとき

インストールされている Epson 通信ドライバー（EPSON SC-XXXXX Series Comm Driver）の設定をご確認ください。確認方法は、以下をご覧ください。Windows10 を例に記載します。

- ① [スタート] - [すべてのアプリ] - [Windows システムツール] - [コントロールパネル] - [デバイスとプリンター] の順で選択します。
- ② 一覧から対象となるプリンターを選択して右クリックして表示されるメニューで [プリンターのプロパティ] を選択します。
- ③ [詳細設定] タブを開き、[プリンターに直接印刷データを送る] が選択されているか確認して選択されていなければ選択します。



インクの使用量を予測したいとき

プレビューエリアに表示されている画像を印刷したときのインク使用量を予測できます。お使いの機種によっては、本機能に対応していません。

！重要

- 本機能は、指定した印刷ジョブのインク使用量を簡易的に見積もる機能のため、精度を保証しません。また、プリンターの機種間で動作が異なるため、その比較結果も保証できません。
- エプソンは、用途に応じてインク使用量を見積もるソフトウェアを複数種類ご用意しておりますので、用途に適したソフトウェアをご使用ください。
- 実際のインク使用量は、お客様のプリンターご使用状況により異なります。
- メンテナンス作業で使用されるインク（ソフトウェア内で明記されている場合を除く）や、交換されたインクカートリッジに使用しきれずに残るインクは見積もりに含まれません。

予測可能なジョブは以下の通りです。

- 単体ジョブ
- ネストジョブ

1 ジョブリストでインク使用量を予測するジョブ（画像）を選択します。

2 ジョブ設定メニューで （ジョブ情報）をクリックします。

設定エリアに選択したジョブの詳細情報が表示されます。

3 「インク使用量（予測）」の「確認」をクリックします。

インク使用量（予測）ダイアログボックスが表示されます。

4 「予測開始」をクリックします。

予測が完了すると、「予測結果」にインク色ごとの使用量が表示されます。

参考

ジョブによっては予測に時間がかかることがあります。

ジョブリストの【ステータス】に【エラー】と表示され印刷されないとき

ポストスクリプトエラーが生じている可能性があります。以下の手順でエラーの内容を確認して必要に応じて対応してください。

エラー内容の確認

1 ジョブリストで確認するジョブを選択してジョブ設定メニューで （ジョブ情報）をクリックします。

設定エリアに選択したジョブの詳細情報が表示されます。

- 2 **【履歴】** をクリックして **【RIP コンソール】** の欄を確認します。



%%[Error: invalidfont; Offending Command: xxxxxxxx]%%と表示されるとき

Error:invalidfont となっているときは、フォントが埋め込まれていないかシステムに存在しないフォントが指定されています。元データにフォントを埋め込むか、別のフォントに変更してください。xxxxxxx の部分は、状況により内容が変わります。

上記以外が表示されているとき

次項をご覧になり、RIP サーバーのメモリー使用量を増やします。

RIP サーバーのメモリー使用量の変更

- 1 ツールメニュー - **【環境設定】** - (**RIP サーバー設定**) の順でクリックします。
- 2 **【RIP 使用メモリー】** で 1 段階ずつ大きな容量を選択します。
メモリー容量を増やしても、同様のエラーが表示されるときは、もう 1 段階大きい容量に変更してください。
- 3 設定が完了したら **【適用】** をクリックします。

エラー発生時の解析用情報を送信したいとき

以下の機能は、Epson Cloud Solution PORT のアカウントを登録済みのときに限り実行できます。ただし、Epson Cloud Solution PORT のアカウントを登録済みでも、お使いの国と地域によってはメニューが表示されないことがあります。

本ソフトウェアで発生したエラーの解析のために、解析用情報を Epson Cloud Solution PORT に送信できます。エプソンソリューションコールセンターにエラーの発生を連絡するときに、事前に解析用情報を送信しておくことをお勧めします。

収集した情報はエプソンでのエラーの解析のみに使用され、他の目的には使用されません。

解析用情報を送信するには、RIP サーバーがインターネットに接続している必要があります。

- 1 メイン画面の (ログイン) をクリックして、**Epson Cloud Solution PORT** にログインします。

メイン画面に (ログアウト) が表示されているときは、Epson Cloud Solution PORT にログイン済みです。

- 2 ジョブリストでエラーが発生したジョブを選択します。

複数のジョブの解析用情報を送信するときは、1 件ずつジョブを選択して送信してください。

- 3 ツールメニュー - [解析用情報を送信] の順でクリックします。

- 4 送信する情報にチェックを付けて、[OK] をクリックします。

- 5 確認のメッセージが表示されるので [はい] をクリックします。

解析用情報の送信が完了すると、解析番号が表示されます。

エプソンソリューションコールセンターに連絡するときに、表示された解析番号を伝えてエラー内容の確認を依頼してください。エプソンソリューションコールセンターの連絡先  『ユーザーズガイド』（オンラインマニュアル）

記憶装置の使用容量を変更したいとき

RIP 済みデータの保持先の容量を変更できます。
また、記憶装置の容量が残り少なくなったときの処理方法も設定できます。

- 1 ツールメニュー - [環境設定] -  (RIP サーバー設定) の順でクリックします。

- 2 [データ保存] の [最大容量] で容量を設定します。

- 3 記憶装置の容量が残り少なくなったときの処理方法は、[ニアフル時の動作] で選択します。

[通知] 選択時：容量がいっぱいに近づくとエラーメッセージを表示して通知します。

[古いジョブから削除] 選択時：容量がいっぱいになると古いデータが自動で削除されます。

- 4 設定が完了したら [適用] をクリックします。

管理するプリンターの登録・登録解除をしたいとき

本ソフトウェアでは、4 台まで管理するプリンターを登録できます。

複数台のプリンターを登録したときは、画面下のタブで作業するプリンターを選択します。

登録と変更

本ソフトウェアで管理するプリンターを登録すると自動的に Epson Edge Dashboard にも同じプリンターが登録されます。

管理するプリンターを Epson Edge Dashboard で登録したときは、本ソフトウェアには自動で登録されません。
必要に応じて、本ソフトウェアで登録を行ってください。

登録手順

- 1 ツールメニュー - [環境設定] -  (プリンターの登録管理) -  (登録) の順でクリックします。

接続されているプリンターで本ソフトウェアに未登録のプリンターのリストが表示されます。

エプソン製のプリンターでも、本ソフトウェアが対応していないモデルは表示されません。

[IP アドレス検索] をクリックして直接 IP アドレスを入力して検索することもできます。

参考

異なる機種種のプリンターを登録するとき

リストには、本ソフトウェアのインストール時に選択したモデル（機種）のプリンターが表示されます。インストール後に使用する機種を追加するときは、以下をご覧ください。以降、リストに対応機種として表示されます。

 [「インストール後に使用する機種を追加したいとき」121 ページ](#)

2 リストで目的のプリンターを選択します。



【プリンター名】に表示された名称が、本ソフトウェアでのプリンターの登録名としてメイン画面のプリンター切り替えタブに表示されます。必要に応じて名称を変更します。

3 【登録】をクリックします。

登録内容の変更

登録した後でプリンターの登録名を変更できます。また、プリンターを登録後に、プリンターのカラーモード設定やブラックインクの種類、ハードディスクユニットの設定、ボックス保存の設定などを変更したときは、プリンターに合わせて変更します。プリンターの設定と本ソフトウェアでの設定が一致していないと正しく印刷されません。

変更できる設定は以下の通りです。

- 登録名
全ての機種種のプリンターで変更できます。
 - カラーモード設定
WH/MS 搭載機種種のプリンターで変更できます。
 - ブラックインクの種類
ブラックインクの切り替え対応機種種のプリンターで変更できます。
 - ハードディスクユニットの印刷モード
オプションのハードディスクユニットを装着可能な機種種のプリンターで変更できます。
 - ボックス保存設定
ボックス保存対応機種種のプリンターで変更できます。
- 登録名以外の設定の詳細は、お使いのプリンターのマニュアルをご覧ください。

変更方法は、リストで変更対象のプリンターを選択して （変更）をクリックし、設定を変更して【OK】をクリックします。

登録解除手順

プリンターの登録解除を行うと、そのプリンターを選択して作業した以下の内容も全て消去されます。

- ジョブリスト上のジョブ
- 印刷済みジョブリスト上のジョブ
- 取得・追加したプリント情報
- 追加したクイックセット

また、プリンターの登録解除を行うと Windows の【デバイスとプリンター】ウィンドウと Epson Edge Dashboard の登録プリンターからも削除されます。

登録解除するプリンターをホットフォルダーの出力プリンターに設定しているときは、登録解除をする前にホットフォルダーを登録解除してください。

ホットフォルダーを登録解除しないと、プリンターを登録解除できません。

 [「ホットフォルダーの登録解除」55 ページ](#)

1 ツールメニュー - 【環境設定】 - （プリンターの登録管理）の順でクリックします。

2 リストで登録解除するプリンターを選択して （登録解除）をクリックします。
または、登録解除するプリンターアイコン上で右クリックメニューを表示して【登録解除】を選択します。

3 確認のメッセージが表示されるので【はい】をクリックします。

インストール後に使用する機種を追加したいとき

以下の手順で追加するモデルの機種情報などをインストールします。

以下の作業は、ライセンスの登録解除や再登録は不要です。

！重要

追加するモデルのプリンターと RIP サーバー（本ソフトウェアがインストールされているコンピューター）を USB 接続しているときは、プリンターの電源を切ってから機種情報ファイルをインストールしてください。

- 1 本ソフトウェアのダウンロードサイト (<https://support.epson.net/eep/>) から追加するモデルの機種情報ファイルをダウンロードして、RIP サーバーの任意の場所に保存します。
- 2 本ソフトウェアを終了します。
- 3 保存した機種情報ファイルを解凍し、機種情報ファイル（.exe）をダブルクリックしてインストールを実行します。
以降は画面の指示に従ってインストールを完了させてください。
- 4 インストールが完了したら本ソフトウェアを起動してプリンターを登録します。

ライセンスを追加で登録したいとき

プリンターを新たに購入したなどで、途中からライセンスを追加するときは、以下の手順で行います。

- 1 ツールメニュー - 【環境設定】 - （ライセンス管理） - （追加）の順でクリックします。
ライセンス認証ウィザードが始まりますので、画面の指示に従って操作します。

ライセンス認証ウィザードの詳細は、以下の手順 4 以降をご覧ください。

プリンターの登録は行われませんので、読み飛ばしてください。

RIP サーバーがインターネットに接続しているとき
 「インターネットに接続しているとき」123 ページ

RIP サーバーがインターネットに接続していないとき

 「インターネットに接続していないとき」124 ページ

RIP サーバーのコンピューターを変更したいとき

RIP サーバーのコンピューターを変更するときは、以下の順で行います。

1. 変更前の RIP サーバーでライセンスの登録削除を行う。
2. 変更後のコンピューターに本ソフトウェアをインストールしてライセンス登録する。

！重要

事前にライセンスの登録削除をしないと、変更後のコンピューターで本ソフトウェアが使えなくなります。万一、使用していた RIP サーバーのコンピューターが故障したなどで、本ソフトウェアのライセンスの登録解除ができないときは、エプソンソリューションコールセンターにご相談ください。エプソンソリューションコールセンターの連絡先  『ユーザーズガイド』（オンラインマニュアル）

ライセンスの削除手順

ライセンスの登録を削除するときは、必ずコンピューターがインターネットに接続されている状態で行ってください。

インターネットに未接続の状態では登録削除は行えません。

参考

RIP サーバーがインターネットに接続できない環境にあり、ライセンスの登録解除が必要なときは、エプソンソリューションコールセンターにご相談ください。エプソンソリューションコールセンターの連絡先  『ユーザーズガイド』（オンラインマニュアル）

- 1 ツールメニュー - 【環境設定】 - （ライセンス管理）の順でクリックします。

登録されているライセンスのリストが表示されます。

2 リストで登録を削除するライセンスを選択して  (削除) をクリックします。

3 確認のメッセージが表示されるので [はい] をクリックします。

本ソフトウェアをアンインストールするときは、以下をご覧ください。アンインストールは、必ずライセンスの登録削除後に行ってください。

 [「本ソフトウェアのアンインストール」 128 ページ](#)

変更後のコンピューターでライセンスを登録する

ライセンスの登録は、ウィザード形式で行われます。ライセンスを登録するコンピューターがインターネットに接続されているか、否かで登録手順が異なります。

ライセンス認証には、本ソフトウェアのシリアルナンバーの入力が必要です。シリアルナンバーは、本ソフトウェアのパッケージ内部に貼付されたラベルに記載されています。

お手元にパッケージを用意してから作業を開始してください。

 [「インターネットに接続しているとき」 123 ページ](#)

 [「インターネットに接続していないとき」 124 ページ](#)

参考

ライセンスを複数お持ちのときは、本ソフトウェアにプリンター登録しない分もライセンスを登録することをお勧めします。本ソフトウェアには 4 台までライセンスを登録できます。複数のライセンスが登録されている方が快適に本ソフトウェアを使用できます。

インターネットに接続しているとき

1 変更後のコンピューターに本ソフトウェアをインストールします。

 『セットアップガイド』（冊子）

2 デスクトップに作成された  をクリックして本ソフトウェアを起動します。

3 ライセンス認証が必要な旨のメッセージが表示されますので [開始] をクリックします。

ライセンス認証ウィザードが始まります。

参考

【お試し使用】をクリックすると、ライセンス認証を行わずに本ソフトウェアを 30 日間お試しで使えます。お試し期間中は、本ソフトウェアを起動するたびに使用期限のカウントメッセージが表示されます。メッセージ画面で【ライセンス認証を開始】をクリックしてライセンス認証を行うと、以降正式にお使いいただけます。お試し期間の 30 日を経過すると、ライセンス認証を行わないと使用できなくなります。

4 【オンライン認証】を選択して【次へ】をクリックします。

5 シリアルナンバーを入力して【次へ】をクリックします。

シリアルナンバーは、本ソフトウェアのパッケージ内部に貼付されたラベルに記載されています。間違いなく入力してください。

6 【ライセンス認証を完了しました。】と表示されたら【完了】をクリックします。

7 プリンター登録が必要な旨のメッセージが表示されますので【開始】をクリックします。

RIP サーバーとネットワークあるいは USB 接続されているプリンターがリストに表示されます。エプソン製のプリンターでも、本ソフトウェアが対応していないモデルは表示されません。

【IP アドレス検索】をクリックして直接 IP アドレスを入力して検索することもできます。

8 リストで目的のプリンターを選択します。



リストで選択したプリンターの登録名が「プリンター名」に表示されます。登録名を変更したいときは、変更後の名称を入力してください。

9 「登録」をクリックします。

プリンターが登録されると本ソフトウェアのメイン画面が表示され使用開始できます。

インターネットに接続していないとき

1 変更後のコンピュータに本ソフトウェアをインストールします。

📖 『セットアップガイド』（冊子）

2 デスクトップに作成された📄をクリックして本ソフトウェアを起動します。

3 ライセンス認証が必要な旨のメッセージが表示されますので「開始」をクリックします。

ライセンス認証ウィザードが始まります。

参考

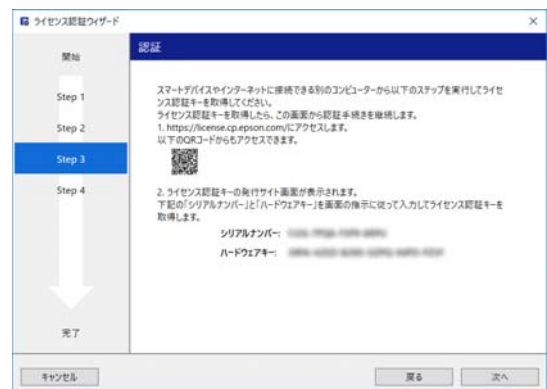
「お試し使用」をクリックすると、ライセンス認証を行わずに本ソフトウェアを 30 日間お試しで使えます。お試し期間中は、本ソフトウェアを起動するたびに使用期限のカウントメッセージが表示されます。メッセージ画面で「ライセンス認証を開始」をクリックしてライセンス認証を行うと、以降正式にお使いいただけます。お試し期間の 30 日を経過すると、ライセンス認証を行わないと使用できなくなります。

4 「オフライン認証」 - 「次へ」の順でクリックします。

5 シリアルナンバーを入力して「次へ」をクリックします。

シリアルナンバーは、本ソフトウェアのパッケージ内部に貼付されたラベルに記載されています。間違いなく入力してください。

「次へ」をクリックすると、画面に URL とシリアルナンバー、ハードウェアキーが表示されます。このままの状態ですら手順 6 に進みます。



6 インターネット接続ができる以下のどれかの機器で下記の URL にアクセスします。

- スマートホン
- タブレット
- コンピューター

<https://license.cp.epson.com/>



7 ライセンス認証キーの発行サイト画面が表示されたら、「開始」をクリック（またはタップ）します。

8 シリアルナンバーとハードウェアキーを入力します。

手順 5 の操作で表示された画面に表示されているシリアルナンバーとハードウェアキーを正しく入力します。

9 「発行」をクリック（またはタップ）します。

認証が完了するとライセンス認証キーが表示されます。

この認証キーを RIP サーバーのライセンス認証ウィザードで入力します。スマートホンやタブレットを使用しているときは、スクリーンショットを保存するかそのままの状態ですべての手順に進みます。

コンピューターを使用しているときは、間違えないようにメモを取ってください。

複数のライセンス認証を行うときは、続けて認証キーの発行作業を行えます。「引き続き、ライセンス認証キーの発行を行う」をクリック（またはタップ）して手順 8 と 9 を繰り返します。

10 RIP サーバーのライセンス認証ウィザードの画面（手順 5 の操作で表示された画面）で「次へ」をクリックします。

ライセンス認証キー入力画面になります。

11 手順 9 で表示されたライセンス認証キーを入力して「次へ」をクリックします。

ライセンス認証キーの発行サイトで複数の認証キーを一括して発行処理したときは、ハードウェアキーと対応する認証キーを間違えないように入力してください。

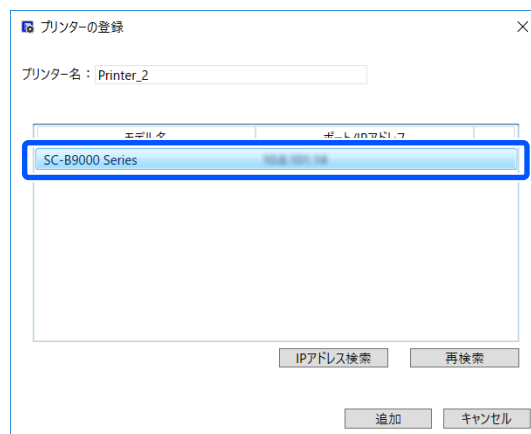
12 「ライセンス認証を完了しました。」と表示されたら「完了」をクリックします。

13 プリンター登録が必要な旨のメッセージが表示されますので「開始」をクリックします。

RIP サーバーとネットワークあるいは USB 接続されているプリンターがリストに表示されます。エプソン製のプリンターでも、本ソフトウェアが対応していないモデルは表示されません。

「IP アドレス検索」をクリックして直接 IP アドレスを入力して検索することもできます。

14 リストで目的のプリンターを選択します。



リストで選択したプリンターの登録名が「プリンター名」に表示されます。登録名を変更したいときは、変更後の名称を入力してください。

15 「登録」をクリックします。

プリンターが登録されると本ソフトウェアのメイン画面が表示され使用開始できます。

バックアップとリストア

本ソフトウェアの設定（登録プリンターを含む）を全てバックアップファイルにして保存できます。

万一、本ソフトウェアをインストールしているコンピューターが破損したときなどに新しいコンピューターにインストールした本ソフトウェアで保存していたバックアップファイルをリストアすれば、引き続き以前の設定のまま使用できます。

定期的にバックアップファイルを保存することをお勧めします。

Epson Cloud Solution PORT のアカウントを登録済みのときは、バックアップファイルの保存先にエプソンが提供するクラウドサービス（Epson Cloud Solution PORT）を選択することもできます。

参考

- ジョブリストや印刷済みジョブリストのジョブデータはバックアップファイルに保存されません。ジョブデータはジョブの保存（エクスポート）機能を利用して別ファイルに保存してください。
🔗 [「ジョブデータをファイルに保存する」 32 ページ](#)
- バックアップに関する通知の表示/非表示は、ツールメニュー - [環境設定] - （一般）の順でクリックして、[通知設定の変更] をクリックすると変更できます。

バックアップ

- 1 ツールメニュー - [バックアップとリストア] の順でクリックします。

バックアップとリストアウィザードが始まります。

- 2 [バックアップ] を選択して [次へ] をクリックします。

- 3 バックアップファイルの保存先を選択します。

【ローカルフォルダー】を選択したとき

[参照] をクリックしてバックアップファイルの保存先を選択します。

【Epson Cloud Solution PORT】を選択したとき

[ファイル名] に保存するバックアップファイルの名称を入力します。[メモ] には保存するバックアップファイルの覚え書きを入力できます。

参考

- Epson Cloud Solution PORT のアカウントを登録済みで [Epson Cloud Solution PORT] が選択できないときは、メイン画面に戻り （ログイン）をクリックして Epson Cloud Solution PORT にログインしてください。
- Epson Cloud Solution PORT にバックアップファイルを保存するときは、Epson Cloud Solution PORT に登録した組織内で最大 10 個までバックアップファイルを保存できます。

- 4 [次へ] をクリックします。

- 5 [開始] をクリックします。

確認のメッセージで [[はい] をクリックすると、本ソフトウェアが終了してバックアップファイルの保存が開始されます。

手順 3 で [ローカルフォルダー] を選択して保存したバックアップファイルは、拡張子が(.dat)となります。

- 6 バックアップが完了したら [完了] をクリックします。

本ソフトウェアが起動します。

リストア

リストア時のご注意

リストアをする前に、以下の点をご確認ください。

- リストアをすると、本ソフトウェアの全ての設定が、リストア時に選択するバックアップファイルに保存されている設定に変更されます。
- リストアをすると、現在ジョブリストに読み込まれているジョブや印刷済みジョブリストのジョブは全て削除されます。
- インストールしているプリンターがバックアップ時と異なっているとリストアできません。
新しいコンピューターに本ソフトウェアをインストールする際は、以前と同様のプリンターの機種（モデル）を選択してください。本ソフトウェアインストール時に漏れていたプリンターの機種（モデル）があるときは、機種追加をしてください。

🔗 [「登録手順」 120 ページ](#)

- お使いの本ソフトウェアのバージョンがバックアップ時のバージョンより古いとリストアできません。
本ソフトウェアをアップデートしてからリストアしてください。

🔗 [「本ソフトウェアのアップデート」 128 ページ](#)

リストアの手順

- 1 ツールメニュー - [バックアップとリストア] の順でクリックします。

バックアップとリストアウィザードが始まります。

2 【リストア】を選択して【次へ】をクリックします。

3 リストアするバックアップファイルが保存されている先を選択します。

【ローカルフォルダー】を選択したとき

【参照】をクリックしてバックアップファイルが保存されている先を指定し、目的のファイルを開きます。

【Epson Cloud Solution PORT】を選択したとき

リストからリストアするバックアップファイルを選択します。

参考

Epson Cloud Solution PORT のアカウントを登録済みで【Epson Cloud Solution PORT】が選択できないときは、メイン画面に戻り （ログイン）をクリックして Epson Cloud Solution PORT にログインしてください。

4 【次へ】をクリックします。

手順 3 で選択したバックアップファイルに保存されていたプリンターが【プリンターの設定】のリストに表示されます。

5 リストアするプリンターは【ポート/IP アドレス】を確認します。
リストアしないプリンターはチェックを外します。

【ポート/IP アドレス】にポート名や IP アドレスが表示されているプリンターは、リストア時に自動で本ソフトウェアにプリンターが登録されます。【次へ】をクリックして手順 9 に進みます。

【ポート/IP アドレス】に  【(未設定)】と表示されているプリンターは、選択したバックアップファイルに保存されていたプリンターと、お使いのコンピュータに接続されているプリンターの【ポート/IP アドレス】の設定が異なります。手順 6 に進み、手動で本ソフトウェアにプリンターを登録します。

6 【(未設定)】と表示されているプリンターを選択して【プリンターの登録】をクリックします。

接続されているプリンターで本ソフトウェアに未登録のプリンターのリストが表示されます。

7 プリンターを選択して【登録】をクリックします。

リストで登録するプリンターを選択します。

【IP アドレス検索】をクリックして直接 IP アドレスを入力して検索することもできます。

8 【ポート/IP アドレス】に、選択したプリンターのポート名や IP アドレスが表示されたことを確認して、【次へ】をクリックします。

【ポート/IP アドレス】に  【(未設定)】と表示されているプリンターが複数あるときは、手順 6～7 を繰り返します。

9 【ホットフォルダーの設定】でリストアするホットフォルダーの設定を確認します。
リストアしないホットフォルダーはチェックを外します。

リストからフォルダー名を選択すると、画面右側にリストアするホットフォルダーの設定内容が表示されます。

【フォルダーを開く】をクリックしてフォルダーが開くときは、開いたフォルダーはリストア後にホットフォルダーとして使用されます。リストア時にフォルダー内のファイルが消失するため、リストア前にファイルを別の場所に移動することをお勧めします。別のフォルダーをホットフォルダーに登録したいときは、【設定変更】をクリックします。

参考

手順 3 で選択したバックアップファイルにホットフォルダーが保存されていないときは、【ホットフォルダーの設定】は表示されません。手順 10 に進みます。

10 【次へ】をクリックします。

11 【開始】をクリックします。

確認のメッセージで【はい】をクリックすると、本ソフトウェアが終了してリストアが開始されます。

12 リストアが完了したら【完了】をクリックします。

本ソフトウェアが起動します。

本ソフトウェアのアップデート

本ソフトウェアは、随時更新を行い利便性の向上や機能強化をしています。

本ソフトウェアを使用中に、[新しいバージョンの Epson Edge Print がご利用いただけます。] と表示されたら、以下の手順で最新のソフトウェアにアップデートしてください。[以下の機種情報ファイルも新しいバージョンがご利用いただけます。] と表示されたときは、表示されたモデルの機種情報ファイルもアップデートしてください。

！重要

アップデート中は、RIP サーバーの電源を切らないでください。

- 1 本ソフトウェアのダウンロードサイト (<https://support.epson.net/eep/>) の [Epson Edge Print インストーラー/アップデーター] で [ダウンロード] をクリックして、RIP サーバーの任意の場所にファイルを保存します。

機種情報ファイルもアップデートするときは、手順 2 に進みます。

機種情報ファイルをアップデートしないときは、手順 3 に進みます。

- 2 [機種情報ファイル] で、アップデートを通知されたモデルの機種情報ファイルの [ダウンロード] をクリックして、RIP サーバーの任意の場所に機種情報ファイルを保存します。

- 3 本ソフトウェアを終了します。

- 4 手順 1 で保存したファイルを解凍し、EEPSetup.exe をダブルクリックしてインストールを実行します。

以降は画面の指示に従ってインストールを完了させてください。

参考

使用していたバージョンの本ソフトウェアのアンインストールは不要です。最新のソフトウェアをインストールして上書きするとアップデートされます。

- 5 手順 2 で保存した機種情報ファイルを解凍し、機種情報ファイル (.exe) をダブルクリックしてインストールを実行します。

以降は画面の指示に従ってインストールを完了させてください。

参考

本ソフトウェアのアップデート通知の表示/非表示は、ツールメニュー - [環境設定] - ≡ (一般) の順でクリックして、[通知設定の変更] をクリックすると変更できます。

本ソフトウェアのアンインストール

！重要

- 「コンピューターの管理者」アカウント（管理者権限のあるユーザー）でログオンしてください。
- 管理者のパスワードまたは確認を求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。
- ほかのアプリケーションソフトを起動しているときは終了してください。

Windows 10 の場合

- 1 本ソフトウェアのアンインストールを行う前に、本ソフトウェアに登録しているライセンスを全て削除します。

ライセンスが登録されたままで本ソフトウェアをアンインストールすると、途中でエラーとなりアンインストールを実行できません。

🔗 [「ライセンスの削除手順」122 ページ](#)

登録しているライセンスを全て削除すると、本ソフトウェアが終了します。

- 2 コントロールパネルを表示して、[プログラムのアンインストール] をクリックします。

- 3 一覧から [Epson Edge Print] を選択して [アンインストール] をクリックします。

確認のメッセージが表示されたら、[はい] をクリックします。

Windows 11 の場合

- 1 本ソフトウェアのアンインストールを行う前に、本ソフトウェアに登録しているライセンスを全て削除します。

ライセンスが登録されたままで本ソフトウェアをアンインストールすると、途中でエラーとなりアンインストールを実行できません。

 [「ライセンスの削除手順」122 ページ](#)

登録しているライセンスを全て削除すると、本ソフトウェアが終了します。

- 2 スタートボタン - [設定] の順にクリックします。

[設定] 画面が表示されます。

- 3 画面左側のメニューから [アプリ] をクリックします。

- 4 [アプリと機能]（または [インストールされているアプリ]）をクリックします。

- 5 一覧から [Epson Edge Print] のメニューボタンをクリックして、メニューから [アンインストール] を選択します。

確認のメッセージが表示されたら、[はい] をクリックします。

クラウドサービスやネットワーク経由の印刷

Production Flow 経由の印刷

以下の機能は、Epson Cloud Solution PORT のアカウントを登録済みで、Epson Cloud Solution PORT のマーケットプレイスから Production Flow を購入済みのときに限り実行できます。ただし、お使いの国と地域によっては、Epson Cloud Solution PORT や Production Flow が利用できないことがあります。

本ソフトウェアで作成したジョブデータを Production Flow にアップロードすることで、お使いの RIP サーバー（本ソフトウェアがインストールされているコンピューター）と接続されていないプリンターで印刷できます。これにより、遠く離れた場所にあるプリンターにジョブデータを送信して印刷できます。

本機能を利用するには以下の設定が必要です。

- 印刷するプリンターと RIP サーバーが正しく接続され、電源が入っている。
- 印刷するプリンターに接続されている RIP サーバーに、Epson PJ Agent for ECSP が設定されている。
[Epson Cloud Solution PORT のウェブサイト](#)
- お使いの RIP サーバーに、印刷するプリンターのモデル（機種）の機種情報がインストールされている。
[「インストール後に使用する機種を追加したいとき」 121 ページ](#)
- お使いの RIP サーバーの本ソフトウェアに、印刷するプリンターが登録されている。
[「RIP サーバーと未接続のプリンターを登録する」 130 ページ](#)

本ソフトウェアで作成したジョブデータを Production Flow にアップロードする手順は、以下をご覧ください。

[「ジョブを Production Flow にアップロードする」 131 ページ](#)

RIP サーバーと未接続のプリンターを登録する

遠く離れた場所にあるプリンターで印刷するときに使用するプリンターを本ソフトウェアに登録します。

- 1 メイン画面の （ログイン）をクリックして、**Epson Cloud Solution PORT** にログインします。

（ログアウト）が表示されているときは、Epson Cloud Solution PORT にログイン済みです。

- 2 ツールメニュー - [環境設定] - （プリンターの登録管理） - （登録）の順でクリックします。

本ソフトウェアに未登録のプリンターのリストが表示されます。

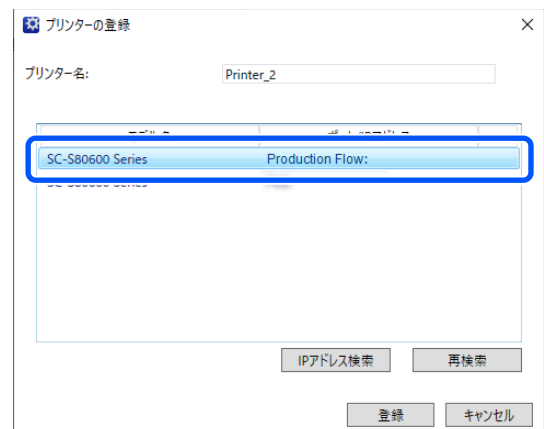
参考

リストに目的のプリンターのモデル（機種）が表示されないときは、以下をご覧ください。追加するモデルの機種情報などをインストールします。以降、リストに対応機種として表示されます。

[「インストール後に使用する機種を追加したいとき」 121 ページ](#)

- 3 リストで目的のプリンターを選択します。

リストの [ポート/IP アドレス] に [Production Flow] と表示されているプリンターを選択します。



「プリンター名」に表示された名称が、本ソフトウェアでのプリンターの登録名としてメイン画面のプリンター切り替えタブに表示されます。必要に応じて名称を変更します。

参考

Production Flow に設定されているプリンターは、登録台数の制限なく何台でも本ソフトウェアに登録できます。

4 **「登録」をクリックします。**

Production Flow に設定されているプリンターを登録すると、メイン画面のプリンター切り替えタブのステータスアイコンに  が表示されます。

ジョブを Production Flow にアップロードする

1 メイン画面の (ログイン) をクリックして、**Epson Cloud Solution PORT** にログインします。

 (ログアウト) が表示されているときは、Epson Cloud Solution PORT にログイン済みです。

2 メイン画面で印刷するプリンタータブをクリックします。

プリンター切り替えタブのステータスアイコンに  が表示されているタブをクリックします。

3 ジョブツールバーの (追加) をクリックして印刷データをジョブリストに追加します。または、ジョブリスト上に印刷データファイルをドラッグ&ドロップします。

追加した印刷データのサムネイルやデータ名がジョブリストに表示されます。

4 ジョブリストで印刷するジョブを選択して、ジョブ設定メニューで各種設定を行います。

各機能の紹介  [「ジョブ設定メニューの機能紹介」 24 ページ](#)

5 ジョブツールバーの (アップロード) をクリックして、作成したジョブを **Production Flow** にアップロードします。

ジョブのアップロード画面が表示されます。各項目の詳細は Production Flow のヘルプをご覧ください。

 [Epson Cloud Solution PORT のウェブサイト](#)

他のアプリケーションソフトから印刷する（プリンターの共有）

本ソフトウェアに登録されているプリンターを、RIP サーバー（本ソフトウェアがインストールされているコンピュータ）と同じネットワーク上の他のコンピュータ（クライアント）からも使用できるように共有設定をすると、クライアントから RIP サーバーに印刷データを送信できます。

これにより、クライアントの画像処理ソフトで作成した印刷データを、本ソフトウェアのジョブリストに直接追加できます。

RIP サーバーとクライアントでプリンターを共有するには、それぞれのコンピュータで設定が必要です。

！重要

プリンターの共有は、RIP サーバーとクライアントの両方で以下のコンピュータを使用することを推奨します。

- Windows Pro エディション
 - Active Directory のドメイン環境
- Windows のエディションやドメイン環境が異なると、プリンターが共有できないことがあります。

RIP サーバーで必要な設定

 [「RIP サーバーとクライアントの共有設定を有効にする」 131 ページ](#)

 [「プリンターの共有設定を有効にする」 132 ページ](#)

 [「共有プリンターで使用するクイックセットを設定する」 135 ページ](#)

クライアントで必要な設定

 [「RIP サーバーとクライアントの共有設定を有効にする」 131 ページ](#)

 [「クライアントに共有プリンターを追加する」 133 ページ](#)

RIP サーバーとクライアントの共有設定を有効にする

RIP サーバーとクライアントのネットワークの共有設定を有効にします。

クライアントのコンピュータの OS に応じて、設定が必要なコンピュータが異なります。

クライアントのコンピューターが Windows のとき

RIP サーバーとクライアントの両方で共有設定を有効にします。

クライアントのコンピューターが Mac OS のとき

RIP サーバーのみ共有設定を有効にします。

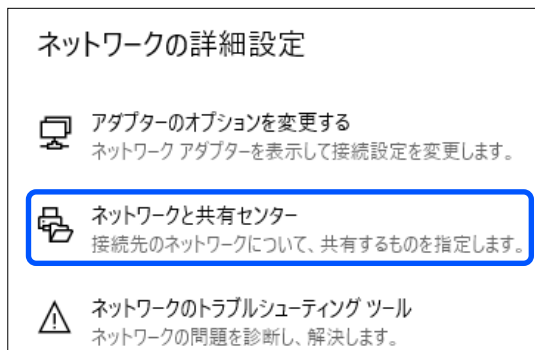
ここでは、Windows 10 を例に説明します。

1 [スタート] - [設定] - [ネットワークとインターネット] の順にクリックします。

Windows 11 の場合は、[スタート] - [すべてのアプリ] - [Windows ツール] - [コントロールパネル] - [ネットワークとインターネット] の順にクリックします。

2 [ネットワークの詳細設定] の [ネットワークと共有センター] をクリックします。

ネットワークと共有センター画面が表示されます。



Windows 11 の場合は、[ネットワークと共有センター] をクリックします。

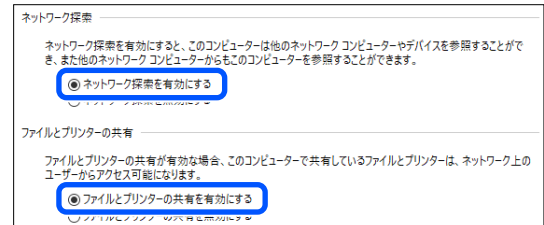
3 [共有の詳細設定の変更] をクリックします。



4 [ネットワーク探索] と [ファイルとプリンターの共有] を有効にします。

[ネットワーク探索] では [ネットワーク探索を有効にする] を選択します。

[ファイルとプリンターの共有] では [ファイルとプリンターの共有を有効にする] を選択します。



5 [変更の保存] をクリックします。

ネットワークの共有設定が有効になります。

プリンターの共有設定を有効にする

本ソフトウェアに登録されているプリンターの共有設定を有効にします。

1 本ソフトウェアを起動して、ツールメニュー- [環境設定] - [プリンターの登録管理] の順にクリックします。

2 リストから共有設定を有効にするプリンターを選択して、[変更] をクリックします。

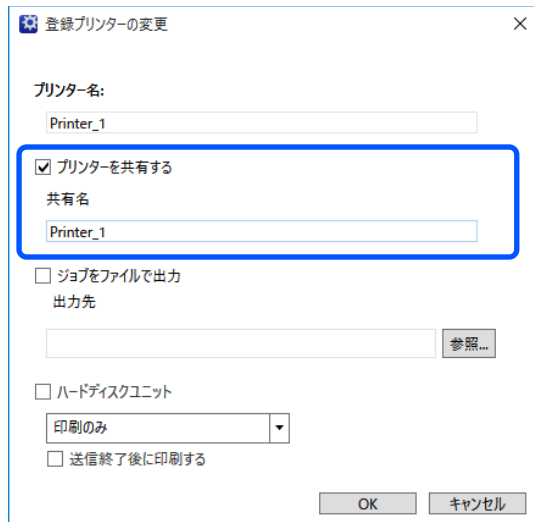
3 [プリンターを共有する] にチェックを付けます。

[共有名] に [プリンター名] と同じ名前が表示されます。[共有名] を任意の名前にしたいときは変更します。

[共有名] は一度設定すると変更できません。

参考

[プリンター名] に「*」や「¥」の文字が使われているときは、[共有名] では「_」に変換されます。



4 [OK] をクリックします。

本ソフトウェアに登録されているプリンターの共有設定が有効になります。

クライアントに共有プリンターを追加する

クライアントのコンピュータに、共有設定を有効にしたプリンターを追加します。
お使いのコンピュータの OS に応じて手順が異なります。

Windows の場合

ここでは Windows 10 を例に説明します。

1 [スタート] - [設定] (設定) - [デバイス] の順にクリックします。

Windows 11 の場合は、[スタート] - [設定] - [Bluetooth とデバイス] の順にクリックします。

2 [プリンターとスキャナー] - [プリンターまたはスキャナーを追加します] の順にクリックします。

[プリンターとスキャナーを検索しています] と表示され、プリンターの検索を開始します。



Windows 11 の場合は、[プリンターとスキャナー] - [デバイスの追加] の順にクリックすると、プリンターの検索を開始します。

3 検索が終了すると表示される [プリンターが一覧にない場合] をクリックします。



Windows 11 の場合は、[プリンターが一覧にない場合] の [手動で追加] をクリックします。

4 [共有プリンターを名前を選択する] を選択して、RIP サーバーのコンピュータ名と共有設定を有効にしたプリンター名*を入力します。

* 本ソフトウェアで [プリンターを共有する] にチェックを付けたときに、[プリンター名] に表示されたプリンター名です。

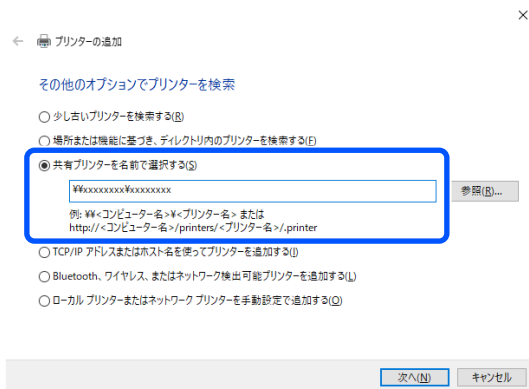
[プリンター名] の詳細は以下の手順 3 をご覧ください。

[「プリンターの共有設定を有効にする」132 ページ](#)

以下のどちらかの形式で入力します。

- ¥¥<コンピュータ名>¥EEP Virtual PS Driver(<プリンター名>)

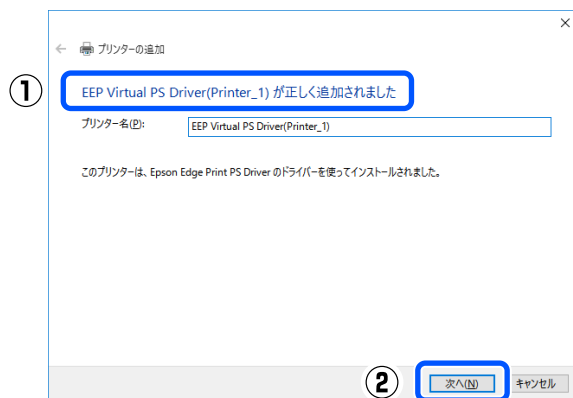
- [http://<コンピュータ名>/printers/EEP Virtual PS Driver\(<プリンター名>\)/.printer](http://<コンピュータ名>/printers/EEP Virtual PS Driver(<プリンター名>)/.printer)



5 [次へ] をクリックします。

【このプリンターを信頼しますか?】と表示されたときは、【ドライバーのインストール】をクリックします。

6 [<プリンター名>が正しく追加されました] と表示されたことを確認して、[次へ] をクリックします。



7 [完了] をクリックします。

クライアントのコンピュータに、共有設定を有効にしたプリンター（共有プリンター）が追加されます。

Mac OS の場合

ここでは macOS 10.15 を例に説明します。

1 本ソフトウェアのダウンロードサイト (<https://support.epson.net/eeep/>) の【オプションファイル】から PPD ファイルをダウンロードして、インストールを実行します。

以降は画面の指示に従ってインストールを完了させてください。

2 アップルメニュー-【システム環境設定】-【プリンタとスキャナ】の順にクリックします。

3 [+] をクリックします。



4 [Windows] をクリックして、リストから<RIP サーバーが属する Windows ワークグループ名>-<RIP サーバーのコンピュータ名>-[EPSON Virtual PS Driver] の順にクリックします。



- 5 【ドライバ】で【ソフトウェアを選択】を選択します。

【プリンタソフトウェア】ダイアログボックスが表示されます。



- 6 【Epson Edge Print PS Driver】を選択して、【OK】をクリックします。



- 7 【追加】をクリックします。

クライアントのコンピュータに、共有設定を有効にしたプリンター（共有プリンター）が追加されます。

手順 1～7 を実行しても、クライアントのコンピュータに共有プリンターが追加されないときは、以下をご覧ください。

☞ [「LPD 接続の共有プリンターを追加する \(Mac OS\)」](#) 139 ページ

共有プリンターで使用するクイックセットを設定する

本ソフトウェアに登録したクイックセットと共有プリンターのクイックセット名を関連付けておくことで、クライアントから共有プリンターを使って印刷を実行するときにクイックセットを設定できます。

クイックセットの詳細は、以下をご覧ください。

☞ [「よく使うジョブ設定の作成 \(クイックセット\)」](#) 50 ページ

クイックセットの関連付けをしていないと、デフォルトに設定したクイックセットが適用されます。

クイックセットのデフォルト設定の詳細は、以下をご覧ください。

☞ [「クイックセットをジョブ設定のデフォルトに設定する」](#) 53 ページ

ここでは、一度作成したクイックセットに共有プリンターのクイックセット名を関連付ける手順を説明しますが、クイックセット作成時に関連付けることもできます。

- 1 ツールメニュー-【プリセット管理】- (クイックセット) の順にクリックします。

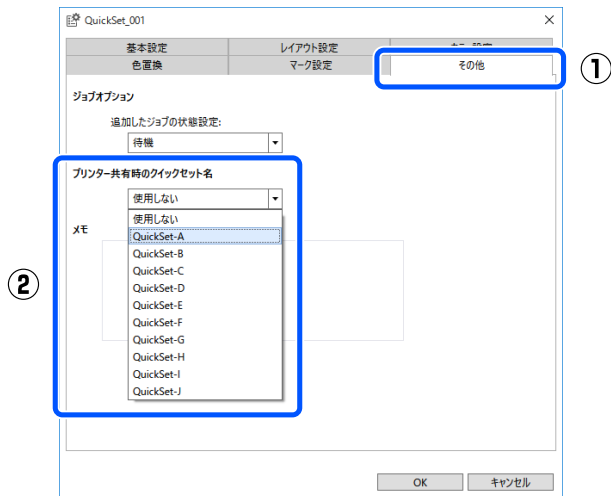
- 2 リストからクイックセットを選択して、 (編集) をクリックします。

設定ダイアログボックスが表示されます。

- 3 【その他】タブをクリックして、【プリンター共有時のクイックセット名】のリストボックスから本ソフトウェアのクイックセットと関連付けるクイックセット名を選択します。

【プリンター共有時のクイックセット名】は、「QuickSet-A」-「QuickSet-J」の 10 個から選択できます。

すでに他のクイックセットに関連付けられているクイックセット名は表示されません。



4 [OK] をクリックします。

本ソフトウェアのクイックセットと共有プリンターのクイックセット名が関連付けられます。関連付けたクイックセットの設定手順は、以下をご覧ください。

[「クライアントから共有プリンターで印刷する」136 ページ](#)

クライアントから共有プリンターで印刷する

RIP サーバーとクライアントの両方の設定が完了すると、クライアントの画像処理ソフトから印刷を実行できます。

ここでは、Adobe の画像処理ソフトから印刷を実行する手順を説明します。

共有プリンターで印刷するときの注意

クライアントから共有プリンターを指定して印刷を実行した印刷データは、本ソフトウェアで共有設定を有効にしたプリンターのジョブリストに追加されます。共有プリンター使用時は、以下の点にご留意ください。

RIP サーバーと本ソフトウェアが起動している必要があります。

クライアントから印刷を実行する際に、RIP サーバーと本ソフトウェアが起動していないと、ジョブリストに印刷データが追加されません。

共有設定を有効にしたプリンターは、共有プリンター専用で使用することを推奨します。

共有設定を有効にしたプリンターのジョブリストで印刷データのネストや分割印刷の設定などをしていると、作業途中で思いがけずにクライアントから印刷を実行した印刷データが追加されることがあり、作業の妨げになることがあります。

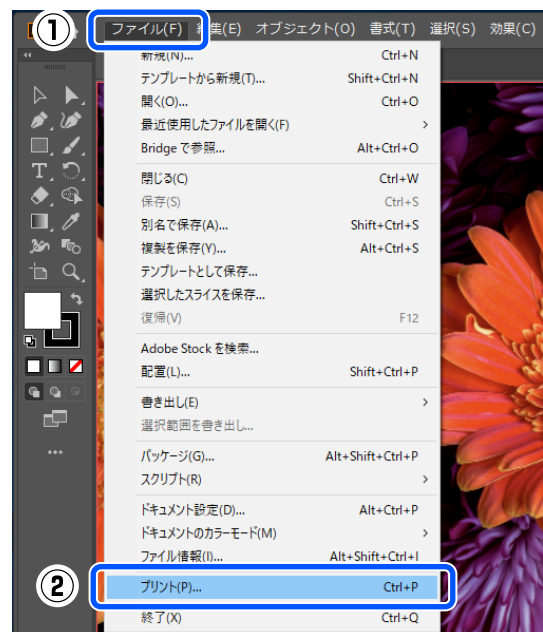
Illustrator から印刷する方法

ここでは、Adobe Illustrator 2020 を例に説明します。

1 Illustrator を起動して印刷データを開きます。

2 「ファイル」 - 「プリント」の順にクリックします。

「プリント」ダイアログボックスが表示されます。



3 「プリンター」で共有プリンターを選択します。

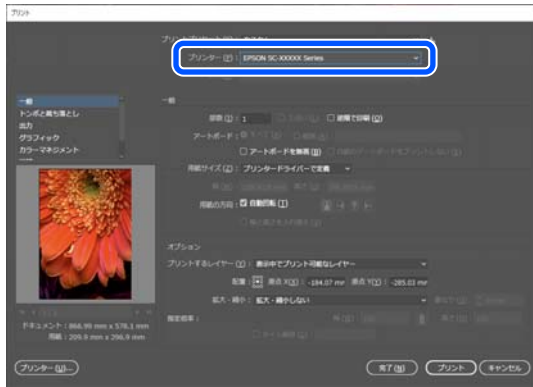
クイックセットを設定するときは、手順 4 に進みます。

クイックセットを設定しないときは、手順 11 に進みます。

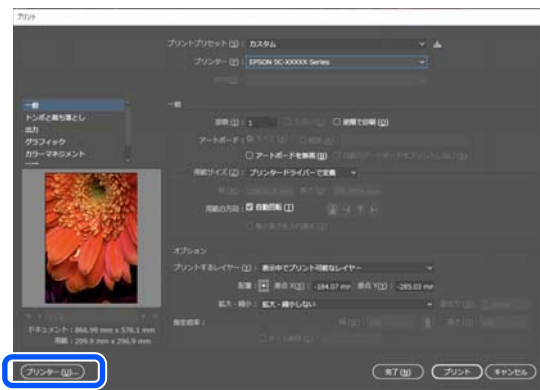
参考

クイックセットを設定せずに印刷を実行すると、本ソフトウェアでデフォルトに設定したクイックセットが適用されます。
クイックセットのデフォルト設定の詳細は、以下をご覧ください。

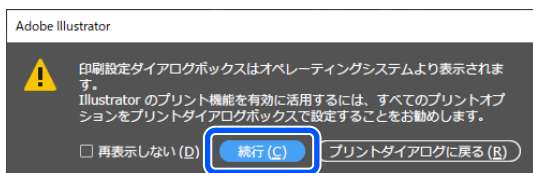
☞「クイックセットをジョブ設定のデフォルトに設定する」53 ページ



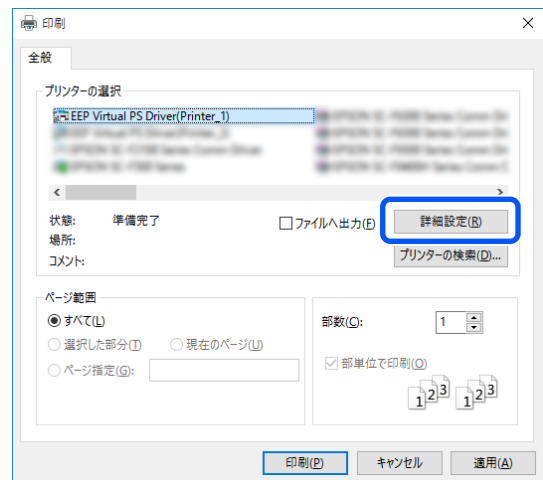
4 左下の「プリンター」をクリックします。



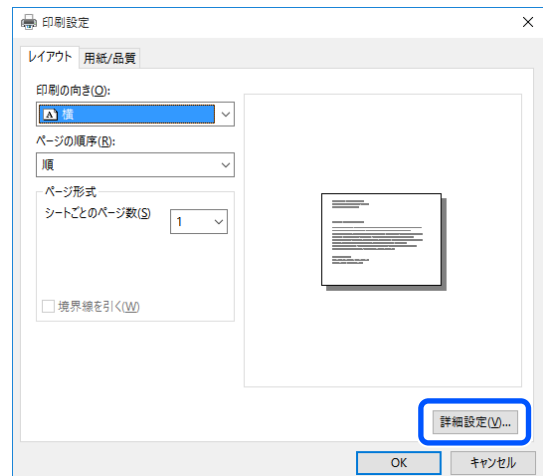
5 警告のダイアログボックスが表示されたときは「続行」をクリックします。



6 「詳細設定」をクリックします。



7 「詳細設定」をクリックします。

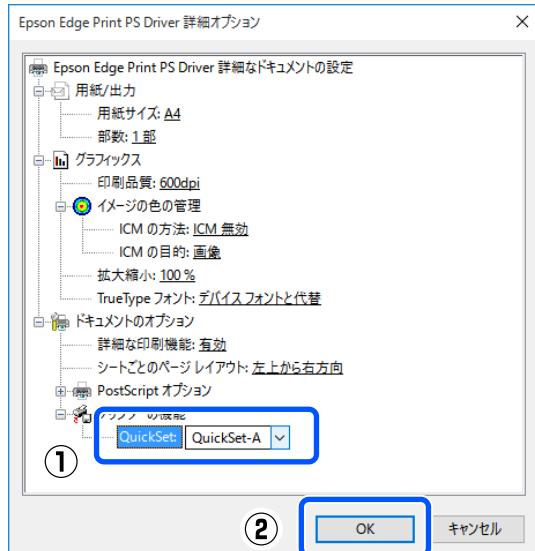


8 「QuickSet」で本ソフトウェアのクイックセットと関連付けたクイックセット名を選択して、「OK」をクリックします。

共有プリンターのクイックセット名と本ソフトウェアのクイックセットは事前に関連付けておく必要があります。詳細は以下をご覧ください。

☞「共有プリンターで使用するクイックセットを設定する」135 ページ

関連付けされていないクイックセットを選択すると、本ソフトウェアでデフォルトに設定したクイックセットが適用されます。



9 [OK] をクリックします。

10 [印刷] をクリックします。
[プリント] ダイアログボックスに戻ります。

11 [プリント] をクリックします。
本ソフトウェアで共有設定を有効にしたプリンターのジョブリストに印刷データが追加されます。

参考

お使いのコンピュータの OS が Mac OS で、[プリント] をクリックしてもジョブリストに印刷データが追加されないときは、以下をご覧ください。
🔗 [「LPD 接続の共有プリンターを追加する \(Mac OS\)」 139 ページ](#)

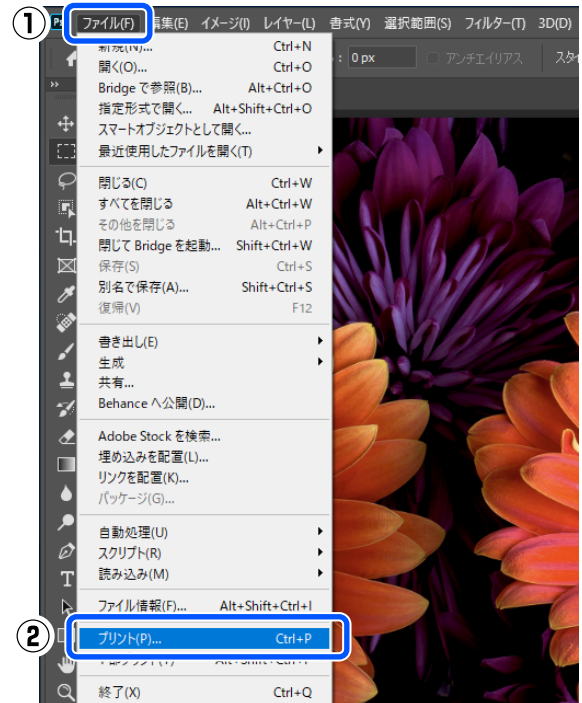
Photoshop から印刷する方法

ここでは、Adobe Photoshop 2020 を例に説明します。

1 Photoshop を起動して印刷データを開きます。

2 [ファイル] - [プリント] の順にクリックします。

[Photoshop プリント設定] ダイアログボックスが表示されます。

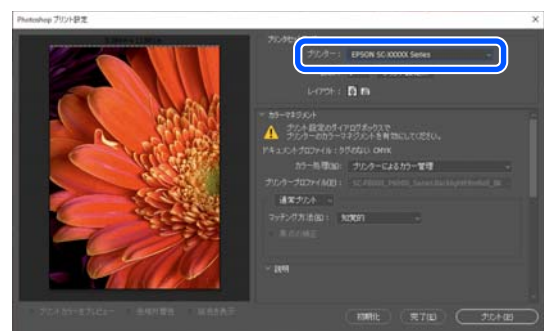


3 [プリンター] で共有プリンターを選択します。

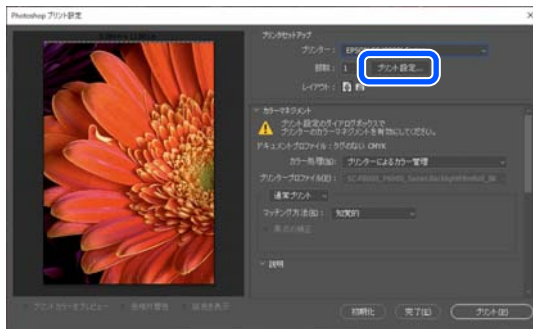
クイックセットを設定するときは、手順 4 に進みます。
クイックセットを設定しないときは、手順 8 に進みます。

参考

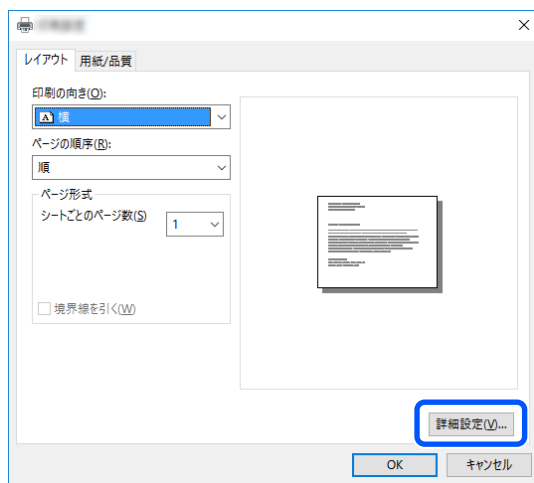
クイックセットを設定せずに印刷を実行すると、本ソフトウェアでデフォルトに設定したクイックセットが適用されます。
クイックセットのデフォルト設定の詳細は、以下をご覧ください。
🔗 [「クイックセットをジョブ設定のデフォルトに設定する」 53 ページ](#)



4 【プリント設定】をクリックします。



5 【詳細設定】をクリックします。

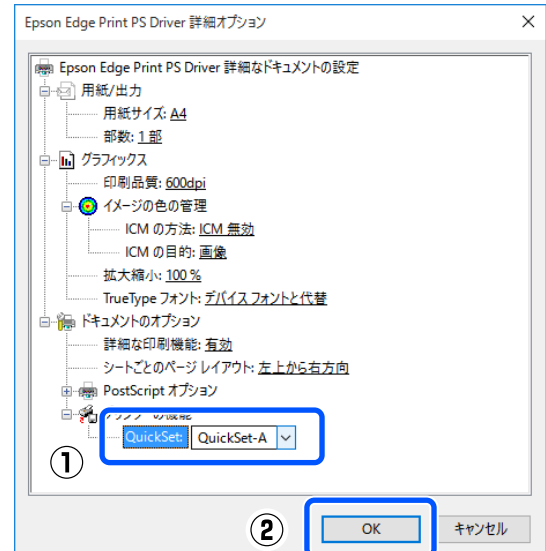


6 【QuickSet】で本ソフトウェアのクイックセットと関連付けたクイックセット名を選択して、【OK】をクリックします。

共有プリンターのクイックセット名と本ソフトウェアのクイックセットは事前に関連付けておく必要があります。詳細は以下をご覧ください。

🔗 [「共有プリンターで使用するクイックセットを設定する」135ページ](#)

関連付けされていないクイックセットを選択すると、本ソフトウェアでデフォルトに設定したクイックセットが適用されます。



7 【OK】をクリックします。

【Photoshop プリント設定】ダイアログボックスに戻ります。

8 【プリント】をクリックします。

本ソフトウェアで共有設定を有効にしたプリンターのジョブリストに印刷データが追加されます。

参考

お使いのコンピュータの OS が Mac OS で、【プリント】をクリックしてもジョブリストに印刷データが追加されないときは、以下をご覧ください。

🔗 [「LPD 接続の共有プリンターを追加する \(Mac OS\)」139ページ](#)

LPD 接続の共有プリンターを追加する (Mac OS)

以下の設定は、クライアントのコンピュータの OS が Mac OS のときに限り有効です。

クライアントのコンピュータに共有プリンターが追加できないときや、クライアントから共有プリンターを指定して印刷を実行してもジョブリストに印刷データが追加されないときは、共有プリンターの接続方法を変更します。

接続方法変更前の準備

RIP サーバーの設定変更

以下の手順で RIP サーバー（本ソフトウェアがインストールされているコンピューター）の LPD 印刷サービスを有効にします。

ここでは、Windows 10 を例に説明します。

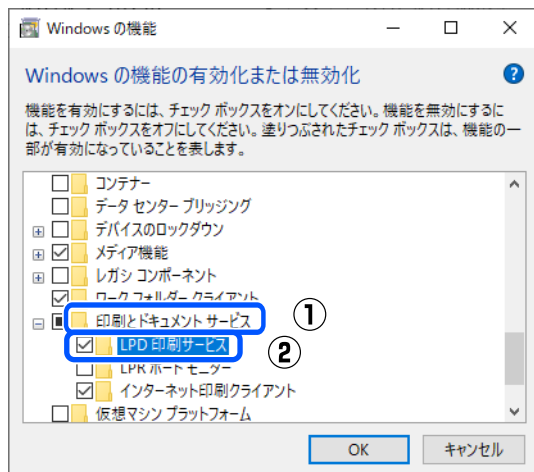
- 1 [スタート] - [すべてのアプリ] - [Windows システムツール] - [コントロールパネル] - [プログラム] の順にクリックします。

Windows 11 の場合は、[スタート] - [すべてのアプリ] - [Windows ツール] - [コントロールパネル] - [プログラム] の順にクリックします。

- 2 [Windows の機能の有効化または無効化] をクリックします。

Windows の機能ダイアログボックスが表示されます。

- 3 [印刷とドキュメントサービス] をダブルクリックして、[LPD 印刷サービス] にチェックを付けます。



- 4 [OK] をクリックします。

[必要な変更が完了しました。] と表示されたら [閉じる] をクリックします。

共有プリンターの削除

クライアントのコンピューターに共有プリンターを追加済みのときは、以下の手順で共有プリンターを削除します。

- 1 アップルメニュー - [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ] の順にクリックします。

- 2 プリンターのリストから共有プリンターを選択して、[-] をクリックします。

LPD 接続の共有プリンターの追加

- 1 本ソフトウェアのダウンロードサイト (<https://support.epson.net/eep/>) の [オプションファイル] から PPD ファイルをダウンロードして、インストールを実行します。

以降は画面の指示に従ってインストールを完了させてください。

- 2 アップルメニュー - [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ] の順にクリックします。

- 3 [+] をクリックします。



- 4 [IP] をクリックして、以下の各項目を設定します。

- アドレス
RIP サーバーの IP アドレスを入力します。
- プロトコル
[LPD (Line Printer Daemon)] を選択します。
- キュー
本ソフトウェアで共有設定を有効にしたプリンター名を入力します。
プリンター名の詳細は以下の手順 3 をご覧ください。

🔗「プリンターの共有設定を有効にする」132 ページ

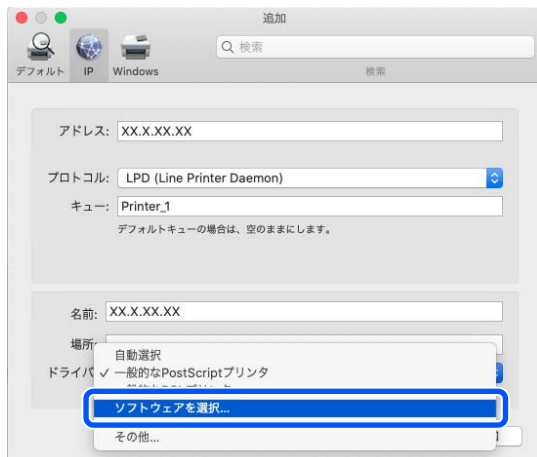


7 「追加」をクリックします。

クライアントのコンピューターに、LPD 接続の共有プリンターが追加されます。

5 「ドライバ」で「ソフトウェアを選択」を選択します。

「プリンタソフトウェア」ダイアログボックスが表示されます。



6 「Epson Edge Print PS Driver」を選択して、「OK」をクリックします。



付録

システム条件

本ソフトウェアは、以下の環境で使用できます。（2025 年 5 月現在）

対応 OS 等は、変更されることがあります。

最新の情報は、エプソンのホームページ（<https://www.epson.jp>）をご覧ください。

動作環境

オペレーティングシステム (OS)	Windows 11 Windows 10 x64
CPU	Intel® Core™ i3 3.0 GHz 以上（2014 年 4 月以降に発表されたもの）
空きメモリー領域	8 GB 以上
ハードディスクドライブ （インストール時空き容量）	50GB 以上
通信インターフェイス	Hi-Speed USB Ethernet 100Base-TX/1000Base-T
ディスプレイ解像度	1280 x 1024 以上

本ソフトウェアをインストールするコンピューター（RIP サーバー）と、同じネットワーク上の他のコンピューター（クライアント）でプリンターを共有するときは、Windows Pro エディションをお使いください。

🔗 [「他のアプリケーションソフトから印刷する（プリンターの共有）」131 ページ](#)

本ソフトウェアをインストールするコンピューターは、Adobe Illustrator などのアプリケーションソフトも合わせてお使いになることを考慮し、なるべくスペックの高いものをお使いになることをお勧めします。

また、本ソフトウェアで取り扱うデータは通常でも数 GB、高品質の長尺印刷を行う際は数十 GB になることがあります。

このため、ストレージの空き容量にも十分余裕があるコンピューターをお勧めします。

本ソフトウェア使用時に推奨する環境は次項をご覧ください。

推奨環境

オペレーティングシステム (OS)	Windows 11 Windows 10 x64
CPU	Intel® Core™ i7-14700 processor 以上
空きメモリー領域	32 GB 以上
ストレージ （インストール時空き容量）	SSD 1 TB 以上
通信インターフェイス	Hi-Speed USB Gigabit Ethernet
ディスプレイ解像度	1280 x 1024 以上

対応データ形式

以下の形式の印刷データは、動作確認済みです。（2025 年 5 月現在）

対応データ形式は、追加・変更されることがあります。

最新の情報は、エプソンのホームページ（<https://www.epson.jp>）をご覧ください。

対応フォーマット	説明
PS	PostScript Level3
EPS	Encapsulated PostScript リンクされた画像は埋め込んでください。
PDF	以下のバージョンに対応 Epson Edge Print PRO:PDF 2.0 まで Epson Edge Print:PDF 1.7 Adobe Extension Level3 まで ただし、パスワードつきは非対応
TIFF	ベースライン／プログレッシブに対応 対応圧縮形式:JPEG/LZW/ZIP/G3/G4 マルチページ TIFF に対応 WH/MS または UV インク非搭載の機種は、アルファチャンネルはスキップします。
JPEG	ベースライン／プログレッシブに対応 JPEG2000 は非対応
PNG	ベースライン／プログレッシブに対応 WH/MS または UV インク非搭載の機種は、アルファチャンネルはスキップします。
CALS-G4	CALS Type1 形式に対応
PSD*	Photoshop Document PSB 形式、レイヤー形式、32 bit は非対応 Adobe Photoshop CC 以降のバージョンで作成された PSD ファイルを推奨

* 以下のいずれかの機種をお使いで、Epson Cloud Solution PORT のアカウントを登録済みのときに限ります。

SC-F10050H LcLm（ライトシアン/ライトマゼンタインク搭載）

SC-S9150

SC-S8150

対応測色器

以下の分光測色器に対応しています。

メーカー名	製品名	備考
エプソン	SD-10	特色の一括調整のスキャン測色では使用できません。 🔗 「特色を一括して調整する」 73 ページ オプションの自動測色ポータブルテーブルも本ソフトウェアに対応しています。自動測色ポータブルテーブルで特色の一括調整を行うときは、スキャン測色のみに対応しています。
X-Rite	i1 Pro3	-
	i1 Studio	特色の一括調整では使用できません。 🔗 「特色を一括して調整する」 73 ページ

本ソフトウェアで定義するエイリアス

ジョブ設定メニューの （マーク設定）で「ジョブラベル印刷」と「コメント」にチェックを付けると、入力欄に入力した文字列がジョブラベルとして印刷できます。

コメント入力欄に、ジョブに関する情報などの定型情報を表すキーワード（エイリアス）を入力すると、キーワードから変換された定型情報がジョブラベルに印刷されます。

本ソフトウェアで定義するエイリアスは以下の通りです。

エイリアス	定型情報	備考
印刷データに関する定型情報		
{FilePath}	入力ファイル（印刷データ）のファイルパス	ファイルパス向けオプション利用可能
プリンターに関する定型情報		
{PrinterName}	プリンター名	-
{ModelName}	モデル名	-
{PrinterSerialNumber}	シリアル番号	-
ジョブに関する定型情報		
{JobName}	ジョブ名	-
{QuickSetsName}	クイックセット名	-
{PageSize}	ジョブのページサイズ（印刷データの拡大/縮小を含む）	-
{OutputSize}	出力サイズ	-
{MediaName}	メディア名	-
{PrintQuality}	印刷モード	-
{OutputProfilePath}	メディアプロファイルのファイルパス	ファイルパス向けオプション利用可能

ファイルパス向けオプション

上の表でファイルパス向けオプションが利用可能なエイリアスは、以下のエイリアスオプションと組み合わせることで、一部の情報だけを印刷できます。

エイリアスオプションの xxxxxxxx の部分にエイリアスを入力します。

エイリアスオプション	定型情報	入力例
{xxxxxxx:mode=basename}	ファイル名（拡張子非表示）	{FilePath:mode=basename}
{xxxxxxx:mode=filename}	ファイル名（拡張子表示）	{FilePath:mode=filename}
{xxxxxxx:mode=dirname}	ファイル保存場所のファイルパス	{FilePath:mode=dirname}

エイリアスの入力例

以下の条件のジョブにジョブラベルを設定するとき

- プリンターのモデル名：SC-S9100 Series
- ジョブリストに追加した印刷データのファイル名：Flower.pdf
- 印刷データの保存場所：C:\Users\¥UserName¥Desktop¥Image

- メディア名：一般的なのり付き塩ビ

ジョブラベルのコメント欄の入力内容：{modelName} {filePath} {mediaName}

印刷結果に付加される情報：SC-S9100 Series C:\¥Users¥UserName¥Desktop¥Image¥Flower.pdf 一般的なのり付き塩ビ

参考

入力欄に複数のエイリアスを入力するときは、エイリアス間にスペースを入力することを推奨します。
スペースを入力することで、ジョブラベルに印刷された定型情報が見やすくなります。

☒ ジョブラベル印刷

☒ ファイル名

☒ プリンター名

☒ RIP開始日時

☒ メディア設定

☐ レイアウト設定

☐ カラー設定

☒ コメント

{modelName} {filePath} {mediaName}